重要文化財（建造物） 旧関川家住宅主屋ほか４棟
保存修理工事

図面リスト

整理番号	図面名称		縮尺
A － 01	改修特記仕様書（1）		－
A － 02	工事概要・標準仕様書（1）		－
A － 03	標準仕様書（2）		－
A － 04	文化財特記仕様書１		－
A － 05	文化財特記仕様書２		－
A － 06	文化財特記仕様書３		－
A － 07	文化財特記仕様書４		－
A － 08	文化財特記仕様書５		－
A － 09	文化財特記仕様書６		－
A － 10	文化財特記仕様書７		－
A － 11	文化財特記仕様書８		－
A － 12	参考工程表１・参考図		－
A － 13	参考工程表２・参考図		－
A － 14	主　屋　求積図１		1/100
A － 15	主　屋　求積図２		1/100
A － 16	道具倉　求積図		1/100
A － 17	米　倉　求積図		1/100
A － 18	表門・裏門　求積図		1/50
A － 19	水　屋　求積図		1/50
A － 20	案内図・付近見取図		－
A － 21	一般図	配置図	1/150
A － 22	一般図	主　屋　平面図	1/80
A － 23	一般図	主　屋　立面図	1/80
A － 24	一般図	主　屋　断面図	1/80
A － 25	一般図	道具倉　平面図	1/50
A － 26	一般図	道具倉　立面図１	1/50
A － 27	一般図	道具倉　立面図２	1/50
A － 28	一般図	道具倉　断面図	1/50
A － 29	一般図	道具倉　見上図	1/50
A － 30	一般図	米　倉　平面図・見上図	1/50
A － 31	一般図	米　倉　立面図１	1/50
A － 32	一般図	米　倉　立面図２	1/50
A － 33	一般図	米　倉　断面図	1/50
A － 34	一般図	表　門　平面図・断面図	1/30
A － 35	一般図	表　門　立面図	1/30
A － 36	一般図	裏　門　平面図・断面図	1/30
A － 37	一般図	裏　門　立面図	1/30
A － 38	一般図	水　屋　平面図・見上図	1/30
A － 39	一般図	水　屋　立面図	1/30
A － 40	一般図	水　屋　断面図	1/30

整理番号	図面名称		縮尺
A － 41	直接仮設工事	（全体）・参考図	1/150・100
A － 42	共通仮設１	（樹木伐採）	1/150
A － 43	共通仮設２	（仮設物配置）	1/150
A － 44	直接仮設工事	（主　屋）１・参考図	1/150
A － 45	直接仮設工事	（主　屋）２・参考図	1/150
A － 46	直接仮設工事	（道具倉）１・参考図	1/150
A － 47	直接仮設工事	（道具倉）２・参考図	1/150
A － 48	直接仮設工事	（米　倉）１・参考図	1/150
A － 49	直接仮設工事	（米　倉）２・参考図	1/150
A － 50	直接仮設工事	（表　門）１・参考図	1/60
A － 51	直接仮設工事	（表　門）２・参考図	1/60
A － 52	解体工事	（主　屋）１	1/100
A － 53	解体工事	（主　屋）２	1/100
A － 54	解体工事	（主　屋）３	1/80
A － 55	解体工事	（主　屋）４	1/60
A － 56	解体工事	（道具倉）１	1/60
A － 57	解体工事	（道具倉）２	1/60
A － 58	解体工事	（米　倉）	1/60
A － 59	解体工事	（表門・裏門）	1/60
A － 60	解体工事	（水　屋）	1/60
A － 61	基礎工事	（主　屋）１	1/100
A － 62	基礎工事	（主　屋）２	1/100
A － 63	基礎工事	（道具倉・米倉・水屋）	1/60・30
A － 64	基礎工事	（表　門）	1/30
A － 65	基礎工事	（裏　門）	1/30
A － 66	木工事	（主　屋）１	1/100
A － 67	木工事	（主　屋）２	1/100
A － 68	木工事	（主　屋）３	－
A － 69	木工事	（道具倉）１	1/60
A － 70	木工事	（道具倉）２	1/60
A － 71	木工事	（米　倉）１	1/60
A － 72	木工事	（米　倉）２	－
A － 73	木工事	（表　門）	1/60
A － 74	木工事	（裏　門）	1/60
A － 75	木工事	（水　屋）	1/60
A － 76	屋根工事	（主　屋）１	1/100
A － 77	屋根工事	（主　屋）２	1/100
A － 78	屋根工事	（道具倉）１	1/80
A － 79	屋根工事	（道具倉）２	1/80
A － 80	屋根工事	（米　倉）１	1/80

整理番号	図面名称		縮尺
A － 81	屋根工事	（米　倉）２	1/80
A － 82	屋根工事	（表　門）	1/60
A － 83	屋根工事	（裏　門）	1/60・20
A － 84	屋根工事	（水　屋）	1/60
A － 85	左官工事	（主　屋）１	1/100
A － 86	左官工事	（主　屋）２	1/100
A － 87	左官工事	（道具倉）１	1/60
A － 88	左官工事	（道具倉）２	1/60
A － 89	左官工事	（米　倉）	1/60
A － 90	左官工事	（表門・裏門）	1/60
A － 91	左官工事	（水　屋）	1/60
A － 92	建具工事	（主　屋）１	1/100
A － 93	建具工事	（主　屋）２	1/100
A － 94	建具工事	（表門・裏門・水屋）	1/30
A － 95	建具工事	（建具表）	1/30
A － 96	雑工事	（主　屋）	1/60
A － 97	雑工事	（道具倉・米倉・水屋）	1/60・30
A － 98	雑工事	（表門・裏門・水屋）	1/30
A － 99	雑工事	（自火報取外し）	1/150
S － 01	構造補強工事	構造設計標準仕様	－
S － 02	構造補強工事	鉄骨構造標準図	－
S － 03	構造補強工事	主　屋　基礎伏図／柱壁伏図	1/100
S － 04	構造補強工事	主　屋　下屋伏図／上屋伏図	1/100
S － 05	構造補強工事	主　屋　軸組図（1）	1/100
S － 06	構造補強工事	主　屋　軸組図（2）	1/100
S － 07	構造補強工事	主　屋　軸組図（3）	1/100
S － 08	構造補強工事	主　屋　軸組図（4）	1/100
S － 09	構造補強工事	主　屋　軸組図（5）	1/100
S － 10	構造補強工事	主　屋　詳細図（1）	1/20
S － 11	構造補強工事	主　屋　詳細図（2）	1/30
S － 12	構造補強工事	主　屋　詳細図（3）	1/30
S － 13	構造補強工事	道具倉　伏図	1/50
S － 14	構造補強工事	道具倉　軸組図	1/100
S － 15	構造補強工事	道具倉　詳細図	1/20
S － 16	構造補強工事	米　倉　伏図／詳細図	1/50・30
S － 17	構造補強工事	米　倉　軸組図	1/50
S － 18	構造補強工事	表　門　補強図	1/30
S － 19	構造補強工事	裏　門　補強図	1/30
S － 20	構造補強工事	水　屋　伏図	1/50
S － 21	構造補強工事	水　屋　軸組図	1/50
S － 22	構造補強工事	水　屋　鉄骨詳細図	1/20

2022.08

重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟保存修理工事　　特記仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　　高知市一宮中町三丁目11番59号

2．工事種目　　主　　屋：文政２年（1819年）建設　木造平屋建て　平面積172.379㎡
　　道 具 倉：明治28年（1895年）建設　木造２階建て　平面積 36.075㎡
　　米　　倉：明治26年（1893年）建設　木造平屋建て　平面積 31.666㎡
　　表　　門：建設年代不詳　木造
　　裏　　門：建設年代不詳　木造
　　水　　屋：建設年代不詳　木造平屋建て　平面積 11.921㎡

　　保存修理　　一式
　　構造補強　　一式

3．別契約関連工事　　○管理棟解体工事 ○防災設備工事 ○公開活用工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事
　　・合併処理装置設置工事 ・外構工事

4．概成工期　　・完成期限の（　　）日前　（　令和　　年　　月　　日）

5．部分使用（工事請負契約書第34条第1項）
　　令和　年　月　日からは、全ての室内部分を使用する。

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．特記仕様
　1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
　2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
　　○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　　特記事項に記載の［　］内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　　特記事項に記載の〈　〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
2．適用基準等
　　図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省（国交）大臣官房官庁営繕部監修の以下による。
　　・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　　（平成31年版）
　　※公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　　（平成31年版）
　　※建築工事標準詳細図　　（平成28年版）
　　・敷地調査共通仕様書　　（平成27年10月改訂版）
　　・建築物解体工事共通仕様書　　（平成24年版）

項　目	特　記　事　項
一般共通事項	
① 工事実績情報サービス（CORINS）への登録（請負金額500万円以上）（受注、変更、完成時）	登録の手続きについては、（一財）日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ　テクリス登録等に関する規約」による。［1.1.4］
② 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。
③ 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。［1.2.3］
④ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。［1.2.4］ また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。
⑤ 工事写真	工事写真はL版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し１部提出する。（A4版台紙）［1.2.4］ 撮影方法は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（平成31年版）・同解説 工事写真の撮り方 建築編」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国技建管第10号（平成29年１月30日付）「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。
⑥ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。
7 電気保安技術者	適用する。［1.3.3］
⑧ 施工条件	施工日及び施工時間　※1.3.5(1)(ｱ)による。［1.3.5］ ・ 施工順序　　・図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※　仮囲内　　・　図示 その他の施工条件 ※資機材の搬出入時には、毎日の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両（乗用車も含む）が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ・昼下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ・
⑨ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第４条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の施職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等　・令和　年　月　日から令和　年　月　日までの間は　名常駐する。 ・作業日は　名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ※監督職員と協議し、適宜配置する。 配置人員の資格 ・１名以上／１班は交通誘導警備業務に係る検定合格者（１級又は２級）を配置する工事。 ※交通誘導に関し、１名以上／１班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。

資　格	資　格　要　件	配置人数
１，２級交通誘導警備検定合格者（交通誘導警備員Ａ）	交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの	人
交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等（交通誘導警備員Ｂ）	警備業法における指定講習を受講したもの 警備業法における基本的基礎資格及び実務別教育（警備業法第２条第１項第２号の警備業務）を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験年数）が１年以上であるもの	34 人

なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。
また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。

項　目	特　記　事　項
⑩ 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
11 統括安全衛生管理資格者の指名	労働安全衛生法第30条第２項に基づき指名をする。
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、［1.3.12］ 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、 処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。（届格・保管については同様とする） 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下廃棄物処理法という）施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに１台のみ写真撮影（現場搬出時及び処分場到着時）し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分又は再生）を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票（以下マニフェストという）により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にその写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。 この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にその Ｂ２票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかに E票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの　（　・　） ・現場再利用を図るもの　（　・　） ○再資源化を図るもの　（※コンクリート　※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材　※アスファルトコンクリート　） ・特別管理産業廃棄物の処理方法　（　・　）
⑬ 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出（請負金額100万円以上）	再生資源利用（促進）計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム（CORINS）により作成し、提出は以下による。 a）CORINSについては、建設副産物情報センターのホームページ（http://www.recycle.jacic.or.jp）より、利用申請等を行うことができる。 b）建設資材の利用量の入小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式１）を、完成資料として監督職員に提出する。 c）建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式２）を、完成資料として監督職員に提出する。 d）受注者は再生資源利用（促進）計画書（現場指示用様式）を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e）受注者は作成したデータを含め、再生資源利用（促進）計画書及び実施書を工事完成後５年間保存する。
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成翌限より24日後以降までの期間とする。
⑮ 契約保証	※金銭的保証方式　・
⑯ 前払金支出割合区分施工	・有　○無
17 証明書の提出（グリーン購入法）	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。［1.4.2］
18 施工数量調査	調査範囲　※ 図示　・改修建物の外壁、軒天、パラペット　・　［1.5.2］ 調査方法　※ 外部足場を使用した目視及び打診　・ 破壊部分の補修方法　※ 現状に復旧　・ 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に提出する。（必要に応じ写真等を添付する）
19 技能士及び技能資格者	※適用する　（○：一級、●：二級）［1.6.2］［1.6.3］

工　事　種　別	技　能　検　定　等　の　種　種
・仮設工事	※●とび（又は足場組立作業主任者）　・
・鉄筋工事	※○鉄筋施工（鉄筋組立作業）　・
・コンクリート工事	・○コンクリート圧送施工　・○型枠施工
・鉄骨工事	※●とび　・
・ブロック・ALCパネル工事	・○ブロック建築　・（単一）ALCパネル施工
・防水工事	・○アスファルト防水工事　・○合成ゴム系シート防水工事 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事　・○シーリング防水工事 ・○ＦＲＰ防水工事　・○塩化ビニル系シート防水工事
・石工事	※○石材施工　・
・タイル工事	・○タイル張り　・
・木工事	※○建築大工　※選定保存技術団体の認定又は講習修了者
・屋根及びとい工事	※○かわらぶき　・スレート施工　・○建築板金
・金属工事	・○鋼製下地工事　・（単一）金属製パネニー工事
・左官工事	※○左官　※文化財建造物施工統験者
・建具工事	・○サッシ施工 ※○木製建具製作　・○ガラス施工
・カーテンウォール工事	・○カーテンウォール施工　・
・塗装工事	・○塗装（建築塗装作業）　・
・内装工事	・○プラスチック系床仕上げ工事　・●カーペット系床仕上げ工事 ・○ボード仕上げ工事　・○表装（壁装作業）　・○畳製作
・植栽工事	※○造園　・
・その他	・（単一）樹脂接着剤注入施工（エポキシ樹脂注入工事） ・○家具製作（家具手加工作業） ・

適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類（運転免許証等）の写しを提出する。

20 化学物質の室内濃度の測定

化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、［1.6.9］
報告書を監督職員に提出する。
ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を遅やかに監督職員に提出しなければならない。
測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告し、測定時期、測定対象室については監督職員と協議する。

測定方法
※厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。
測定対象化学物質
※ホルムアルデヒド　※トルエン　※キシレン　※エチルベンゼン
※スチレン　※パラジクロロベンゼン・　・
測定箇所　（　）箇所　施工前・施工後（計　回測定）

項　目	特　記　事　項
	なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後（備品の搬入等を含む）に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物（VOC）の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。
㉑ 直接仮設の養生	内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。
㉒ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。（記載順序は不同）また、「評価名称による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名称」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先採用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。　なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注１：県内産資材とは、高知県内で生産した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注２：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。
㉓ 特別な材料の工法	公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。
㉔ 風圧力	木工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速（Vo）及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速（Vo）：　※　38m/sec　・　36m/sec　　地表面粗土区分：　※　Ⅲ　・
㉕ 仕上面の出隅処理	内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部（家具を含む）　6㎜程度 コンクリート、モルタル部　20㎜程度 鉄部、金属部　3㎜程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。
㉖ 事業損失補償	※現場説明書による。　・
㉗ 完成時の提出図書	○完成図（作成範囲　○配置図　○平面図　○立面図　○断面図　・仕上表）［1.8.1］［1.8.2］ ○完成図（ＣＡＤデータの提出　※寸さ（CD-R等）　・しない） ○保全に関する資料（提出部数　※２部　・　部）［1.8.3］ 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色（マンセル値等）をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書［1.8.2］ 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
㉘ 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。

位　置	分類・規格	撮影枚数	部　数	原版の大きさ（㎜）
○ 各室	手札版（L版）	※２枚・　枚	※１部・　部	100 × 125以上
○ 外部	やナビ本版	※４枚・　枚	※１部・　部	24 × 36以上
○ 外部	半切パネル・木製枠※アルミ枠	※１枚・　枚	※１部・　部	
・	スライド		※１部・　部	

カラー・電子データ化（CD-R等）し、すべて提出する。
撮影箇所は監督職員と協議する。
上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。
画像形式等　フォーマット：JPEG　画質：標準　画像サイズ：1024×768ピクセル程度

項　目	特　記　事　項
29 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強　※下表　・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強　※下表　・図示 ・駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・

補　強　種　別		内容
貫通孔、開口部の補強	梁	
	壁	
	スラブ	
壁切込み及び補強		
天井切込み及び補強		

㉚ 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。
㉛ 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害（以下この文において「不当介入」という。）の排除については次による。 a）受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b）受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c）受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d）受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市暴力団排除措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。
㉜ 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。

項　目	特　記　事　項
㉝ 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。
仮設工事（改修）	
① 足場その他	内部足場　※ きゃたつ、足場板等　・　［2.2.1］［表2.2.1］ 外部足場　※ 本足場　・ 外部足場の養生 ※ 図示　・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、搬去材の運搬方法　・A種 ※ B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種の場合　利用可能なエレベーター（※図示　・　） D種の場合　利用可能な階段（※図示　・　） ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。
② 養生	・既存部分の養生　※ ビニルシート、合板等　・　［2.3.1］ ・既存家具、既存設備等の養生　※ ビニルシート等　・ ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所　※ 図示 ・固定された備品等の移動　※図示 ・開口部養生　窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う関辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。
3 仮設間仕切り（屋内）	設置箇所　※ 関示　［2.3.2］［表2.3.1］ 間仕切り種別　・A種 ・B種 ※ C種 A種，B種の場合 仕上げの材種　※せっこうボード 厚さ9.5㎜　・合板（普通合板）厚さ9.0㎜ 塗装仕上げ等　・　・行う　※ 行わない 仮設屋設置箇所　※ 関示　・ 仮設屋種別　・合板張り木製屋程度　・ 図示
④ 監督職員事務所	・設けろ（　㎡程度）　※設けない　［2.4.1］
5 監督職員の備品等	備品等の設置　［2.4.1］

備品の種類	机・椅子	書　棚	黒　板	ＰＣ	掛　時　計
数　量	組	台	枚	台	個
備品の種類	温 度 計	ゴ ム 長 靴	由 ポ っ ぱ	保 温 箱	懐 中 電 灯
数　量	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷蔵庫機器	消 火 器	湯 沸 器	加入電話付据置
数　量	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃 除 具				
数　量	個				

⑥ 工事用水・電力　構内既存の施設（用水）　・利用できる　（※ 有償　・無償）　※ 利用できない
構内既存の施設（電力）　・利用できる　（※ 有償　・無償）　※ 利用できない
構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a）～e）による。
a）既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。
b）既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。
c）工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、試設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、試設負荷への波及がないようにする。
また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。
構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a）～c）に下記d）～e）を加える。
d）工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。
e）工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。

⑦ 仮囲い　※ 図示　・
⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け　※ 原形の復旧
・良土にて設計地盤まで盛土整地する。　範囲（ 図示 ）　厚さ（　　）［2.5.1］

防水改修工事

1 既存等に対する養生方法	※3.1.3(5)による　・　［3.1.3］
2 既存防水の処理	既存保護層の撤去　・行う（範囲　※図示　・　）［3.2.3］ ・行わない 既存防水層の撤去　・行う（範囲　※図示　・　）［3.2.4］ ・行わない 立上り部の防水層撤去・行う（・PDS ・PDSI（機械） ・M4S ・M4SI ・S4S（機械） ・S4SI（機械）） ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4PU ・L4X）［3.2.6］ ・行わない
3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所，範囲，数量等　※ 図示　［3.2.6］ PDST工法及びPDSI工法（機械的固定工法）の既存防水層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理※3.2.6(4)(ｳ)(ｷ)による 設備機器等や、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り，手すり・丸環の取付け部，塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理　※図示
4 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別　［3.2.3］［表3.3.3～表3.3.6］

工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ｐ２Ａ	・Ａ－１ ※Ａ－２ ・Ａ－３			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜以上	※乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
・Ｐ１Ｂ	・Ｂ－１ ※Ｂ－２ ・Ｂ－３				
・Ｐ２Ａ１	・Ａ１－１ ※Ａ１－２ ・Ａ１－３		JIS A 9521（建築用断熱材）に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（スキン層付き）	※ フラットヤーンクロス（70g／m2程度）	
・Ｐ１Ｂ１ ・Ｔ１Ｂ１	・Ｂ１－１ ※Ｂ１－２ ・Ｂ１－３		厚さ：・ ・図示		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 表3.3.3から表3.3.9までによる　・
部分的増厚改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 表3.3.3から表3.3.9までによる　・
仕様（保護材　・密実系パネル（・Ⅰ種　※Ⅱ種）　・金属複合板
製造所　評価名等による
半島の保護コンクリート　［3.3.5］
こて仕上げの場合　※ 80㎜以上　・
床タイル張り等仕上げの場合　※ 60㎜以上　・
屋上排水溝　・図示　・

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐 / 課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	澤田	岡村	A-01
			図面名　改修特記仕様書（1）　2023/05　縮尺　1/NONE	作図　年　月　日			

重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事

工事概要・建物概要

１．工 事 名 称　　重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事

２．工 事 場 所　　高知県高知市一宮中町三丁目11番59号

３．工 事 概 要

（１）修理方針

主　　屋：屋根葺替・部分修理及び構造補強

道 具 倉：屋根葺替・部分修理及び構造補強

米　　倉：屋根葺替・部分修理及び構造補強

表　　門：解体修理及び構造補強

裏　　門：解体修理及び構造補強

水　　屋：屋根葺替・部分修理及び構造補強

４．工事対象建物

（１）名　　称　　重要文化財（建造物）旧関川家住宅

（２）構造形式

主　　屋：桁行14.4m，梁間10.2m，寄棟造茅葺，南面及北面庇付桟瓦葺，南面突出部寄棟造茅葺，南面庇付桟瓦葺，西北面水屋付属

表　　門：二間薬医門，桟瓦葺

道 具 倉：桁行6.7m，梁間5.3m，二階建切妻造，東面庇付，桟瓦葺

米　　倉：桁行5.9m，梁間5.3m，切妻造，東面庇付，桟瓦葺

宅　　地：1,611.53平方メートル，敷地内の水屋・裏門を含む全体

（３）主要寸法

区　分	摘　　要	寸　　法			
		主　屋	表　門	道具倉	米　倉
桁　行	桁行両端柱間真々	14.467m	3.636m	6.795m	5.910m
梁　間	梁間両端柱間真々	10.226m	0.909m	5.320m	5.358m
軒の出	側柱真より軒先	表　0.707m	1.361m	主　0.975m	主　0.855m
		裏　0.592m		庇　0.716m	庇　0.596m
軒　高	柱礎石上端より軒下端	2.588m	2.263m	主　4.607m	主　3.802m
				庇　1.912m	庇　1.873m
棟　高	柱礎石上端より棟頂上	7.685m	3.194m	6.643m	5.689m
平面積	側柱内側面積	172.0㎡	3.3㎡	36.1㎡	31.7㎡
軒面積	軒先内側面積	212.0㎡	14.5㎡	63.7㎡	53.0㎡
屋根面積	平葺面積	318.0㎡	15.9㎡	81.3㎡	65.2㎡

—　文化財建造物保存修理工事　標準仕様書　—

Ａ　一般事項

１　通　　則

①この工事は、文化財の保存事業であることを十分に理解し、伝統的諸工法を踏襲して各部の施工にあたるよう留意する。

②実施にあたっては、監督職員と十分協議し、不明な点または疑問を生じた場合は、すべて監督職員の指示に従って施工する。

２　適用範囲

①本仕様書は、各種共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において他の工事との関連ある事項は、それぞれ該当工事の記載事項を参照する。

３　発掘調査への協力

本工事は「重要文化財指定の敷地」内の工事であるため、地盤の掘削については高知市民権・文化財課職員の立会いのもとで行い、未調査の地下遺構が発見された場合は、直ちに工事を中止して発掘調査に協力するよう現場代理人から各職方に至るまで徹底をはかる。

対象調査地は現管理棟の跡地とし、令和６年１月頃を予定する。

４　ＳＩ単位

原則としてＳＩ単位によるが、適宜、尺貫法を用いることとする。この場合の１尺は30.3cmとし、表記にあたってはＳＩ単位との違いを明確にする。

５　別契約の関連する工事

①すでに設置した仮設道路、定置する足場、桟橋等の類を別契約の関連工事施工者に無償で使用させること。

Ｂ　工事現場管理

１　現場代理人及び監理技術者、作業員等

①本工事は特殊作業が多いので、現場代理人・監理技術者・作業員等、施工関係者の選定に当たっては、能力・適正を十分に考慮すること。

②現場代理人は、工事現場の管理運営に必要な知識と経験を有する者とし、２級建築士または２級施工管理士以上の資格を有する者とする。

④技能者等の作業員は、この作業に興味と熱意を持って当たれる者とし、特に細部に注意を払い根気よく作業を続けることができる者が望ましい。

⑤作業員が作業に慣れるには時間を要するので、適正を見た上で一旦会得した後は専任とし、理由なく交替させてはならない。

⑥建物の保存上、施工関係者の行為が不安であり、監督職員が不適当と判断した者は、書面にて理由を記し、交替を求めることができる。

２　作業員の構成

①各種技能者とその作業員は各工種別に構成し、その連繋が密接であること。

②大工技能士いわゆる大工は、１級建築木工技能士の資格を有し、かつ文化庁が定める選定保存技術保持団体の実施した研修を受講し、その研修を修了またはその研修の認定を受けた技能士を１名以上含めることとする。

③大工の中より主任技術者（棟梁格大工）を選任し、工事の円滑な進捗と統率を計る。なお、この主任技術者（棟梁格大工）は工事中全期間を通じて就業可能な者とし、その選任については、監督職員の承諾を得ること。

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市　都市建設部　公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-02
図面名　工事概要・標準仕様書（1）　2023/05　縮尺　1/NONE	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%

④茅葺工に関しては、茅葺の分野において選定保存技術の保持団体に属する技能者もしくは、それと同等以上と認めたものを充てる。
⑤桟瓦葺工に関しては、１級かわらぶき技能士の資格を有し、かつ重要文化財あるいは国宝指定の建造物修理の施工経験のある技能士を１名以上含めることとする。
⑥左官工に関しては、左官（日本壁）の分野において選定保存技術の保持団体に属する技能者もしくは、それと同等以上と認めたものを充てる。
⑦建具工に関しては、１級建具製作技能士（木製建具手加工作業）の資格を有し、かつ重要文化財あるいは国宝指定の建造物修理の施工経験のある技能士を１名以上含めることとする。
⑧上記の技能資格者は、資格及び経歴等を監督職員に提出すること。
⑨上記の資格を有するものがいない場合は、同等以上の技量と能力があることを証明する資料を提出し、監督職員の承諾を得ること。

3　工事現場の保安

工事現場への労働者その他関係者の出入りを適切に管理し、火災、盗難その他の事故の防止に努めなければならない。

4　養　生

工事対象の建物は重要文化財であることを念頭に入れ、工事の施工済部分、既存部分、未使用機器、材料等で施工中に汚損や損傷するおそれのあるものは、適切な方法で養生すること。

5　火気の取り扱い

工事対象の建物は重要文化財であり、工事中に火気を使用するときは、火災に注意して工事を進めること。また、指定した場所以外の喫煙を禁じる。

C　施工管理

1　下請業者及び資材納入業者選定届

各工事の着手に先立ち、各下請業者及び資材業者を選定し、下記事項を具備した名簿を作成し、監督職員に提出する。

i　指定の有無　　ii 製造業者及び施工会社（代理店扱いの時は併記）
iii　電話番号　　iv 担当者名　　v 摘要欄

2　施工図・原寸図等

施工に際しては監督職員の指示する期日までに施工図・矩計図・製作図・加工図を作成し、軒廻り・その他曲線材は原則として原寸を引き付け、必要に応じて型板を作製し、監督職員の検査を受け、承諾を得たものによって施工する。

3　作業日報の提出

その日の作業の内容を詳細に記し、かつ翌日の作業予定を記した作業日報を毎日、監督職員に提出する。

4　月報の提出

監督職員の指示により、請負者は毎日の気温、天候、工事進捗概要、職人数、主な出来事等について記録簿を作成し、これらをまとめ、月報として提出する。（工程写真、月間実施工程表添付）

5　検査及び立ち合い

①検査及び立ち合い項目については受注者が行い、その結果を監督職員に報告する。
②施工検査
　1　施工後、検査が困難となる工事は随時、受注者の責任により検査及び立ち合いを行い、その記録を監督職員に提出する。
　2　工事完成にあたっては、下記書類を取り揃え、提出する。
　　i　備品目録
　　ii　建物維持管理注意事項
　　iii　工事竣工図（製本３部）
③出来高検査
　1　本事業は国庫補助事業であるため、工事代金は各年度毎の部分払いとなる。したがって、支払額を確定するために必要な各年度末の出来高検査を受けなければならない。

6　工事写真・施工写真

①監督職員と打合せの上、各工事について、その要点を撮影し、内容説明を記入の上、工事工程報告（月報）に添付して監督職員に提出する。

D　材　　料

1　概　要

①本工事に使用する材料は、仮設材料及び特に記載されたもののほかは、すべて日本産の新品とし、特注品は在来仕様の見本品及び図面により作製する。

2　見　本

工事用材料、仕上げの程度、色合い、柄等については、必要に応じてあらかじめ見本またはカタログ等を提出して、監督職員の承諾を受けること。

3　搬入報告

①材料の搬入毎に監督職員に報告する。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
②各材料については、材料搬入の都度、別に定める材料検査の実施基準に基づく検査を受け、合格したものを使用すること。
③不合格品については、速やかに場外に搬出し、代品を納入して工事の進行に支障をきたさないようにする。

4　材料試験

①材料のうち、特に指示のあるものについては、強度・耐力他についての試験を行う。
②材料について試験を行うときは、監督職員の立ち合いのもとで供試体を採取し、封印または検印を受けること。この採取した供試体については、一般財団法人建材試験センターにおいて試験を受け、その成績表を監督職員に提出する。

6　材料の保管

本工事に使用する再用古材、補足新材とも、その保管に関しては、湿気、盗難・火災等に対して十分対策を講じること。

E　そ の 他

1　発見物等のあった場合の注意事項

工事中、部材に墨書・刻銘・番付等を発見した場合、または建造物の創立・沿革を知る上で重要な資料（祈祷札・扁額・巡礼札等）を発見した場合は、直ちに監督職員に報告し、その指示を受ける。

2　基準尺度

スチールテープに目盛りを施した長さ4m、3cm角の桧製の尺杖を作成し、全工事を通じての基準尺度とする。

※１　各年度末には工事関係書類、写真などの書類を準備し、出来高検査を受験すること。
※２　写真撮影をデジタルカメラで行う場合には、着手時に係員と協議のうえ仕様を決定する。

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-03
		図面名　標準仕様書（2）　2023/05　縮尺　1/NONE	作図	年　月　日			

A2：100%、A3：71%、A4：50%

― 文化財建造物保存修理工事　特記仕様書 ―

a　通　則

① 総　則

この仕様書は概要を示すものであって，記載外の事項または疑問を生じた場合はすべて監督職員の指示に従い施工する。なお，実施にあたってはさらに詳細な実施仕様を定めて施工する。ただし，原設計仕様を変更する必要のある時は，ただちに計画変更の手続きをする。工事発注時において，図面および特記仕様書に記載されていない事項は，高知県および高知市の定める工事仕様書，『公共建築木造工事標準仕様書』，『公共建築工事共通仕様書（建築工事編）』，『公共建築改修工事共通仕様書（建築工事編）』（以上，国土交通省大臣官房営繕部監修，最新版），『木工事標準仕様書（JASS 11のA種仕様とする）』（日本建築学会監修），『日本農林規格（JAS）』，『日本工業規格（JIS）』による。

② 材料検収

一切の材料はすべて監督職員が検査を行い合格したものを使用する。

③ 材料保管

使用する材料で監督職員の検査に合格したものは，すべて良好な状態で保管し，湿気，盗難等に対し，十分対策を講ずるものとする。

④ 選定保存技術保持者・団体の関与

本工事で伝統技法にかかわる工事の施工にあたっては，国の選定保存技術保持者あるいは選定保存技術保存団体に所属する技能者，またはそれと同等の技術を有する者をあてる。
※文化財建造物保存修理工事　標準仕様書B-2　参照

b　仮設工事

① 概　要

各建物に解体用素屋根または単管足場，脚立足場を設けて順次本体を解体する。工事の完了後，すべての仮設足場を撤去し，場外へ搬出する。解体工程に合わせて，裏門，道具倉および米倉，主屋，表門の順に素屋根または足場を建設する。

② 構　造

素屋根・外部足場・軒足場は単管組もしくは枠組足場とする。屋根は亜鉛引鉄板葺（一部明り取り塩ビ板を使用）とし，雨樋を取り付け，周囲は，養生シート張りとする。資材搬入・搬出および作業員通路として各素屋根に登桟橋を勾配3/10程度に設置する。

③ 材　料

素屋根・外部足場・軒足場等の主材はJIS規格品とし，下記を標準とする。

単　管　……外径48.6mm×肉厚 2.4mm×長さ1.0～5.5m(STK500)
同上付属品　……直交・自在クランプ・ベース金具・ジョイント等(STK500用)
足 場 板　……足場用合板(JIS規格認定品)，もしくは厚 2.5cm×長 3.6m以上の杉・松板
波型鉄板　……波形カラー鉄板，厚0.19mm
合成樹脂板　……波型塩ビ板，厚0.8mm
養生シート　……メッシュシートⅠ類，布または合成繊維で防炎加工を施したもの
安全ネット　……ナイロンネット，網糸径 5.0mm
木　材　……杉または米栂1等材(すべり止め，胴縁)
鉄線・釘等　……10#，18#なまし鉄線，洋釘，ﾌｯｸﾎﾞﾙﾄ(JIS規格認定品)
枠組足場　……JIS規格認定品に合格した鋼管で作製されたもので，枠組見本により監督職員の承認を受けたもの
ブラケット　……同　上
脚　立　……同　上

④ 素　屋　根

建地は足場板上にジャッキベースを釘止めとし，単管または枠組足場を軒先より約1.5m外に建てる。各単位枠は取り合わせを十分緊結し，建地出入りや不陸のないよう組み立て，周囲は養生シート張りとする。屋根面に単管を組む場合は，建地下の屋根面を痛めないよう当木等の養生を施す。軒足場は軒先より約 0.9m下に設け，腰組高さに棚足場を設ける。根太割 0.6m内外，歩み板 0.9m以上巾に敷き並べ，ゴムバンド止めとする。要所控柱，筋違，方杖を取付け，各組手は堅固に締め付ける。素屋根の桁高は軒足場より 2m以上の高さとし，合掌を柱筋に架け，母屋割 0.85m内外とし，筋違を要所に入れる。棟および合掌はトラス組とする。屋根は波形鉄板葺とし，明り採りのための合成樹脂板を要所に入れ，軒には雨樋を取り付ける。素屋根組立後は必要に応じて要所より支柱，筋違などを挿入して補強を行うとともに，桁行方向と各隅部に単管による補強を行う。

⑤ 内部足場

設置箇所に応じて枠組，単管，ブラケット，脚立，足場板などを用い，その都度組み諸工事に用いる。

⑥ 脚立足場

脚立を通りよく並べて足場板などを掛けて緊結しその都度組み，諸工事に用いる。

⑦ 水盛遣方

建物周囲に遣形を設ける。地杭を約1.8m間隔で打ち込み，水貫を上端鉋削りのうえ地杭に水平に釘止めする。遣形には建物の位置及び水平の基準を明示する。

⑧ 墨出し

柱礎石や雨落葛石等の位置を示すよう，柱芯墨や石前面墨を遣形から引き出して墨を打ち，位置の確認を行う。

⑨ 屋根シート養生

表門，裏門，水屋の解体に際しては，単管等による仮屋根を設けず必要に応じて防炎シート張りによる養生を行う。

⑩ 危害防止

工事実施にあたり，法規上必要な危害防止及び衛生上のことに関しては適当な施設を設け，かつ防火対策を講じる。また素屋根他の各仮設物は，工事期間を通して強度上必要な補修や補強を行い，安全確保に努める。

c　解体工事

① 解体範囲

【主　屋】　屋根葺替・部分修理及び構造補強
屋根（茅葺・桟瓦葺き）をすべて解体する。畳，建具をすべて取り外し保存小屋に格納する。土壁，天井板，床板，造作材は構造補強材取付および補強基礎設置に影響のある範囲に限って解体する。

【道具倉】　屋根葺替・部分修理及び構造補強
屋根は置屋根および庇の桟瓦をすべて解体する。外部のなまこ壁は北面および西面のはらみ出しが顕著な範囲を解体し，内部は二階の鼠漆喰上塗および中塗りを破損程度に応じて解体する。床板，造作材は構造補強材取付および補強基礎設置に影響のある範囲に限って解体する。

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	松永	畑村		A-04
		図面名　文化財特記仕様書１　2023/05　縮尺　1/NONE	作図　年　月　日				

【米　倉】　屋根葺替・部分修理及び構造補強
屋根は置屋根および庇の桟瓦をすべて解体する。外部のなまこ壁は南面および西面の一部を解体し，その他なまこ壁及び水切瓦の紐漆喰剥離・剥落部分を解体する。床板，造作材は構造補強材取付および補強基礎設置に影響のある範囲に限って解体する。

【表　門】　解体修理び構造補強
建具を取外し格納する。土壁をすべて解体する。屋根の桟瓦葺き，野地板，垂木，小屋組み，梁組，軸部，造作材をすべて解きほぐし，格納する。

【裏　門】　解体修理び構造補強
建具を取外し格納する。土壁をすべて解体する。屋根の桟瓦葺き，野地板，垂木，小屋組み，梁組，軸部，造作材をすべて解きほぐし，格納する。

【水　屋】　屋根葺替・部分修理及び構造補強
屋根（桟瓦葺き）をすべて解体する。建具をすべて取外し保存小屋に格納する。土壁，造作材は構造補強材取付および補強基礎設置に影響のある範囲に限って解体する。

なお，その他として，構造補強工事の際に解体が必要な天井または壁に設置されている既存の電気設備，給排水設備を一旦取り外す。

② 準　備　各建物の解体する部材には解体前にそれぞれの建物の柱位置を基準とした平面番付を定め，取り外すすべての部材に位置，各名称などを記した番付札を付し，必要な調査・実測・写真撮影などを行う。

③ 養　生　柱材，建具類，造作材など運搬に際して破損の生じやすい部材は，エアーキャップ養生マット，布，紙，合成綿，コモ，添板などで養生を施す。

④ 解体及び調査　準備完了後，順序よく丁寧に解体し，その間必要な部材寸法，材種，時代区分，破損程度，仕上寸法，各部仕様，痕跡，転用古材などの諸記録をとるとともに，解体に伴い資料として滅失する可能性の高い土間叩きやコンクリート等のサンプリングを行う。

⑤ 運搬及び古材整理　解体した部材は塵や埃などを清掃し，釘仕舞のうえ再用・繕い・取替予定に区分し，同種材毎に整理して損傷の生じないよう養生を施し，保存小屋に運搬し整理，格納をする。その際，汚損の生じないよう取扱いには特に注意をする。なお，保存小屋に運搬が困難とみられる一部の大径・長尺の古材がある場合は，棚足場廻りに運搬し整理格納する。

⑥ 電気設備撤去　主屋の構造補強工事に際して，解体を必要とする範囲に設置されている電気設備は一旦取り外す。天井吊下げ照明器具，同配線，壁面埋め込みコンセント，同配線，分電盤を対象とする。

⑦ 特記事項　解体にあたり各部材は丁寧に扱い，解体作業中の仕口の損傷，板材の割れ，工具による損傷が生じないよう注意し，止釘を抜く際などは材面に傷をつけないよう添板を施す。楔・栓類も保管し，現在使われていない止釘穴や仕口はチョークによる色別表示を行う。壁土落としはケレンなどの道具を用いて，木部を傷つけないよう上塗りから順番に落とす。この際，徒に粉塵を巻き上げないよう注意するとともに，粉塵が周囲に広がらないような手立てを講じる。また，漆喰が他の壁土と混ざらないよう分けて整理する。作業は壁土を落とした時点で一旦終え，小舞の状態で調査確認を行った後，小舞を取り外す。
屋根は各棟積みや上方の地瓦から順序よく1枚ずつ丁寧に取り外し，昇降機などに載せて屋根から降ろす。各棟積みは解体時に原寸型をとり，組立工事の際の資料として保管する。
また，瓦は特徴的な土佐の地域性を示すものが多いため，再用を前提とし，解体時にあわせて再用・不再用の別を選別し，種類・種別ごと，瓦の刻印等の調査を行う。

d　基礎工事

① 概　要　建物内外にある既存の土間コンクリートおよび土間叩き，犬走叩きは撤去して新たに叩き直す。主屋周囲の南面および西面の雨落葛石に沿ってU字形側溝と雨水桝を埋設し，上面は砂利敷とし，雨水排水処理を適切に行うよう整備する。表門と裏門は不陸の生じた礎石や狭間石を一旦取り外し，据直しを行う。なお裏門の控柱礎石のコンクリート製沓石は撤去し，自然石礎石の据直しを行う。

② 補足石材　補足する石材は粗粒砂岩，チャート，石灰岩の自然石または在来に倣った見え掛りの仕上げとする。仕上げ程度については，事前に見本品を提出し監督職員の承諾を得る。

③ 礎石据直し　不陸の著しいものを据え直す。礎石下は鉄筋コンクリート独立基礎とする。なお，基礎コンクリートの打設後，柱根の高さを調査し，これらを基準に位置・高さを水糸により正確に定め，基礎コンクリート上に墨出しを行う。墨出し後，解体した石材を遣方より定めた高さ番付・方位にしたがってコンクリート基礎上に空練モルタルを用いて不陸・出入り・傾きのないよう据え付ける。据付後，周囲の地盤を人力にて埋め戻し，不用残土は場外搬出処分とする。

砕　石 …… 再生材
生コンクリート …… Fc18-18-20
据付モルタル …… 調合比1：3

④ 狭間石据直し　不陸の著しいものを据え直す。工法，材料は③礎石据直しに準じる。

⑤ 土間コン撤去　建物の内外にある既存の土間コンクリートをピックハンマー等によりはつり取って撤去する。撤去した材料は場外搬出処分とする。

⑥ 土間叩き
(1) 概　要
主屋の床下，土間，縁下，軒下の叩きをすべてやり直す。
(2) 材　料
叩き土 …… 真砂土(城陽土に準ずる)に小砂利を混ぜたもの
石　灰 …… 左官用上塗消石灰(塩焼灰)
苦汁水 …… 塩化カルシウムを清水で15倍希釈した水溶液
(3) 調　合
調合は叩き土１m3につき，石灰100～160kgを標準とし，詳細は土の質にて決定する。土間叩きは，事前に試験施工を実施し，配合比を検討する。容積比で土4：石灰1を標準とする。

(4) 工　法

土間叩き範囲の表土および現状叩きを深さ10cm程度にわたり鋤取り，現状の土間叩きを撤去して場外搬出処分とする。叩き土は，城陽土に小砂利を混ぜたものとし，これと石灰を十分に空練りして，苦汁水をジョロで均等にまきながら練り合わせる。練り合わせ程度は，空練りに近く，手で掴んで団子状になる程度とする。前日に軽く水打ちをし，2回に分けて木製の叩き器具にて厚10cm程度に十分搗き締める。水は特に加えず，土の湿気をもってこれにかえるが，乾きすぎて締まりにくい場合は苦汁水を少量加える。2回目の仕上げ工程では，表面仕上を考慮して8割方叩きしめた段階で，叩き土を篩にかけて粒子を整えた土を撒いたうえで叩き締める。なお，凍結による破損が生じないよう，材料・調合を十分考慮し，施工後は念入りに養生を行い，特に直射日光が当たる箇所にはコモを敷いた上に水を撒くなどして急激な乾燥によるひび割れを防ぐよう留意する。

⑦　雨水排水整備

主屋の建物周囲に排水設備を設ける。雨落葛石外側に所定の深さ・幅に根切りを施し，別途定める排水計画に従い水勾配を取ってＵ字形側溝を据え付け，必要に応じて側溝内にモルタルで水勾配を付ける。側溝にグレーチングを被せ，上面に平織金網を敷き，周囲を丁寧に埋め戻し，所定の幅，盛高に砂利敷を行なって側溝とグレーチングを覆い，暗渠形式の排水溝とする。雨水桝を設置し，既存水路へ排水管を埋設して排水する。

Ｕ字形側溝　…… 300B，砕石地業，捨コン打ち，モルタル据え
グレーチング　…… 鋼製，歩道用，300用
平織金網　…… SUS304，平織，線径1.0mm，メッシュ4，網目5.25mm，開孔率71.0%
雨水桝　…… 360×360×480，Ｃ種，砕石地業，捨コン打ち，モルタル据え
排水管　…… 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)，呼径100mm，外径114mm，肉厚6.6mm

e　木工事

①　概　　要

修理方針に基づき解体若しくは部分解体を行い調査のうえ，詳細な実施計画を立てる。

②　再用材

当初材は将来の保存に支障のない限りつとめて再用する。

③　取替材

腐朽・破損の著しいもの，あるいは現状変更等の事由により取替または新補する材は，原則として旧来と同種材とし，旧形・旧工法を踏襲する。すべて乾燥材とし，化粧材のうち特に板類は，必要に応じて現場で２か月以上自然乾燥する。

④　鉄　　材

在来品に倣うことを原則とする。ただし見え隠れに使用する釘･金物はJIS規格認定品を使用する。和釘を使用する場合は鍛鉄製とする。補強金物については主任技術者の指示を受ける。

⑤　繕　　い

不用の穴および仕口の見え掛り部，腐朽部などは埋木，矧木（はぎき）により繕いを行う。材料は主に不用古材の適材を使う。接着剤は合成樹脂を用い，構造的強度を要する箇所や雨水に曝される箇所にはエポキシ系として，埋木・矧木は木工用ボンドを用いる。この場合必ず見え隠れに忍釘止めの補強を行う。

⑥　新材加工

継手・仕口・曲線は在来どおりに加工する。また現状変更等による新補材は復原年代の残存資料により加工する。柱など軸部の化粧部分は従来の表面加工を調査のうえ，補足材も同様の加工とする。

⑦　古色塗

取替または新規補足材は，トーチ焼きおよび古色材などを用いて，周囲と調和よく古色塗りを施す。古色材は，弁柄，アンバー粉，松煙墨，オイルステインなどを溶いて，布などでよく摺り込んで施工する。光沢のある箇所，手の触れ易い箇所や雨水に曝される箇所は，その上に荏油などをよく摺り込む。

⑧　焼印押し

取替および新補材には見え隠れに修理年号を刻した焼印を押す。

⑨　防腐防蟻処理

(1) 概　要

防腐剤塗を木部に行い，防蟻を兼ねた防腐剤を使用する。

(2) 薬　剤

公益財団法人文化財虫害研究所認定品（公表価格15,000円/0.9kg円程度・薬剤のみ）

(3) 施工範囲

床下部材，野地面，その他見え隠れの仕口面と監督職員の特に指示する箇所。

(4) 工　法

浸漬・塗布・吹付・防蟻処理併用の箇所などそれぞれの要求度に応じて行う。塗布・吹付は２回以上とする。塗布・吹付は１回の量1㎡(木材面積)あたり200ml以上を刷毛により処理する。

⑩　組立及び補強

当初の仕様により順次軸部より組み上げるが，当初材の柱石口など特に建物の基幹寸法の要点となる箇所は切削を行わぬよう十分に注意を払う。なお，構造上不完全と認められる部分は監督職員の指示により添木，金物の補強の措置を講じる。

f　屋根工事

①　概　　要

施工区分は下記のとおりとするが，調査を行ったうえで実施計画を立てる。

主　屋　　：全面葺替（茅葺・桟瓦葺）
道具倉　　：全面葺替（桟瓦葺）
米　倉　　：全面葺替（桟瓦葺）
表　門　　：全面葺替（桟瓦葺）
裏　門　　：全面葺替（桟瓦葺）
水　屋　　：全面葺替（桟瓦葺）

②　桟瓦葺・棟積鬼瓦

(1) 調　査

解体にかかる前に，瓦座からの瓦の出・各瓦の時代別調査・形状・寸法・葺足・割付・棟積や熨斗積の現寸型作成を調べる。

(2) 瓦および葺土降し

調査記録，写真撮影を完了した後解体する。鬼瓦その他役物には番号札を付けて取解き，種類別に区分けをして指定の場所に集積する。

(3) 再用瓦

在来の瓦は形状，破損度，耐久性を考慮し，打音調査・吸水率などによって良否を判別し，再用・非再用に選別する。再用瓦はすべてタワシで水洗いし十分乾燥を図る。

(4) 補足瓦

在来品のうち指定の形式に倣い作製することとし，いぶし瓦は，焼成温度1100℃以上，吸水率12%以下とする。

生形検査

各瓦はすべて生型検査を受けた後に製作する。

製作年号刻印

各瓦は見え隠れ箇所に修理年号を刻印する。（補足瓦の30%程度）

焼　成

前焚きは約10時間以上かけ，徐々に600℃前後まで温度を上げて素地瓦の水分を充分に取り除き，その後に本焚きとして約10時間，1100℃以上の温度で焼成する。約4時間持続焼成を行い，いぶし後，自然冷却をしてから窯出しする。なお，窯内での上部と下部の温度差はできる限り最小限に保つように，絶えず温度調整を行うよう配慮する。

製品検査

吸水性・透水性の各検査は，各瓦から3～4枚程度を適宜，抽出して行う。その後，合格と認めた全製品について形状検査および音響検査を行い，合格品を搬入する。

検査の基準は，図面および見本に示した形状に合致したものとし，誤差の明示寸法は5%以内(外径寸法は3%以内)とする。また，焼き斑の多いもの，著しい焼き狂い，亀裂，破損など欠点のない優良品であることとする。

③　含浸強化処理

解体が完了した瓦は選別・清掃を行う。このうち，再用可能な瓦は含浸強化処理を施す。清掃後に乾燥した状態で，処理予定の瓦をパレットに格納し処理工場に運搬する。1パレットあたり，瓦3段積程度とし運搬時に破損しないよう養生を施す。

処理対象の瓦の状況に応じ，含浸強化処理の樹脂濃度を決定する。薬剤の決定にあたっては，監督職員と協議を行う。 HSDⅡに吸水防止剤を混入した薬剤により，浸漬処理を行う工程を標準とする。（株式会社アクトビズ文化財修理室　福岡県粕屋郡志免町　電話092-935-4718）

④　土居葺

桟瓦葺または銅板葺の屋根下地は，旧来に倣い土居葺を葺き直す。

材　料

葺　材　……杉赤身，長30cm，厚3.0mm，手割板

釘　　……竹釘，長2.1cm

工　法

葺材は葺き足を7.5cmとし軒先から上へ，板傍を隙間なく並べ竹釘にて止め付ける。要所で金釘を併用する。

⑤　下　　葺

土居葺完了後，下葺としてアスファルト系ルーフィングシートを敷く。縦方向の重ね30cm以上，上下の重ね合わせ10cm以上に敷き並べ，ステープル止めとする。

⑥　葺　　土

空葺での施工とするが，平葺面の調整用なじみ土として少量を使用する。葺土は砂混じりの粘りのある良質な粘土に使用数ヶ月前から藁すさを入れ十分混練し，よく寝かせたものを使用前にもう一度練返して使用する。

⑦　瓦割り

各面の野地を実測して，軒平瓦の口幅を基準に隙間・反り出しがないように左から右に地割り（逆勝手の場合は，右から左）を行い，軒平瓦・掛平瓦・角瓦・袖瓦の出等を決定する。割付が決定した後，瓦座に墨付を行い，監督職員の承諾を得る。

⑧　桟瓦葺（空葺）

桟木を竪・横に取り付け，各瓦を銅線吊りとした空葺で施工する。竪方向の桟木は，瓦割り寸法に合わせた位置に2通りずつ配り，その上に利き足寸法に合わせた位置に横方向の桟木を取り付ける。軒平瓦は尻2ヶ所を#16銅線，地瓦は各瓦の尻1ヶ所を#18銅線で桟木より吊る。必要に応じて，登り3枚ごとにステンレス製釘止めを併用する。各面より地瓦の重ね面をなじみよく合わせ，順次葺き上げる。なお，葺き地の調整用になじみ土を用いるが，使用量は必要最低限に抑えることに留意する。

材　料

桟　木　…… 杉赤身，防蟻防腐処理材，幅30mm，厚15mm，長3mまたは4m

銅　線　…… #16，#18，ホルマル被覆

釘　…… ステンレス釘，L50mm

⑨　棟瓦積

各棟の熨斗積は，在来の熨斗積高，幅に倣う。熨斗積は，各段目違いに屋根南蛮漆喰を用いて積み上げ，1段毎に#18銅線で緊結する。雁振瓦は，熨斗積を固定している銅線に#16銅線で緊結する。なお，熨斗積および雁振瓦の目地は紐漆喰塗仕上げで，下塗を確実に目地へ食い込ませる必要があるため，目地を約3mm開けて積み上げる。

⑩　茅　　葺

旧葺材を解体し，破損，腐朽している垂木を取替え，野地の縄締め直しのうえ葺替える。

⑪　材　　料

使用する材料は下記を標準とする。

葦・・・・・・・ 長さ1.2m以上，腐れ等のない乾燥した良質材

垂木・・・ ・・・ 末口径6.0～7.0cm，長7m内外の檜丸太

野地小舞・ ・・・ 真竹割材，幅2.5cm～3.0cm

押鉾竹・・・・・ 真竹，径3.0cm内外で長さ2.5m以上の秋伐材

杉皮・・・・・・ 節穴，腐れ等ない長さ0.75m以上の良質材

結束材・・・・・ ヒワダカズラ（扠首，屋中結束用）

女竹の二つ割り（垂木結束用）

藁縄（径8mm程度）

棕櫚縄（径5mm程度）

銅線（＃16なまし）棟積み

⑫　野地補修

腐朽している垂木を取替え，野地の緩んでいる箇所，縄の切れている箇所を締めなおす。野地小舞は破損材を取替え，在来通りの間隔に割り付け縄または棕櫚縄絡みとする。

⑬　下拵え

軒付け葦は下葉を十分にすぐり役15cm径内外に束ねる。平葺は軸元約30cm内外の下端をすぐり，同様に束ねる。

⑭　軒　　付

軒付は軒先敷き込み用茅を敷き込んだうえ，すぐり茅を敷き並べ押鉾にて押えて藁縄締めとし，同様の工法を重ねて所定の厚さに積み上げ，軒積み終了後，上質の水切り茅を一通り並べる。

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小 林 裕 幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事			松木	畑	A-07
		図面名　文化財特記仕様書４ 2022/05 縮尺　1 /NONE	作図		年	月	日

⑮ 平　葺

小舞竹上にすぐり茅を一並べ敷き，葺厚は在来通り45cmを標準として，葺き上がりの要所にのべ茅を入れ，登り45cm程度に押鉾竹を入れ小舞竹に藁縄で踏み締めて葺き上げる。

⑯ 棟積み

棟際は切茅にて葺き詰め，向こう前に折り返す。棟積みは厚み，幅，指定の寸法に前記同様に折り返し，棟木に格好良く積上げる。その上に杉皮3枚重ねて水切りとし，押竹7通り，導線を用いて締め形を整える。

⑰ 刈り込み

軒口の投げ勾配（特に隅軒），軒先の出をそろえ，隅水返りのないよう見通し良く整え，隅丸平葺とも不陸の無いよう鋏刈り仕上げとする。刈込量は必要最小限とする。なお，平葺面は多少むくり気味に仕上げる。

⑱ 樋工事

解体工事により取り外した軒樋，竪樋，アンコーを復旧する。主屋は放水銃による水幕形成を考慮して，軒先全体の復旧は行わず，西面のみとする。道具倉，米倉，表門，裏門，水屋は旧規の位置に樋を復旧する。

材料

軒　樋 …… 銅板ステンレス圧着厚0.40mm，5号角型，L=3.640m
（公表価格18,200円程度・材のみ）

竪　樋 …… 銅板ステンレス圧着厚0.40mm，径60，丸形，L=2.730m
（公表価格11,400円程度・材のみ）

アンコー …… 銅板ステンレス圧着厚0.40mm，角面取形（公表価格48,800円/個程度）

竪樋受金物 …… 銅製，既製品

工　法

樋受金物は，所定の水勾配を良好に取って垂木にビス止めで通りよく取り付け，樋と樋受金物はあらかじめ金物に取り付けた押え板で固定する。竪樋は円形とし，継手は下方の竪樋に40mm程度差し込んで継ぐ。竪樋の足元端部は，水路または雨水排水溝に接続する排水管を地盤面から3cm程度立ち上げ，これに接続して排水する。

g　左官工事

① 概　要

解体した壁は，構造補強・組立完了後に，在来の工法で塗り直す。また，屋根廻りの面戸漆喰塗と紐漆喰塗を行う。また，道具倉および米倉のなまこ壁は，破損したなまこ瓦を取り替え，目地は紐漆喰塗で仕上げる。なお紐漆喰の剥離・剥落があり，なまこ瓦が健全な箇所は可能な限り解体を行わず，紐漆喰塗の塗直しに留める。

② 材　料

間渡竹 …… 径18～21mm内外，淡竹（3年生以上の秋伐材）
小舞竹 …… 幅18～21mm内外，淡竹の割材（同上）
小舞縄 …… 径6mm（径3mm 2本撚り），藁縄
荒壁土 …… 夾雑物のない良質な粘土
中塗土 …… 荒壁土で5mm目篩に水通ししたもの
砂 …… 荒目勝，細目の海砂
すさ …… 荒壁用藁すさは打藁を3～9cmに裁断したもの，斑直し・中塗用は長3cm前後の揉すさ，上塗用は晒麻すさ
石灰 …… 上塗用消石灰（塩焼灰）
その他材 …… ステンレス釘，貫伏用寒冷紗

③ 調　合

1m3当りの標準調合比は下記によるが，施工の際に監督職員と協議して詳細を定める。

荒壁土 …… 解体した壁土に新土を混ぜ，粘土1m3に対し，藁すさ15kgを入れて水練りし，使用するまで3か月以上寝かせる。途中，藁すさを追加して数回切返し，使用直前にも藁すさを入れて練り合わせる。追加する藁すさは合計15kg程度とする。

斑直し土 …… 荒壁土1m3に対し，海砂0.3m3程度，揉すさ12kg程度を混ぜ，よく練り返したものとする。

中塗り土 …… 簀漉し土1m3に対し，海砂0.3m3～0.8m3前後（土の粘性により異なる），揉すさ約12kgを混ぜ，よく練り返したものとする。

砂漆喰 …… 上塗漆喰：砂＝6：4の容積比で良く混練したものを使用する。

上塗漆喰 …… 土佐塩焼石灰と発酵わらすさで製造した既調合品を用い，使用前に半年以上現場で寝かせる。使用時に練り舟に入れて平鍬で押し切るように混練する。

鼠漆喰 …… 上記の上塗漆喰に砂と松煙墨を混ぜ，よく切り返したもので，実施にあたっては試験施工を繰り返し行い，在来のものに色を合わせる。上塗漆喰（既調合品1袋）18kgに対し，海砂14㍑，松煙墨320ｇ，水・アルコール適量とする。

④ 工　法

(1) 真壁小舞掻き

間渡竹は，柱および桁等の間渡穴に差し込み，要所を貫に釘止めする。小舞竹は，間隔3.5～4.0cm内外にそれぞれ旧規の割に倣って縦横に小舞縄で千鳥に掻き付ける。

(2) 荒壁付け

荒打ちは径12cm程度の土塊をつくり，小舞によく喰い込むように押し込み，小舞の被り厚を12mm程度とり，裏側は壁貫と面一に塗り上げる。乾かないうちに木鏝で裏から押さえ，小舞になじませる。裏返しは，荒打ちが乾燥した後に同様の被り厚をとって行う。

(3) 斑直し

荒壁乾燥後，斑直しを行う。壁の塗厚を決め，壁周囲の柱等に朱墨でチリ墨を打った。貫伏せは貫上に斑直し土を薄く塗り，寒冷紗を砂漆喰で伏せ込む。貫伏せ，チリ廻りが十分乾燥した後，斑直し土をつけおくり，大斑をとり次に小斑をとる。

(4) 中塗り

斑直し乾燥後，中塗り土を薄手の鏝で十分押しつけ，所定の厚さに不陸のないよう塗り上げる。このとき，漆喰仕上げとなる壁の場合は過度に押え過ぎないよう注意する。中塗りは小斑直しを兼ねた下塗と上塗の2工程とし，上塗は下塗が生乾きのうちに塗り上げる。

(5) 漆喰上塗り

指定の厚みに上塗漆喰を用い，不陸のないよう塗り付け，水引後，斑やチリ切れなどのないように仕上げて金鏝で十分に磨き上げる。

(6) 鼠漆喰塗

指定の厚みに鼠漆喰を用い，不陸のないよう塗り付け，水引後斑・チリ切れなどのないように仕上げ，金鏝で十分に磨き上げる。

A2：100%、A3：71%、A4：50%

(7) 面戸漆喰塗

軒先，棟積，際熨斗，水切瓦の雀口および袖口には，在来に倣い面戸漆喰塗りを施す。

(8) 紐漆喰塗

蟇羽，風切丸，棟積，際熨斗，水切瓦の瓦目地には，在来に倣い紐漆喰塗りを施す。

(9) 特　記

荒壁土は，旧壁土と新土を混ぜ合わせて(新土7：旧土3)使用する。新土は早期に購入し，旧土と混ぜ合わせて十分に寝かせること。この期間は単に水をはって放置しておくだけでなく，定期的に繰り返し藁を加えて練り合わせたものを使用する。

左官材料の保管は常に乾燥状態とし，塗り上げ後の乾燥は自然な状態で行い，乾燥が進み過ぎる場合には，シート覆い・むしろ掛け等による早期乾燥予防の措置を講じる。また，寒冷時の施工は避け，直接風当たりとなる部分にはむしろ掛け等により，壁の凍結防止に留意する。なお，壁塗り着手前に隣接部材の汚損を防ぐため紙張りやシート養生を施す。

⑤　なまこ壁

道具倉北面のなまこ壁は下部にはらみ出しがあり，縦方向になまこ瓦の割損がみられるため，これらの破損個所を部分的に解体し，壁面の状況を確認したのち解体範囲を決定する。解体範囲は北面および西面の一部を想定する。破損したなまこ瓦を新調し，復旧する。紐漆喰の剥離・剥落がある部分は一旦取り除き，旧規に倣って塗り直す。米倉は，なまこ壁紐漆喰の剥離剥落がある箇所を一旦取り除き塗り直す。

⑥　出入口枠黒漆喰塗

道具倉の出入口枠は土戸の肘壺金具付近で破損した箇所を中心に荒土付けの層まで一旦掻き落とす。肘壺金具の調整を行ったのち，荒壁付け，中塗り，砂漆喰塗，黒漆塗を塗り直す。

⑦　モルタル塗直し

水屋の風呂廻りにおいて，既存のモルタル仕上層を撤去し塗り直す。コンクリートブロック積の補修完了後，金鏝仕上げとする。工法は『公共建築工事共通仕様書（建築工事編）』15章左官工事，2節モルタル塗りに準ずる。

h　建具工事

①　概　　要

破損の著しい建具は取り替え，その破損程度に応じて修理を行う。補修や新規製作にあたっては，原則として在来の建具と同材種，同品位の材料を用い，同工法，同仕様によって施工する。襖表紙については本紗織とし，在来の紙を詳細に調査したうえ紙質を決定する。

②　材料と工法

下記を標準とする。

木　　材（框・桟等）	……	桧・杉無節または上小節赤身乾燥材
〃　（板・目板）	……	杉無節または上小節赤身乾燥材
釘　　類（襖）	……	鍛鉄製折れ合い釘，鍛鉄製巻頭和釘
〃　（板戸等）	……	鍛鉄製巻頭和釘，銅鋲釘
金 物 等	……	木製引手，銅製引手，肘壷金物，戸締金物，くるる鍵
襖 表 紙	……	本紗織
襖下張紙	……	美濃紙
障 子 紙	……	手漉き和紙（高知県産）
の　　り	……	正麩糊
塗 装 材	……	薄墨，黒漆，アンバー粉など

③　修理建具

襖，障子，欄間障子，板戸の再用する建具は，破損程度に応じて区分した補修計画に従い施工するが，実施にあたっては監督職員と協議のうえ，1本ごとにさらに詳細な補修方法を定めて施工する。補修する木材は在来と同材種・同品位材を用い，木目を合わせた。補修部分は在来の工法に倣い，面取り等の加工は手工具による。継木・矧木には接着剤を用い，要所に忍釘止め（竹釘等による）を行い，古色塗を施す。

各建具の補修計画は以下の通り。

［襖］

中 修 理　…… 框矧木補修，矧木部分の黒漆塗

共通事項　…… 襖紙取替のため框を取り外し，旧塗装面の清掃，色付・漆拭き
襖紙張替，引手清掃，木製引手漆拭き
襖紙は，下張り5回（骨縛り，胴張り，蓑張り，蓑押え，袋張り）を行った後，上張りを行う

［障子］

中 修 理　…… 框矧木補修，組子部分取替，腰板接着補修

小 修 理　…… 框矧木補修，腰板・組子接着補修，矧木部分の黒漆塗

共通事項　…… 旧塗装面の清掃，色付，障子紙張替

［欄間障子］

中 修 理　…… 框矧木補修，組子部分取替

共通事項　…… 障子紙張替

［板戸］

竪舞良戸 大修理　…… 框竪框上下矧木補修，上下框取替

横舞良戸襖 大修理　…… 框埋木補修，竪板矧木補修，旧砂壁掻落・清掃，片面框色付，片面襖張替

［土　戸］

道具蔵 出入口　…… 土塗解体・塗直し，木部解体なし，建具部材の補修・取替撤去

［ガラス戸］

水屋 窓（西・北面）　…… 木部解体なし，建具部材の補修・取替，ガラス再用

④　建込み・調整

補修または新規補足の建具は，建て込みの際に取付位置，戸締まり金具位置，召し合わせ位置を考慮し，戸口や内法材に倣い間隙が大きくならないように取り付ける。

i　雑工事

①　防蟻土壌処理

(1) 概　要

防蟻処置を施すために敷地内の適切な範囲に適量の薬剤にて土壌処理する。

(2) 薬　剤

公益財団法人文化財虫害研究所認定品（公表価格45,500円/kg円程度・薬剤のみ）

(3) 工　法

床下部は散布，礎石周りは混合法により行う。散布は１㎡あたり液剤で４㍑～５㍑，粉末剤で１．５kg以上を標準とする。混合は礎石周りに深さ１５cm以上，幅20cm以上の溝を掘り，薬剤と土壌をよく混合して埋め戻す。薬剤使用量は溝長１ｍあたり粉末剤300ｇ以上とする。埋戻しは３回以上に分けて１回ごとに十分叩き締める。なお，薬剤使用量の決定に

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-09
		図面名　文化財特記仕様書６　2022/05　縮尺　1/NONE	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%

際しては使用材料の推奨する薬量を用いるものとし，事前に承諾を受けて施工を実施する。

② 畳工事

(1) 概　要

室内の畳をすべて表替えする。取外し後の調査により詳細の補修方針を決定する。

(2) 材　料

畳　表 …… 土佐表1種特等

畳　床 …… 稲わら畳床1級，JISA5901 WR-1

縫　糸 …… ビニロン系

畳　縁 …… 床：七宝縁，その他：純綿黒縁無地

(3) 工　法

畳の製作に先立ち，各部屋の平面寸法を実測して指示する畳割に合わせた畳の詳細寸法を決定し，割付と実測寸法を記した畳割図を作成して監督職員の承諾を得る。畳割により正しく切り合わせ，縁は表の筋目通りよく，たるまないようにして所定の針足寸法に合わせて縫い付ける。畳床裏には，持ち運び用の手がかりを付ける。畳捨えのうえ，畳と畳，畳と敷居および畳寄等と段違い，不陸，隙間のないよう敷込む。

③ 電気設備復旧

(1) 概　要

解体工事で撤去した主屋の照明器具・コンセント，分電盤等の設備機器を復旧する。既存の設備機器や配線は，これまで必要に応じて増設されてきたため，取付方法や配線経路は煩雑である。このため，復旧にあたっては，実施計画に基づく主屋の平面の変更に伴う設備機器の配置変更と合わせて，既存設備機器や配線の改善を行うこととを目的とした復旧計画を策定し，文化庁の指導を受けて実施する。

④ 給水設備復旧

(1) 概　要

水屋の構造補強工事および土間廻りの補修により撤去した給水設備を復旧する。

⑤ 自火報設備等

(1) 概　要

既存の自動火災報知設備を取り外し，同系統を利用して工事期間中の警戒を行うため，素屋根内に一部を移設する。

(2) 取外し

天井解体に伴い，空気管（銅パイプ，指定色塗装）差動式分布型感知器を取り外す。なお，自火報設備の復旧は別途防災事業により実施する予定とし，本事業では既存自火報設備の取外しまでを対象とする。

⑥ 煙突復旧

水屋の屋根工事に支障する既存煙突を撤去し，復旧する。現状は石綿製の直筒が使用されているため，ステンレス製既製品を用いて復旧する。直管の径は120㎜とする。煙突の設置方法は，現状のとおり背面屋根庇部の「屋根抜き」とする。風呂場北面に張り出して設けられている基礎部に煙突を差し込み，差込口周囲の破損部をモルタル塗りで補修する。なお，屋根抜き部分は煙突周囲で木材などの可燃物が接する可能性があるため，煙突周囲に砂漆喰による断熱層を設け，表面を黒漆喰により仕上げる。

⑦ 風呂釜廻り補修

水屋の風呂釜廻りのコンクリートブロック積は経年によりクラックが生じているため，破損したブロック積みを一旦取り外し，復旧する。また内部風呂釜廻りも構造的なクラックが生じているため，仕上層を一旦解体し補修を行ったのち，復旧する。なお，焚口，煙道掃除口の金物が破損または欠失しているため，既存に適合する既製品に取替える。

⑧ 後片付け・清掃

諸工事完了後，仮設物を撤去し，各建物・各工事区域内外の整地，清掃を行う。

⑨ 修理銘札

伸銅磨板，幅2.5cm×長18cm×厚1.5㎜に工事概要を陰刻し，内部の見やすい所に銅製鋲釘止めとする。取付位置は監督職員の指示を受ける。

j　構造補強工事

① 概　　要

構造診断結果に基づき，耐震補強を施する。

主屋は，土間と外周廻りの土壁を合板耐力壁に置換し，今後の活用を考慮し，室内に鉄骨フレームによる補強を行う。また，天井裏に水平構面を確保するため，木枠と鉄筋ブレースの追加による補強を行う。

道具倉は，内部の特徴的ななまこ壁を存置し，直接壁面を傷めない補強方針として鉄骨フレームによる補強を行う。床下にコンクリート製基礎を置き，鉄骨柱を立て，二階床上で頭繋ぎとする。また二階は柱筋に方杖を取り付ける。

米倉は，四隅の柱間を合板耐力壁とし，木枠に構造用合板を取り付ける。

水屋は，土中に地中梁を置き，鉄骨フレームによる補強を行う。

表門および裏門は，本柱の脇に鉄骨柱を追加し，土中にカウンターウェイトとなるコンクリート基礎を追加する。

② 土工事

鉄筋コンクリート基礎を構築するため，地盤の根切り及び床付けを行い，砕石地業を行う。基礎完成後に余掘り部分の埋戻しを行い，残土は場外搬出処分とする。

③ 鉄筋工事、コンクリート工事、型枠工事

鉄筋コンクリート基礎は，躯体図を作成し，監督職員の承諾を得た後，施工を行う。施工に際しては，「JASS5　鉄筋コンクリート工事」（日本建築学会），「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」（日本建築学会）の基準を準拠する。

(1) 鉄　筋（水屋・表門・裏門）

鉄筋はSD295A（JIS G3112規格品），D13・D16を用いる。配筋はダブルとし，継手はすべて重ね継ぎとし，継手の定着長さは40dとする。かぶり厚は上端・側面を60㎜，下端を70㎜以上とする。鉄筋の交差部の要所はコンクリート打ち込みに際して位置ずれを生じないように0.8～0.85㎜径程度のなまし鉄線で堅固に結束し，鉄筋相互または鉄筋と型枠との間隔を正しく保つためにスペーサーを使用する。配筋完了後，コンクリート打設前に監督職員による配筋検査を受ける。

(2) コンクリート(各建物共通)

使用するコンクリートはJIS A 5308によるレディミクストコンクリートで，JIS表示認定工場で製造されたものを使用する。

捨てコンクリート …… 普通ポルトランドセメント，Fc24-15-20

基礎コンクリート …… 普通ポルトランドセメント，Fc30-15-20

コンクリート打ち込みに際しては，打ち込みに支障がなく，かつ関連作業が終了している

ことを事前に確認した上で，監督職員の承諾を得る。打ち込みは，同一区画内のコンクリートが一体となるように連続して行った。打ち込み継続中の打ち継ぎ時間の間隔は120分を限度とし，打設後は十分な締固めを行う。上面は，所定の高さになるよう均し定規や木鏝等を用いて平らに仕上げる。打ち込み後の養生は潅水養生とする。

(3) 型枠(各建物共通)

普通合板型枠とする。基準墨は，墨出し専門の作業員が施工図に基づき行い，監督職員は必要に応じて立会いを行う。コンクリート打設前に監督職員による検査を受ける。

④ 鉄骨工事

鉄骨工事は，日本建築学会「JISS 6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」の基準に準拠する。詳細は，別途標準仕様書に示す通りとする。

⑤ 木工事

主屋・米倉において，壁面の補強として所定の箇所に構造用合板による耐力壁を設ける。耐力壁の下地枠を既存の柱や梁に合わせ，要所でひかり付けを行いラグスクリューで固定する。構造用合板（ｔ12）をZN釘を用いて張り付ける。この時，釘頭が構造用合板に極度にめり込まないよう，留意する。

材　料

耐力壁下地 ‥‥‥‥ ひのき赤身　45×45，55×45，90×45，90×90

構造用合板 ‥‥‥‥ 特類　表面仕上CD　12x910x1820mm

ラグスクリュー ‥‥ M12@400

釘 ‥‥‥‥‥‥‥‥ ZN50@100（四周），@150（中通り）

k　共通工事

① 概　　要

主屋素屋根設置に支障する塀重門および中門を一旦解体し，工事完了後復旧する。また，敷地西側より資材搬入路整備を行うにあたり，支障する敷地内樹木の伐採，伐根，移植，養生を行い，主要な樹木については工事完了後に復旧する。同様に宅地内のコンクリート製飛石を撤去し，復旧する。雨水排水整備を行うにあたり，支障する主屋と２棟の土蔵の間にある後補の土間コンクリートを撤去し，盛土，芝張りに復旧整備する。宅地内の埋設給水管を更新する。現管理棟（木造二階建て）を撤去し，工事期間中の警戒に資するため内部に設置されている自動火災報知設備受信機を移設する。

② 塀重門および中門解体・復旧

主屋南面の塀重門は主屋素屋根建設時に支障するため一旦解体し部材を保存小屋に格納する。素屋根撤去完了後，復旧する。解体・調査・復旧の手順は保存修理に準じて行い，必要な補修を行ったうえで組み立てる。

③ 樹木伐採・移設

宅地内に予定している工事用搬入路経路上にある樹木および素屋根建設等の仮設工事に支障する樹木を伐採する。なお，保存活用計画策定時において重要と判断された一部の樹木のうち，仮設支障するものの移植を行う。

④ 焼印製作

補足木材の見え隠れの位置に修理年号を烙印するため焼印を製作する。鋳鉄製，柄は木製握手付，大きさは幅2cm×長9cm，電気式とする。

l　共通仮設

① 概　　要

敷地西側の裏門を一旦解体し，本工事期間中の工事車両出入口とする。出入口にはパネルゲートを設置する。出入口付近より敷地内への工事車両進入路に敷鉄板を敷設する。パネルゲートに接続するように敷地西側および南側は仮囲いを設置し，安全対策および工事区画を明示する。本工事では，敷地内の管理棟（木造二階建て）を撤去し，跡地に保存工作小屋（4K×7K）を建設する。なお，当該区域に江戸期の長屋遺構が古図に描かれているため，保存小屋建設前に試掘調査（別業務）を実施する。

② 保存工作小屋

保存工作小屋は下記を標準とする。内部は床を張り，部材保管用の格納棚を要所に設ける。主屋，道具倉，米倉の工事に資する。

保存工作小屋 ……平屋建組立式ハウス４間×7間，丸太木杭またはブロック置基礎。

③ 保存小屋

保存小屋は下記を標準とする。内部は床を張り，部材保管用の格納棚を要所に設ける。表門，裏門の工事に資する。

保存小屋 ……二階建組立式ハウス２間×３間，丸太木杭またはブロック置基礎。

④ 仮囲い・パネルゲート

工事区域を高さ3ｍの成形鋼板で囲い，工事区画の西側（裏門付近）にアルミキャスターパネルゲートを設置する。

⑤ 仮設敷鉄板

搬入路には仮設鉄板を敷き込み，地盤を養生する。地盤の不陸調整には土嚢袋に入れた砂利もしくはクラッシャーランを敷均し，厚22mmの仮設鉄板を敷込む。工事終了時にすべて撤去して，現状を復旧する。

⑥ 共通仮設

(1) 工事用設備‥素屋根及び各保存小屋には工事用の照明及びコンセント，必要に応じて上下水道設備を設ける。

(2) 樹木伐採　‥敷地内の仮設建設に支障となる樹木は伐採または枝払いを行う。施工により発生した幹・枝葉等は所定の法規，条例を遵守し処分をする。

(3) 安全対策･危害防止 ‥工事期間中の各種材料の搬出入に際し，第三者被害の防止対策を講じる。その他，安全対策と衛生管理については法規に則って適当な設備を設け，かつ防火対策を講じる。また各仮設物は工事期間を通して強度上必要な補修・補強を行い，安全を確保する。

⑦ 焼印製作

取替・補足材の見え隠れの位置に烙印するため焼印を２本製作する。鋳鉄製、柄には木製握手付、大きさは、横2cm×縦9cmとする。

縦書または横書、書体、大きさなどは、監督職員の指示により決定する。

令和九年度修補

令和七年度修補

令和六年度修補

修理焼印 雛形

縦２cm×横９cm

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-11
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸			図面名 文化財特記仕様書８ 2023/05 縮尺 1/NONE	作図	年	月	日	

区分		期間	令和4年度	令和5年度（令和4年度（繰越））	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
本工事	主屋工事	仮設工事						
		解体工事						
		基礎工事						
		木工事						
		屋根工事						
		左官工事						
		建具工事						
		雑工事						
		構造補強工事						
	道具倉工事	仮設工事						
		解体工事						
		基礎工事						
		木工事						
		屋根工事						
		左官工事						
		雑工事						
		構造補強工事						
	米倉工事	仮設工事						
		解体工事						
		基礎工事						
		木工事						
		屋根工事						
		左官工事						
		雑工事						
		構造補強工事						
	表門工事	仮設工事						
		解体工事						
		基礎工事						
		木工事						
		屋根工事						
		左官工事						
		建具工事						
		雑工事						
		構造補強工事						

参考図

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-12
図面名　参考工程表１　2022/05　縮尺　1/NONE	作図　年　月　日				

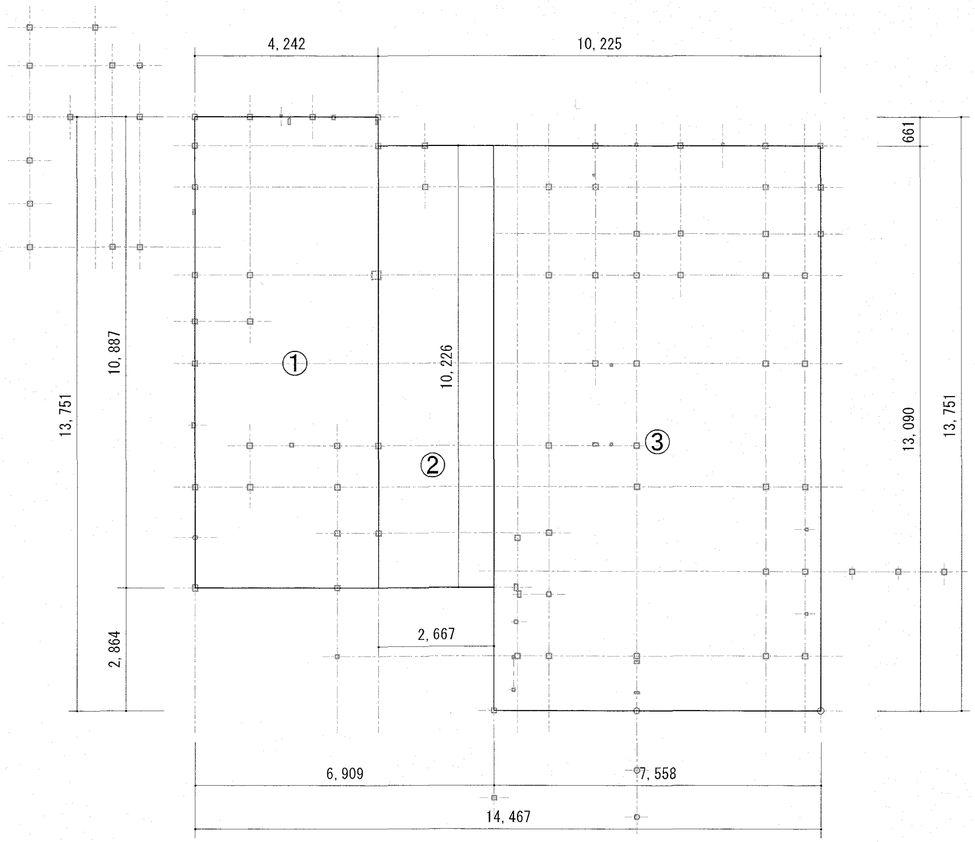
A2：100%、A3：71%、A4：50%

区分		期間	令和4年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2	令和5年度（令和4年度繰越） 3 4 5 6 7 8	令和5年度 9 10 11 12 1 2 3	令和6年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	令和7年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	令和8年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	令和9年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
本工事	裏門工事	仮設工事							
		解体工事							
		基礎工事							
		木工事							
		屋根工事							
		左官工事							
		建具工事							
		雑工事							
		構造補強工事							
	水屋工事	仮設工事							
		解体工事							
		基礎工事							
		木工事							
		屋根工事							
		左官工事							
		建具工事							
		雑工事							
		構造補強工事							
	共通工事	雑工事							
		共通仮設工事							

参考図

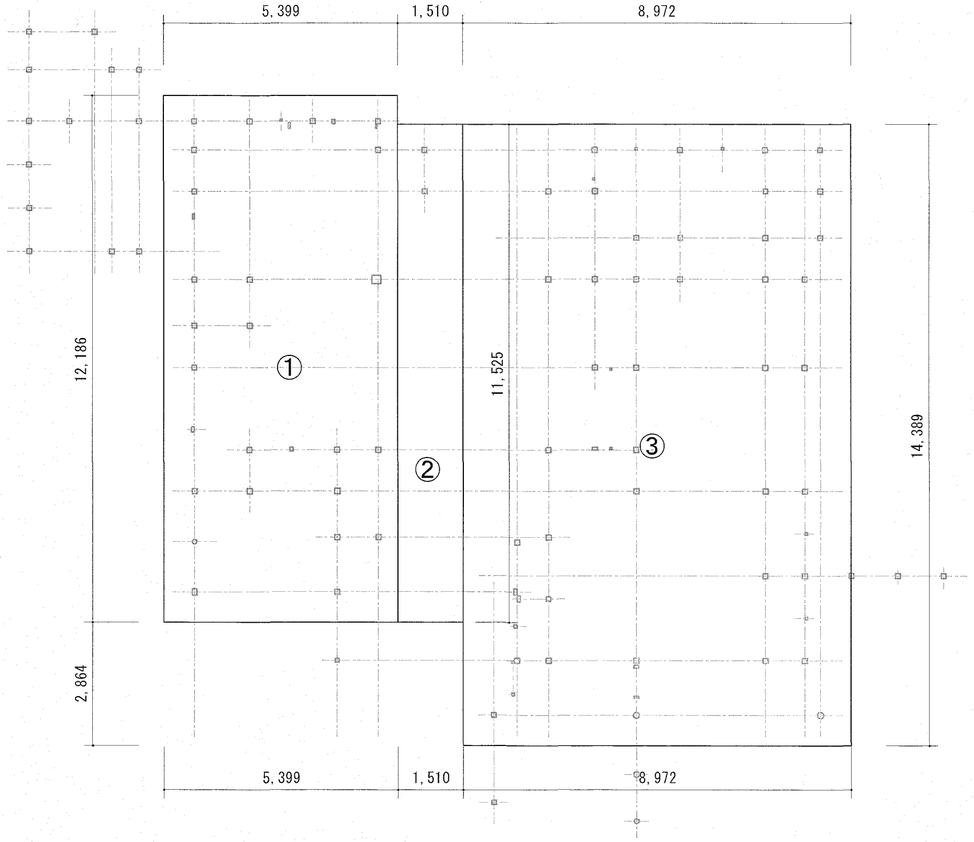
		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		重要文化財（建造物） 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-13
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸		図面名 参考工程表２ 2023/05 縮尺 1/NONE	作図 年 月 日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%



主屋　建築面積・平面積求積図

	主屋				
1-1-1	平面積		東西　× 南北		
	延床面積		4.242 m × 10.887 m＝	46.183 ㎡ ①	
			2.667 m × 10.226 m＝	27.273 ㎡ ②	
			7.558 m × 13.090 m＝	98.934 ㎡ ③	
			Σ①～③	172.390 ㎡	㎡
			≒	172 ㎡	172



主屋　軒面積求積図

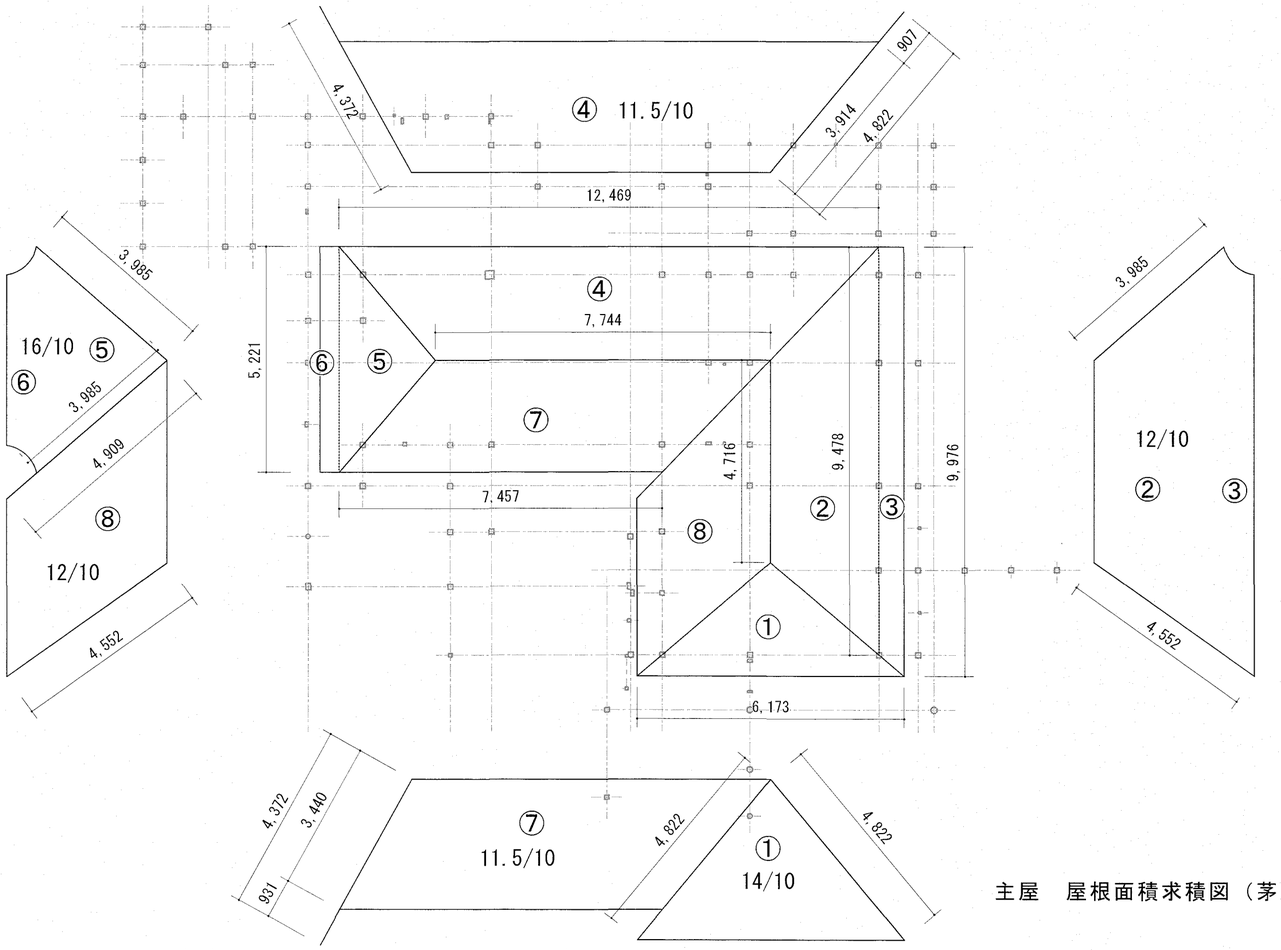
	主屋				
1-1-2	軒面積		東西　× 南北		
			5.399 m × 12.186 m＝	65.792 ㎡ ①	
			1.510 m × 11.525 m＝	17.403 ㎡ ②	
			8.972 m × 14.389 m＝	129.098 ㎡ ③	
			Σ①～③	212.293 ㎡	㎡
			≒	212 ㎡	212

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

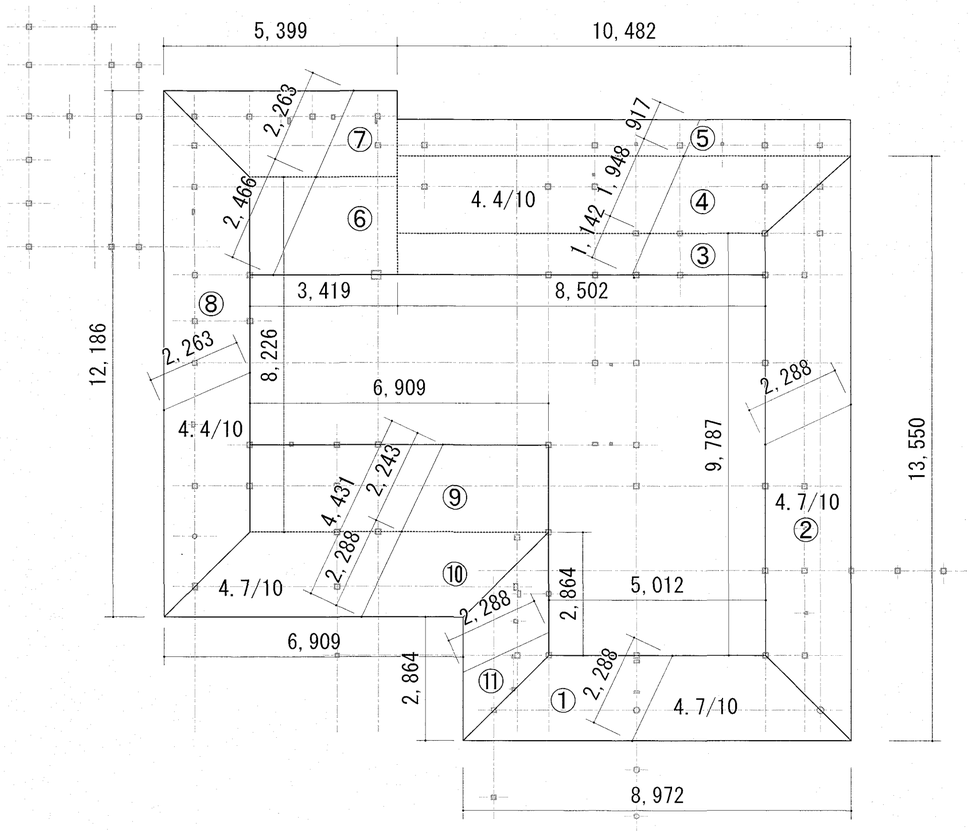
高知市　都市建設部　公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		濱口 松末	岡まさ	A-14
図面名　主屋求積図１　2023/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



主屋　屋根面積求積図（茅葺）



主屋　屋根面積求積図（庇桟瓦葺）

	主屋					
1-1-3	屋根面積		軒長 × 流長さ			
	（茅葺）		6.173 m × 4.552 m/2 ＝	14.050 ㎡	①	
			(4.716 m+ 9.478 m) * 3.914 m/2＝	27.778 ㎡	②	
			(9.478 m+ 9.976 m) * 0.907 m/2＝	8.822 ㎡	③	
			(7.744 m+ 12.469 m) * 3.985 m/2＝	40.274 ㎡	④	
			5.221 m × 3.440 m/2 ＝	8.980 ㎡	⑤.	
			5.221 m × 0.931 m＝	4.861 ㎡	⑥	
			(7.457 m+ 7.744 m) * 3.985 m/2＝	30.288 ㎡	⑦	
			4.716 m × 4.822 m＝	22.741 ㎡	⑧	
			Σ①～⑧	157.794		㎡
			≒	158 ㎡	A	158

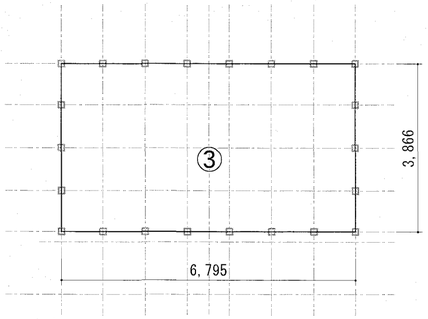
	主屋					
1-1-4	屋根面積		軒長 × 流長さ			
	（庇桟瓦葺）		(5.012 m+ 8.972 m) * 2.288 m/2＝	15.998 ㎡	①	
			(13.550 m+ 9.787 m) * 2.288 m/2＝	26.698 ㎡	②	
			8.502 m × 1.142 m＝	9.709 ㎡	③	
			(8.502 m+ 10.482 m) * 1.948 m/2＝	18.490 ㎡	④	
			10.482 m × 0.917 m＝	9.612 ㎡	⑤	
			3.419 m × 2.466 m＝	8.431 ㎡	⑥	
			(3.419 m+ 5.399 m) * 2.263 m/2＝	9.978 ㎡	⑦	
			(8.226 m+ 12.186 m) * 2.263 m/2＝	23.096 ㎡	⑧	
			6.909 m × 2.243 m＝	15.497 ㎡	⑨	
			6.909 m × 2.288 m＝	15.808 ㎡	⑩	
			2.864 m × 2.288 m＝	6.553 ㎡	⑪	
			Σ①～⑧	159.870		㎡
			≒	160 ㎡	B	160

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

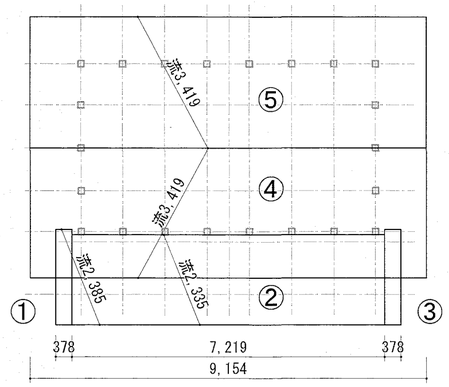
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口		松木	岡	A-15
図面名 主屋求積図２ 2023/05 縮尺 1/100	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



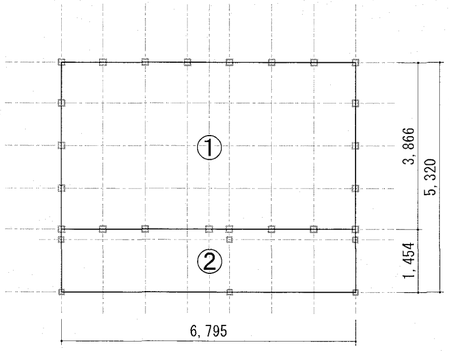
延床面積

2階



屋根面積

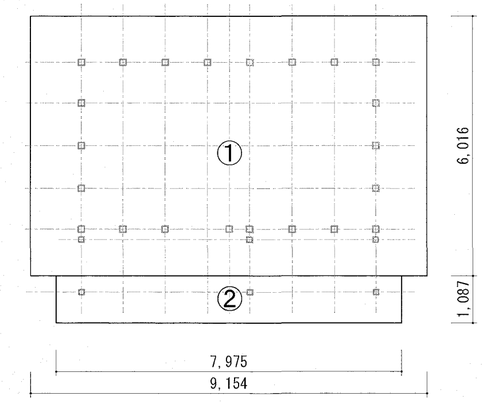
道具倉　屋根面積求積図



建築面積

1階

道具倉　平面積求積図



軒面積

道具倉　軒面積求積図

	道具倉							
1-2-1	平面積		南北	×	東西			
	建築面積		6.795	m ×	1.454	m ＝	9.880 ㎡	①
			6.795	m ×	3.866	m ＝	26.269 ㎡	②
						Σ ①～②	36.149 ㎡	㎡
						≒	36.1 ㎡	36.1
	道具倉							
1-2-2	延床面積		南北	×	東西			
			6.795	m ×	1.454	m ＝	9.880 ㎡	①
			6.795	m ×	3.866	m ＝	26.269 ㎡	②
			6.795	m ×	3.866	m ＝	26.269 ㎡	③
						Σ ①～③	62.418 ㎡	㎡
						≒	62.4 ㎡	62.4

	道具倉							
1-2-3	軒面積		南北	×	東西			
			7.975	m ×	1.087	m ＝	8.669 ㎡	①
			9.154	m ×	6.016	m ＝	55.070 ㎡	②
						Σ ①～②	63.739 ㎡	㎡
						≒	63.7 ㎡	63.7
	道具倉							
1-2-4	屋根面積		軒長	×	流長さ			
			0.378	m ×	2.385	m ＝	0.902 ㎡	①
			7.219	m ×	2.335	m ＝	16.856 ㎡	②
			0.378	m ×	2.385	m ＝	0.902 ㎡	③
			9.154	m ×	3.419	m ＝	31.298 ㎡	④
			9.154	m ×	3.419	m ＝	31.298 ㎡	⑤
						Σ ①～⑤	81.256 ㎡	㎡
						≒	81.3 ㎡	81.3

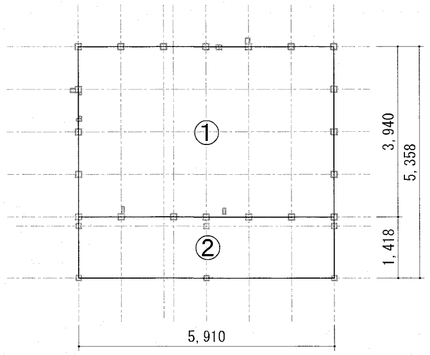
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

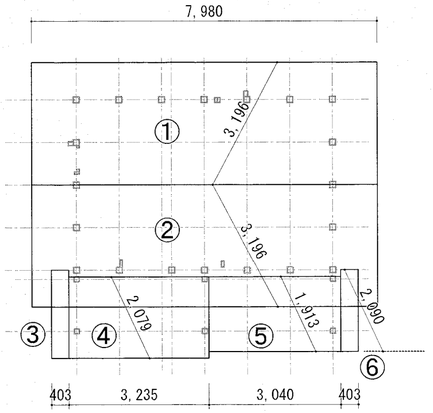
高知市　都市建設部　公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	松木		畑村	A-16
図面名　道具倉求積図　2023/05　縮尺　1/100	作図　年　月　日				

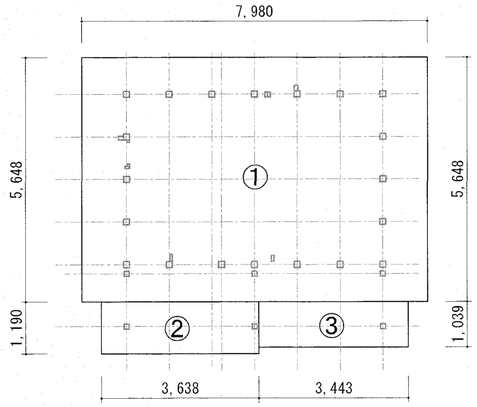
A2：100%、A3：71%、A4：50%



米倉　平面積求積図



米倉　屋根面積求積図



米倉　軒面積求積図

	米倉				
1-3-1	平面積		南北　× 東西		
	建築面積		5.910 m × 3.940 m ＝	23.285 ㎡ ①	
			5.910 m × 1.418 m ＝	8.380 ㎡ ②	
				Σ①～② 31.665 ㎡	㎡
				≒ 31.7 ㎡	31.7
	米倉				
1-3-2	延床面積		建築面積	1-3-1参照	㎡
					31.7

	米倉				
1-3-3	軒面積		南北　× 東西		
			7.980 m × 5.648 m ＝	45.071 ㎡ ①	
			3.638 m × 1.190 m ＝	4.329 ㎡ ②	
			3.443 m × 1.039 m ＝	3.577 ㎡ ③	
				Σ①～③ 52.977 ㎡	㎡
				≒ 53.0 ㎡	53.0
	米倉				
1-3-4	屋根面積		軒長　× 流長さ		
			7.980 m × 3.196 m ＝	25.504 ㎡ ①	
			7.980 m × 3.196 m ＝	25.504 ㎡ ②	
			0.403 m × 2.090 m ＝	0.842 ㎡ ③	
			3.235 m × 2.079 m ＝	6.726 ㎡ ④	
			3.040 m × 1.913 m ＝	5.816 ㎡ ⑤	
			0.403 m × 2.090 m ＝	0.842 ㎡ ⑥	
				Σ①～⑥ 65.234 ㎡	㎡
				≒ 65.2 ㎡	65.2

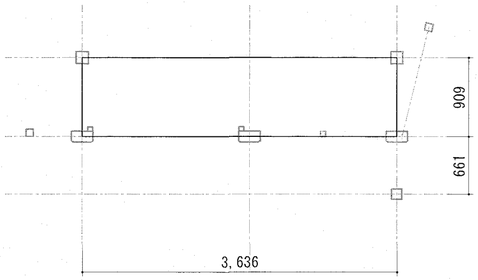
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

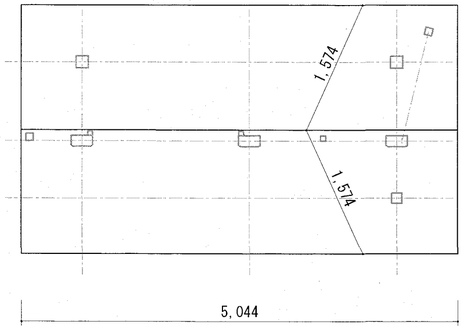
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-17
図面名 米倉求積図 2023/05 縮尺 1/100	作図	年	月	日	

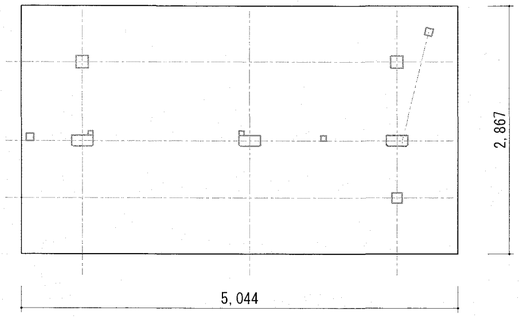
A2：100%、A3：71%、A4：50%



表門　平面積求積図

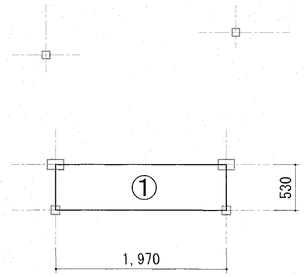


表門　屋根面積求積図

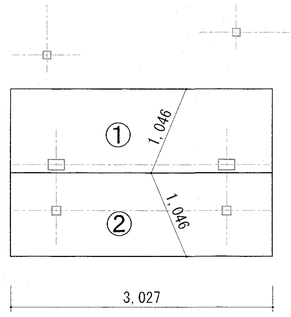


表門　軒面積求積図

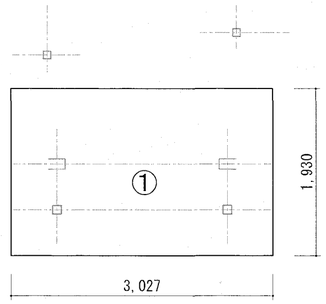
	表門				
1-4-1	平面積		南北　×　東西		
	建築面積		3.636 m × 0.909 m ＝	3.305 ㎡ ①	
				Σ① 3.305 ㎡	㎡
				≒ 3.31 ㎡	3.3
	表門				
1-4-2	延床面積		建築面積	1-3-1参照	㎡
					3.3
	表門				
1-4-3	軒面積		南北　×　東西		
			5.044 m × 2.867 m ＝	14.461 ㎡ ①	
				Σ① 14.461 ㎡	㎡
				≒ 14.5 ㎡	14.5
	表門				
1-4-4	屋根面積		軒長　×　流長さ		
			5.044 m × 1.574 m ＝	7.939 ㎡ ①	
			5.044 m × 1.574 m ＝	7.939 ㎡ ②	
				Σ①～② 15.878 ㎡	㎡
				≒ 15.9 ㎡	15.9



裏門　平面積求積図



裏門　屋根面積求積図



裏門　軒面積求積図

	裏門				
1-5-1	平面積		南北　×　東西		
	建築面積		1.970 m × 0.530 m ＝	1.044 ㎡ ①	
				Σ① 1.044 ㎡	㎡
				≒ 1.04 ㎡	1.0
	裏門				
1-5-2	延床面積		建築面積	1-3-1参照	㎡
					1.0
	裏門				
1-5-3	軒面積		南北　×　東西		
			3.027 m × 1.930 m ＝	5.842 ㎡ ①	
				Σ① 5.842 ㎡	㎡
				≒ 5.84 ㎡	5.8
	裏門				
1-5-4	屋根面積		軒長　×　流長さ		
			3.027 m × 1.046 m ＝	3.166 ㎡ ①	
			3.027 m × 1.046 m ＝	3.166 ㎡ ②	
				Σ①～② 6.332 ㎡	㎡
				≒ 6.33 ㎡	6.3

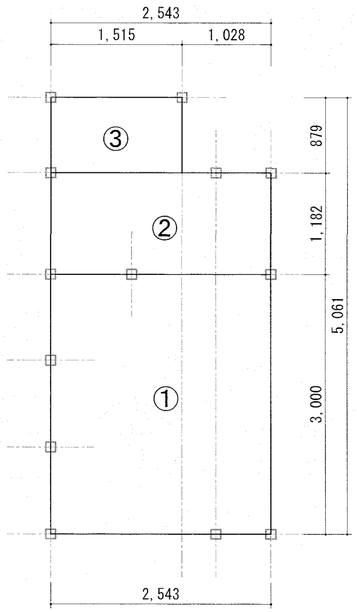
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

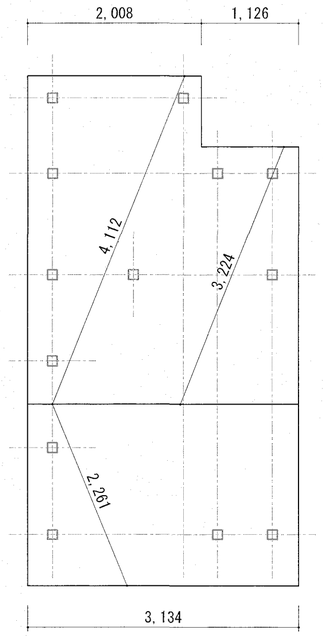
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	濱田	松永	岡村	A-18
図面名　表門・裏門求積図　1923/05　縮尺　1/50	作図　年　月　日				

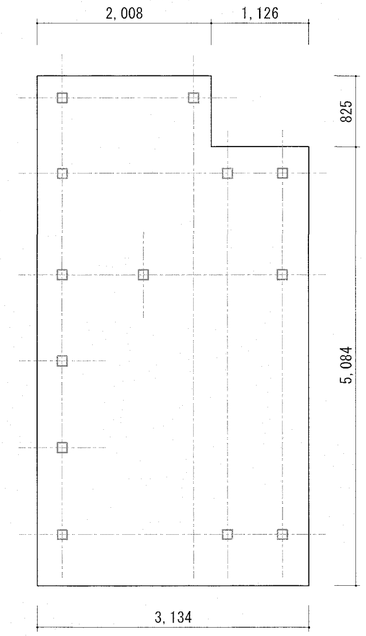
A2：100%、A3：71%、A4：50%



水屋　平面積求積図



水屋　屋根面積求積図



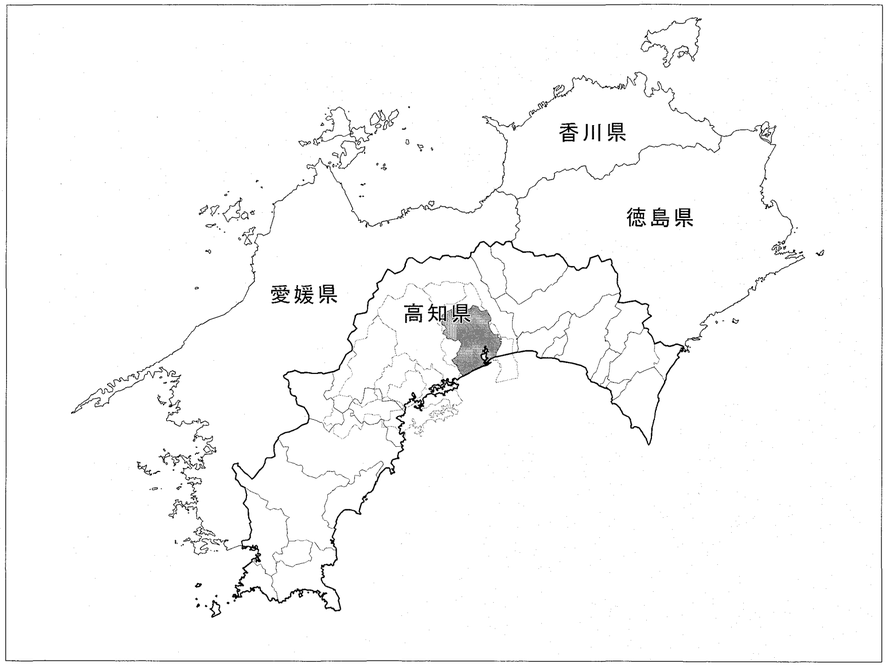
水屋　軒面積求積図

	水屋				
1-6-1	平面積		南北 × 東西		
	建築面積		3.000 m × 2.543 m ＝	7.629 ㎡ ①	
			1.182 m × 2.543 m ＝	3.006 ㎡ ②	
			0.879 m × 1.515 m ＝	1.332 ㎡ ③	
			Σ①～③	11.967 ㎡	㎡
			≒	12.0 ㎡	12.0
	水屋				
1-6-2	延床面積		建築面積	1-3-1参照	㎡
					12.0

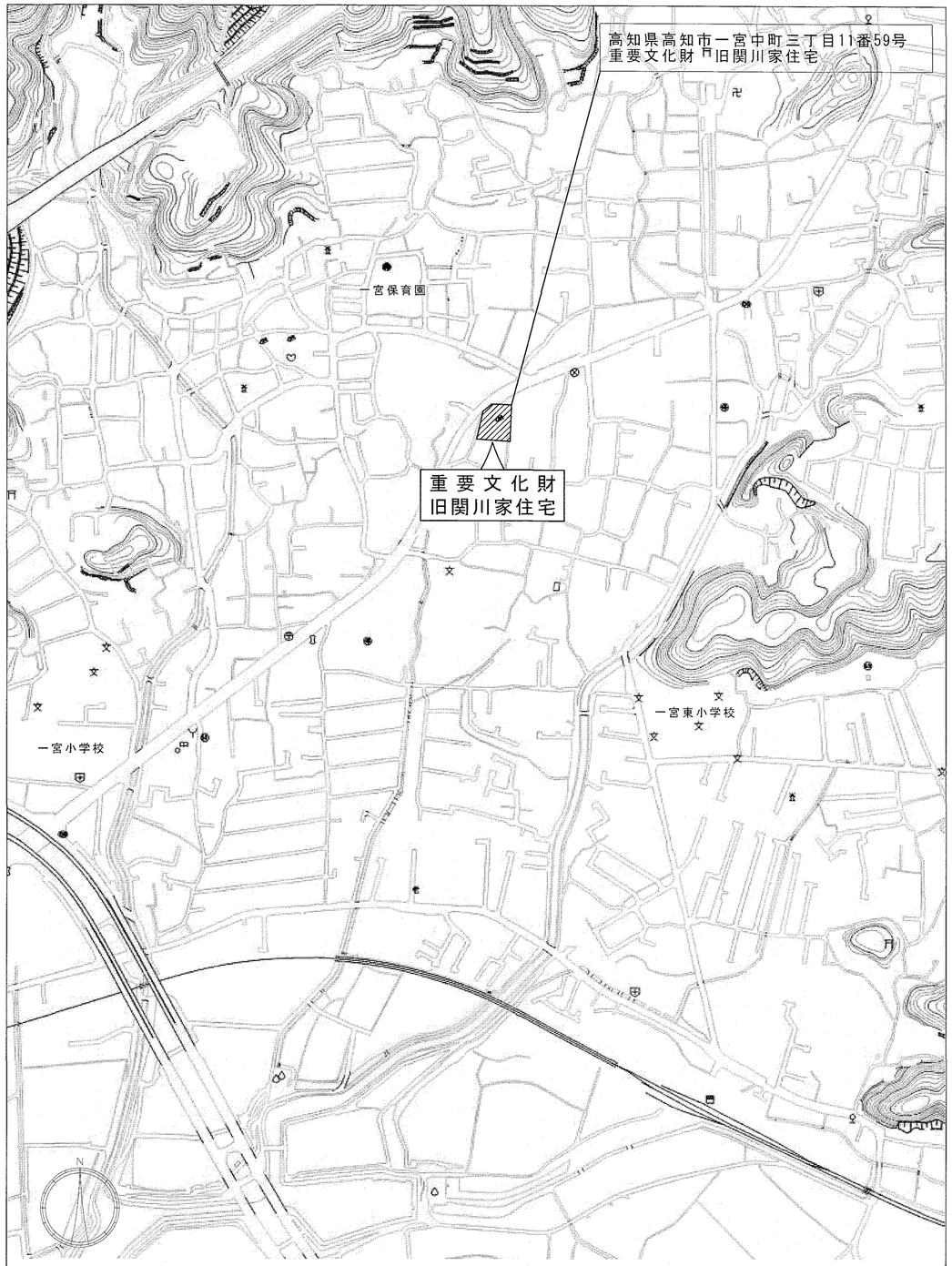
	水屋				
1-6-3	軒面積		南北 × 東西		
			5.084 m × 3.134 m ＝	15.933 ㎡ ①	
			0.825 m × 2.008 m ＝	1.657 ㎡ ②	
			Σ①～②	17.590 ㎡	㎡
			≒	17.6 ㎡	17.6
	水屋				
1-6-4	屋根面積		軒長 × 流長さ		
			3.134 m × 2.261 m ＝	7.086 ㎡ ①	
			2.008 m × 4.112 m ＝	8.257 ㎡ ②	
			1.126 m × 3.224 m ＝	3.630 ㎡ ③	
			Σ①～③	18.973 ㎡	㎡
			≒	19.0 ㎡	19.0

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	松末	池村	A-19
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸			図面名　水屋求積図　2023/05　縮尺　1/50	作図　年　月　日			

A2：100%、A3：71%、A4：50%



案　内　図



付　近　見　取　図

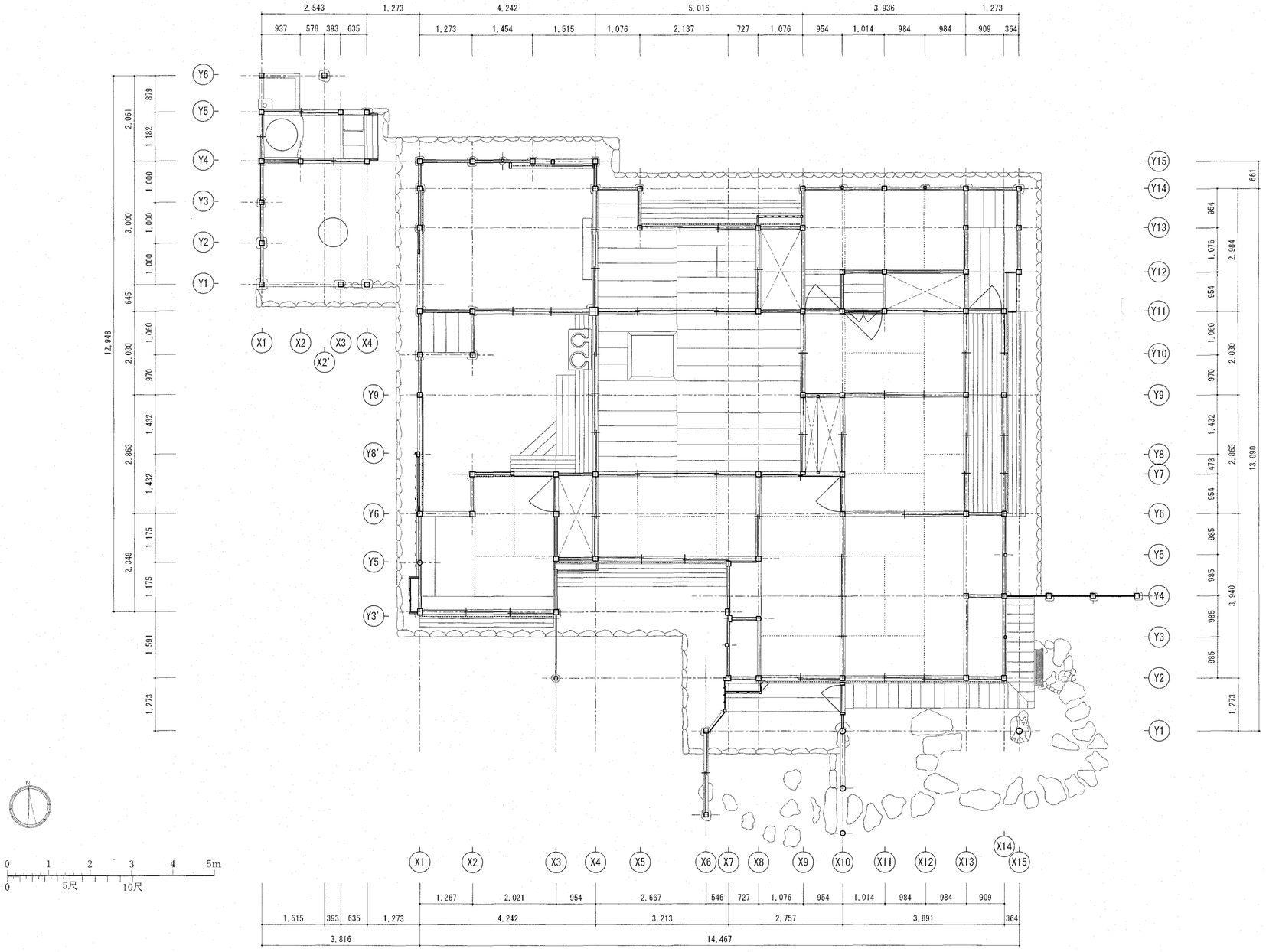
		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤中	澤口	松木	畑村	A-20
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　案内図・付近見取図　20231105　縮尺　1/NONE	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%

配置図　S=1/150

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱中		濱中 松木	岡村	A-21
		図面名　配置図　24023/85　縮尺　1/150	作図　年　月　日				

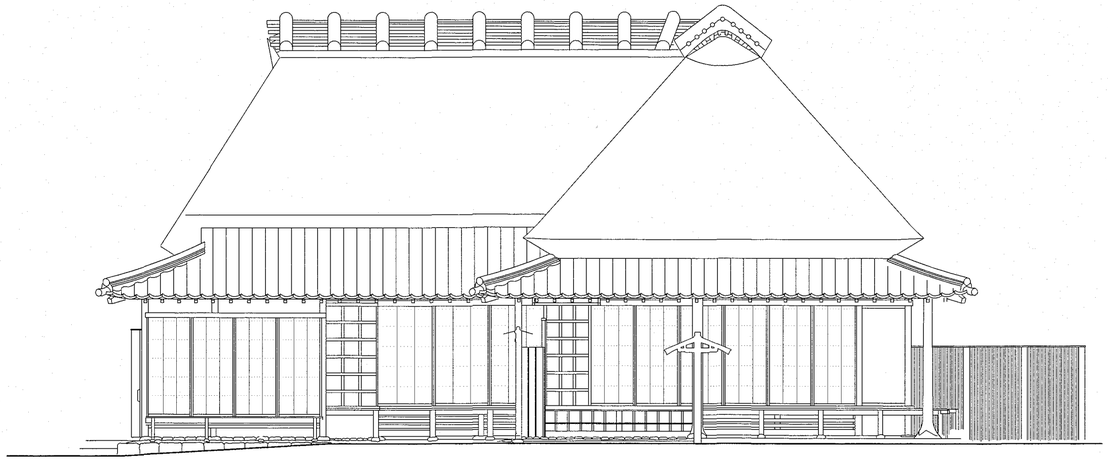
A2：100%、A3：71%、A4：50%



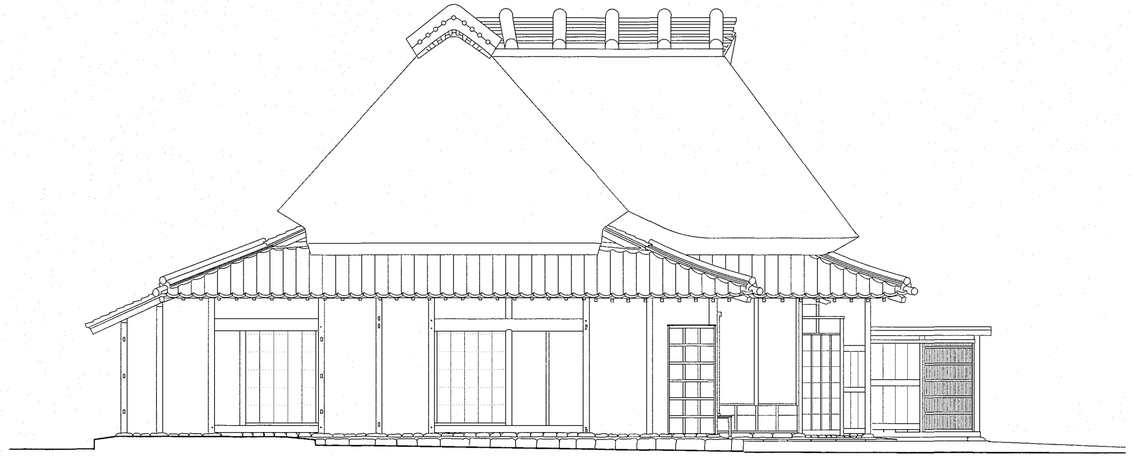
主屋平面図　S=1/80

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-22
		図面名　主屋 平面図　2023/05　縮尺　1/80	作図　年　月　日				

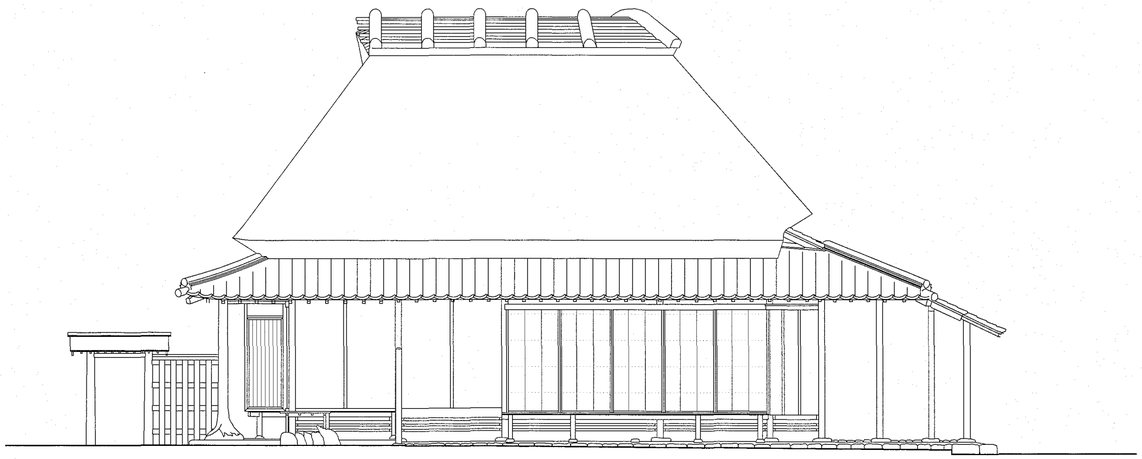
A2：100%、A3：71%、A4：50%



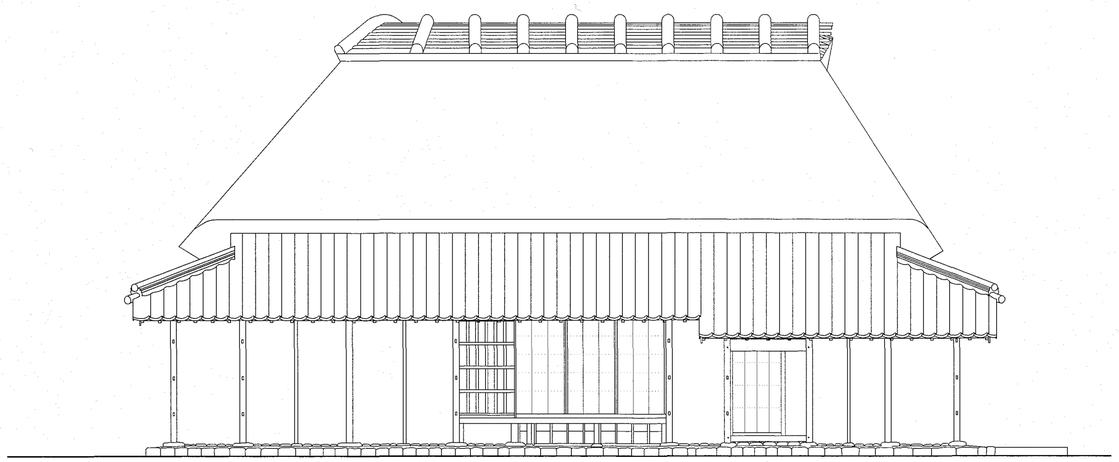
主屋南立面図　S=1/80



主屋西立面図　S=1/80



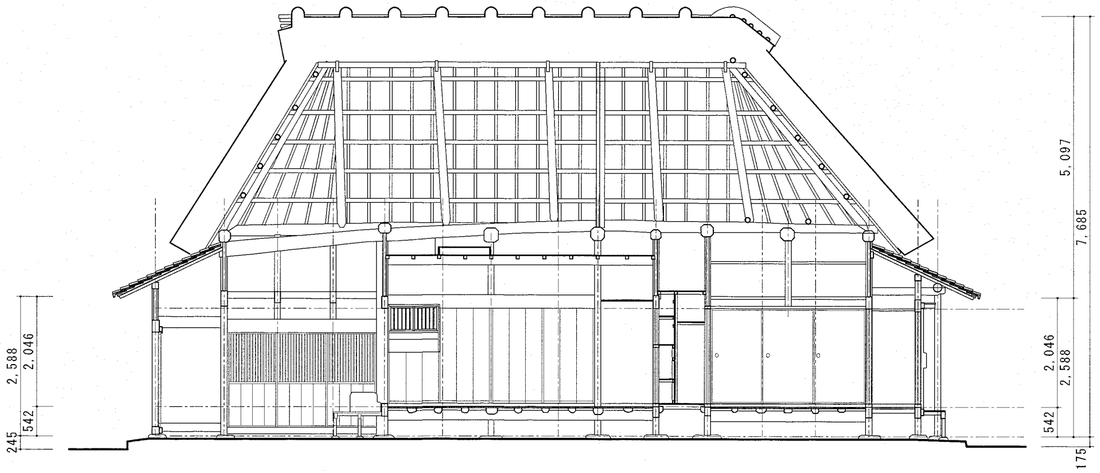
主屋東立面図　S=1/80



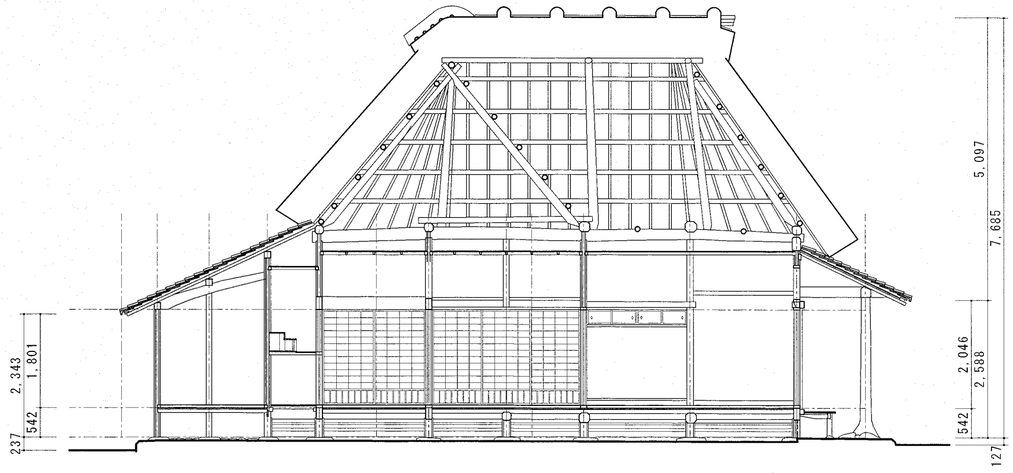
主屋北立面図　S=1/80

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田		松木	岡村	A-23
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸			図面名　主屋立面図　2023/05　縮尺　1/80	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



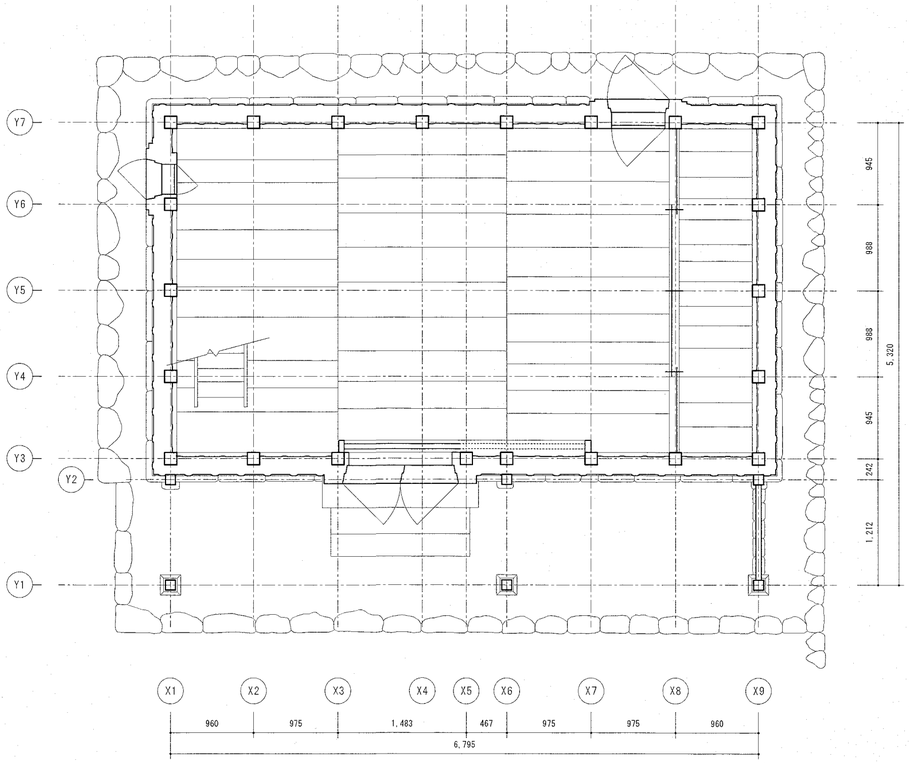
主屋東西断面図　S=1/80



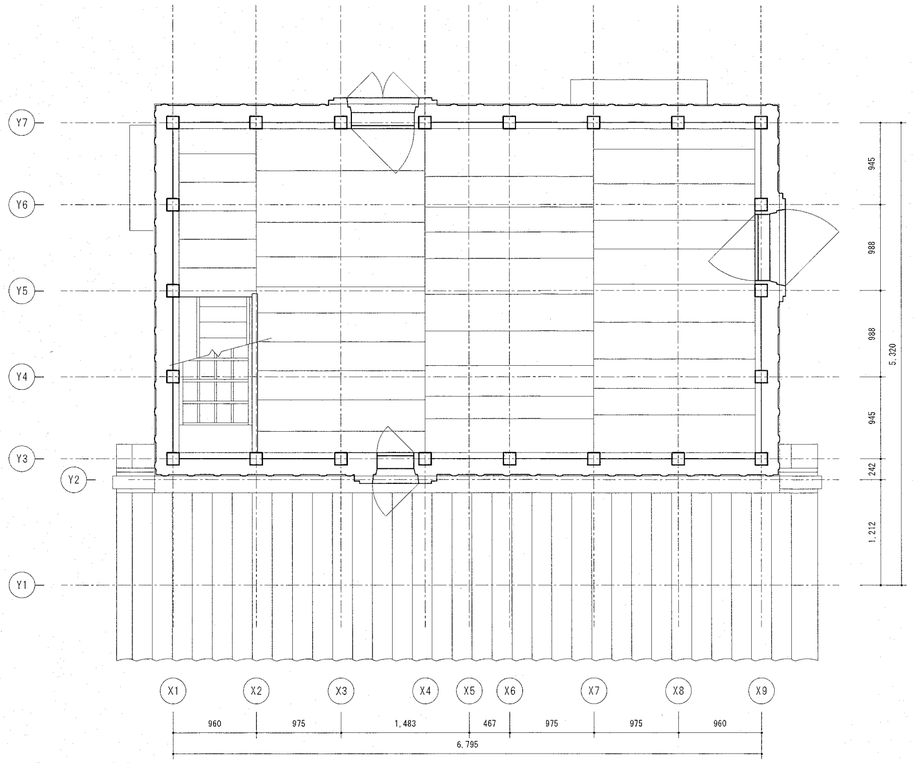
主屋南北断面図　S=1/80

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長 課長補佐	課長	図面番号
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事				A-24
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		図面名　主屋断面図　2023/05　縮尺　1/80	作図	年	月	日

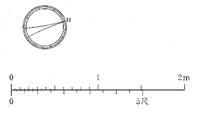
A2：100%、A3：71%、A4：50%



道具倉１階平面図　S=1/50

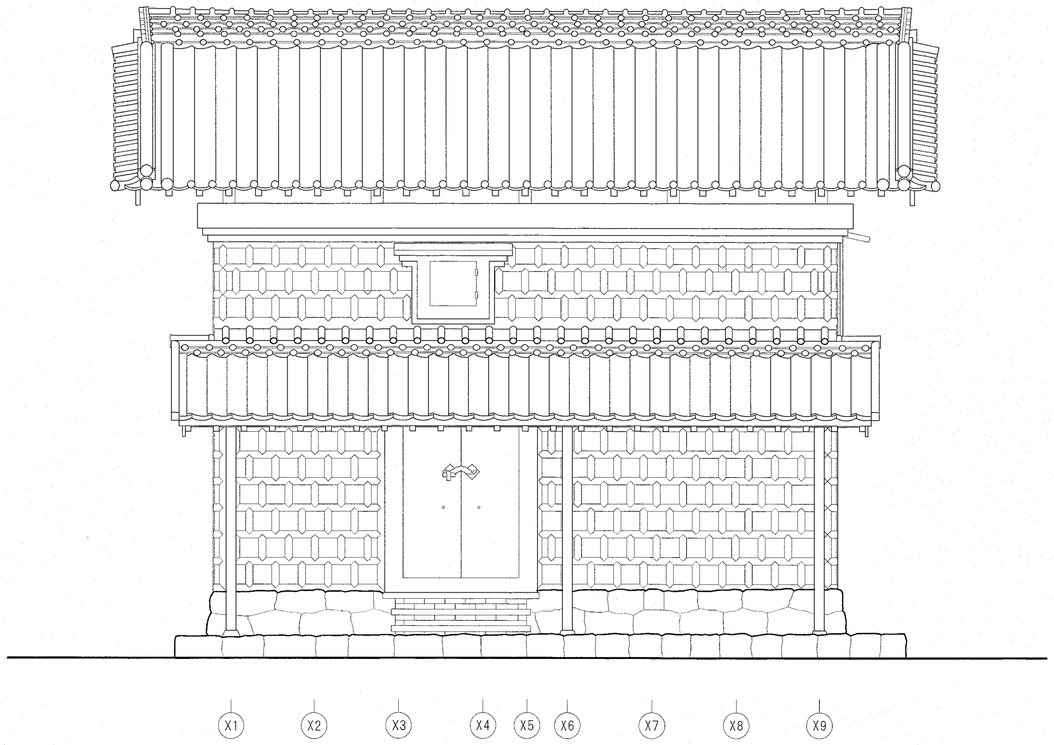


道具倉２階平面図　S=1/50

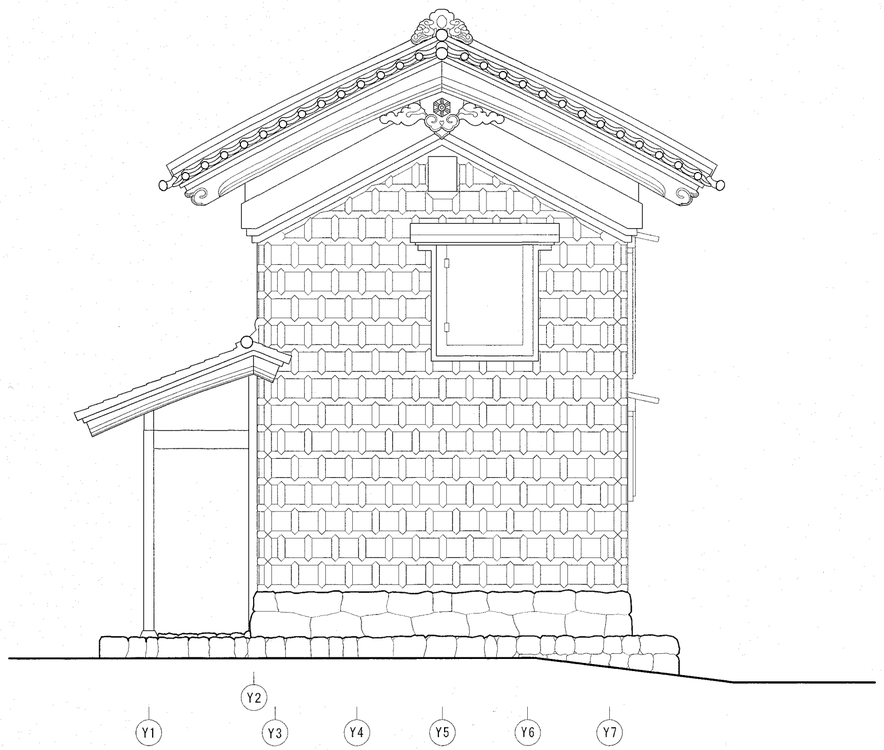


		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事					A-25
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　道具倉平面図　2023/05　縮尺　1/50	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%



道具倉東立面図　S=1/50

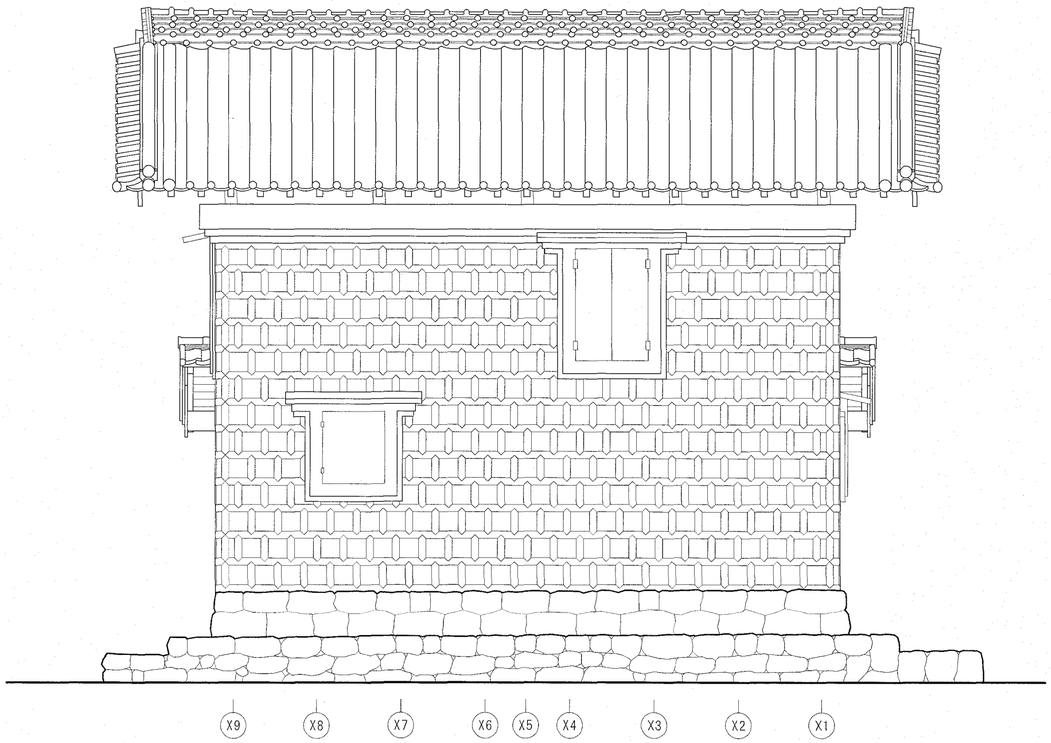


道具倉北立面図　S=1/50

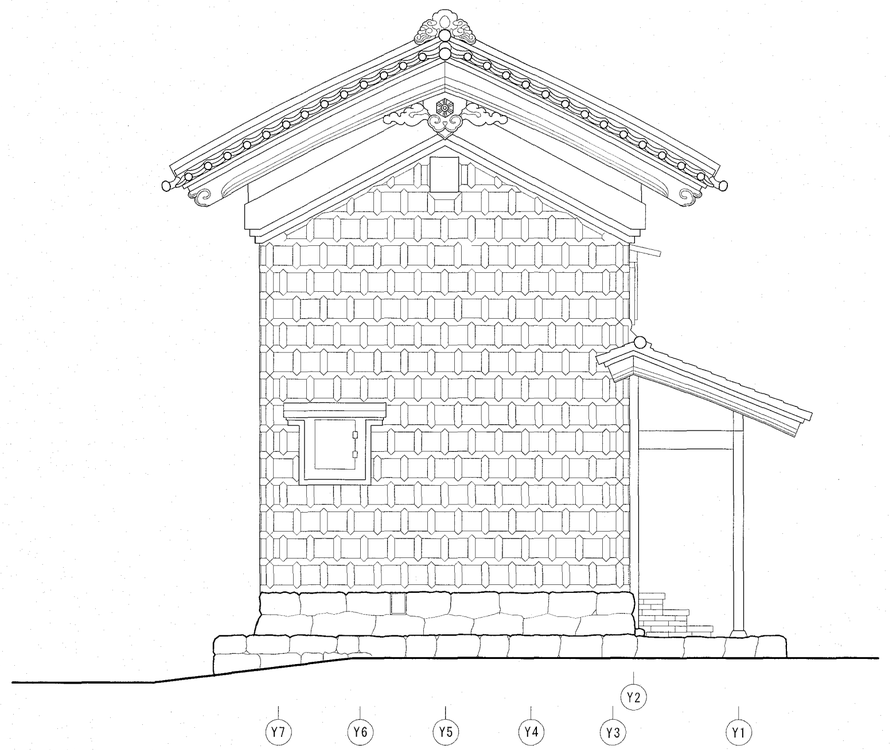
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		樽口	松木	畑村	A-26
		図面名　道具倉立面図１　2023/05　縮尺　1/50	作図　年　月　日					

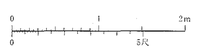
A2：100%、A3：71%、A4：50%



道具倉西立面図　S=1/50

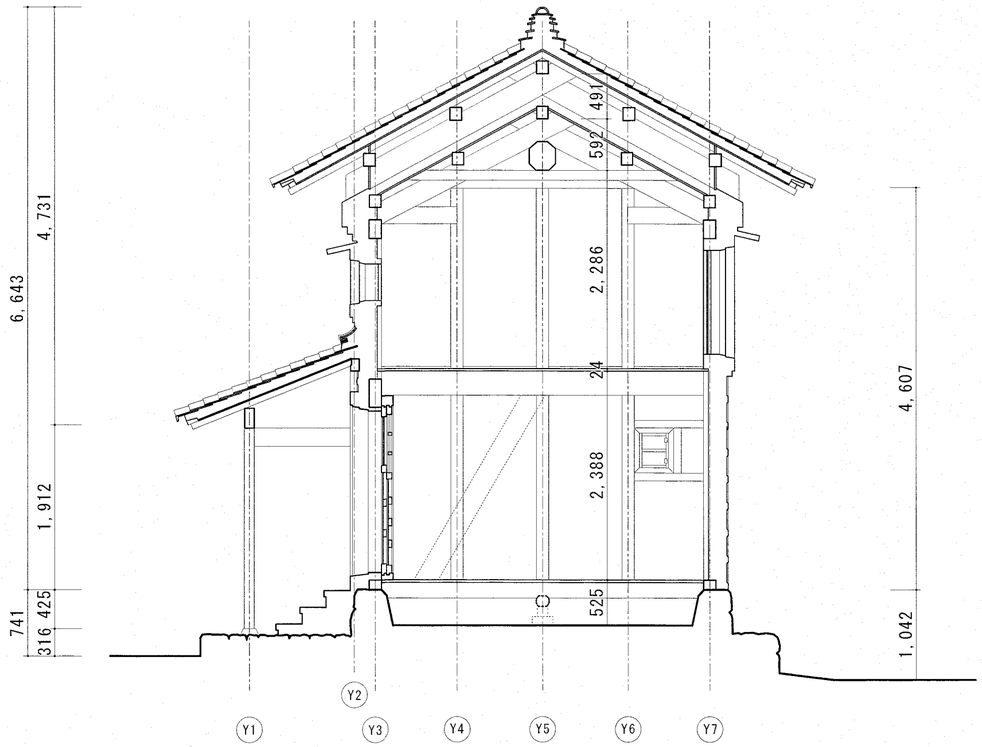


道具倉南立面図　S=1/50

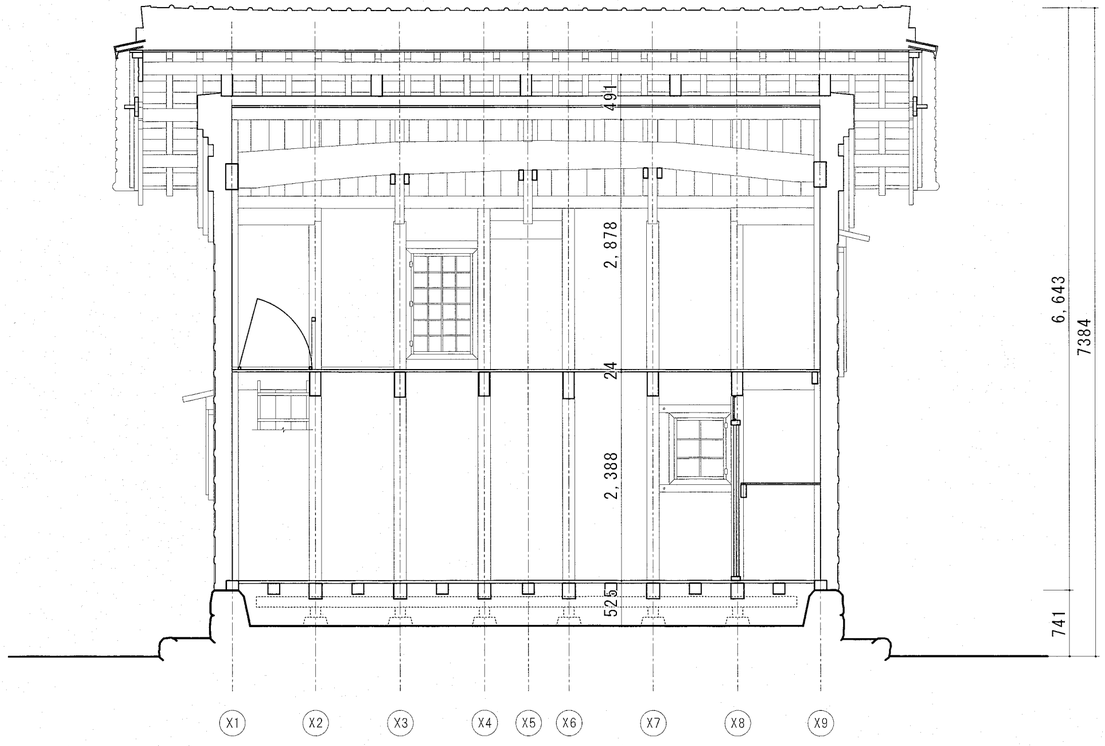


		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田		松木 濱田	畑村	A-27
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸			図面名　道具倉立面図２　2023/05　縮尺　1/50	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



道具倉梁間断面図　S=1/50

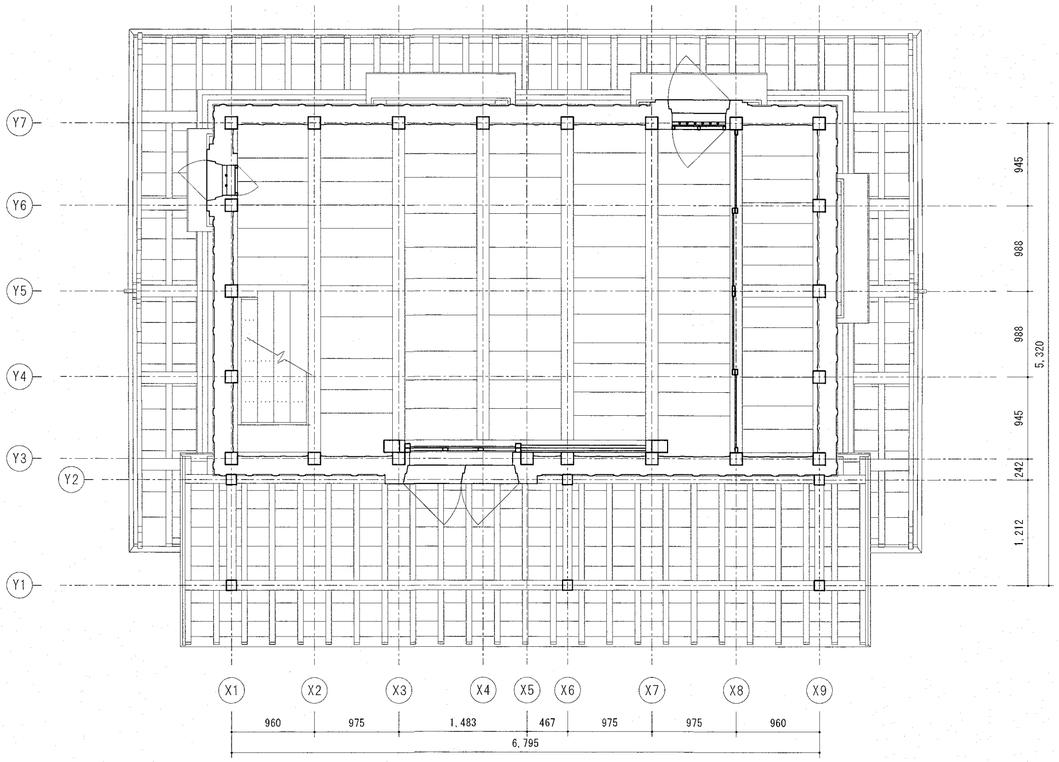


道具倉桁行断面図　S=1/50

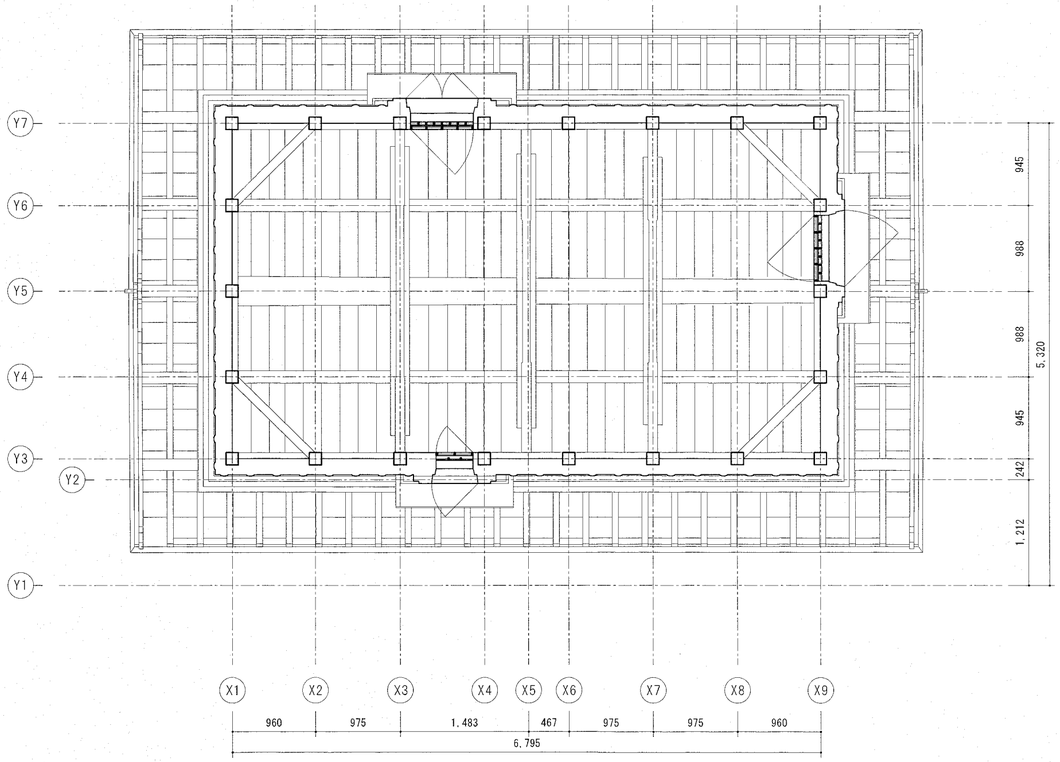
0　1　2m
0　S/R

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松木	岡村	A-28
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸			図面名　道具倉断面図　2023/05　縮尺　1/50	作図　年　月　日				

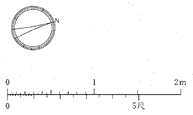
A2：100%、A3：71%、A4：50%



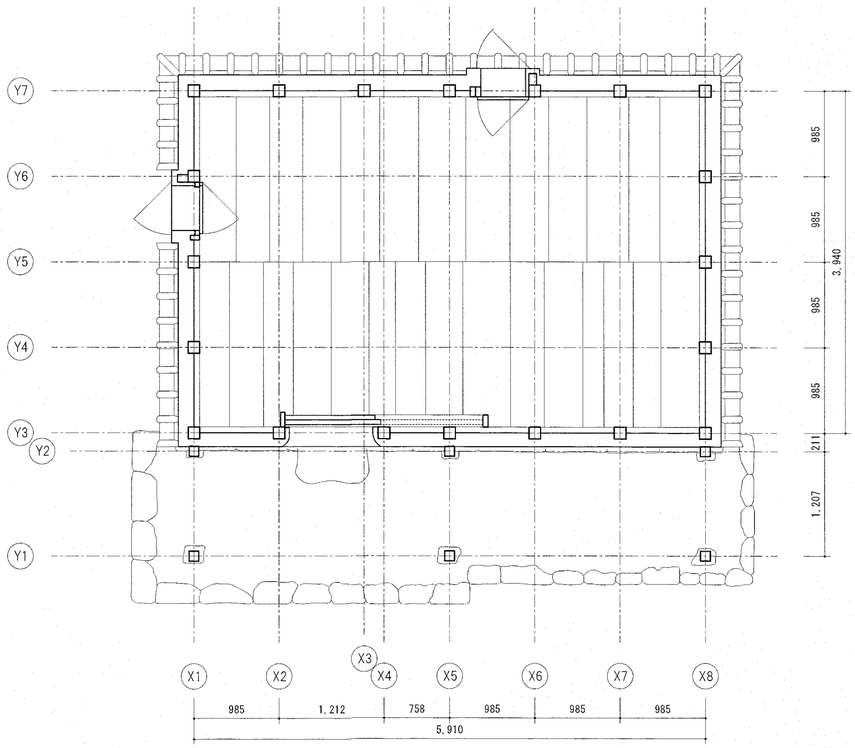
道具倉１階見上図　S=1/50



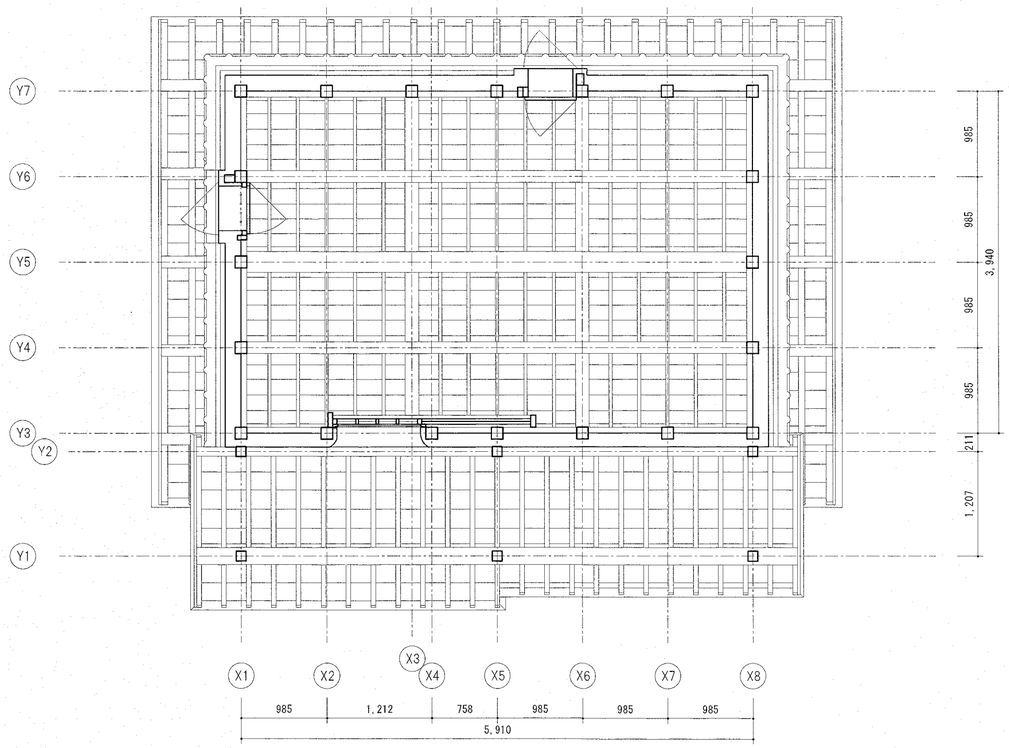
道具倉２階見上図　S=1/50



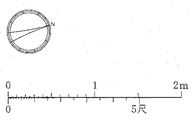
		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-29
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			図面名　道具倉見上図　2023/05　縮尺　1/50	作図	年	月	日	
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸								



米倉平面図　S=1/50

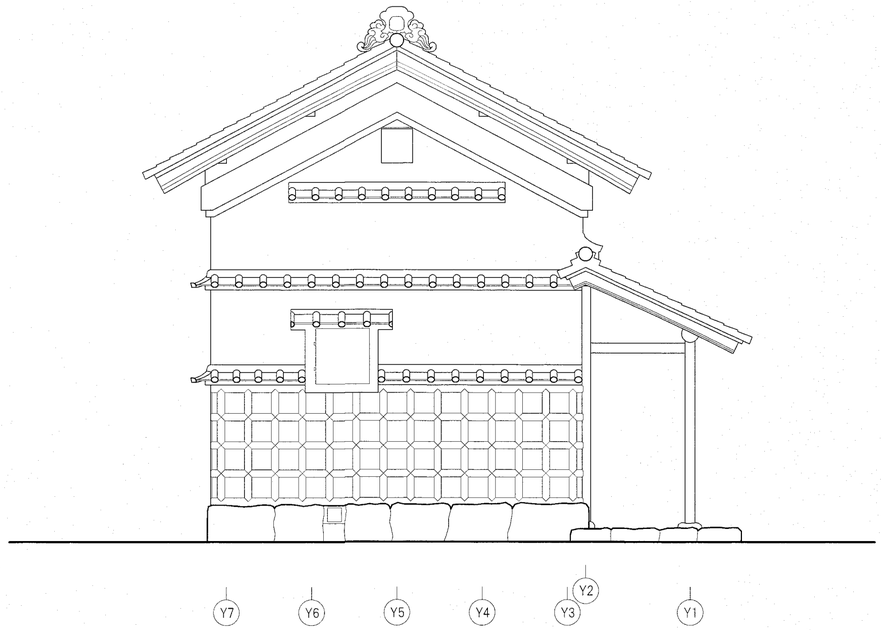


米倉見上図　S=1/50

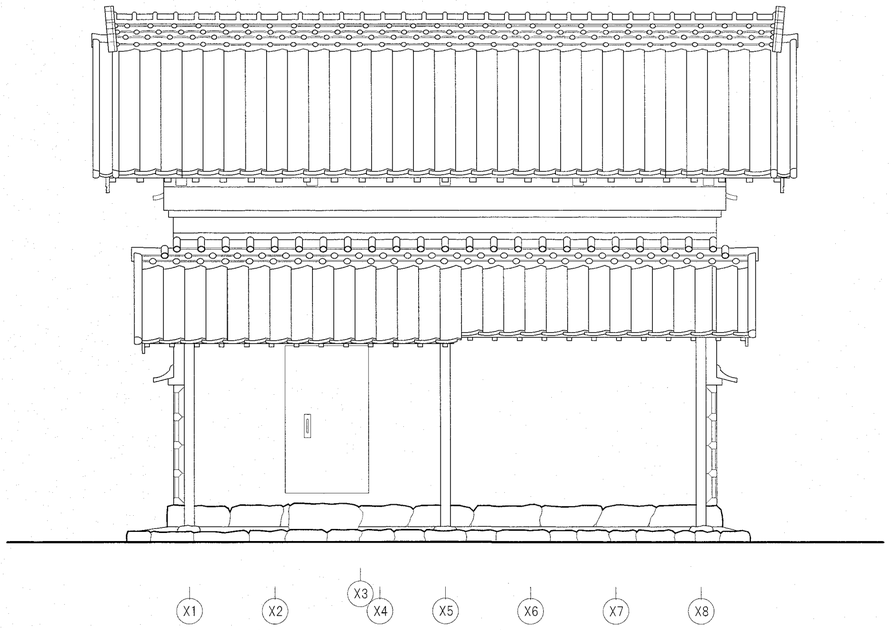


		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松木	池上	A-30
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸		図面名　米倉平面図・見上図　2023/05　縮尺　1/50	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



米倉南立面図　S=1/50

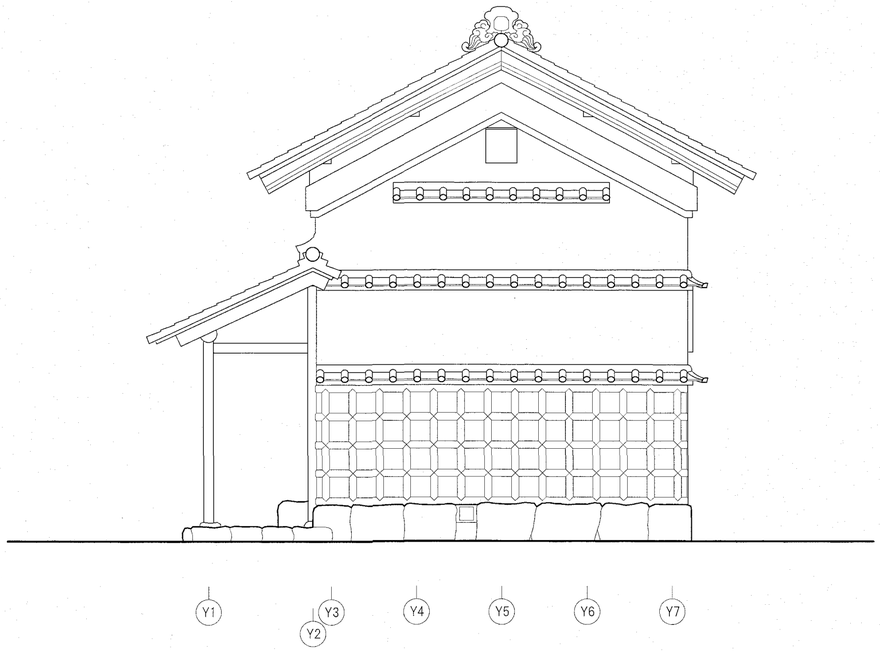


米倉東立面図　S=1/50

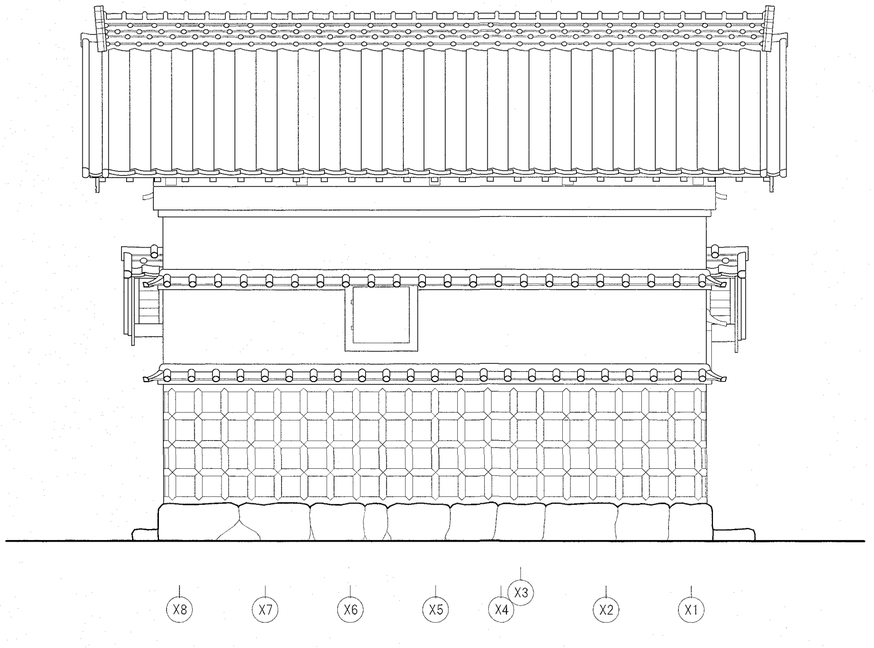
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-31
		図面名　米倉立面図１　2023/05　縮尺　1/50	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



米倉北立面図　S=1/50

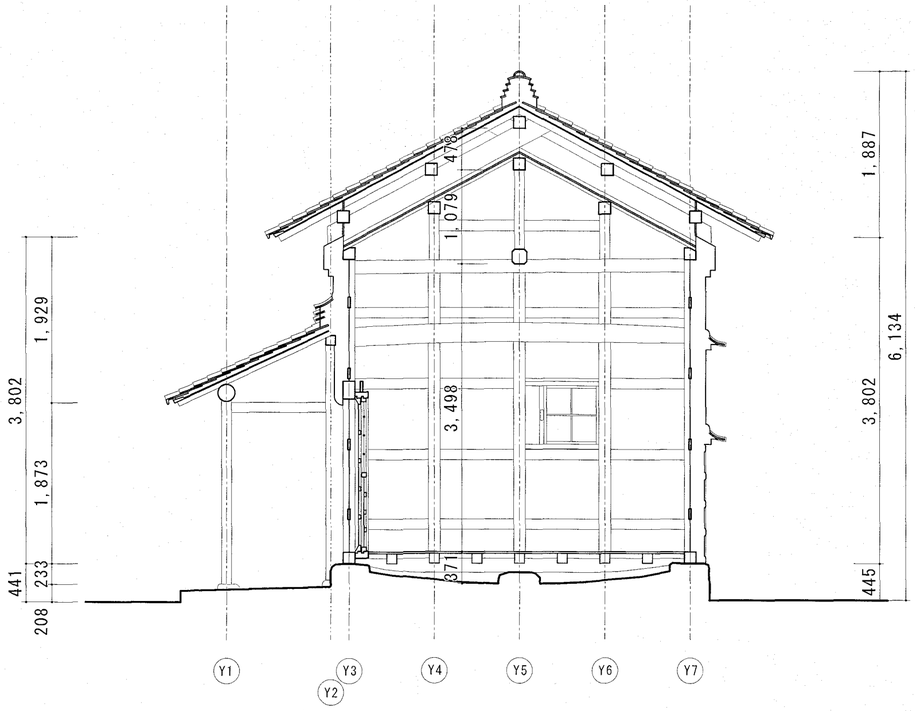


米倉西立面図　S=1/50

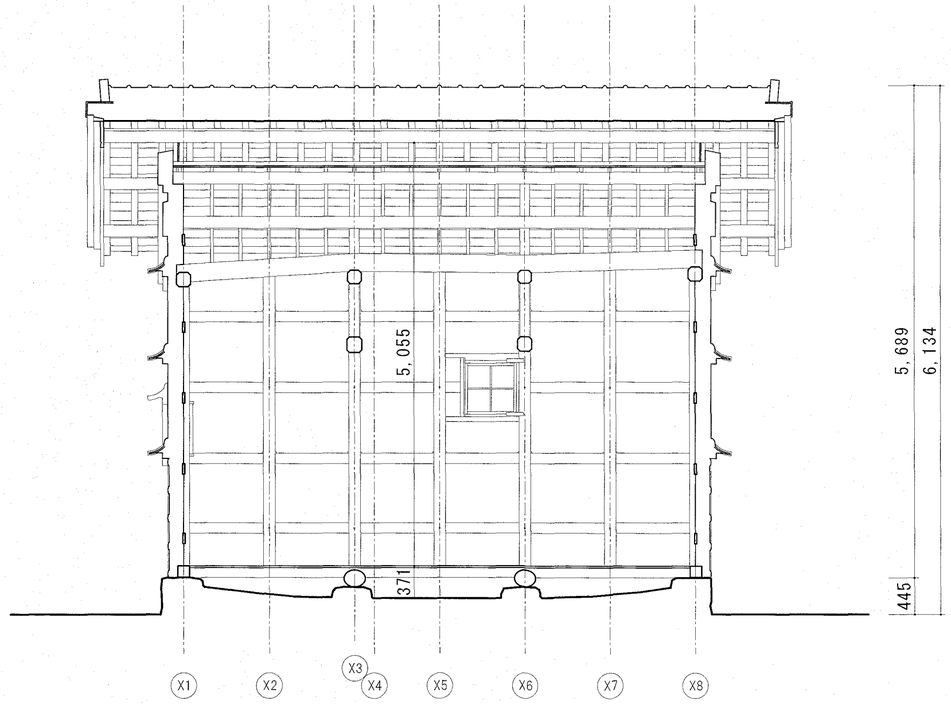
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松木	畑村	A-32
		図面名　米倉立面図２　2023/05　縮尺　1/50	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%



米倉梁間断面図　S=1/50

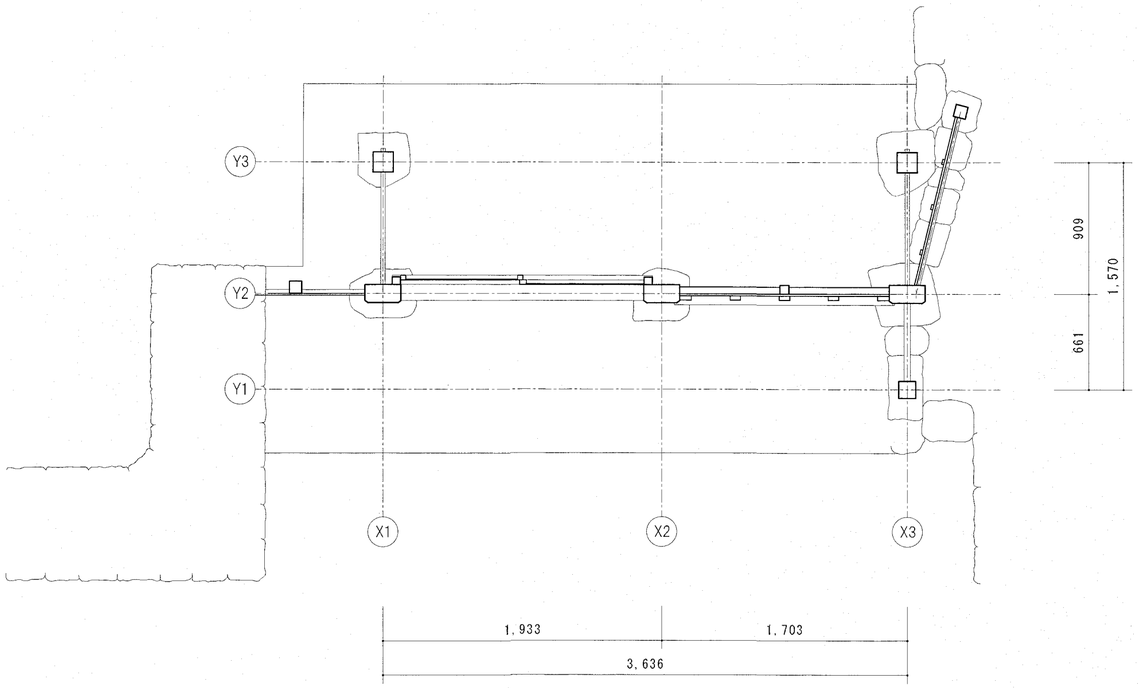


米倉桁行断面図　S=1/50

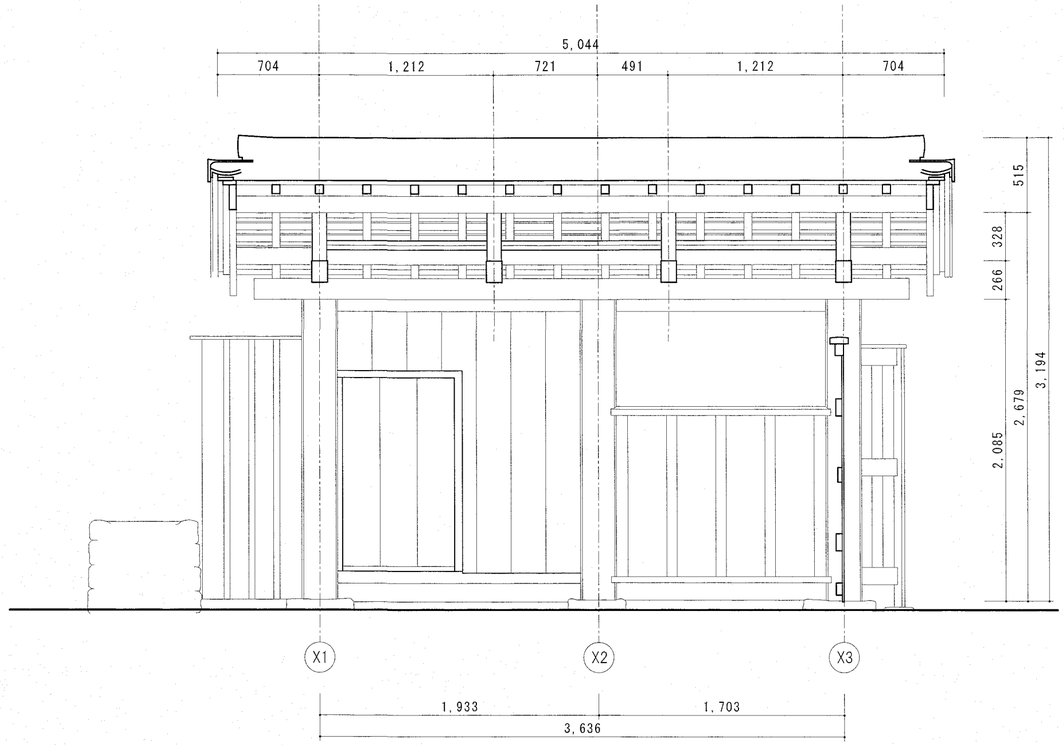
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-33
		図面名　米倉断面図　2023/03　縮尺　1/50	作図	年	月	日	

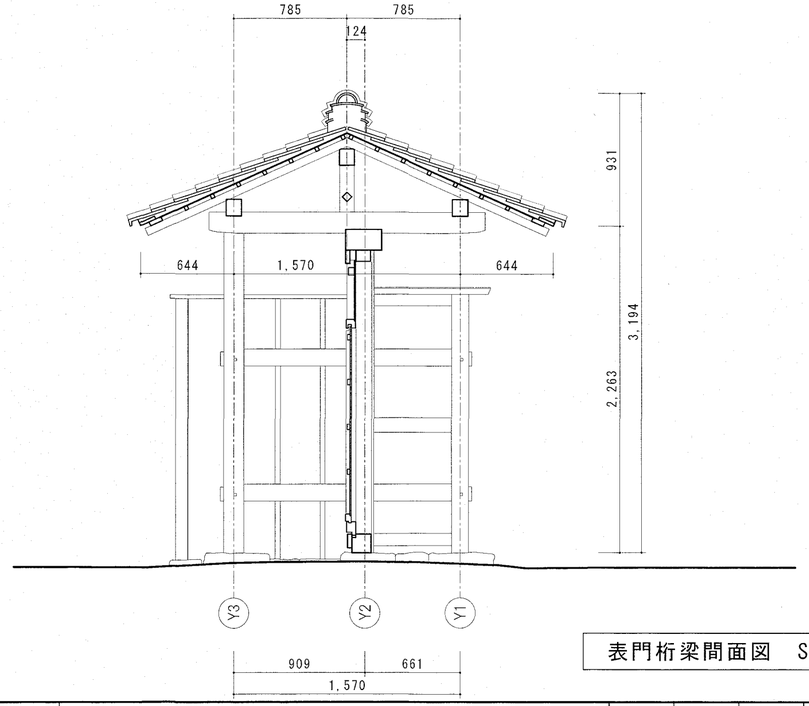
A2：100%、A3：71%、A4：50%



表門平面図　S=1/30



表門桁行断面図　S=1/30



表門桁梁間面図　S=1/30

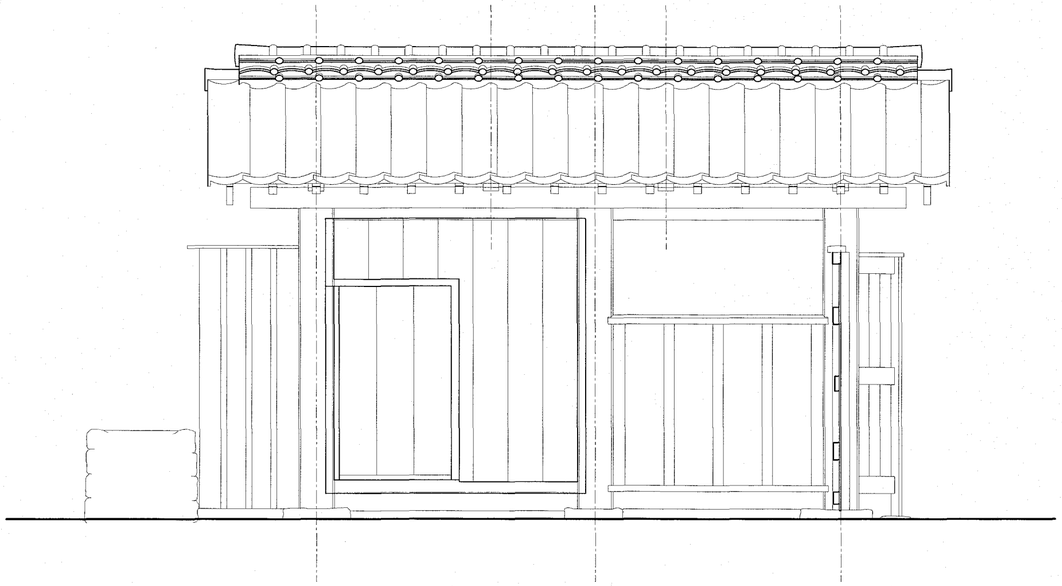
N

0　1　2m

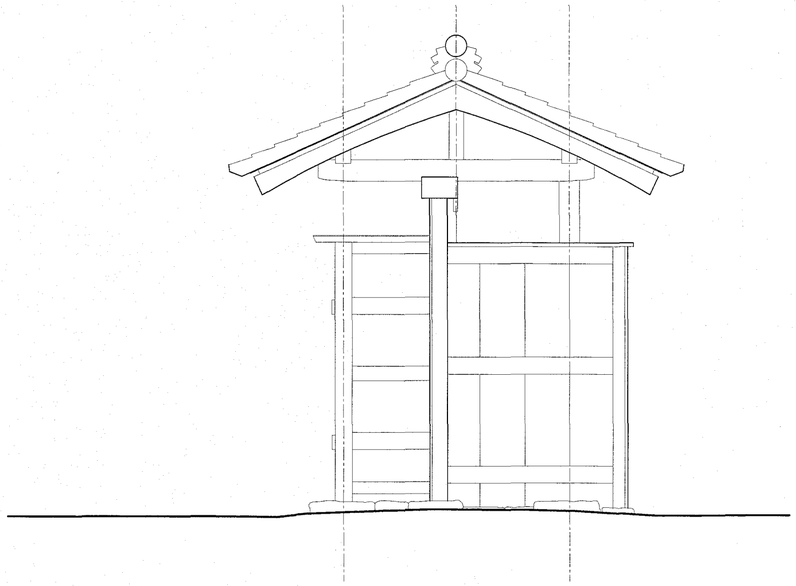
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		図面名	表門平面図・断面図 2023/05	縮尺	1/30	作図	年　月　日	A-34

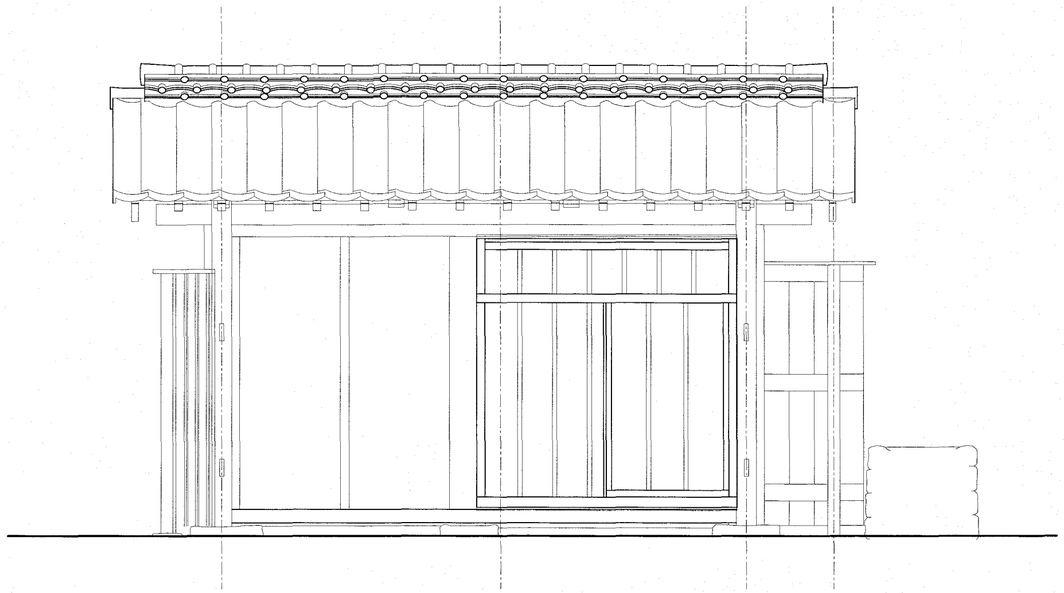
A2：100%、A3：71%、A4：50%



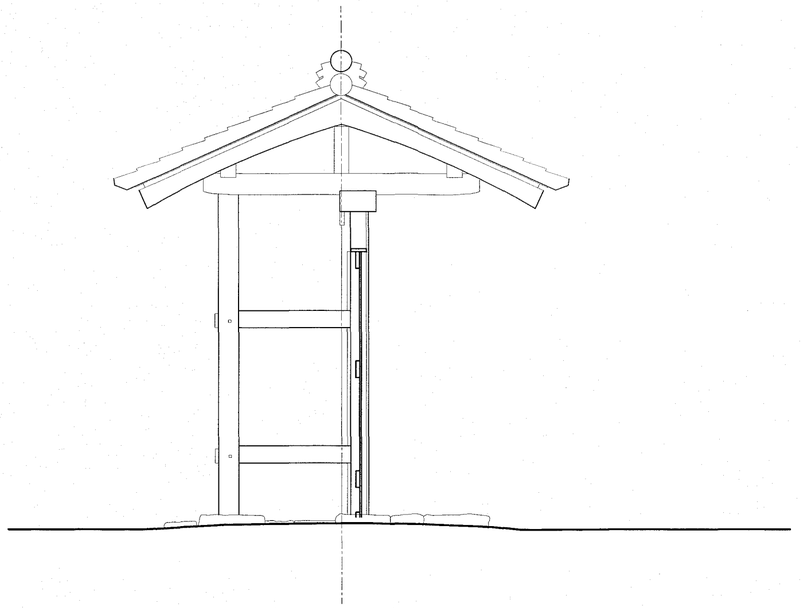
表門東立面図　S=1/30



表門北立面図　S=1/30



表門西立面図　S=1/30

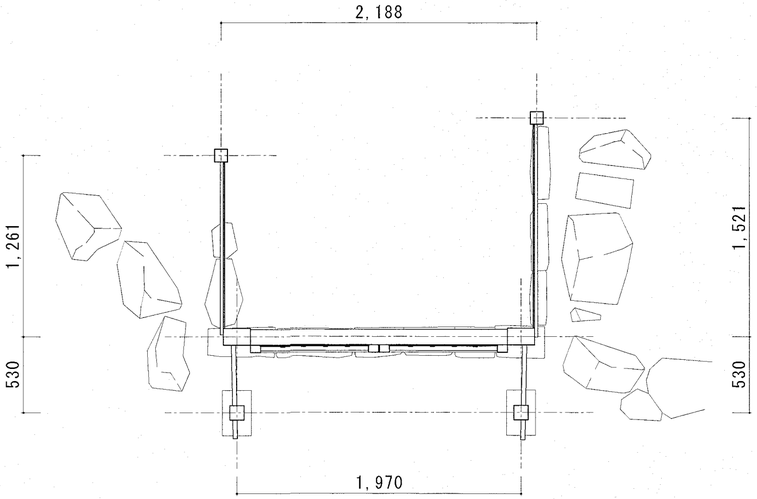


表門南立面図　S=1/30

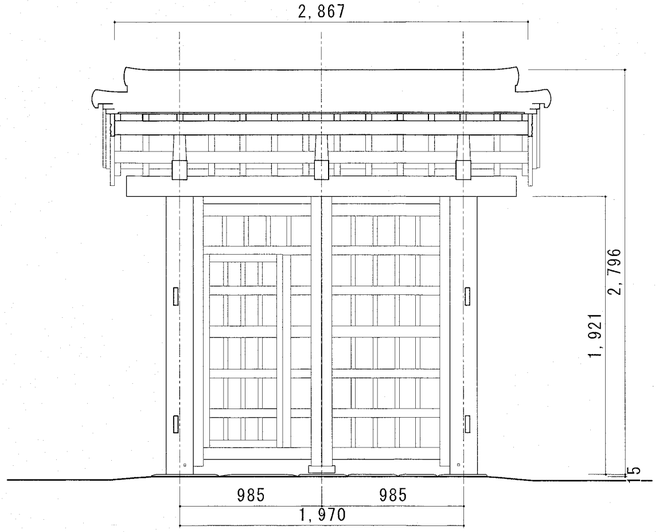
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	清宮		松木	岡村	A-35
		図面名　表門立面図　2023/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				

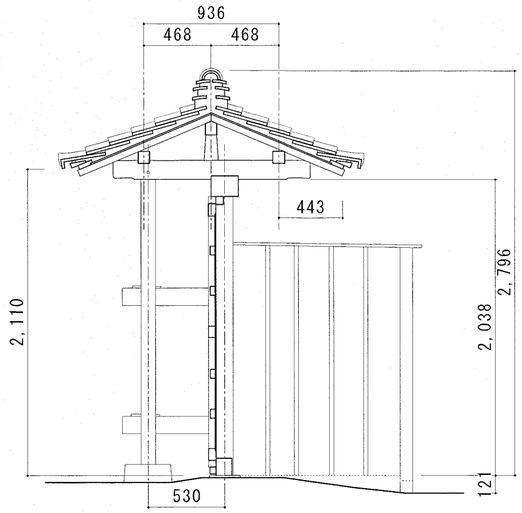
A2：100%、A3：71%、A4：50%



裏門平面図　S=1/30



裏門桁行断面図　S=1/30

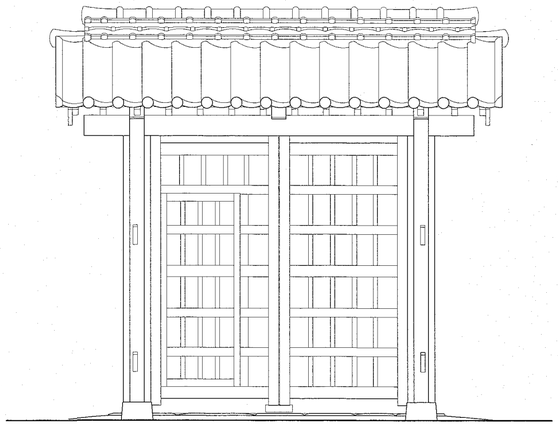


裏門桁梁間面図　S=1/30

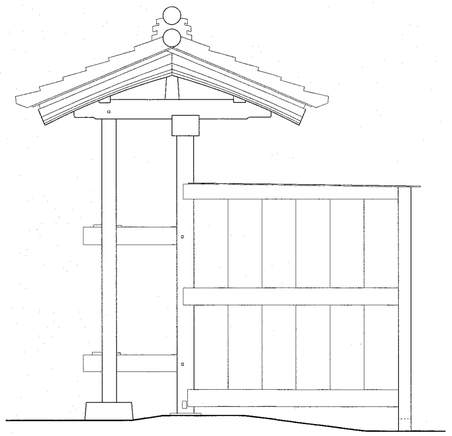
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事		濱口	松末	岡村	A-36
		図面名　裏門平面図・断面図　2023/03　縮尺　1/30	作図　年　月　日				

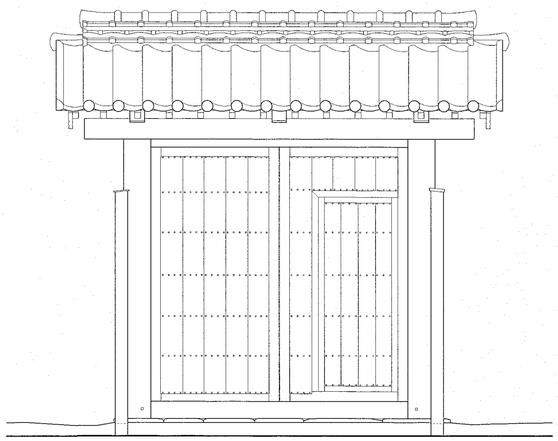
A2：100%、A3：71%、A4：50%



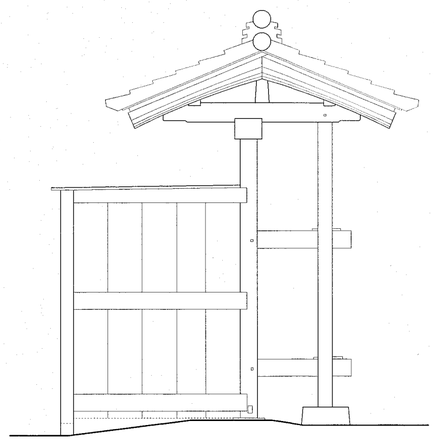
裏門東立面図　S=1/30



裏門北立面図　S=1/30



裏門西立面図　S=1/30

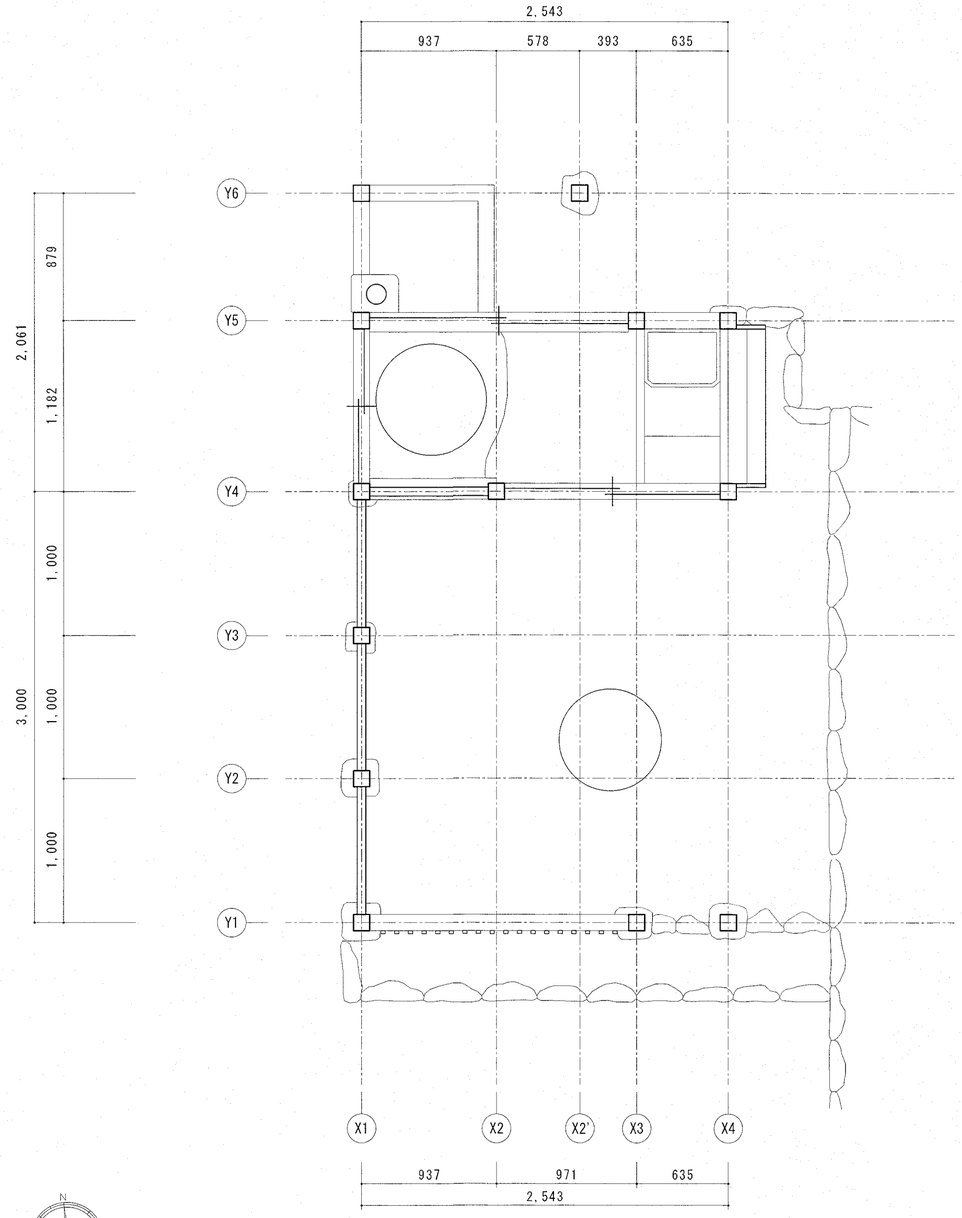


裏門南立面図　S=1/30

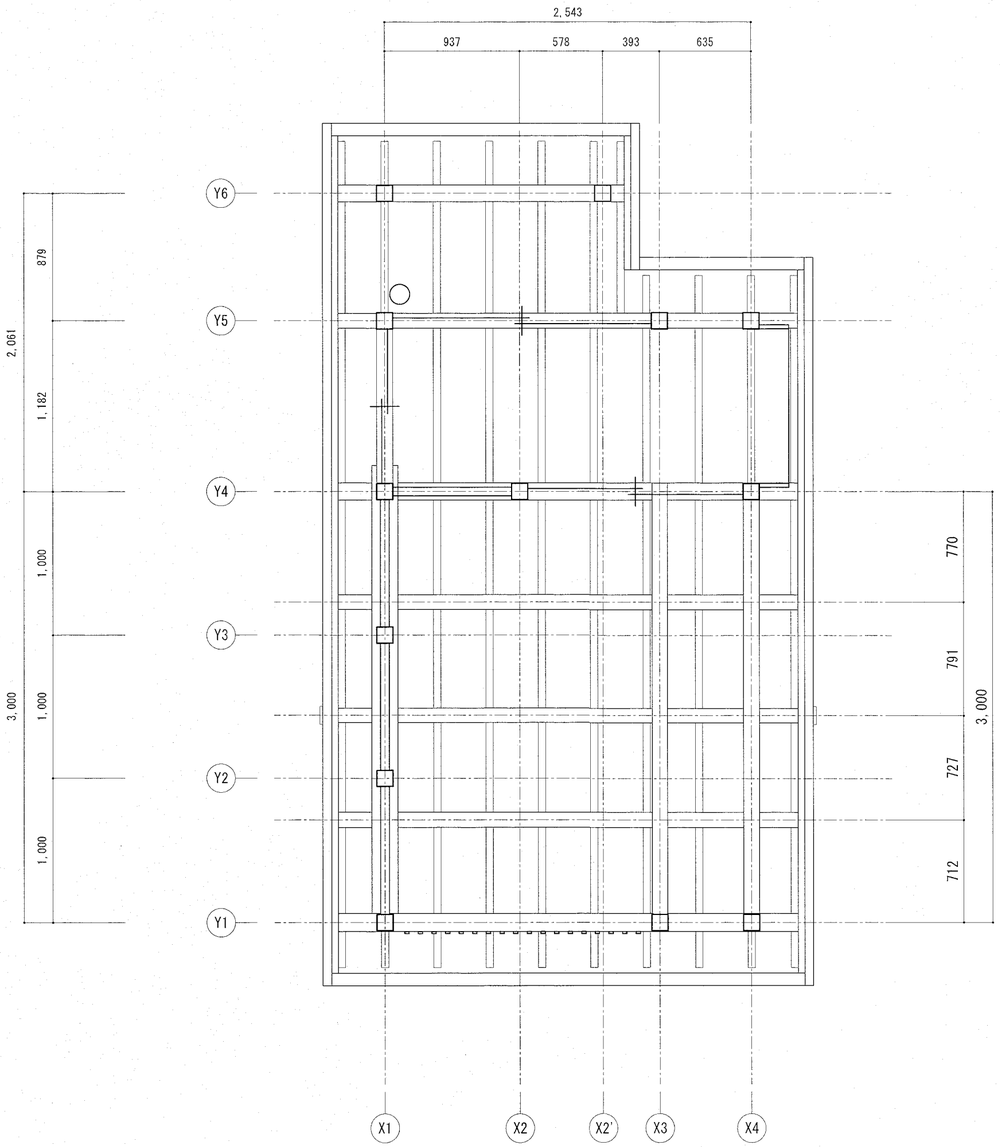
0　1　2m
0　5尺

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤	須	松	岡	A-37
	設計・監理　(公財) 文化財建造物保存技術協会		図面名　裏門立面図　2023/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%



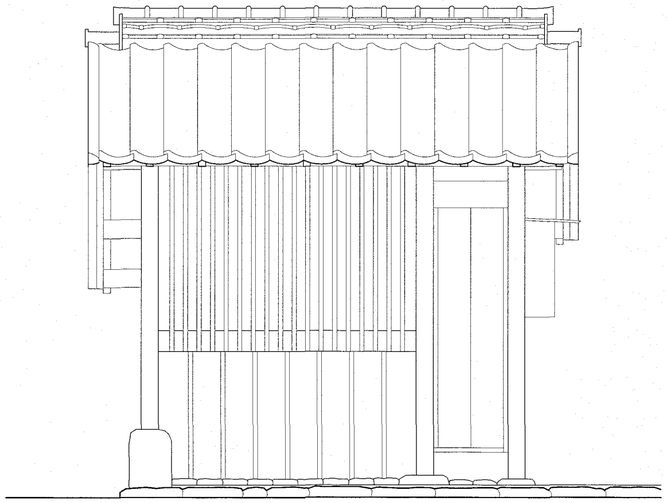
水屋平面図　S=1/30



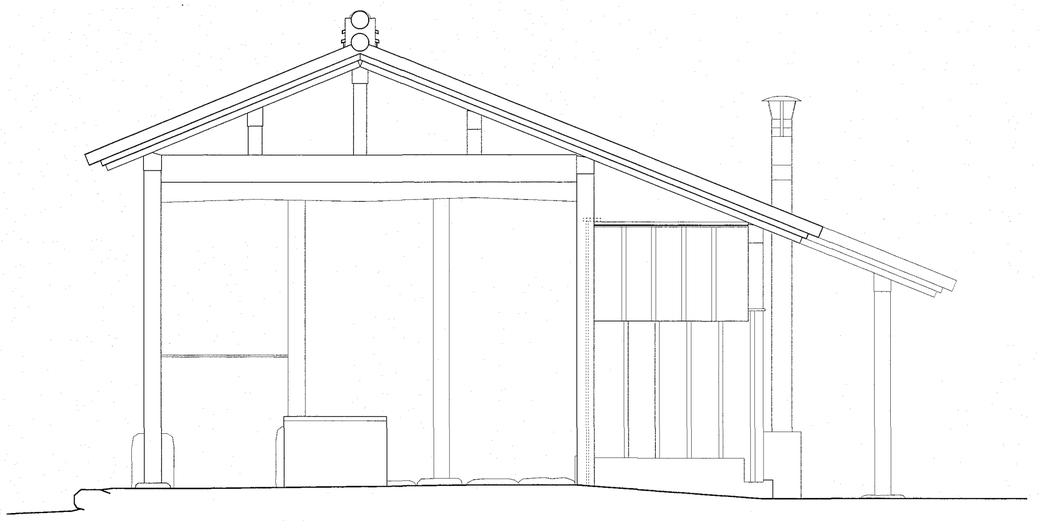
水屋見上図　S=1/30

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-38
		図面名　水屋平面図・見上図　2022/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				

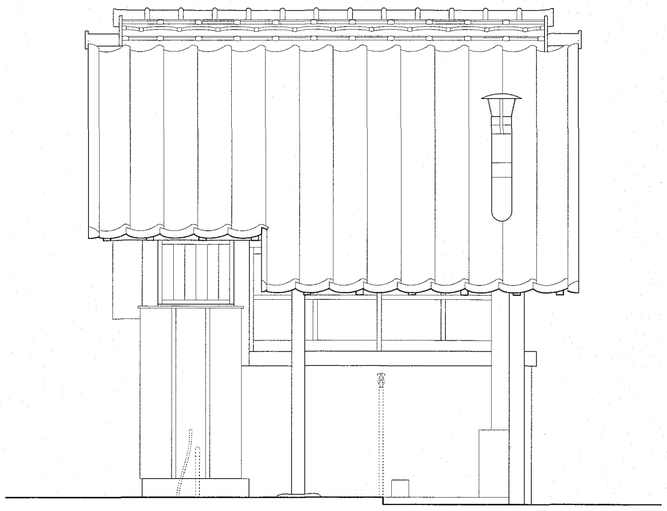
A2：100%、A3：71%、A4：50%



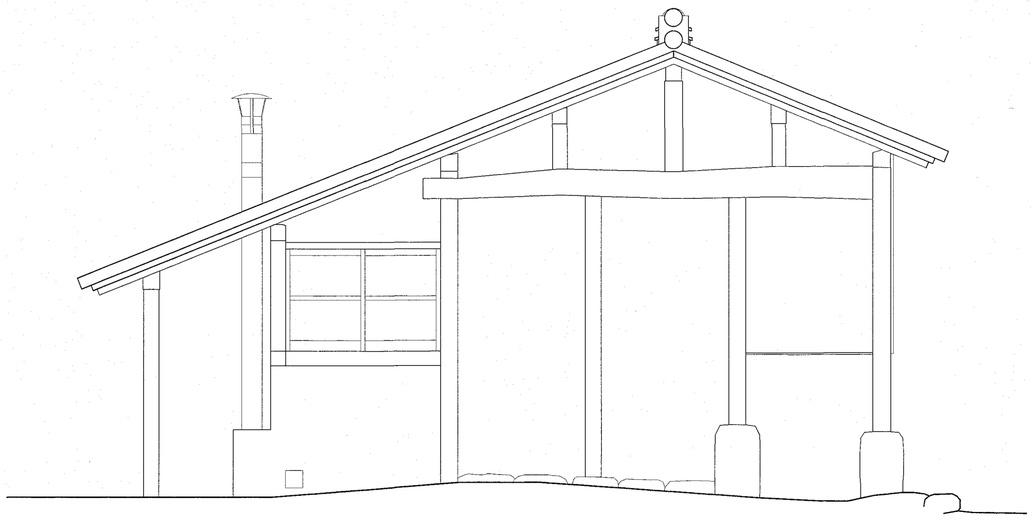
水屋南立面図　S=1/30



水屋西立面図　S=1/30



水屋北立面図　S=1/30

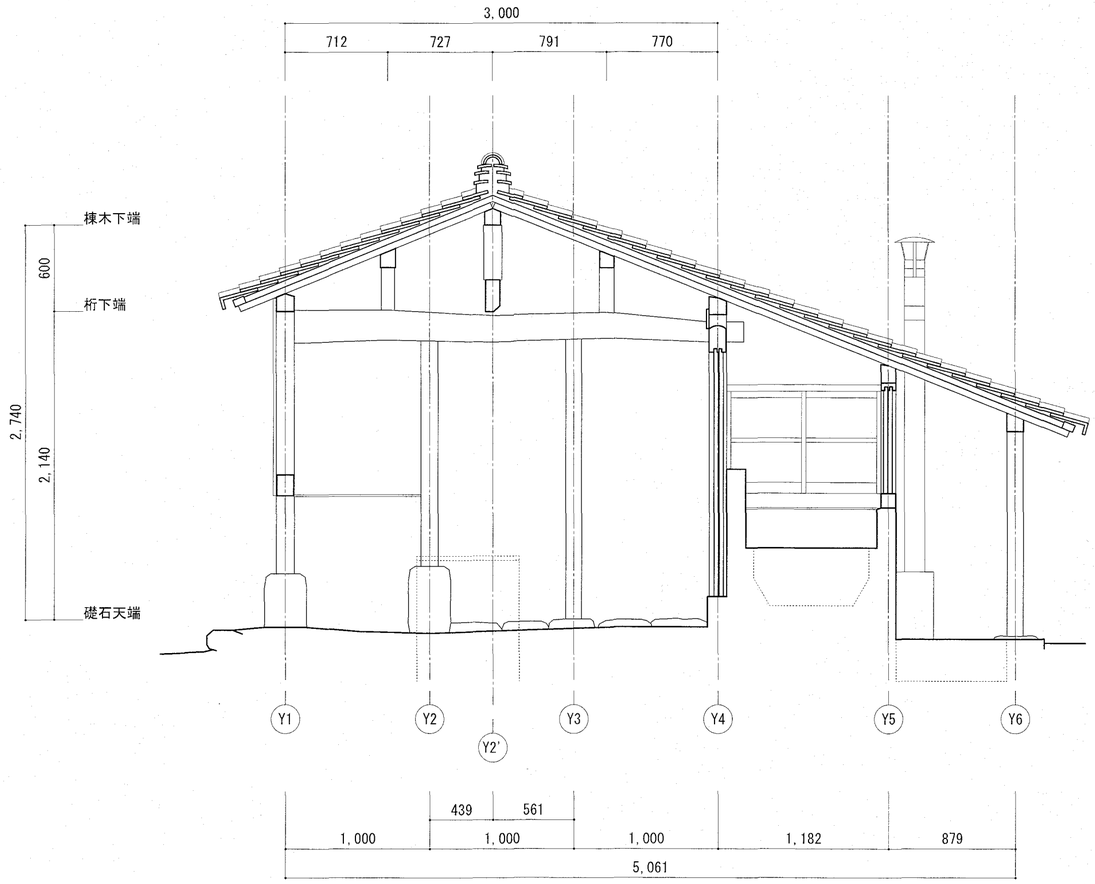


水屋東立面図　S=1/30

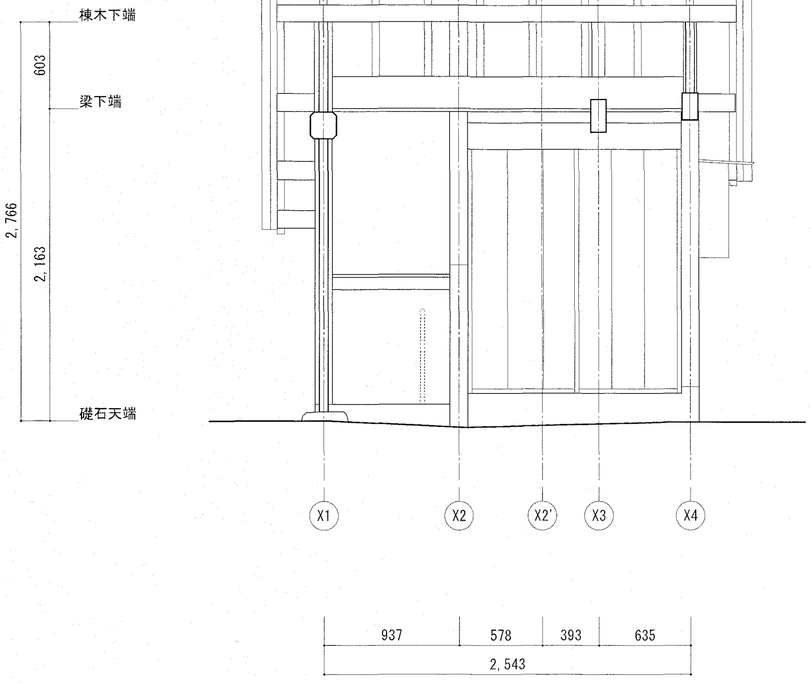
0　1　2m
0　5尺

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名 重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名　水屋立面図　2023/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				A-39

A2：100%、A3：71%、A4：50%



水屋桁行断面図　S=1/30

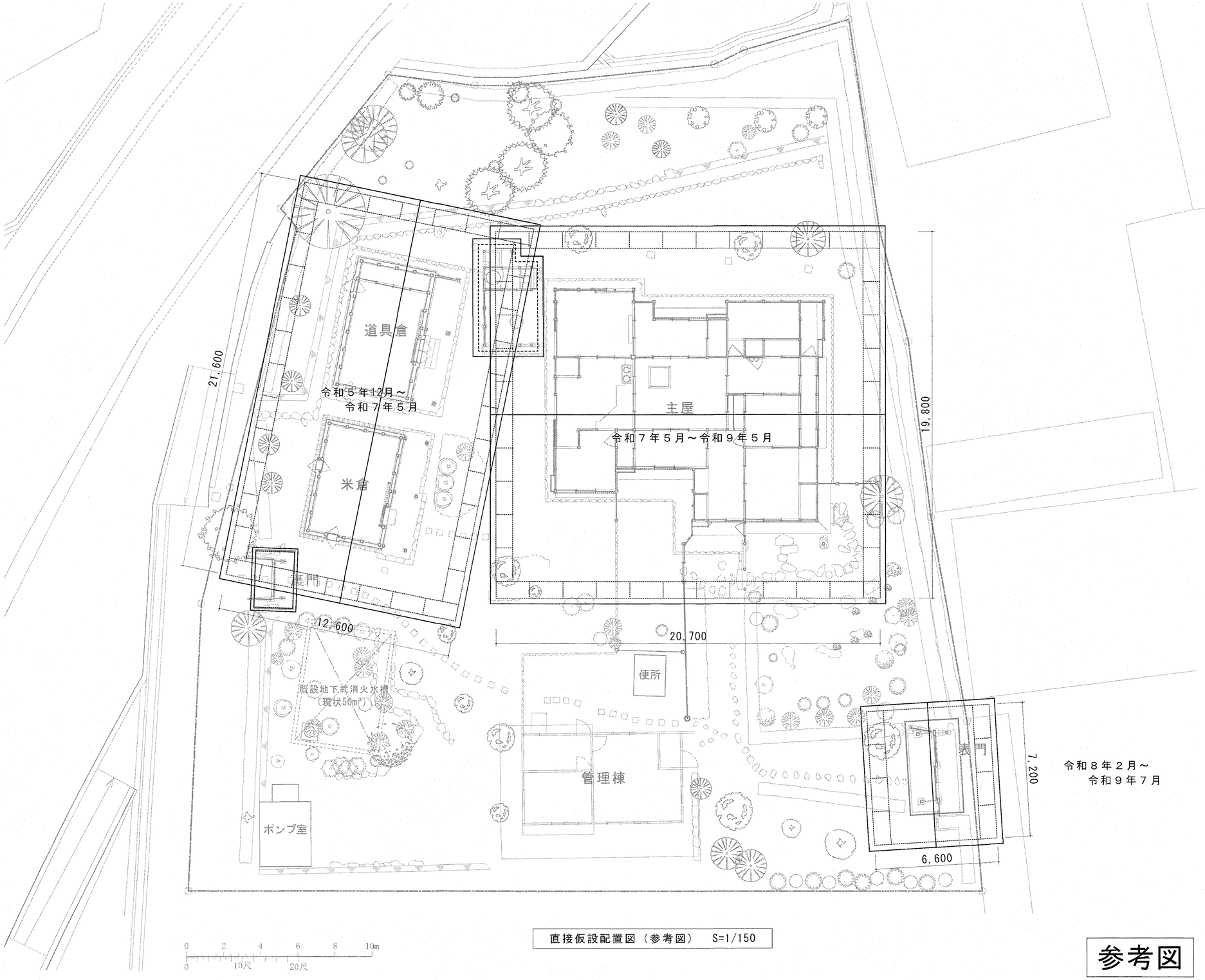


水屋梁間断面図　S=1/30

0　1　2m
0　5尺

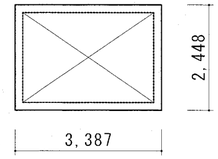
		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事					A-40
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			図面名　水屋断面図　2023/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸								

A2：100%、A3：71%、A4：50%

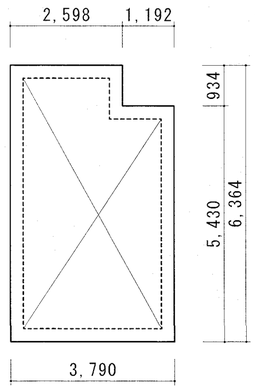


直接仮設配置図（参考図）　S=1/150

参考図



裏門脚立足場



水屋脚立足場

直接仮設配置図（参考図）　S=1/100

裏門および水屋は脚立足場

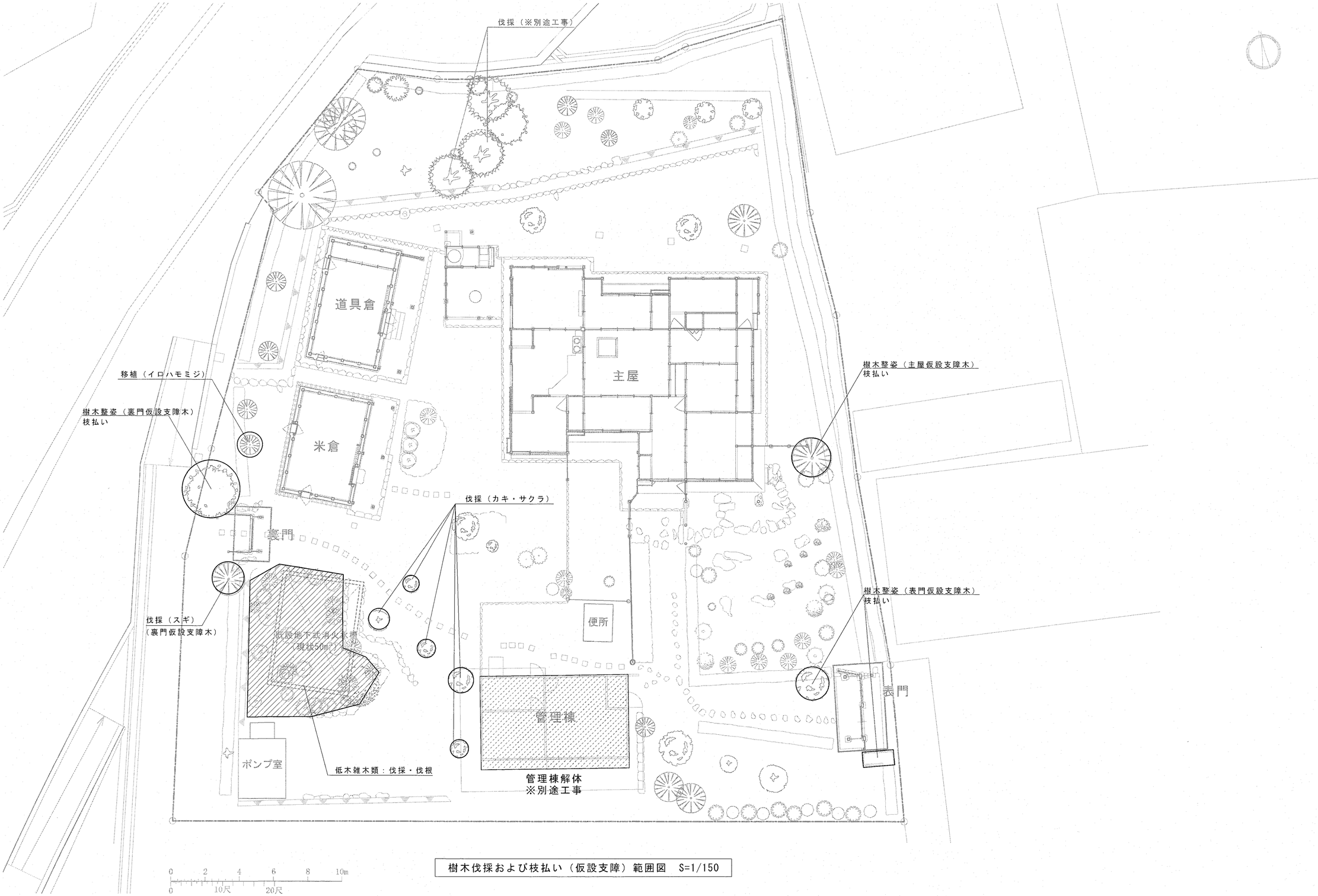
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-41
図面名　直接仮設工事（全体）　2023/05　縮尺　1/150・100	作図　年　月　日				

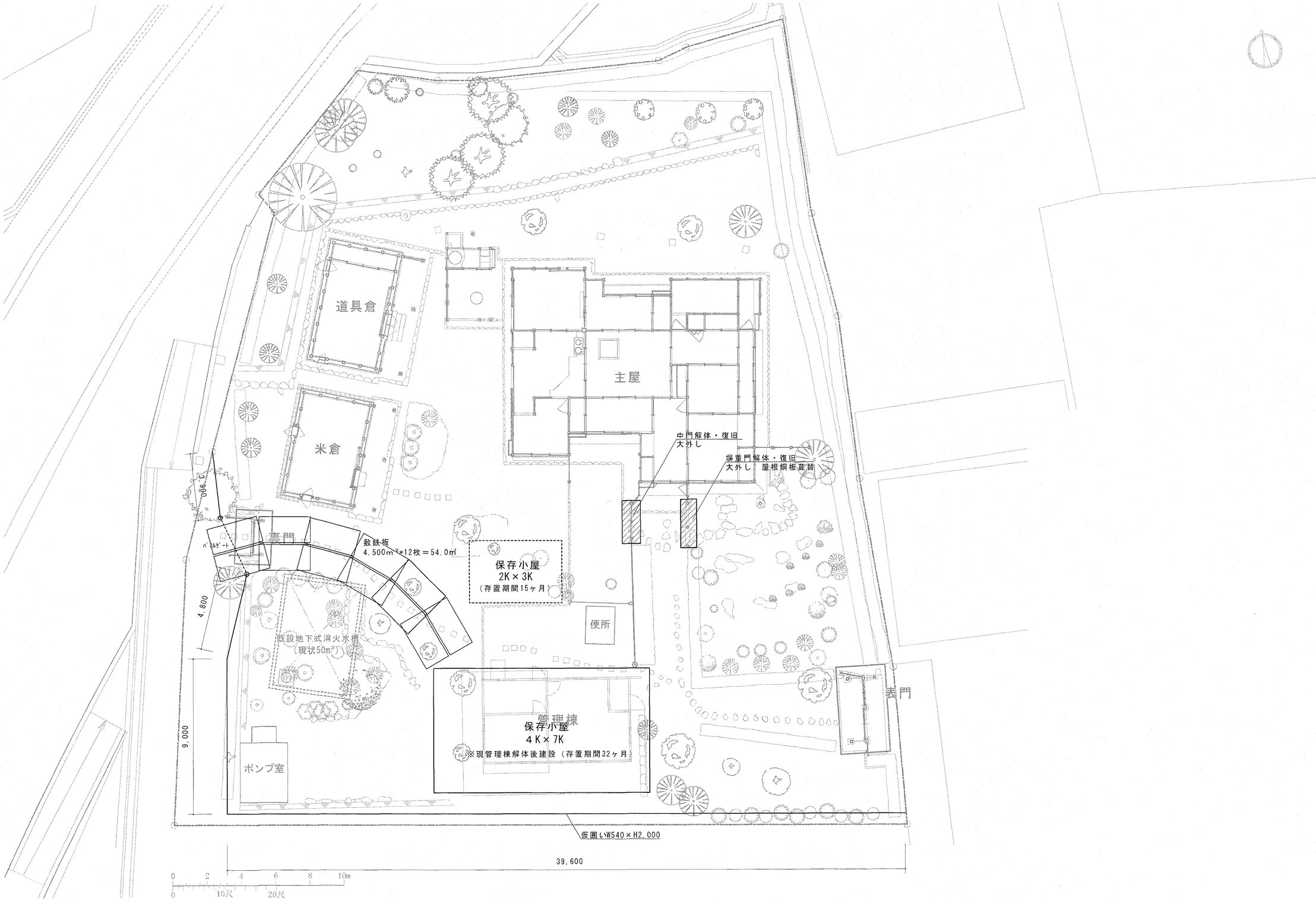
A2：100%、A3：71%、A4：50%



樹木伐採および枝払い（仮設支障）範囲図　S=1/150

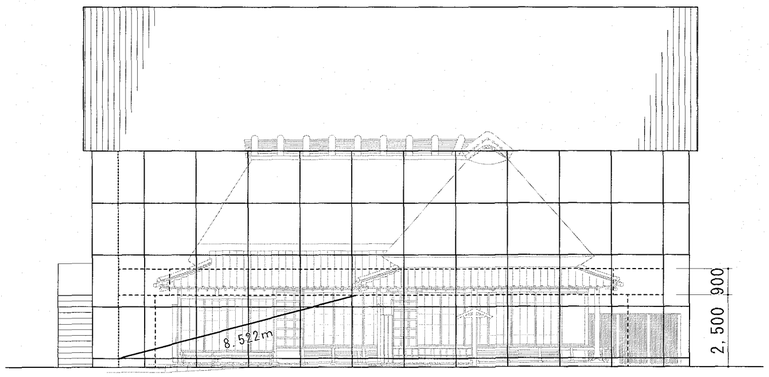
		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		澤田 松木	畑村	A-42
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　共通仮設１（樹木伐採）2023/05　縮尺　1/150	作図　年　月　日				
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%

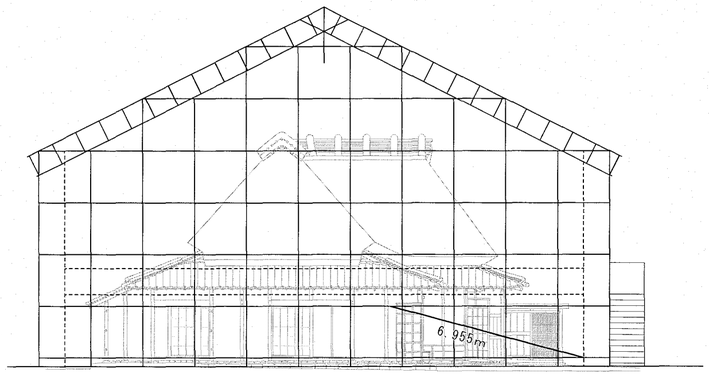


		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		齋田 松末	岡村	A-43
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸			図面名　共通仮設２（仮設物配置）2023/05　縮尺　1/150	作図　年　月　日				

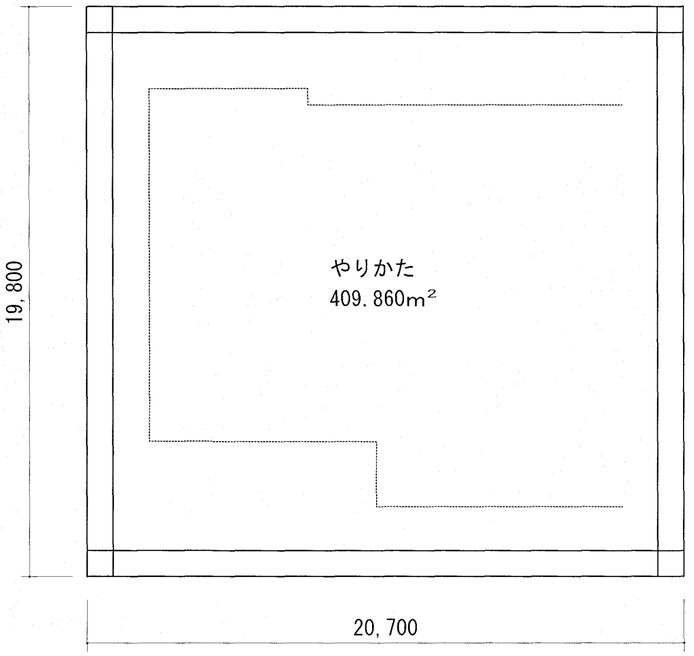
A2：100%、A3：71%、A4：50%



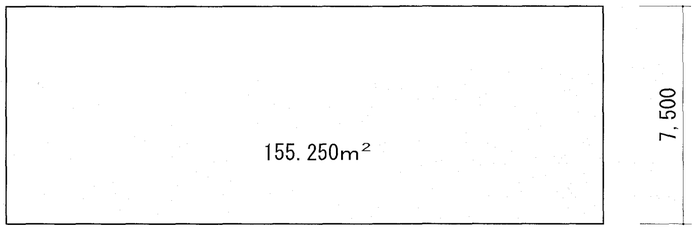
素屋根南立面図（参考図）



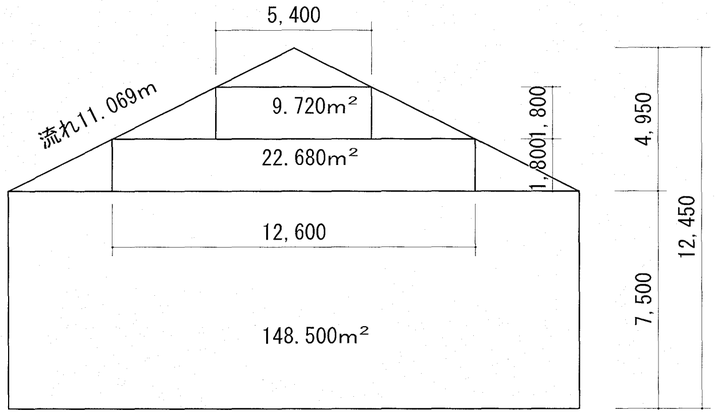
素屋根西立面図（参考図）



枠組足場平面図（参考図）



枠組足場　掛け面積



枠組足場　掛け面積

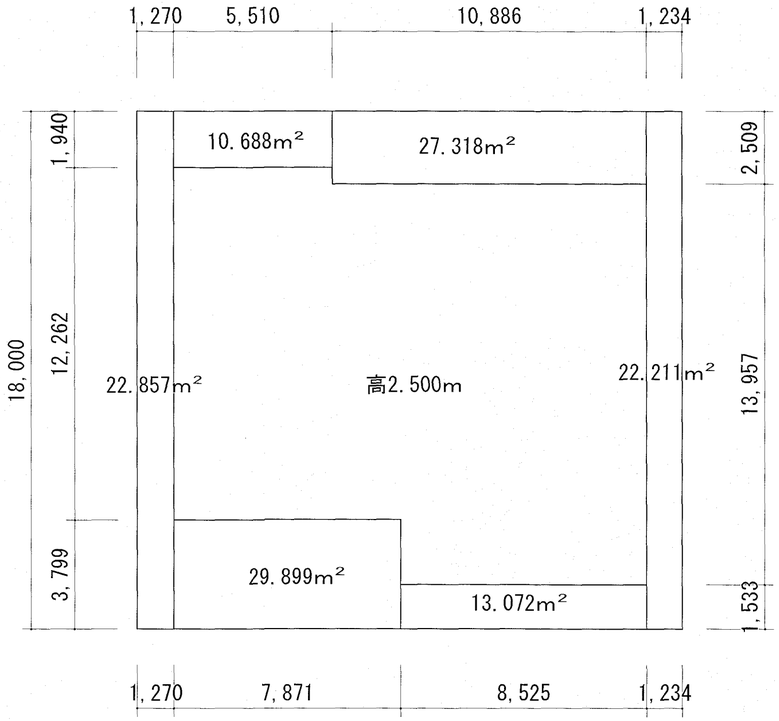
	主屋						
2-1-1	やりかた		足場平面積				
			桁行 × 梁行				
			19.800 m × 20.700 m＝		409.860 ㎡		㎡
				≒	410 ㎡		410
	主屋						
2-1-2	枠組足場		東西面				
			W × H				
			19.800 m × 7.500 m＝		148.500 ㎡	①	
			12.600 m × 1.800 m＝		22.680 ㎡	②	
			5.400 m × 1.800 m＝		9.720 ㎡	③	
			南北面				
			W × H				
			20.700 m × 7.500 m＝		155.250 ㎡	④	
			（Σ①～④）×2面		672.300 ㎡		㎡
				≒	672 ㎡		672

	主屋						
2-1-3	仮屋根		流れ長 × 2 面 × 幅				
			11.069 m × 2 面 × 20.700 m＝		458.257 ㎡		㎡
				≒	458 ㎡		458

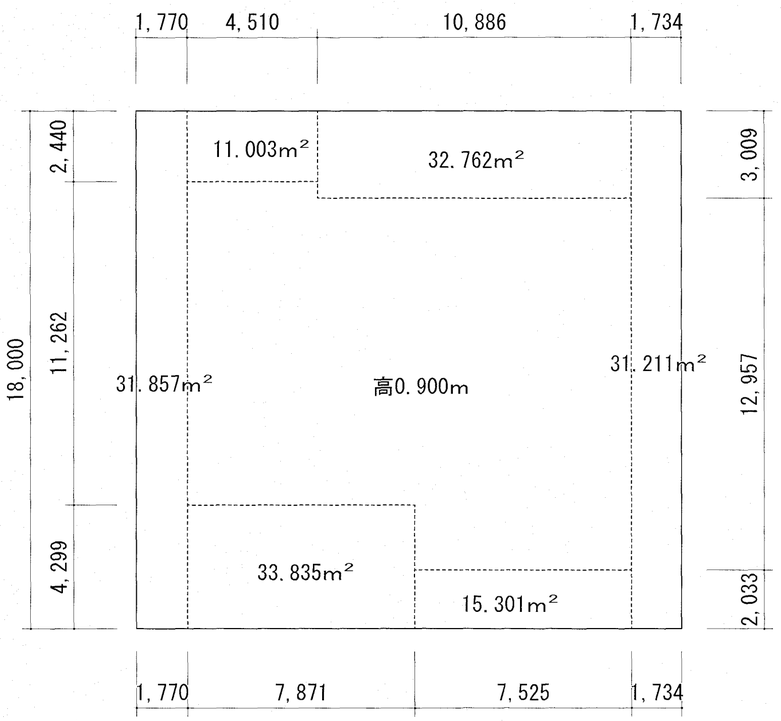
参考図

	裏門および水屋は脚立足場	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事					A-44
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　直接仮設工事（主屋）1 2023/05　縮尺　1/150	作図　年　月　日				
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%



庇解体・組立時棚足場（参考図）



茅葺屋根解体・組立時棚足場（参考図）

	主屋						
2-1-4	棚足場1		庇桟瓦解体・組立時				
			W × D				
			18.000 m × 1.270 m＝	22.860 ㎡	①		
			3.799 m × 7.871 m＝	29.902 ㎡	②		
			1.533 m × 8.525 m＝	13.069 ㎡	③		
			18.000 m × 1.234 m＝	22.212 ㎡	④		
			2.509 m × 10.886 m＝	27.313 ㎡	⑤		
			1.940 m × 5.510 m＝	10.689 ㎡	⑥		
			H＝ 2.500 m				
			（Σ①～⑥）×H＝	315.113 ㎡			㎡
			≒	315 ㎡			315
	主屋						
2-1-5	棚足場2		茅葺解体・葺き直し時				
			W × D				
			18.000 m × 1.770 m＝	31.860 ㎡	①		
			4.299 m × 7.871 m＝	33.837 ㎡	②		
			2.033 m × 7.525 m＝	15.298 ㎡	③		
			18.000 m × 1.734 m＝	31.212 ㎡	④		
			3.009 m × 10.886 m＝	32.756 ㎡	⑤		
			2.440 m × 4.510 m＝	11.004 ㎡	⑥		
			H＝ 0.900 m				
			（Σ①～⑥）×H＝	140.370 ㎡			㎡
			≒	140 ㎡			140

	主屋						
2-1-6	垂直養生		東西面				
			W × H				
			19.800 m × 7.500 m＝	148.500 ㎡	①		
			19.800 m × 4.950 m／ 2 ＝	49.005 ㎡	②		
			南北面				
			W × H				
			20.700 m × 7.500 m＝	155.250 ㎡	③		
			（Σ①～③）×2面	705.510 ㎡			㎡
			≒	706 ㎡			706
	主屋						
2-1-7	登り桟橋1		延長	8.422 m			m
			≒	8.400			8.40
	主屋						
2-1-8	登り桟橋1		延長	6.955 m			m
			≒	7.000			7.00
	主屋						
2-1-9	内部足場		建築面積				㎡
							172
	主屋						
2-1-10	水盛遣方		建築面積				㎡
							172
	主屋						
2-1-11	墨出し		軒面積				㎡
							212

参考図

裏門および水屋は脚立足場

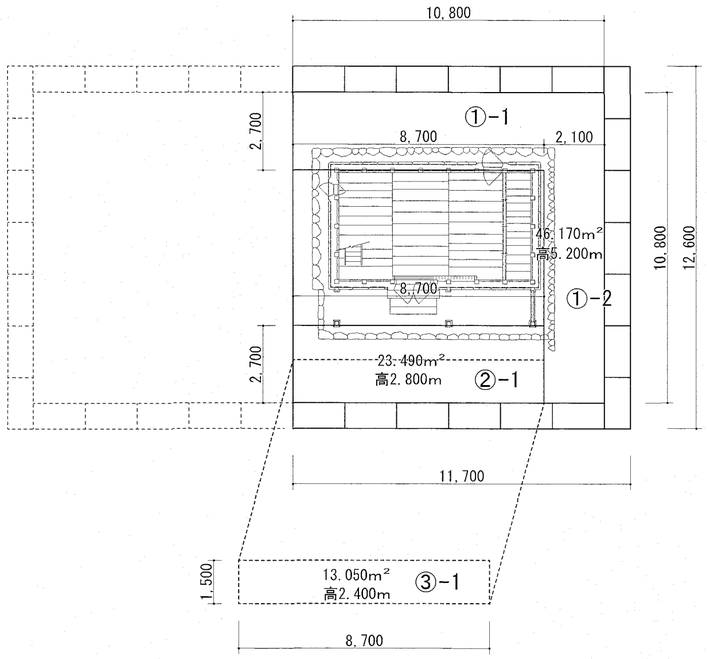
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

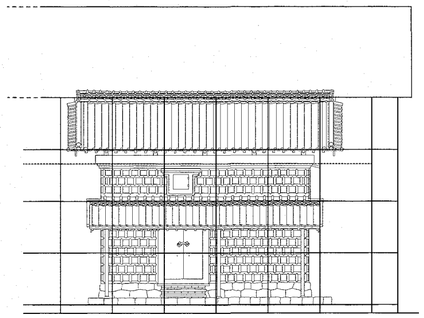
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-45
図面名 直接仮設工事（主屋）2 2023/05 縮尺 1/150	作図 年 月 日				

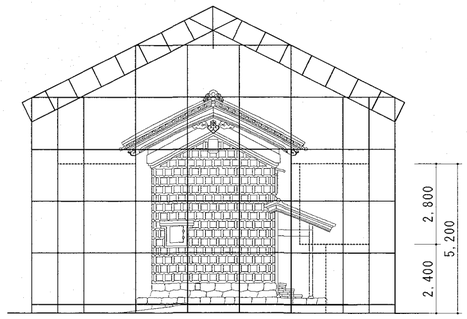
A2：100%、A3：71%、A4：50%



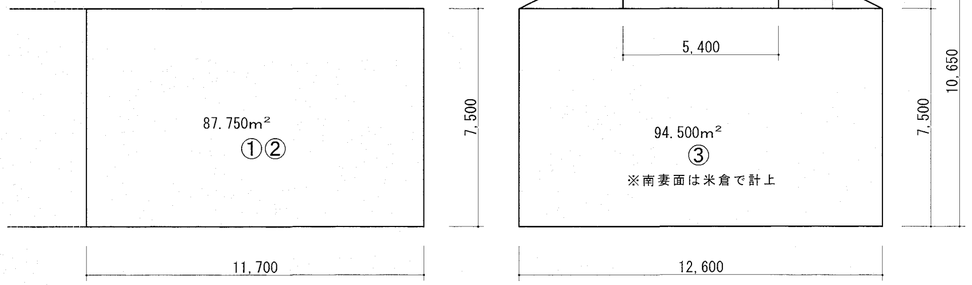
道具倉素屋根平面図（参考図）



道具倉素屋根東立面図（参考図）



道具倉素屋根南立面図（参考図）



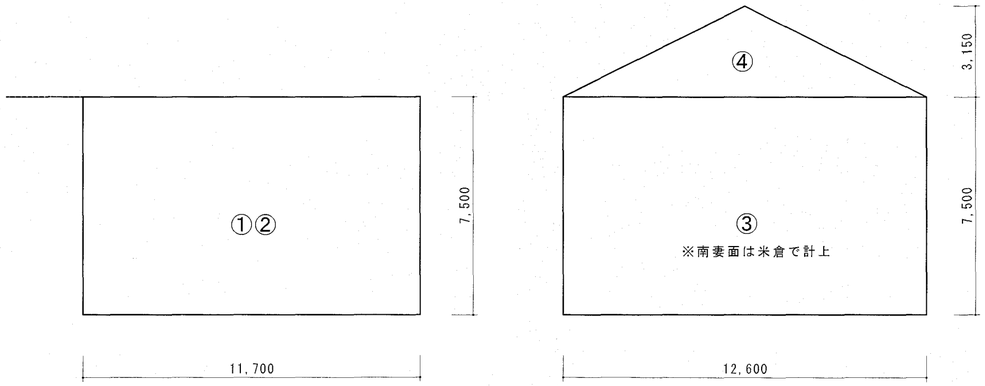
道具倉枠組足場求積図

	道具倉						
2-2-1	やりかた		足場平面積				
			桁行 × 梁行				
			11.700 m× 12.600 m＝	147.420 ㎡			㎡
				≒ 147 ㎡			147
	道具倉						
2-2-2	枠組足場		東西面				
			W × H				
			11.700 m× 7.500 m＝	87.750 ㎡	①		
			11.700 m× 7.500 m＝	87.750 ㎡	②		
			北面 ※南面は米倉枠組足場と接続				
			W × H				
			12.600 m× 7.500 m＝	94.500 ㎡	③		
			5.400 m× 1.800 m＝	9.720 ㎡	④		
			Σ①～④ ＝	279.720 ㎡			㎡
				≒ 280 ㎡			280
	道具倉						
2-2-3	仮屋根		流れ長 × 2 面× 幅				
			7.044 m× 2 面× 11.700 m＝	164.830 ㎡			㎡
				≒ 165 ㎡			165

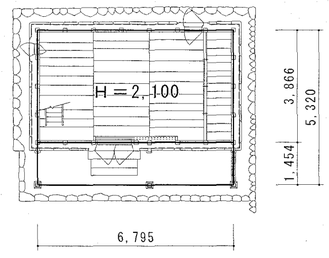
	道具倉						
2-2-4	棚足場		W × D				
			2.700 m× 8.700 m＝	23.490 ㎡	-1		
			2.100 m× 10.800 m＝	22.680 ㎡	-2		
			H= 5.200 m				
			(Σ1～2) ×H＝	240.084 m3	①		
			W × D				
			2.700 m× 8.700 m＝	23.490 ㎡	-1		
			H= 2.800 m				
			(Σ1) ×H＝	65.772 m3	②		
			W × D				
			1.500 m× 8.700 m＝	13.050 ㎡	-1		
			H= 2.400 m				
			(Σ1) ×H＝	31.320 m3	③		
			Σ①～③ ＝	337.176 m3			m3
			≒	337 m3			337

参考図

	裏門および水屋は脚立足場	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-46
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		図面名 直接仮設工事（道具倉） 1 2022/05 縮尺 1/150	作図 年 月 日				
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸							



道具倉垂直養生求積図



道具倉内部足場求積図

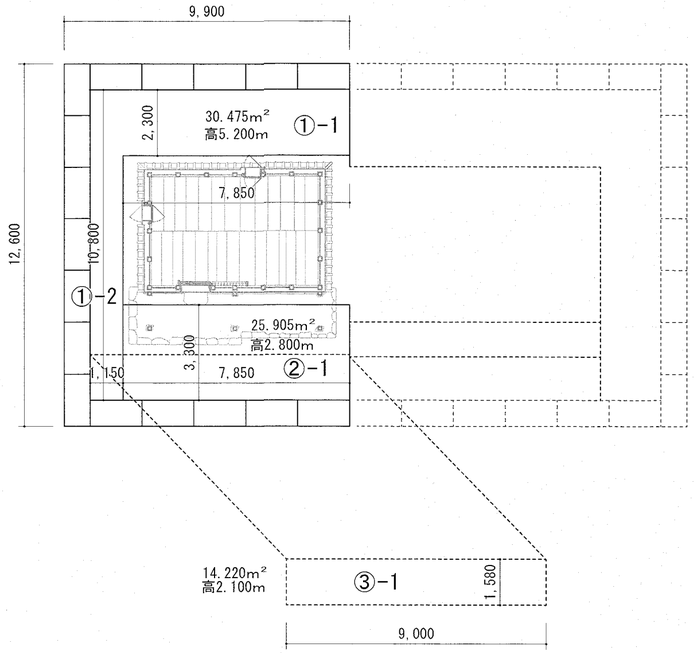
	道具倉				
2-2-5	垂直養生		東西面		
			W × H		
			11.700 m × 7.500 m＝	87.750 ㎡ ①	
			11.700 m × 7.500 m＝	87.750 ㎡ ②	
			北面		
			W × H		
			12.600 m × 7.500 m＝	94.500 ㎡ ③	
			12.600 m × 3.150 m／ 2 ＝	19.845 ㎡ ④	
			Σ①～④ ＝	289.845 ㎡	㎡
			≒	290 ㎡	290

	道具倉			
2-2-6	内部足場		建築面積	㎡
				36.1
	道具倉			
2-2-7	水盛遣方		建築面積	㎡
				36.1
	道具倉			
2-2-7	墨出し		軒面積	㎡
				63.7

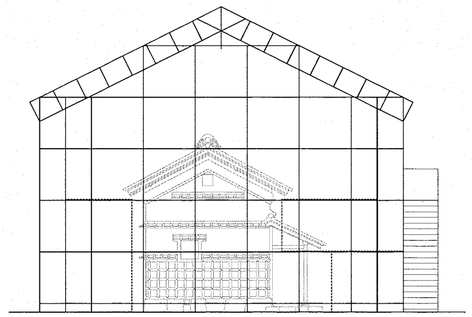
参考図

	裏門および水屋は脚立足場	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-47
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		図面名 直接仮設工事（道具倉）2 2023/05	縮尺 1/150	作図	年	月	日
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸							

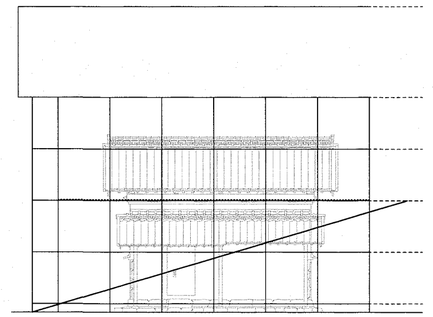
A2：100%、A3：71%、A4：50%



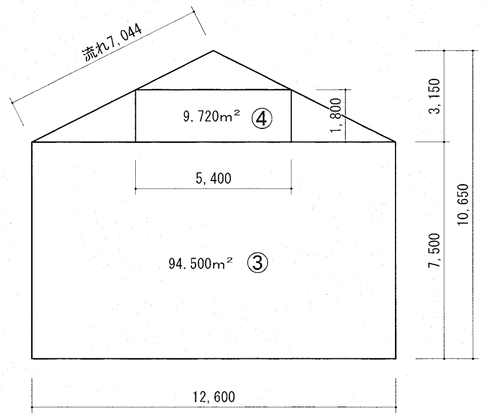
米倉素屋根平面図（参考図）

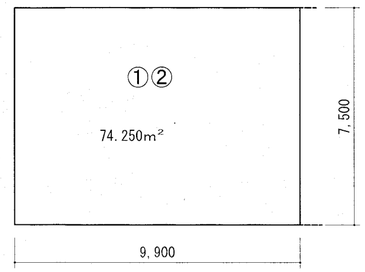


米倉素屋根南立面図（参考図）



米倉素屋根東立面図（参考図）





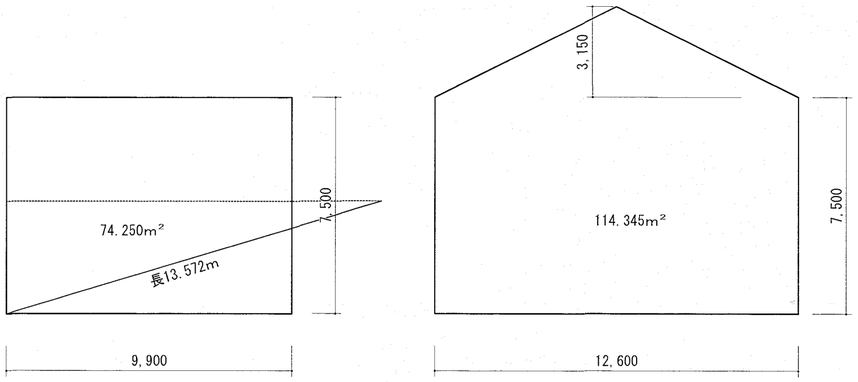
道具倉枠組足場求積図

	米倉				
2-3-1	やりかた		足場平面積		
			桁行 × 梁行		
			9.900 m × 12.600 m＝	124.740 ㎡	㎡
			≒	125 ㎡	125
	米倉				
2-3-2	枠組足場		東西面		
			W × H		
			9.900 m × 7.500 m＝	74.250 ㎡ ①	
			9.900 m × 7.500 m＝	74.250 ㎡ ②	
			北面 ※南面は米倉枠組足場と接続		
			W × H		
			12.600 m × 7.500 m＝	94.500 ㎡ ③	
			5.400 m × 1.800 m＝	9.720 ㎡ ④	
			Σ①～④ ＝	252.720 ㎡	㎡
			≒	253 ㎡	253
	米倉				
2-3-3	仮屋根		流れ長 × 2 面 × 幅		
			7.044 m × 2 面 × 9.900 m＝	139.471 ㎡	㎡
			≒	139 ㎡	139

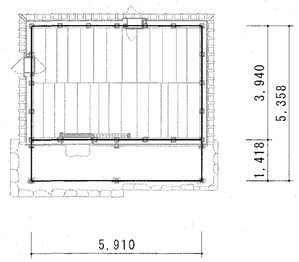
	米倉				
2-3-4	棚足場		W × D		
			2.300 m × 7.850 m＝	18.055 ㎡	-1
			1.150 m × 10.800 m＝	12.420 ㎡	-2
			H＝ 5.200 m		
			（Σ1～2）×H＝	158.470 m3 ①	
			W × D		
			3.300 m × 7.850 m＝	25.905 ㎡	-1
			H＝ 2.800 m		
			（Σ1）×H＝	72.534 m3 ②	
			W × D		
			1.580 m × 9.000 m＝	14.220 ㎡	-1
			H＝ 2.100 m		
			（Σ1）×H＝	29.862 m3 ③	
			Σ①～③ ＝	260.866 m3	m3
			≒	261 m3	261

参考図

	裏門および水屋は脚立足場	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-48
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		図面名 直接仮設工事（米倉）1 2022/05 縮尺 1/150	作図 年 月 日				
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸							



米倉垂直養生求積図



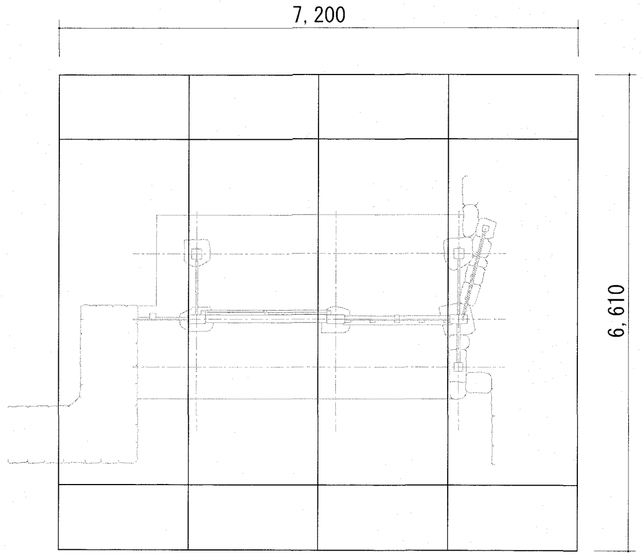
米倉内部足場求積図

	米倉				
2-3-5	垂直養生		東西面		
			W × H		
			9.900 m × 7.500 m ＝	74.250 ㎡ ①	
			9.900 m × 7.500 m ＝	74.250 ㎡ ②	
			北面		
			W × H		
			12.600 m × 7.500 m ＝	94.500 ㎡ ③	
			12.600 m × 3.150 m / 2 ＝	19.845 ㎡ ④	
			Σ①～④ ＝	262.845 ㎡	㎡
			≒	263 ㎡	263

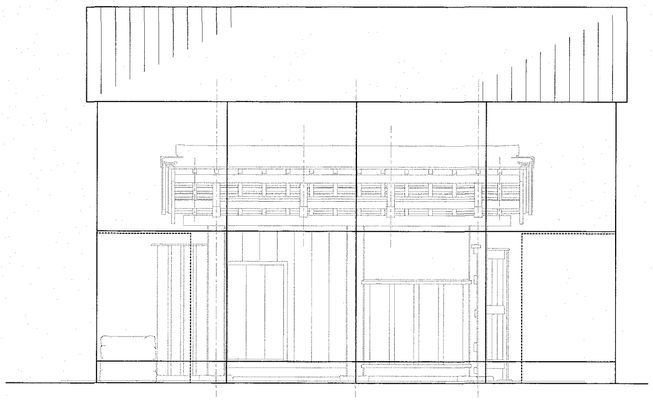
	米倉				
2-3-6	登り桟橋		延長	13.572 m	m
			≒	13.6 m	13.6
	米倉				
2-3-6	内部足場		建築面積		㎡
					31.7
	米倉				
2-3-7	水盛遣方		建築面積		㎡
					31.7
	米倉				
2-3-7	墨出し		軒面積		㎡
					53.0

参考図

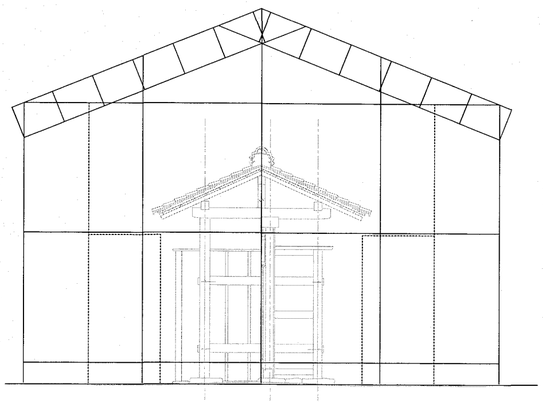
	裏門および水屋は脚立足場	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事					A-49
	設計・監理 (公財) 文化財建造物保存技術協会		図面名 直接仮設工事(米倉) 2 2023/05	縮尺 1/150	作図	年	月	日
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号 一級建築士 登録 第272522号 小林裕幸							



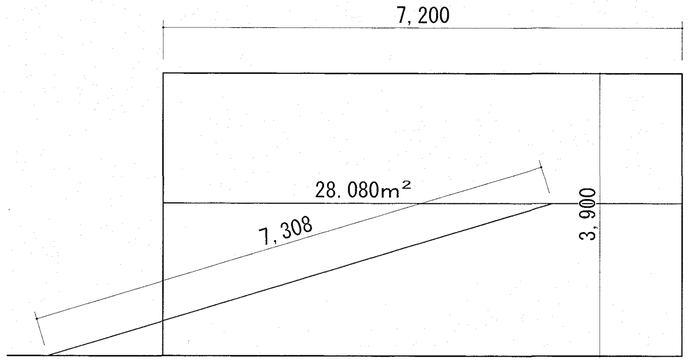
表門素屋根平面図（参考図）

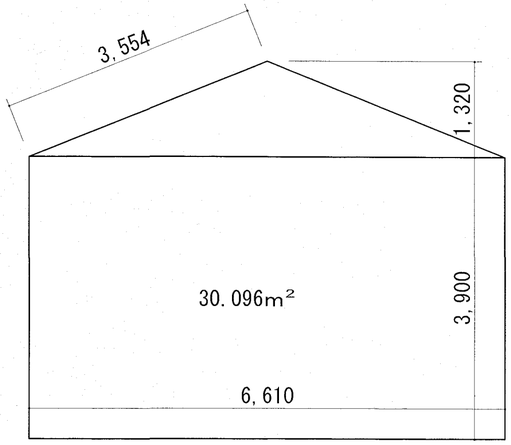


表門素屋根東立面図（参考図）



表門素屋根北立面図（参考図）





	表門				
2-4-1	やりかた		足場平面積		
			桁行　×　梁行		
			7.200 m × 6.610 m＝	47.592 ㎡	㎡
			≒	47.6 ㎡	47.6
	表門				
2-4-2	枠組足場		東西面		
			W　×　H		
			7.200 m × 3.900 m＝	28.080 ㎡ ①	
			7.200 m × 3.900 m＝	28.080 ㎡ ②	
			Σ①～②　＝	56.16 ㎡	㎡
			≒	56.2 ㎡	56.2

	表門				
2-4-3	単管本足場		南北面		
			W　×　H		
			6.610 m × 3.900 m＝	25.779 ㎡ ①	
			6.610 m × 1.320 m／ 2 ＝	4.363 ㎡ ②	
			Σ①～②　＝	30.142 ㎡	
			≒	30.1 ㎡ A	
			A　×　2面＝	60.2 ㎡	㎡
					60.2
	表門				
2-4-4	仮屋根		流れ長　×　2　面 × 幅		
			3.554 m × 2 面 × 7.200 m＝	51.178 ㎡	㎡
			≒	51.2 ㎡	51.2

参考図

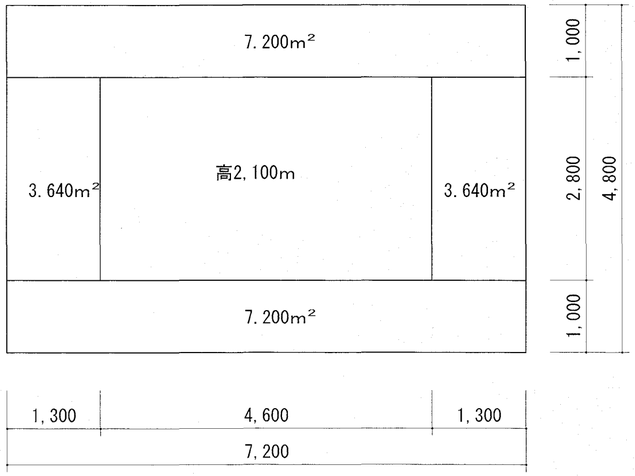
裏門および水屋は脚立足場

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

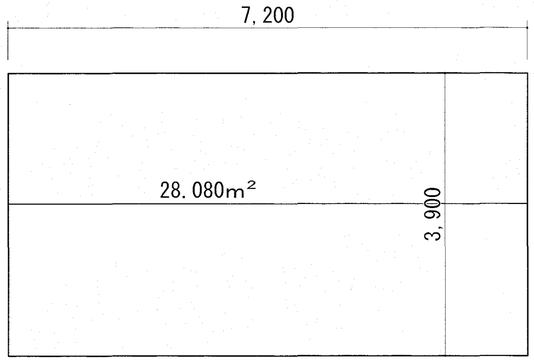
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

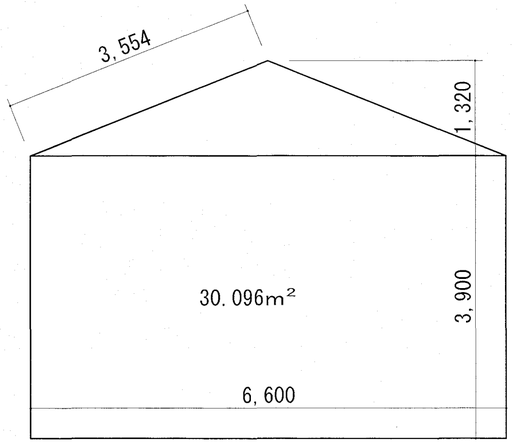
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-50
図面名　直接仮設工事（表門）1 2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				



表門素屋根棚足場求積図





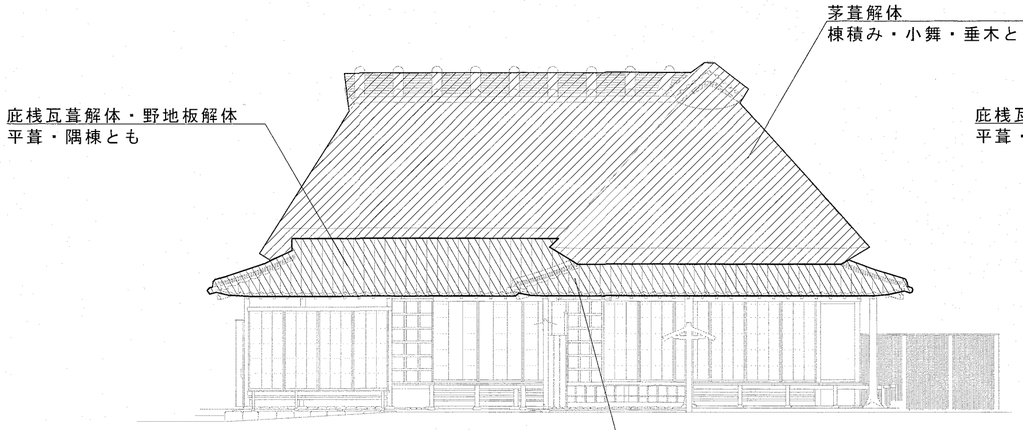
表門素屋根垂直養生求積図

	表門						
2-4-5	棚足場		W × D				
			7.200 m × 1.000 m =	7.200 ㎡	-1		
			7.200 m × 1.000 m =	7.200 ㎡	-2		
			1.300 m × 2.800 m =	3.640 ㎡	-3		
			1.300 m × 2.800 m =	3.640 ㎡	-4		
			H= 2.100 m				
			(Σ1～4) × H=	45.528 m3			m3
			≒	45.5 m3			45.5
	表門						
2-4-6	垂直養生		東西面				
			W × H				
			7.200 m × 3.900 m =	28.080 ㎡	①		
			7.200 m × 3.900 m =	28.080 ㎡	②		
			南北面				
			W × H				
			6.600 m × 3.900 m =	25.740 ㎡	③		
			6.600 m × 1.320 m/ 2 =	4.356 ㎡	④		
			6.600 m × 3.900 m =	25.740 ㎡	⑤		
			6.600 m × 1.320 m/ 2 =	4.356 ㎡	⑥		
			Σ①～⑥ =	116.352 ㎡			㎡
			≒	116 ㎡			116

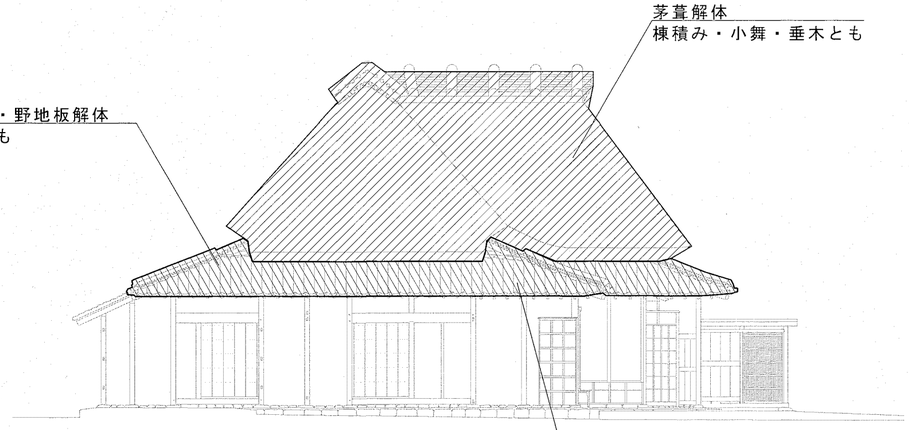
	表門				
2-4-7	登り桟橋		延長	7.308 m	m
			≒	7.3 m	7.3
	表門				
2-4-8	水盛遣方		建築面積	1-4-1参照	㎡
					3.3
	表門				
2-4-9	墨出し		軒面積	1-4-3参照	㎡
					14.5

参考図

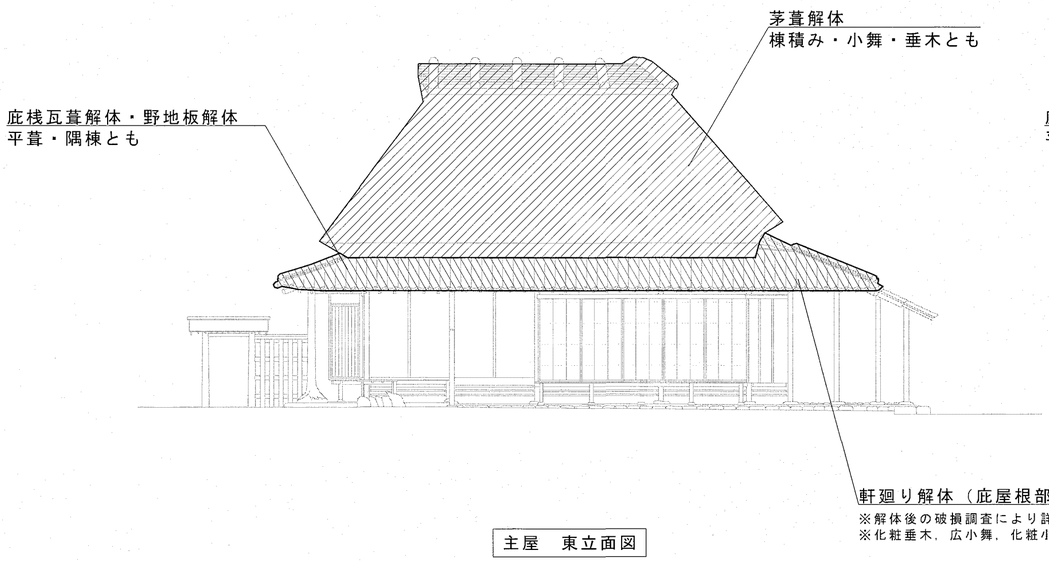
	裏門および水屋は脚立足場	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-51
	設計・監理 (公財) 文化財建造物保存技術協会		図面名 直接仮設工事 (表門) 2 2023/05 縮尺 1/60	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸							



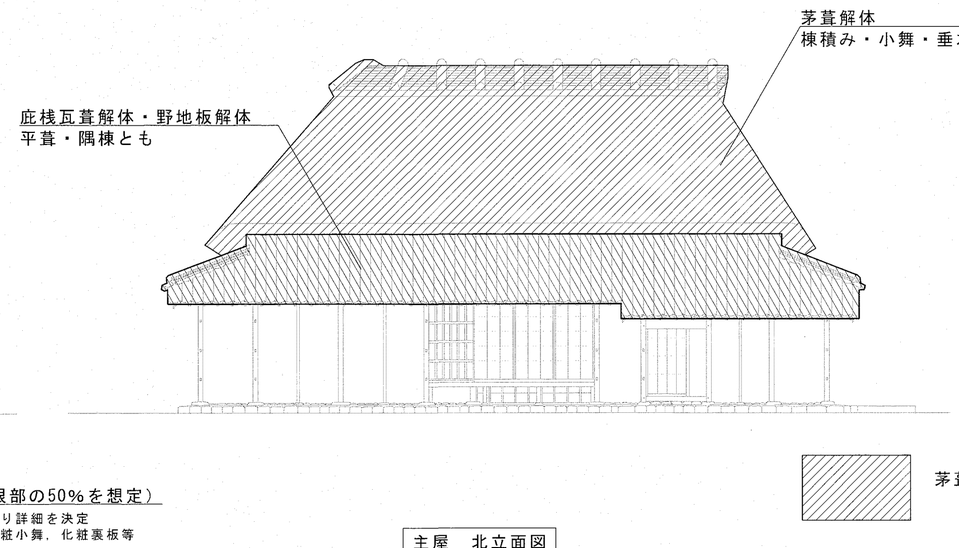
主屋　南立面図



主屋　西立面図



主屋　東立面図



主屋　北立面図

茅葺屋根解体範囲

庇桟瓦屋根解体範囲

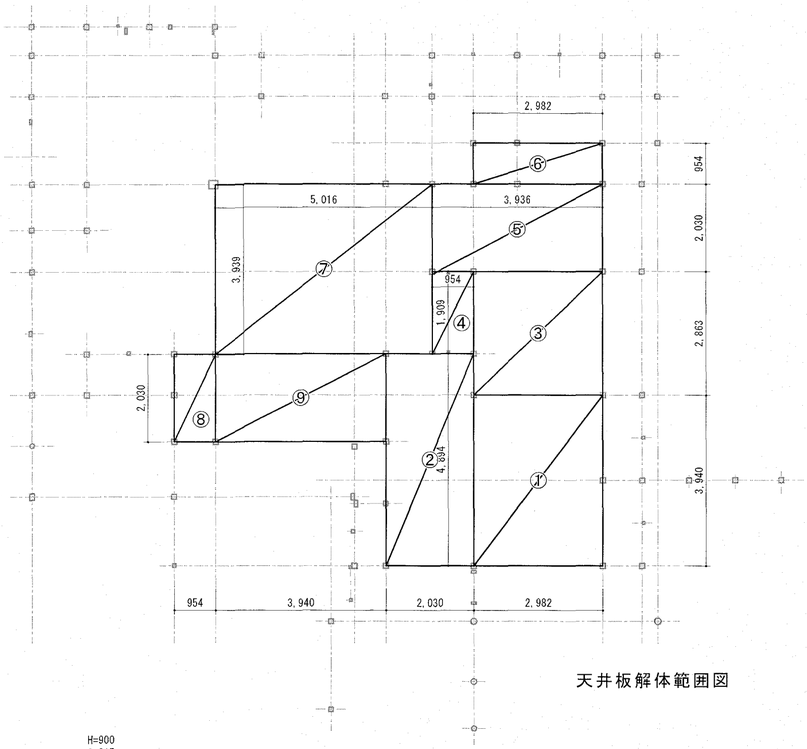
庇屋根軒廻解体
（50%の面積を想定）

※解体した瓦は選別・清掃を行う。選別結果をもとに再用数及び含浸強化処理数量を決定する。
※庇屋根軒廻り解体範囲は、瓦解体後の破損状況により決定する。
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

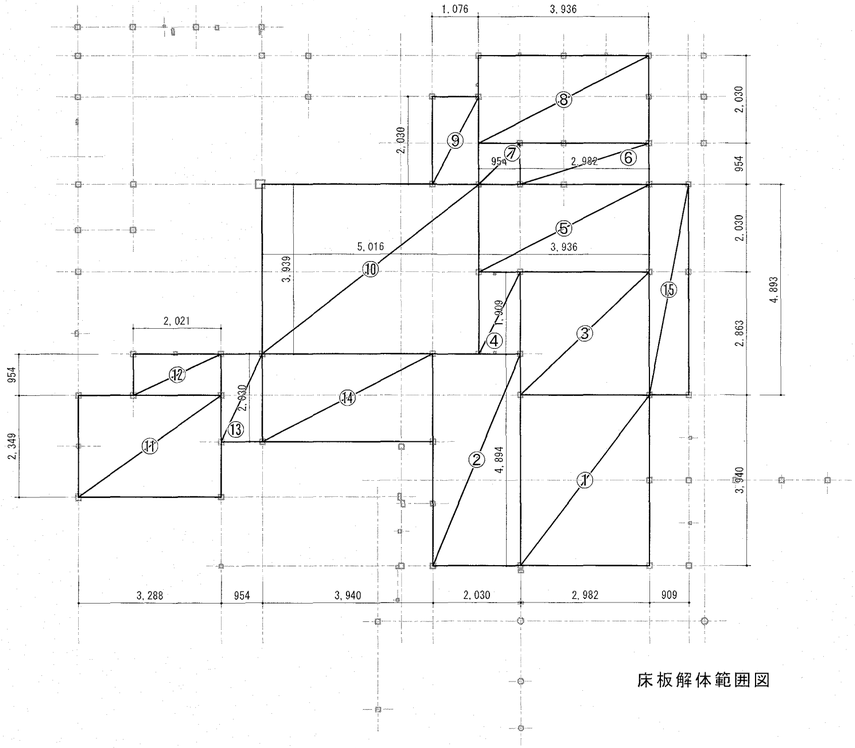
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤		濱口	松木	A-52
図面名　解体工事（主屋）1　2023/8/1　縮尺　1/100	作図　年　月　日				

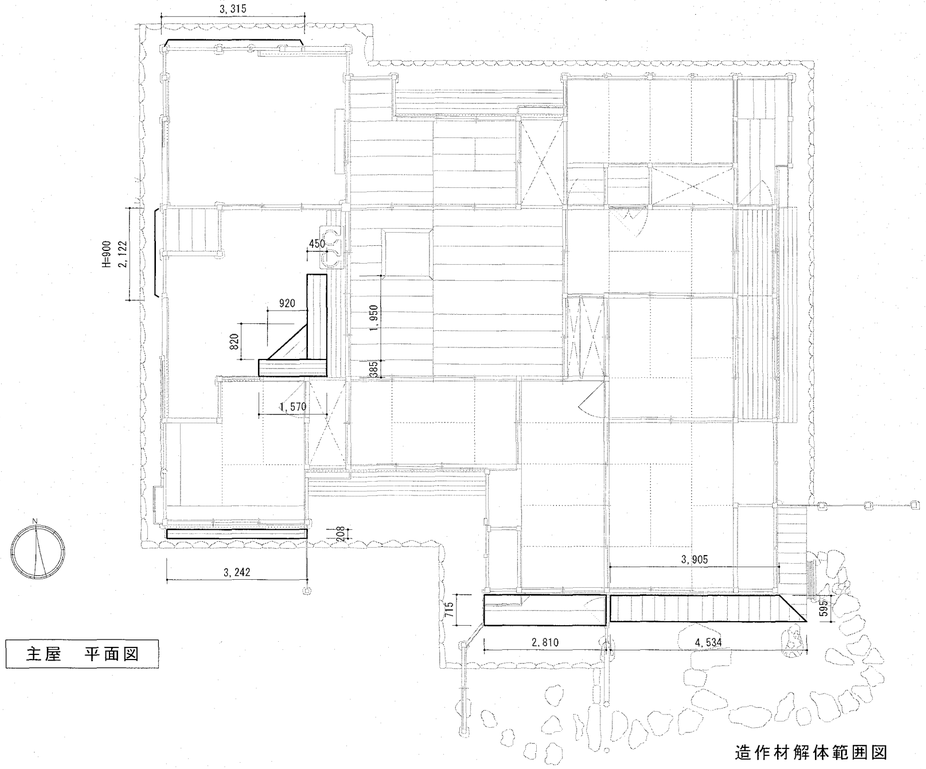
A2：100%、A3：71%、A4：50%



天井板解体範囲図



床板解体範囲図

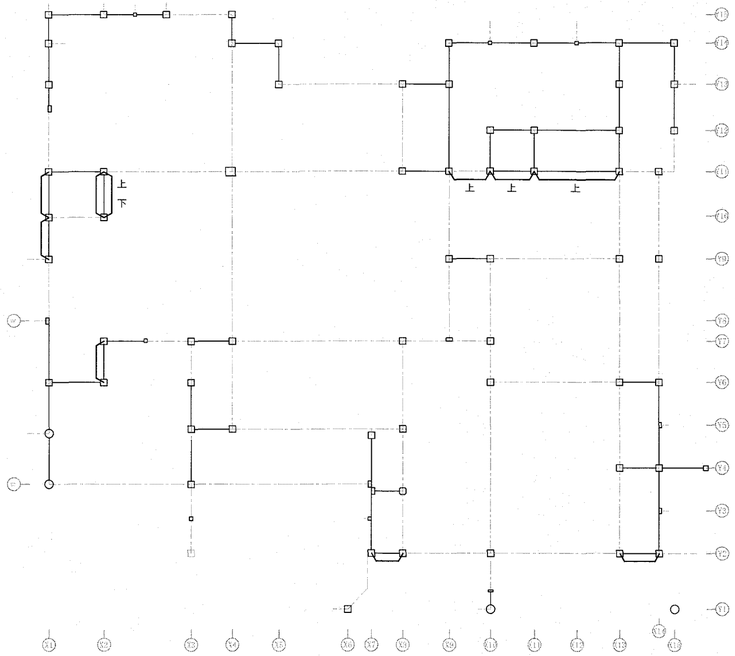


主屋　平面図

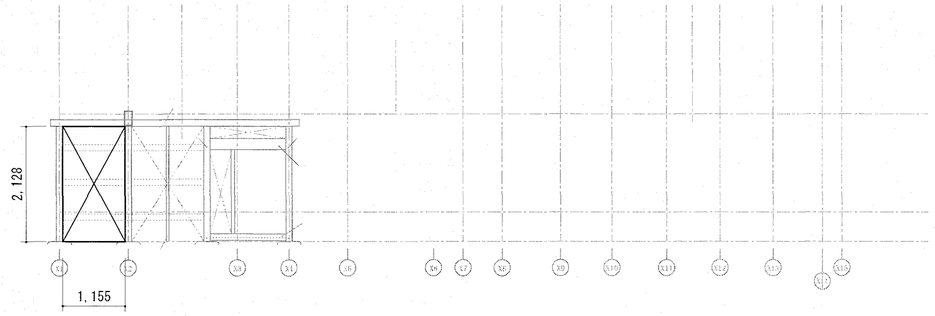
造作材解体範囲図

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	係長 濱口 / 課長補佐 松木 / 課長 岡村	A-53
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　解体工事（主屋）２ 2023/15　縮尺　1/100	作図　年　月　日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸				

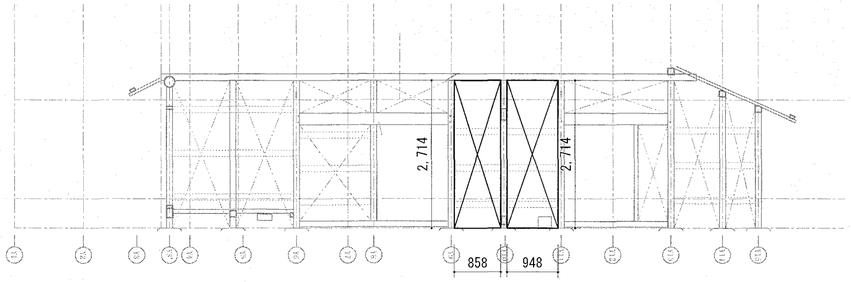
A2：100%、A3：71%、A4：50%



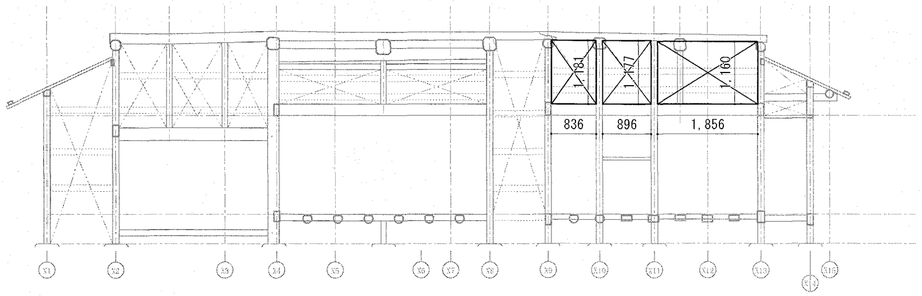
土壁解体範囲図



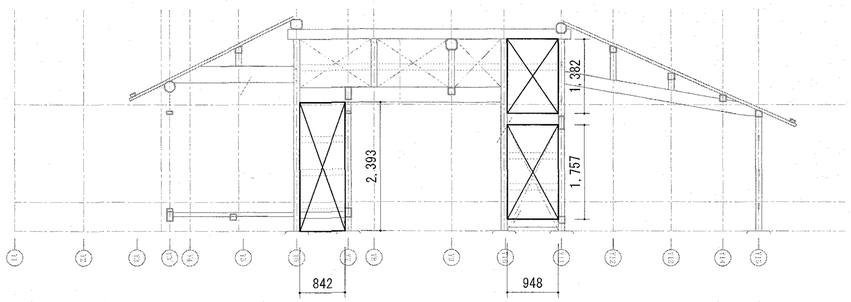
Y15　通り



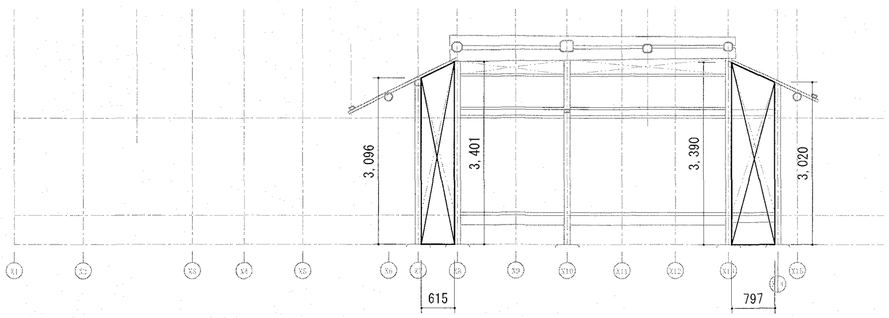
X1　通り



Y11　通り



X2　通り

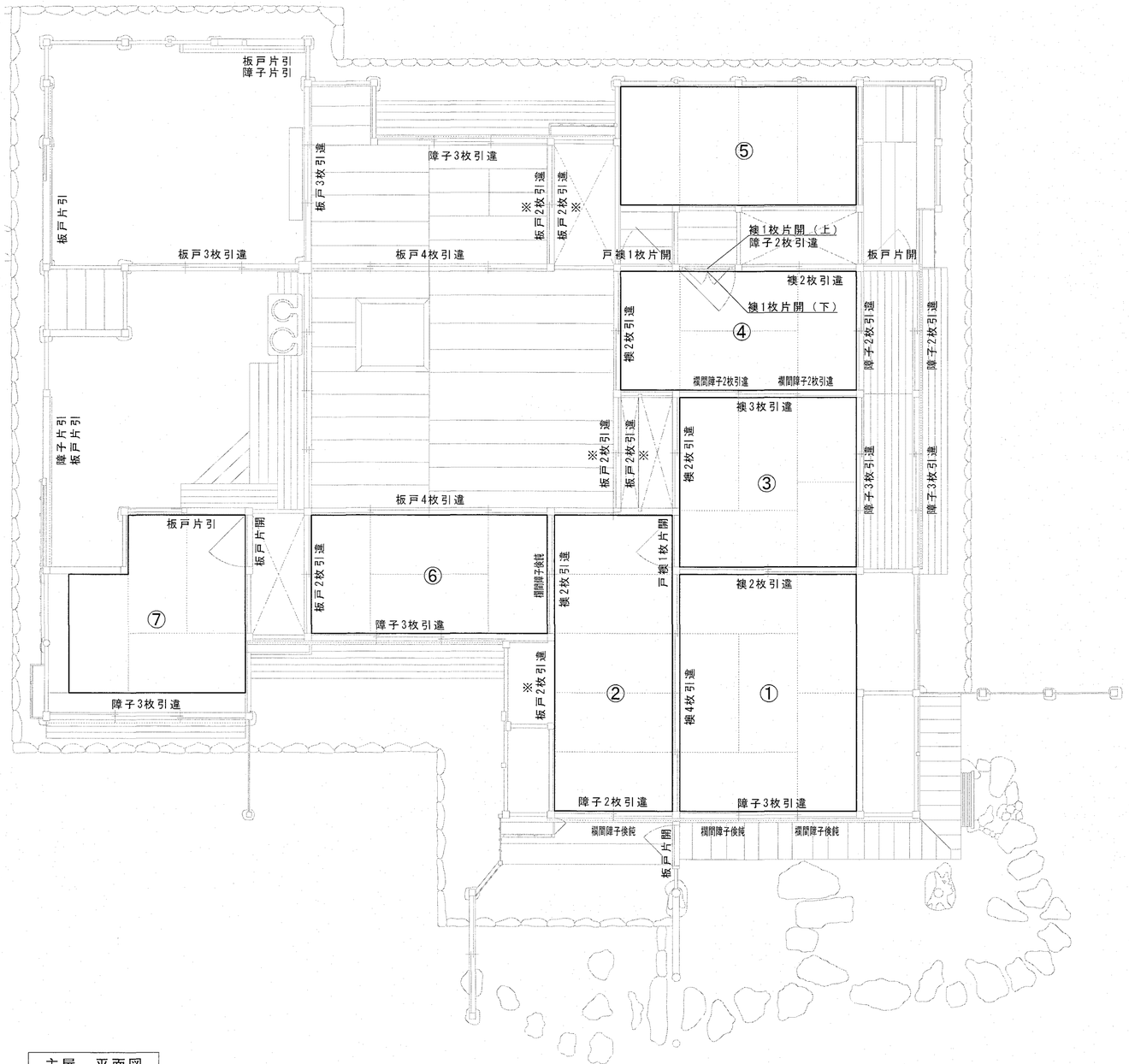


Y2 通り

土壁解体範囲

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会 一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事		濱口	松末		A-54
		図面名　解体工事（主屋）３　2023/05　縮尺　1/80	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



主屋　平面図

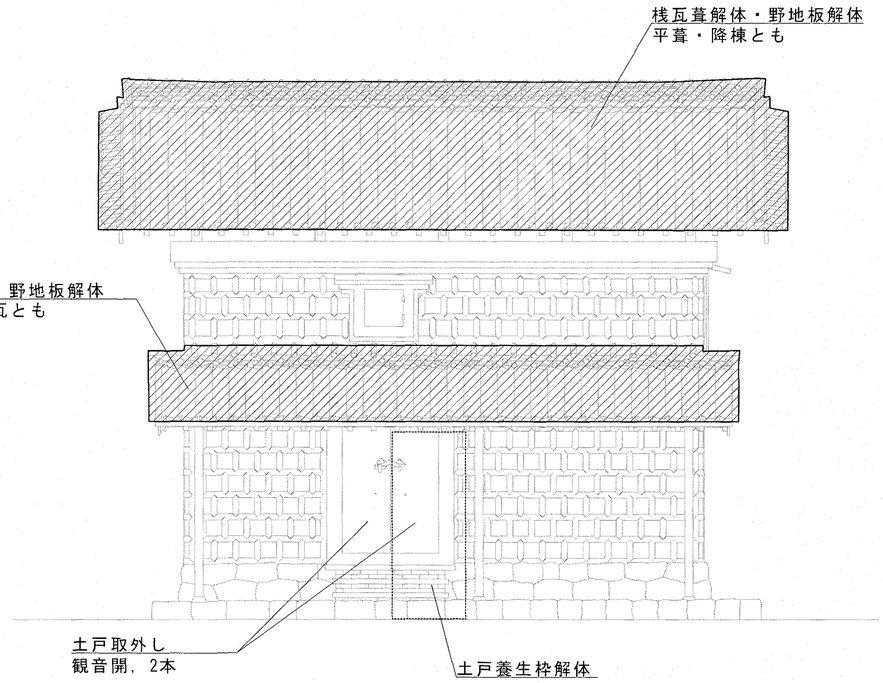
畳取外し（解体工事）及び復旧（雑工事）・建具取外し範囲図

畳格納		ざしき	6	枚	①
		しきだい	5	枚	②
		おく	5	枚	③
		ぶつま	4	枚	④
		おなごべや	4	枚	⑤
		ようのま	4	枚	⑥
		とりのま	4	枚	⑦
					枚
		Σ①～⑦	32	枚	32

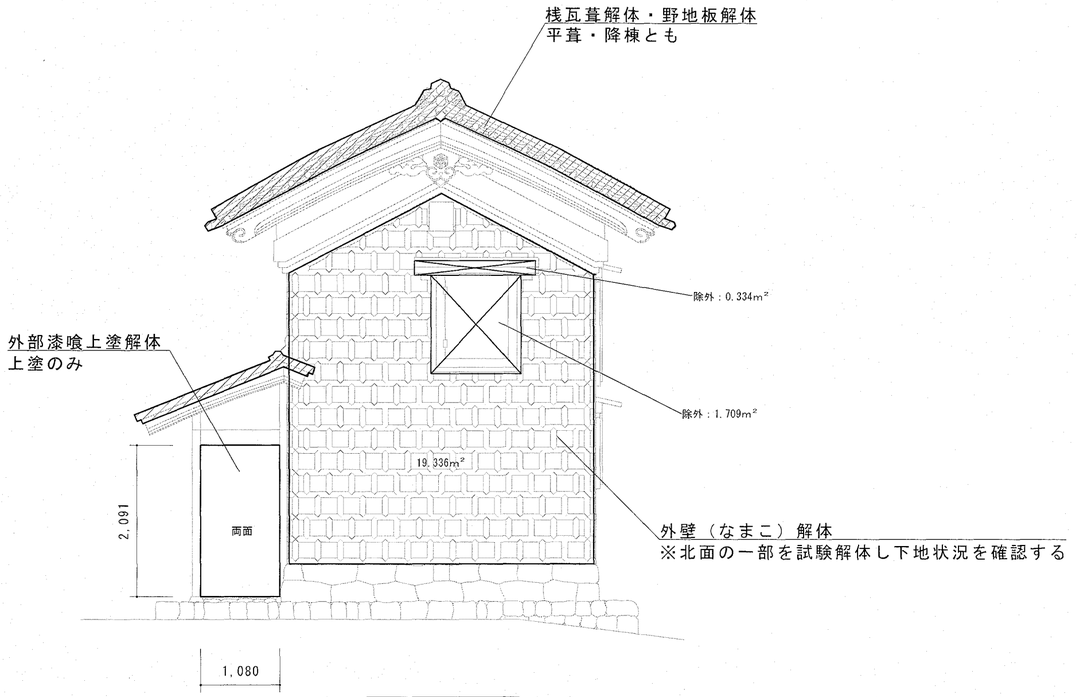
主屋						
建具取外し		襖　2枚引違い	5	ヶ所		
		襖　3枚引違い	1	ヶ所		
		襖　4枚引違い	1	ヶ所		
		襖　片引き	0	ヶ所		
		襖・戸襖　片開き	4	ヶ所		
		障子　2枚引違い	4	ヶ所		
		障子　3枚引違い	6	ヶ所		
		障子　4枚引違い	1	ヶ所		
		障子　倹飩・片引き	6	ヶ所		
		欄間窓障子　2枚引違い	2	ヶ所		
		板戸　2枚引違い	6	ヶ所	※	
		板戸　3枚引違い	2	ヶ所		
		板戸　4枚引違い	2	ヶ所		
		板戸　片引き・片開き	7	ヶ所		
		雨戸　6枚引き	1	ヶ所		
		雨戸　5枚引き	1	ヶ所		
		雨戸　4枚引き	1	ヶ所		
		雨戸　3枚引き	2	ヶ所		
						ヶ所
			52	ヶ所		52
		※板戸２枚引違のうち、3ヶ所は補修を行わないが、取外し・建て込み調整を行う				

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松本	岡村	A-55
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　解体工事（主屋）4　20221/05　縮尺　1/60	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸							

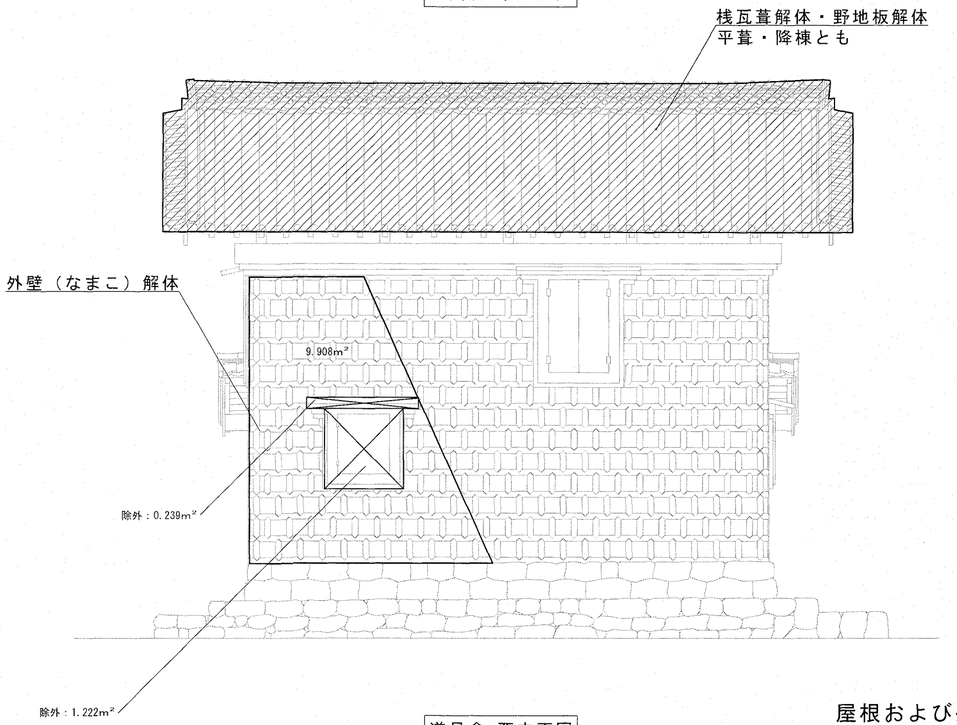
A2：100%、A3：71%、A4：50%



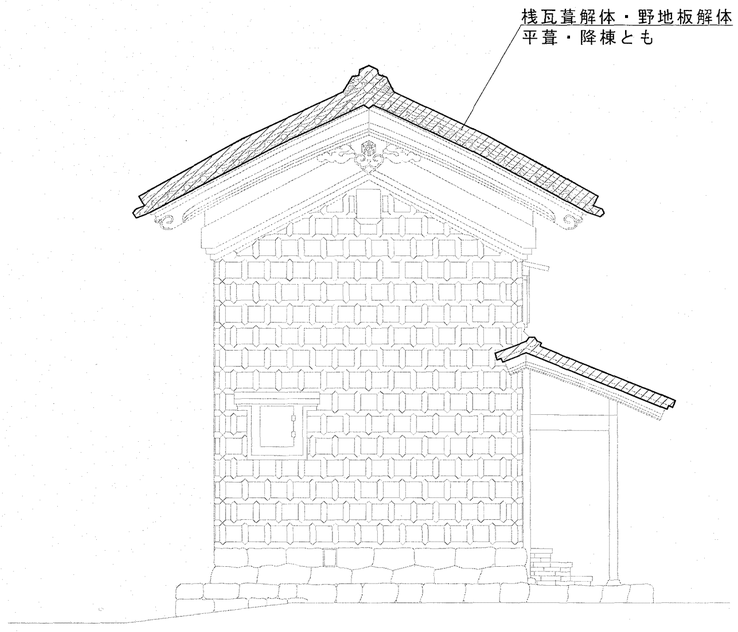
道具倉 東立面図



道具倉 北立面図



道具倉 西立面図

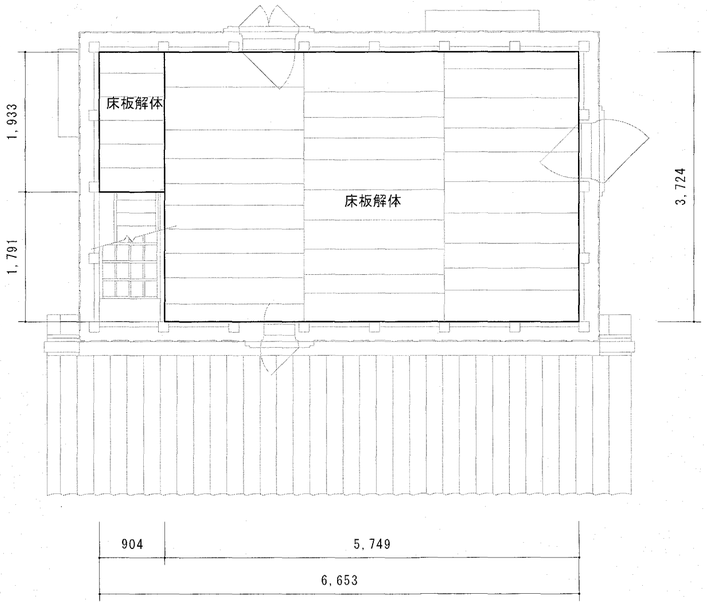


道具倉 南立面図

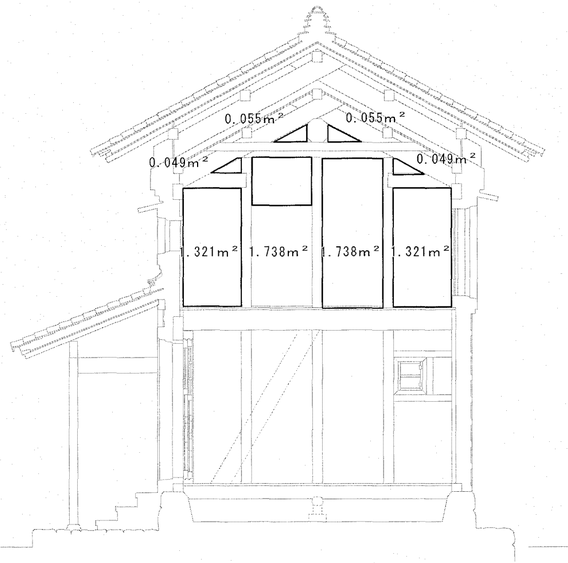
屋根および外壁解体範囲図

桟瓦屋根解体範囲

	※解体した瓦は選別・清掃を行う。選別結果をもとに再用数及び含浸強化処理数量を決定する。	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松本	岡村	A-56
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		図面名 解体工事（道具倉）1 2023/05	縮尺 1/60	作図	年	月	日
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸							

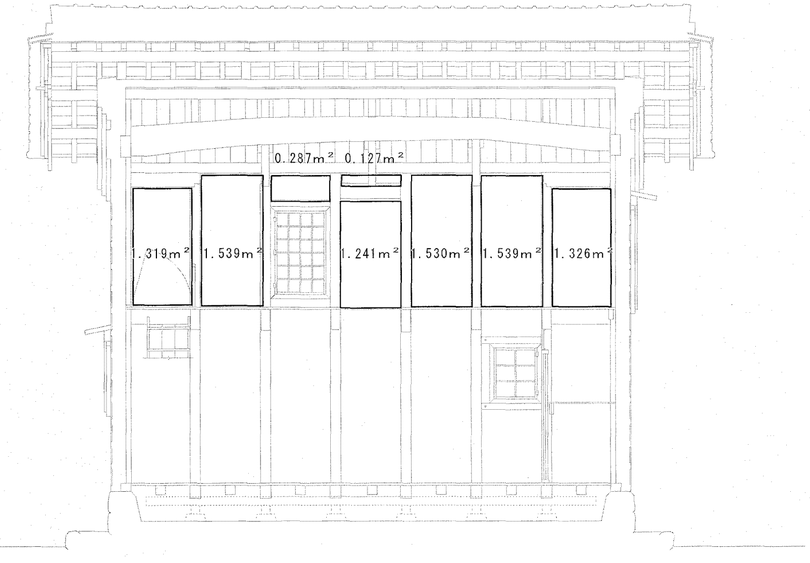


道具倉 2階平面図



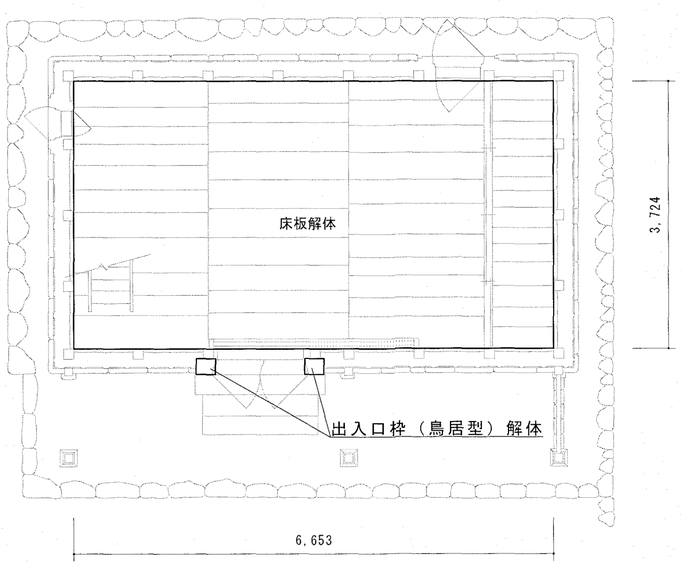
南面

道具倉 梁間断面図



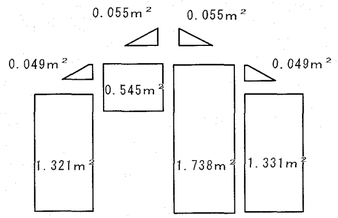
西面

道具倉 桁行断面図

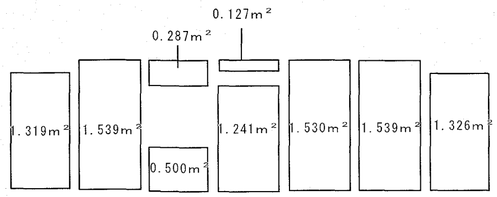


道具倉 1階平面図

床板解体範囲図



北面

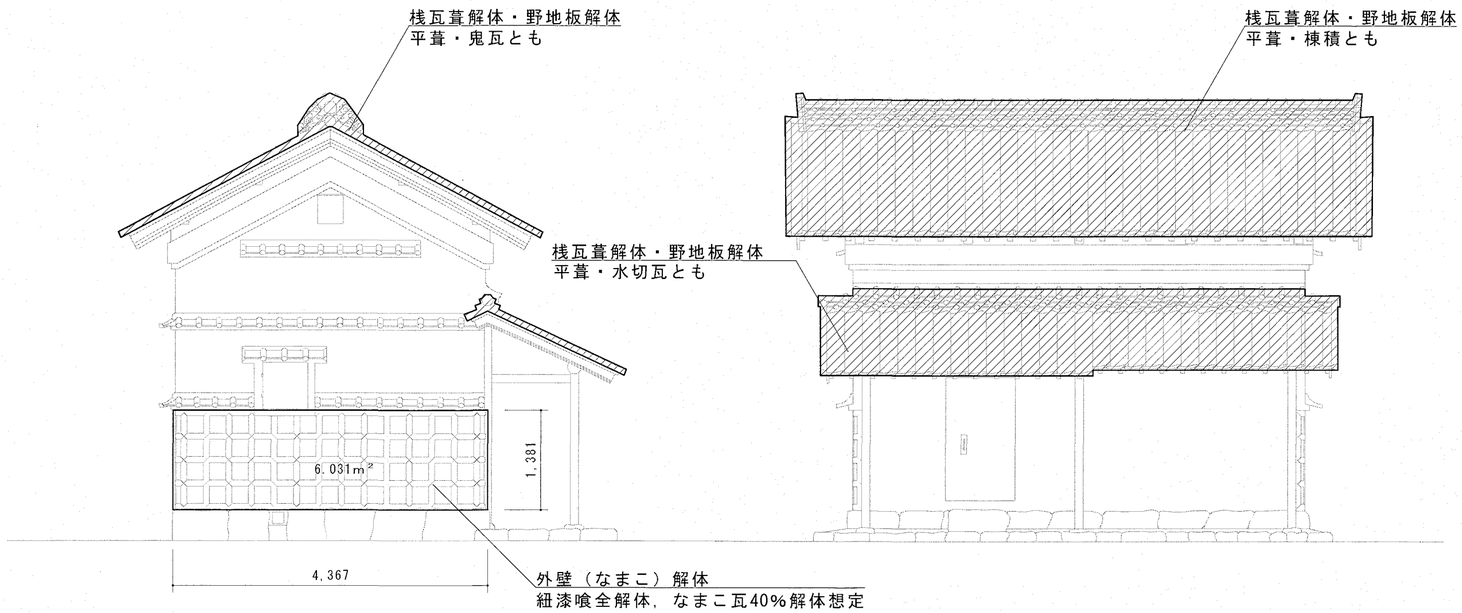


東面

内部鼠漆喰上塗解体範囲図

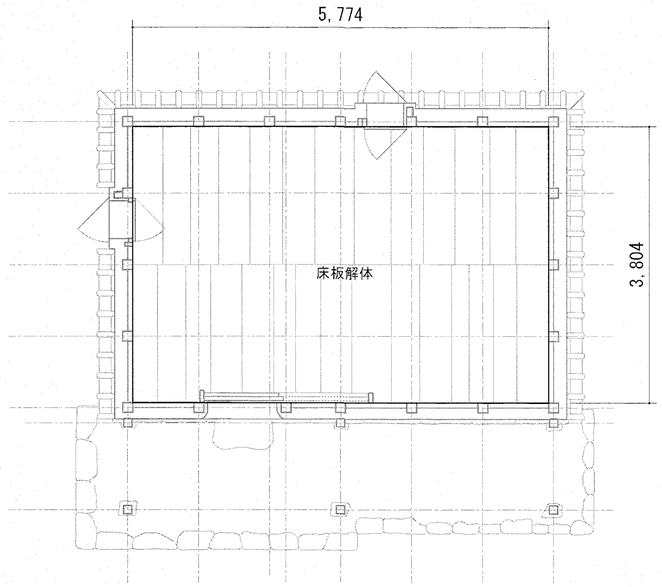
		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事		浅田	松木	岡村	A-57
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			図面名 解体工事（道具倉）2 2023/03 縮尺 1/60	作図 年 月 日				
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸								

A2：100%、A3：71%、A4：50%



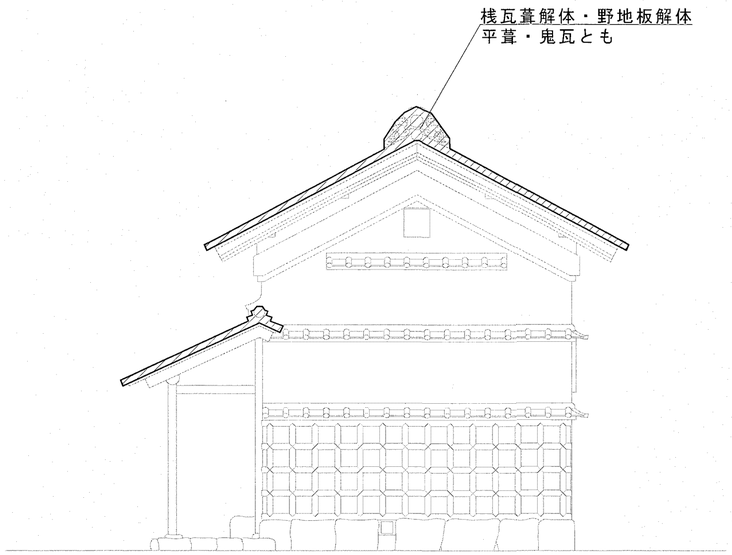
米倉　南立面図

米倉　東立面図

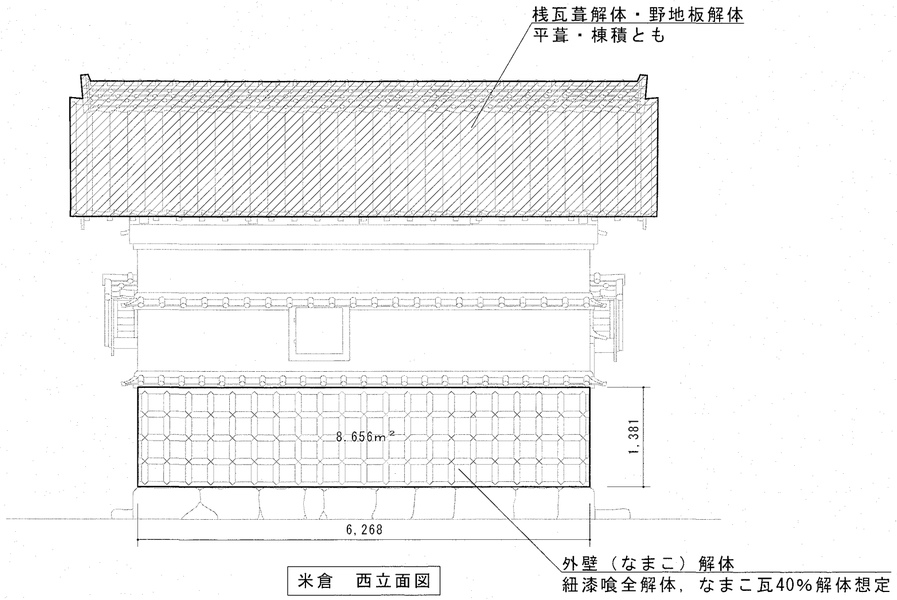


米倉　平面図

床板解体範囲図



米倉　北立面図



米倉　西立面図

屋根および外壁解体範囲図

桟瓦屋根解体範囲

※解体した瓦は選別・清掃を行う。選別結果をもとに再用数及び含浸強化処理数量を決定する。

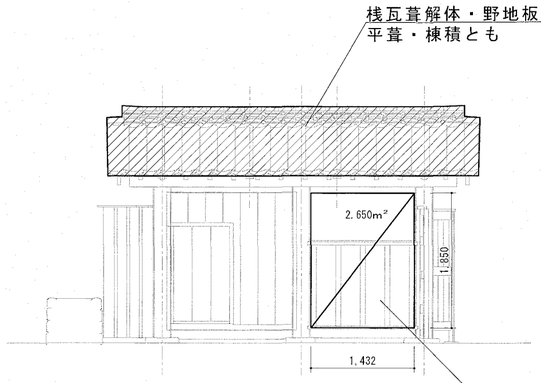
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

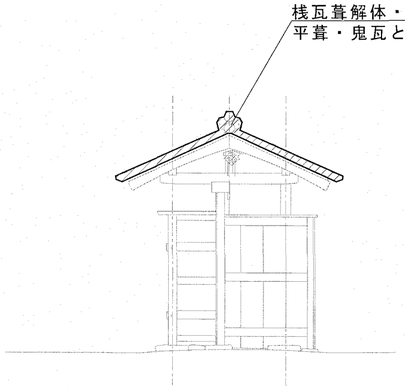
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	濱口	松木	岡村	A-58
図面名　解体工事（米倉）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

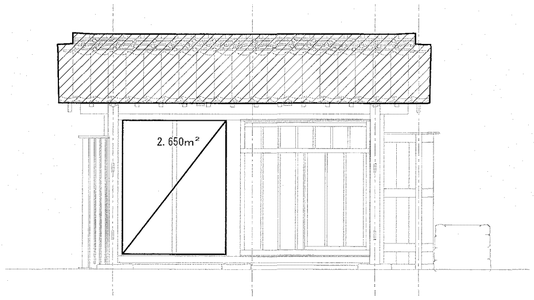
A2：100%、A3：71%、A4：50%



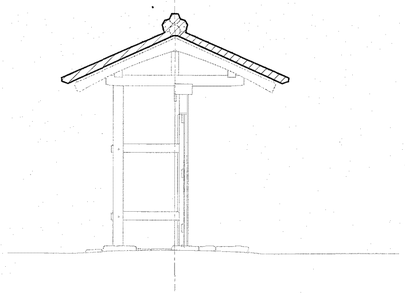
表門　東立面図



表門　南立面図



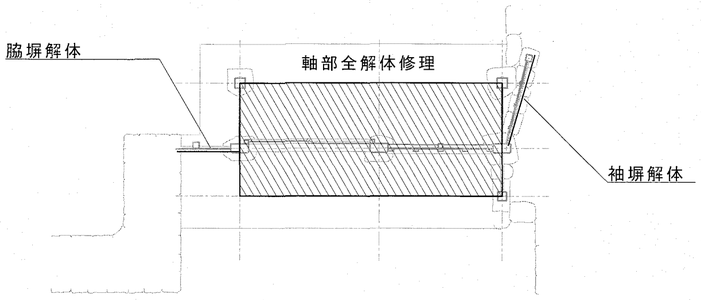
表門　西立面図



表門　北立面図

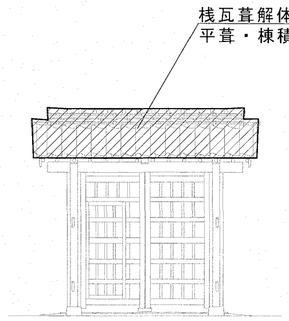
屋根および外壁解体範囲図

桟瓦屋根解体範囲

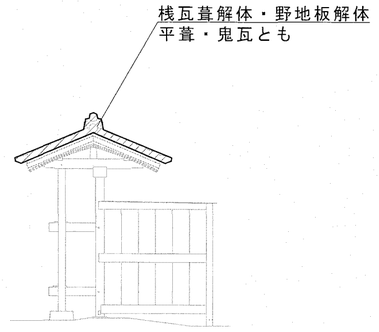


表門　平面図

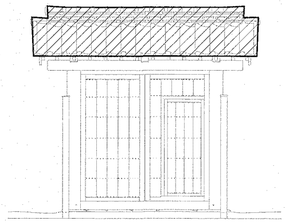
軸部解体範囲図



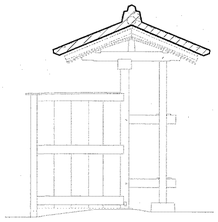
裏門　東立面図



裏門　北立面図



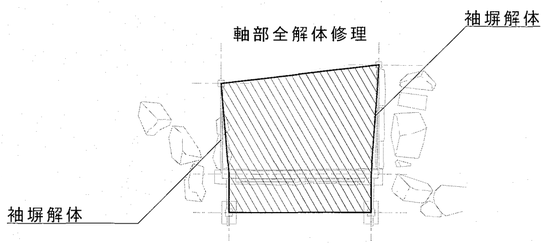
裏門　西立面図



裏門　南立面図

屋根解体範囲図

桟瓦屋根解体範囲



裏門　平面図

軸部解体範囲図

※解体した瓦は選別・清掃を行う。選別結果をもとに再用数及び含浸強化処理数量を決定する。

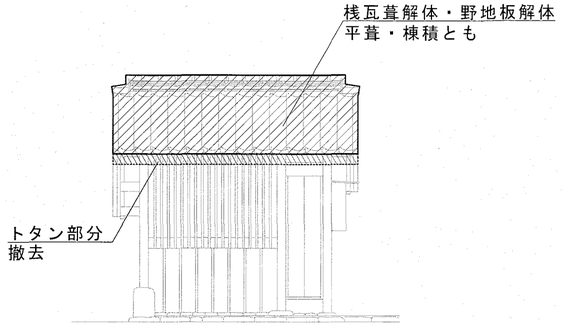
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

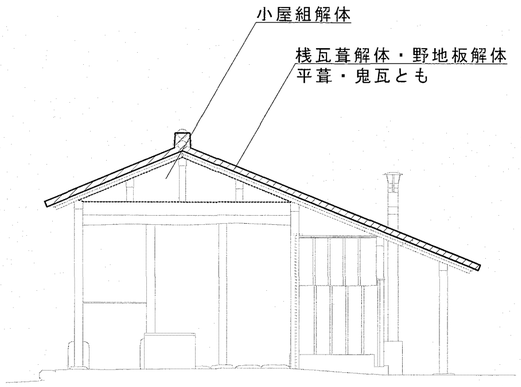
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-59
図面名　解体工事（表門・裏門）2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

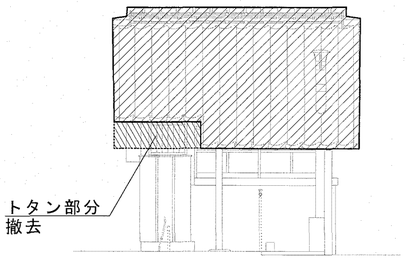
A2：100%、A3：71%、A4：50%



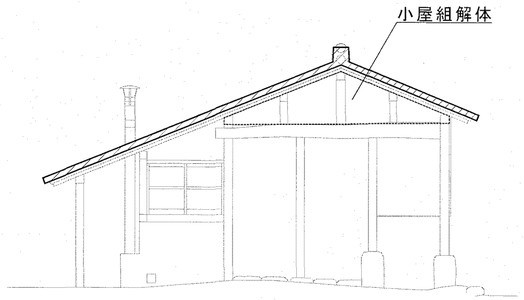
水屋　南立面図



水屋　西立面図



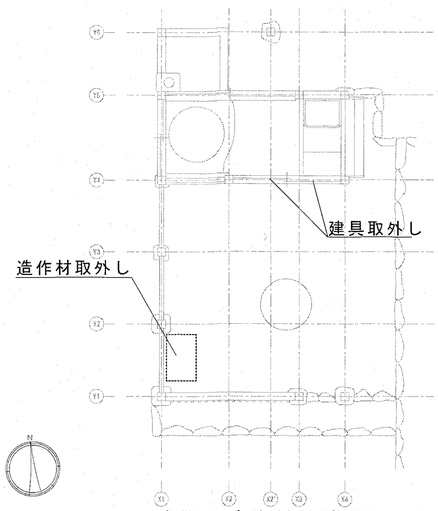
水屋　北立面図



水屋　東立面図

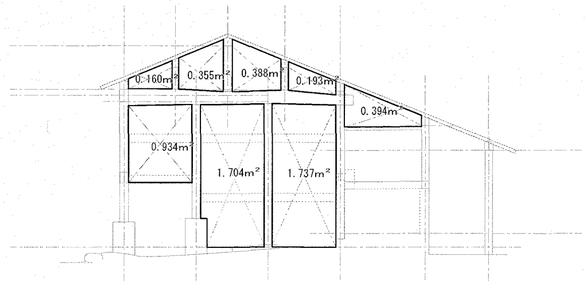
屋根解体範囲図

桟瓦屋根解体範囲

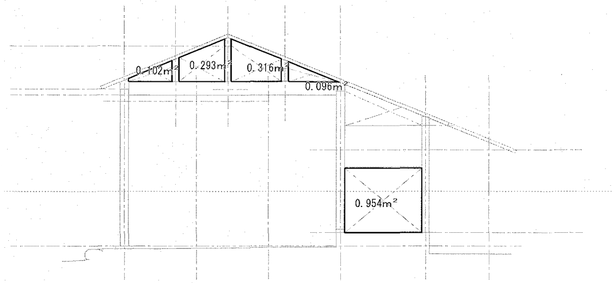


水屋　平面図

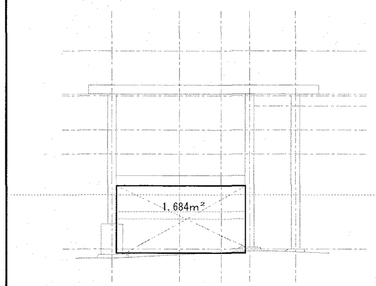
建具・造作材解体範囲図



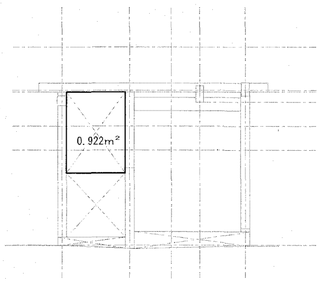
X1　通り



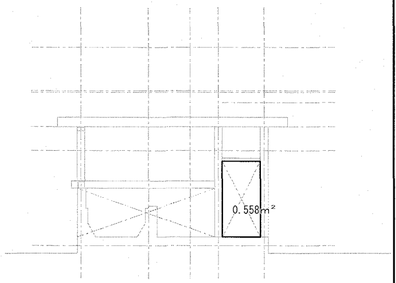
X4　通り



Y1　通り



Y4　通り



Y5　通り

外壁解体範囲図

※解体した瓦は選別・清掃を行う。選別結果をもとに再用数及び含浸強化処理数量を決定する。

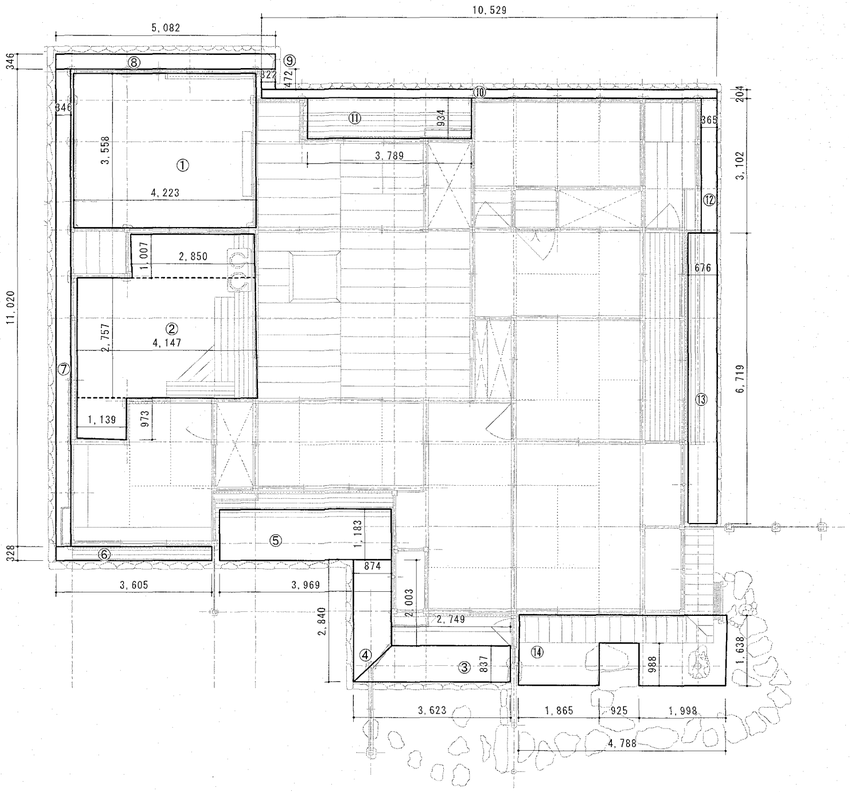
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-60
図面名　解体工事（水屋）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

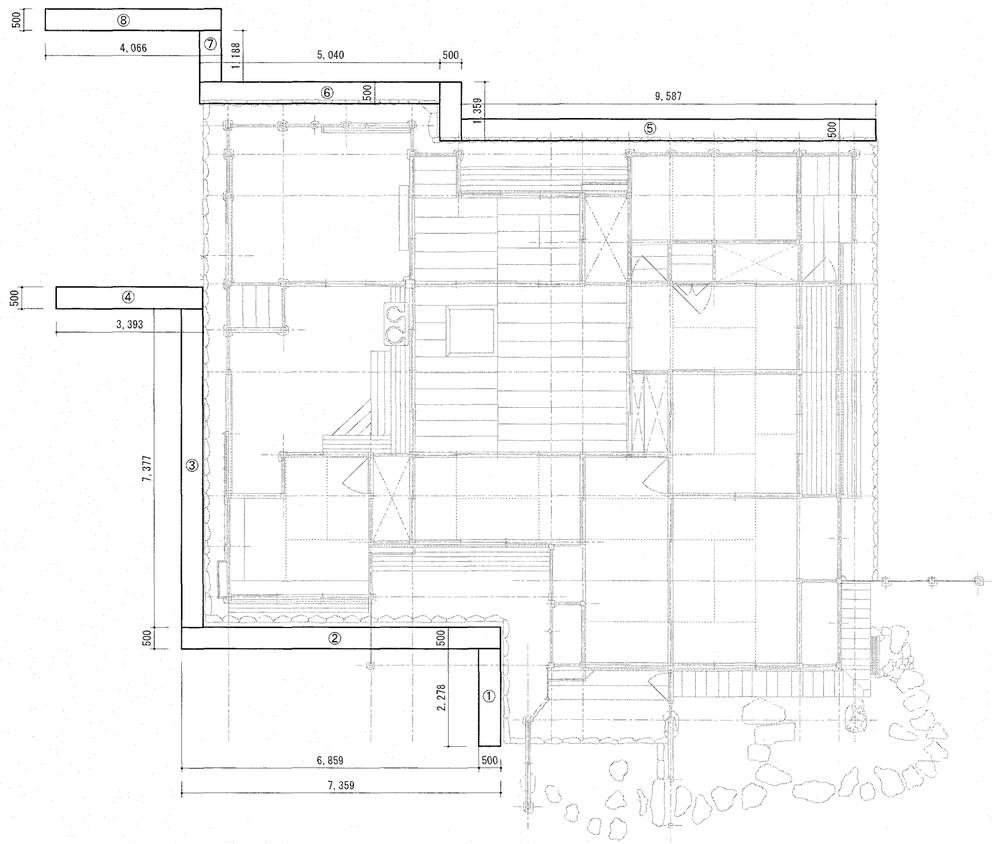
A2：100%、A3：71%、A4：50%



土間叩き撤去・復旧範囲図

①～②	土間叩き
③～⑬	縁下・軒下叩き
⑭	軒下洗い出し

※土間および軒下叩きは、厚100㎜程度を解体し、復旧する。
※叩き復旧にあたっては、土、石灰、苦汁の配合比を確認するため
　試験施工を行う（各棟共通）

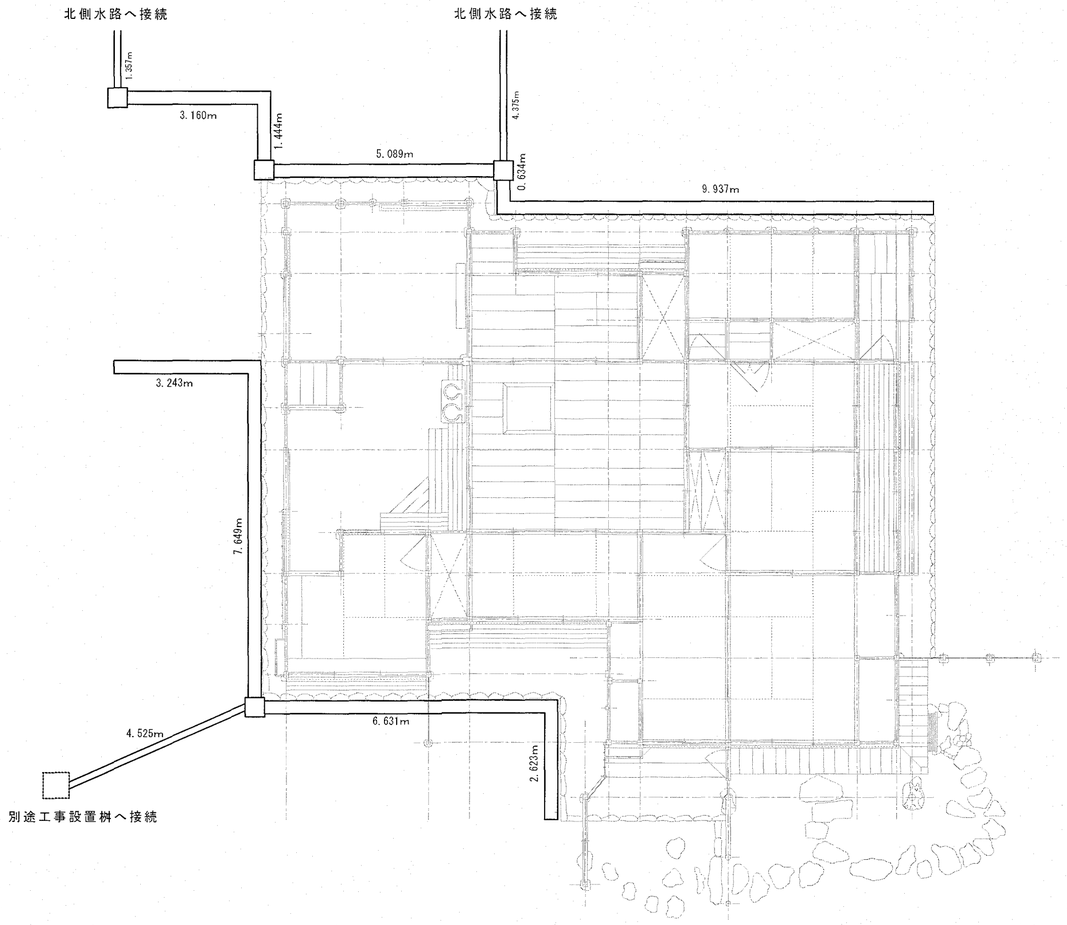


雨水排水整備（地盤鋤取り）範囲図

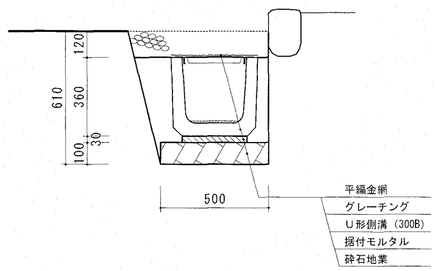
※地盤鋤取りは厚120㎜程度。雨水排水溝敷設完了後、砂利敷を整備する。

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濵口	松木	畑村	A-61
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　基礎工事（主屋）1　1073/135　縮尺　1/100	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%



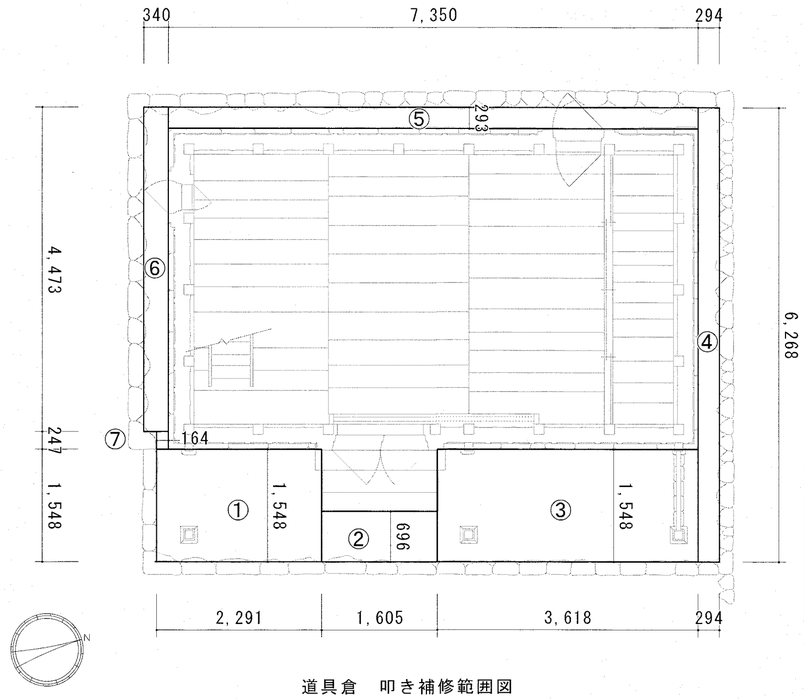
雨水排水整備（側溝・雨水排水桝）範囲図



側溝敷設概念図（S＝1/20）

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-62
		図面名　基礎工事（主屋）２ 2022/05　縮尺　1/100・20	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



道具倉		
土間叩き撤去		厚100㎜程度
残土処分		
土間叩き		厚100㎜程度

道具倉　叩き補修範囲図

道具倉 1階平面図　S=1/60

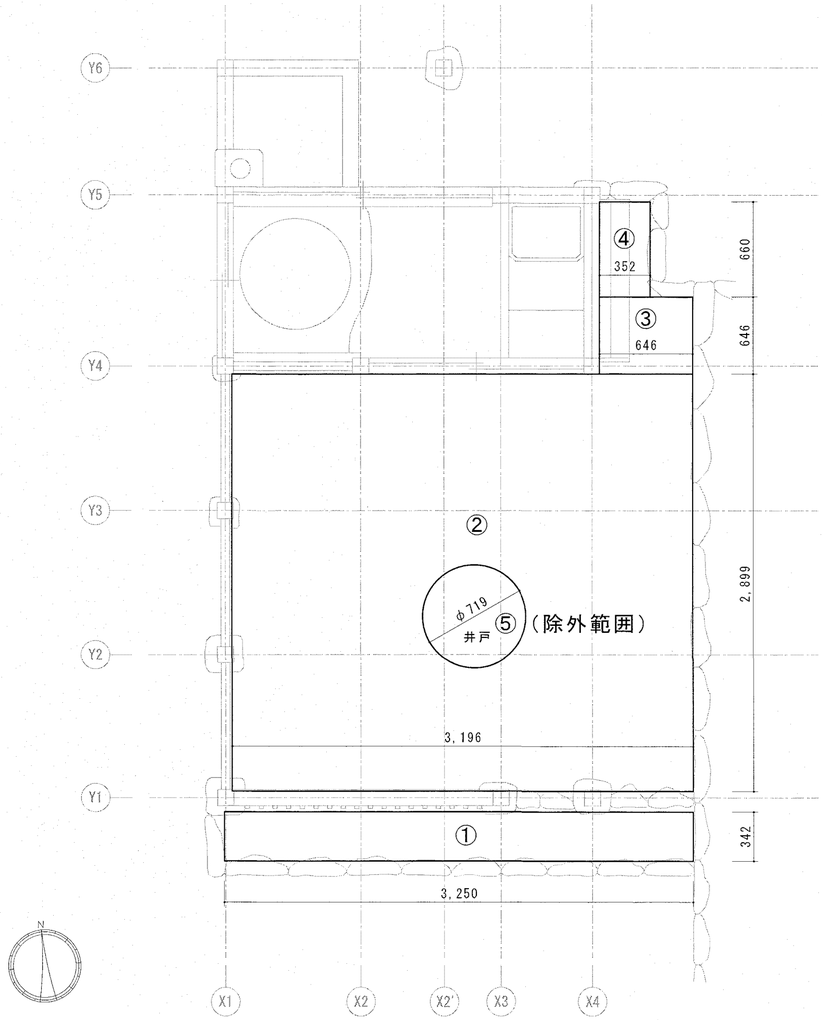
①～⑦　土間叩き

米倉		
土間叩き撤去		厚100㎜程度
残土処分		
土間叩き		厚100㎜程度

米倉　叩き補修範囲図

米倉　平面図　S=1/60

①～④　土間叩き



水屋　土間叩き補修範囲図

水屋　平面図　S=1/30

①～⑤　土間叩き

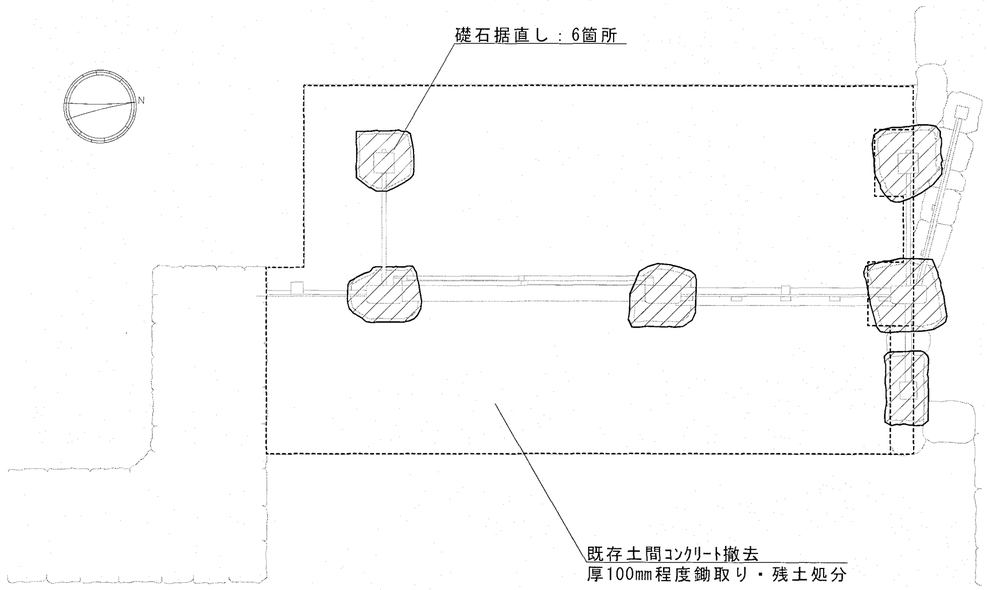
水屋		
土間叩き補修		
土間コン撤去		仕上げ面より厚100㎜程度鋤取り
残土処分		
庇下叩き		厚100㎜程度

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸	

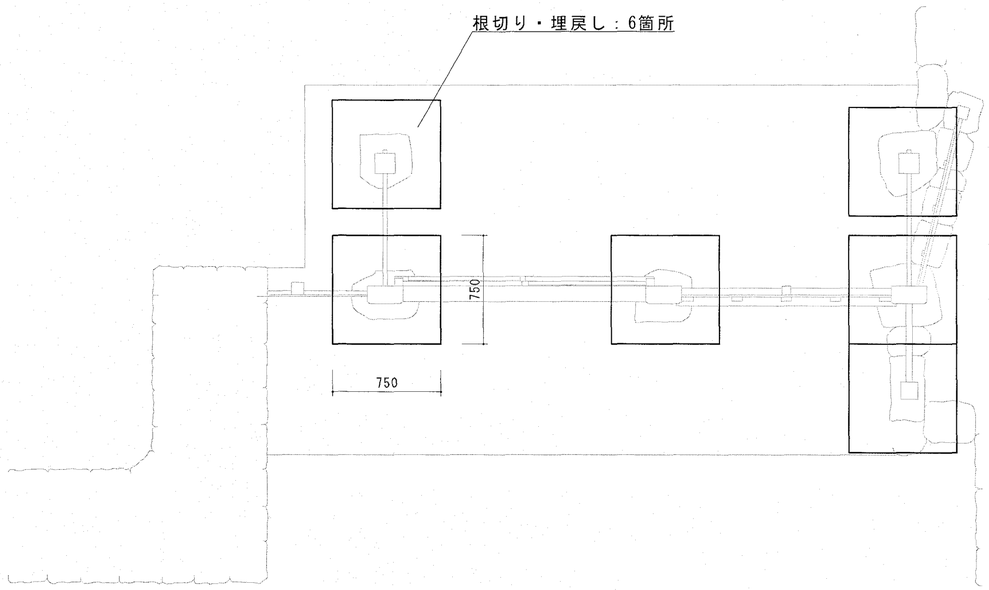
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口		松木	岡	A-63
図面名　基礎工事（道具倉・米倉・水屋）2023/05　縮尺　1/60・30	作図　年　月　日				

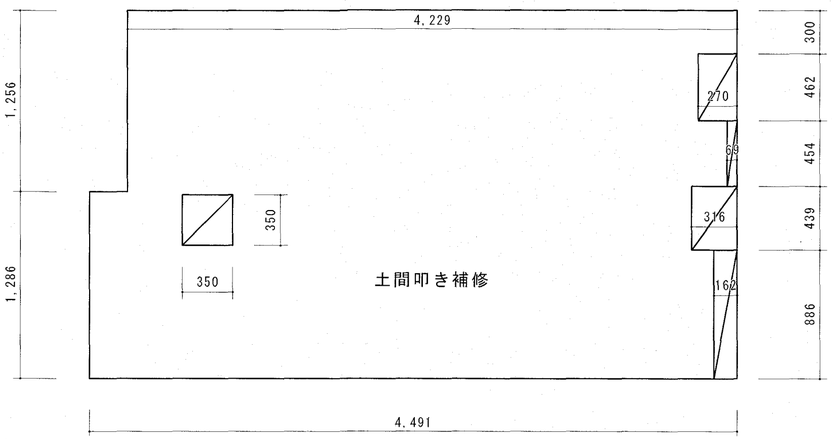
A2：100%、A3：71%、A4：50%



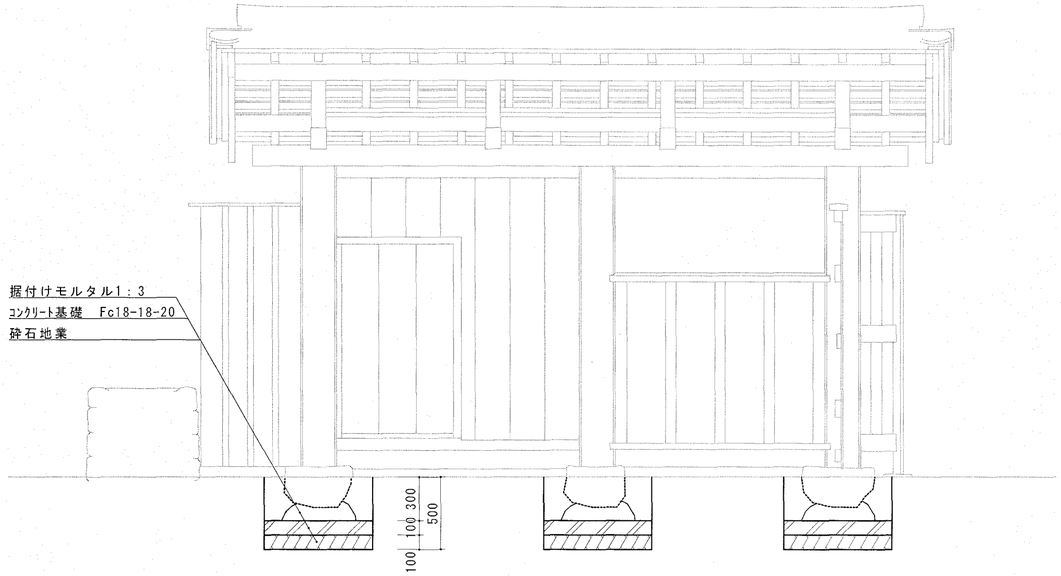
礎石据直し及び既存土間コンクリート撤去範囲図　　表門　平面図



表門　平面図



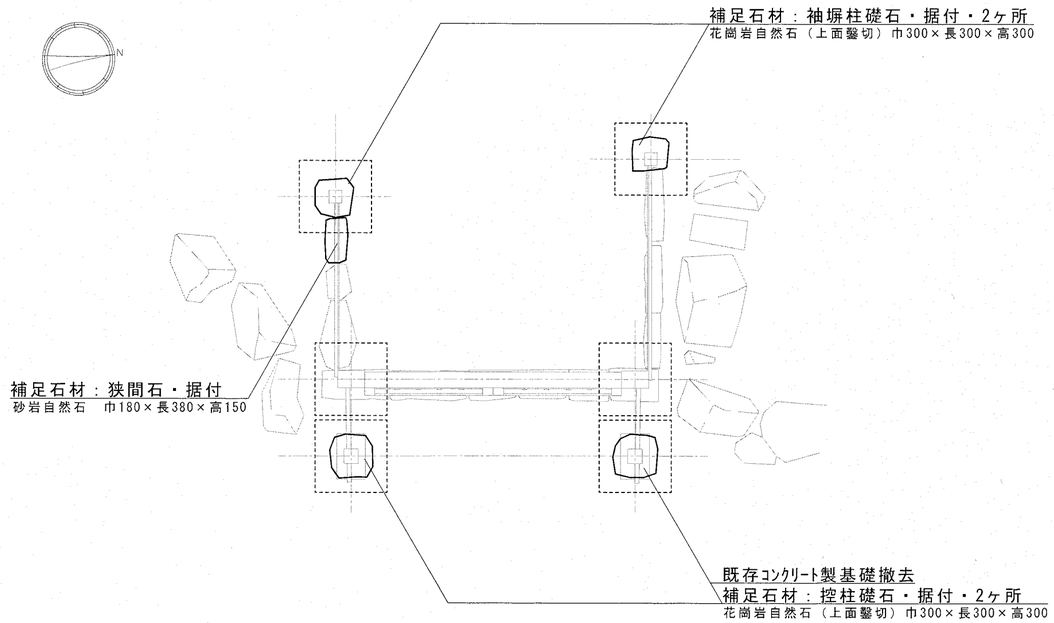
土間叩き補修範囲求積図



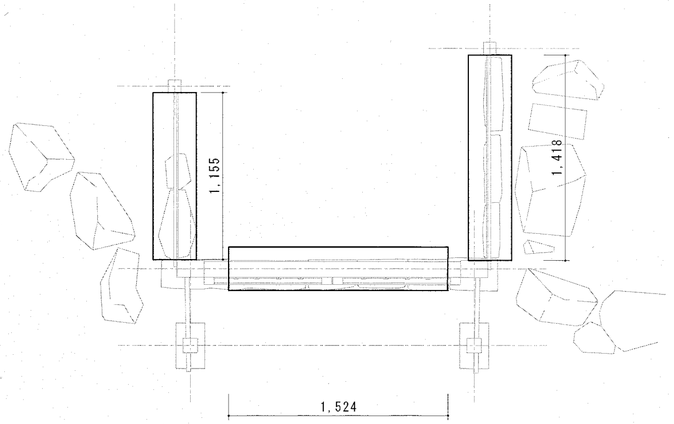
礎石据直し基礎造成要領図　　表門　東立面図

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松木	岡村	A-64
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		図面名　基礎工事（表門）　2023/05　縮尺　1/30	作図	年	月	日	

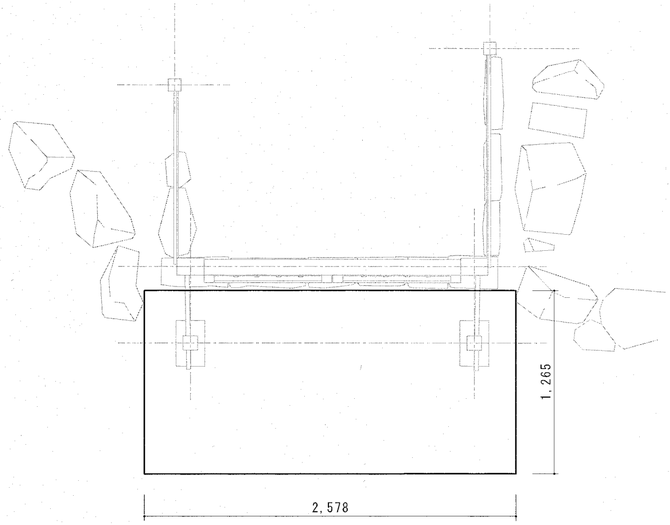
A2：100%、A3：71%、A4：50%



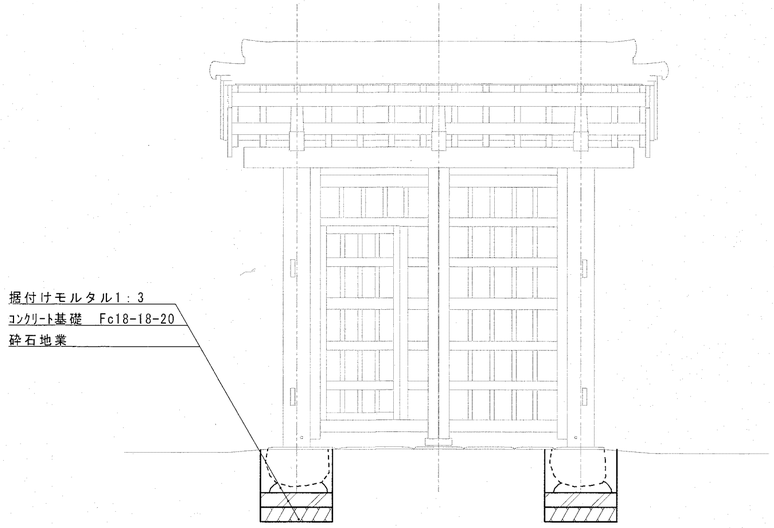
裏門　平面図



狭間石据直し範囲図



土間叩き補修範囲図



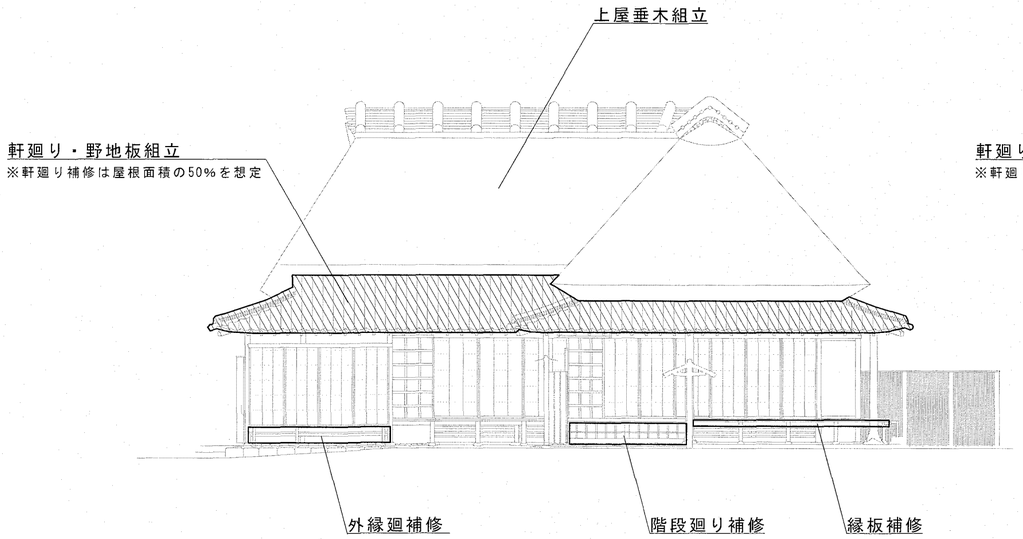
補足石材および礎石据直し範囲図

裏門　東立面図

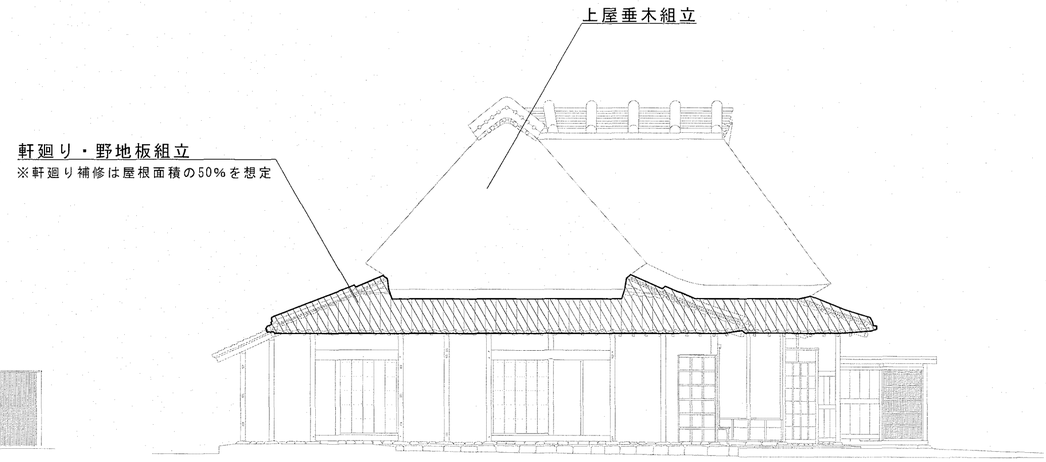
裏門		
土間叩き補修		
土間コン撤去		仕上げ面より厚100㎜程度鋤取り
残土処分		
庇下叩き		厚100㎜程度

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸		重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-65
		図面名　基礎工事（裏門）　2022/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				

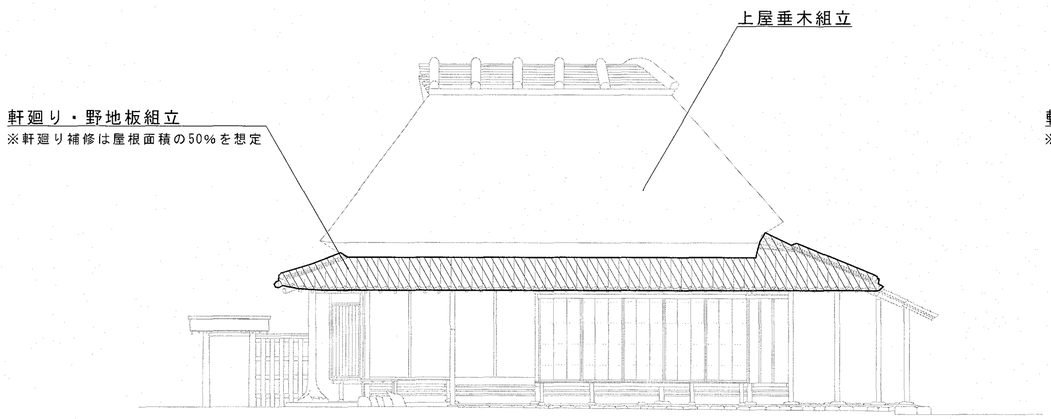
A2：100%、A3：71%、A4：50%



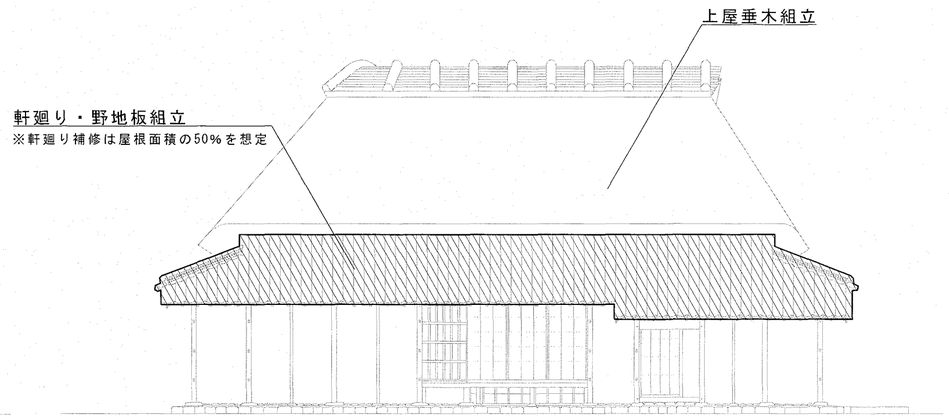
主屋　南立面図



主屋　西立面図



主屋　東立面図



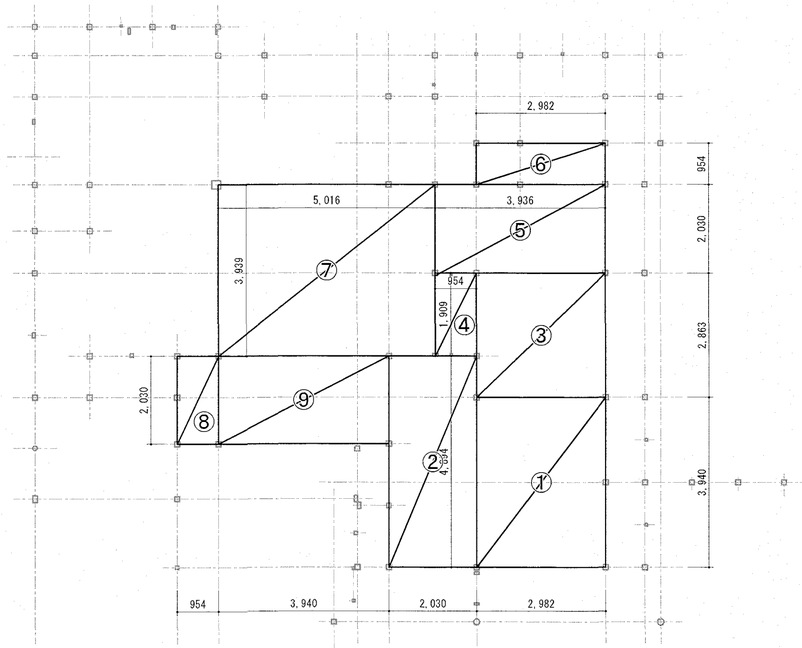
主屋　北立面図

庇屋根組立範囲

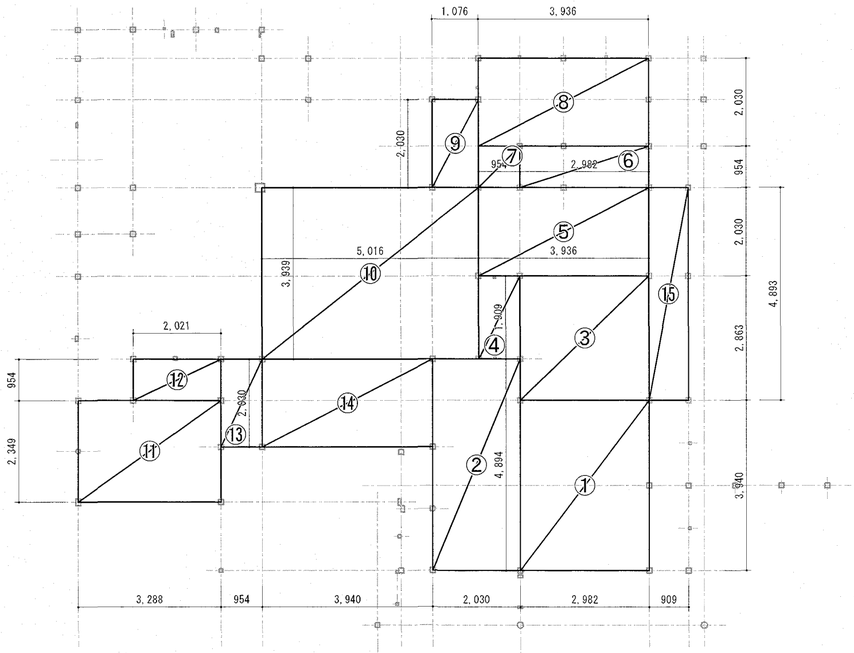
庇屋根軒廻組立
（50%の面積を想定）

	※化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	※庇屋根軒廻り補修範囲は、瓦解体後の破損状況により決定した範囲とする。		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濱口	松末	岡村	A-66
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　木工事（主屋）1　2022/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸							

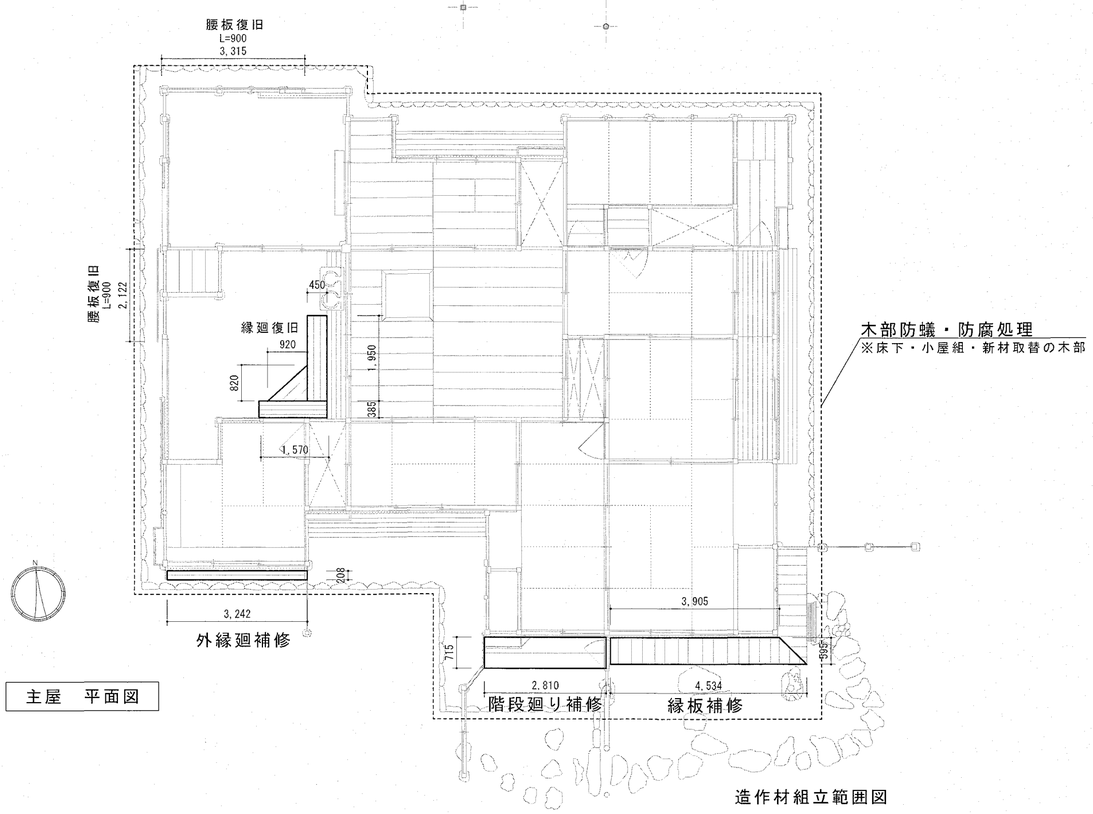
A2：100%、A3：71%、A4：50%



天井板組立範囲図



床板組立範囲図



主屋　平面図

木部防蟻・防腐処理
※床下・小屋組・新材取替の木部

造作材組立範囲図

大工作業数量表

名　称	摘　要	員　数	備　考
大工	原寸		
	古材繕い		
	新材加工 化粧材	2.1543 m3	化粧材補足木材積
	新材加工 野物材	0.7304 m3	野物材補足木材積
	庇 野地板組立		
	庇 軒廻り組立		
	上屋 垂木組立		
	天井板組立		
	床板組立		
	造作組立		

普通作業員作業数量表

名　称	摘　要	員　数	備　考
普通作業員	大工手元		
	古色塗り	2.1543 m3	化粧材補足木材積
	焼印押し	2.8847 m3	補足木材積
	小運搬		

主屋			
金属資材		丸釘，金物等（N50，C150）	
		和釘等	
		巻頭1.2寸	100　本
		巻頭2.0寸	100　本
		巻頭2.5寸	240　本
		巻頭3.0寸	240　本
		巻頭4.0寸	120　本
主屋			
木部防腐・防蟻処理			

化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤	浅	松	池村	A-67
図面名　木工事（主屋）２　2023/05　縮尺　1/100	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%

木材明細附表 ①　　主屋　化粧材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	主屋 柱	0.115	0.045	1.000	0.0052	0.121	0.048	1.200	0.0070	5	0.0350	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
2	主屋 桁	0.125	0.045	1.500	0.0084	0.131	0.048	1.800	0.0113	8	0.0904	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
3	主屋 軒桁	0.125	0.125	2.400	0.0375	0.131	0.131	2.880	0.0494	2	0.0988	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
4	主屋 隅木	0.180	0.125	3.000	0.0675	0.186	0.131	3.600	0.0877	2	0.1754	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
5	主屋 庇垂木	0.055	0.055	2.000	0.0061	0.061	0.061	2.400	0.0089	20	0.1780	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
6	主屋 庇垂木	0.055	0.055	3.800	0.0115	0.061	0.061	4.560	0.0170	20	0.3400	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
7	主屋 庇垂木	0.055	0.020	1.500	0.0017	0.061	0.023	1.800	0.0025	15	0.0375	桧赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
8	主屋 庇茅負	0.103	0.057	1.000	0.0059	0.109	0.063	1.200	0.0082	3	0.0246	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
9	主屋 庇裏甲	0.120	0.030	2.400	0.0086	0.123	0.033	2.880	0.0117	10	0.1170	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
10	主屋 庇化粧小舞	0.040	0.027	2.400	0.0026	0.046	0.033	2.880	0.0044	10	0.0440	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
11	主屋 庇化粧裏板	0.250	0.010	2.000	0.0050	0.256	0.013	2.400	0.0080	45	0.3600	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
12	主屋 庇広小舞	0.120	0.030	2.400	0.0086	0.126	0.036	2.880	0.0131	12	0.1572	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
13	主屋 破風	0.180	0.024	1.500	0.0065	0.186	0.027	1.800	0.0090	2	0.0180	桧赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
14	主屋 敷居	0.115	0.050	2.700	0.0155	0.121	0.056	3.240	0.0220	2	0.0440	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材 切使い
15	主屋 腕木	0.120	0.054	1.000	0.0065	0.126	0.060	1.200	0.0091	2	0.0182	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
16	主屋 天井竿縁	0.065	0.060	1.800	0.0070	0.071	0.066	2.160	0.0101	5	0.0505	桧赤身　無節　挽立材	四面　(巾2,厚1)	補修材
17	主屋 天井板	0.250	0.010	2.400	0.0060	0.256	0.013	2.880	0.0096	15	0.1440	桧赤身　無節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
18	主屋 濡縁板	0.230	0.030	0.680	0.0047	0.236	0.036	0.810	0.0069	5	0.0345	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
19	主屋 榑縁板	0.100	0.018	2.000	0.0036	0.106	0.021	2.400	0.0053	4	0.0212	桧赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
20	主屋 縁束	0.075	0.075	0.500	0.0028	0.081	0.081	0.600	0.0039	4	0.0156	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
21	主屋 床板	0.270	0.018	2.400	0.0117	0.276	0.021	2.880	0.0167	3	0.0501	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
22	主屋 腰壁板	0.240	0.012	1.100	0.0032	0.246	0.015	1.320	0.0049	15	0.0735	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
23	主屋 腰壁水切	0.090	0.024	2.000	0.0043	0.093	0.030	2.400	0.0067	4	0.0268	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾1,厚2)	補修材

木材明細附表 ②　　主屋　野物材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	主屋 根太	0.075	0.060	2.000	0.0090	0.075	0.060	2.400	0.0108	10	0.1080	杉赤身　小節　挽立材		補修材
2	主屋 根太	0.120	0.120	2.000	0.0288	0.120	0.120	2.400	0.0346	5	0.1730	杉赤身　小節　挽立材		補修材
3	主屋 根太掛け	0.115	0.045	2.000	0.0104	0.115	0.045	2.400	0.0124	5	0.0620	杉赤身　小節　挽立材		補修材
4	主屋 添え束	0.110	0.060	0.500	0.0033	0.110	0.060	0.600	0.0040	7	0.0280	桧赤身　小節　挽立材		補修材
5	主屋 添え木	0.120	0.045	2.000	0.0108	0.120	0.045	2.400	0.0130	5	0.0650	桧赤身　小節　挽立材		補修材
6	主屋 梁・桁	0.200	0.100	1.200	0.0240	0.200	0.100	1.440	0.0288	5	0.1440	松赤身　小節　挽立材		補修材
7	主屋 小束	0.105	0.105	1.000	0.0110	0.105	0.105	1.200	0.0132	5	0.0660	杉赤身　小節　挽立材		補修材
8	主屋 腰壁胴縁	0.045	0.030	2.000	0.0027	0.045	0.030	2.400	0.0032	12	0.0384	杉赤身　小節　挽立材		取替材
9	主屋 瓦座	0.045	0.036	2.000	0.0032	0.045	0.036	2.400	0.0039	10	0.0390	杉赤身　小節　挽立材		取替材
10	主屋 栓類	0.020	0.020	0.500	0.0002	0.020	0.020	0.600	0.0002	10	0.0020	樫赤身		補足材
11	主屋 楔類	0.024	0.036	0.500	0.0004	0.024	0.036	0.600	0.0005	10	0.0050	桧赤身　小節　挽立材		補足材

化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

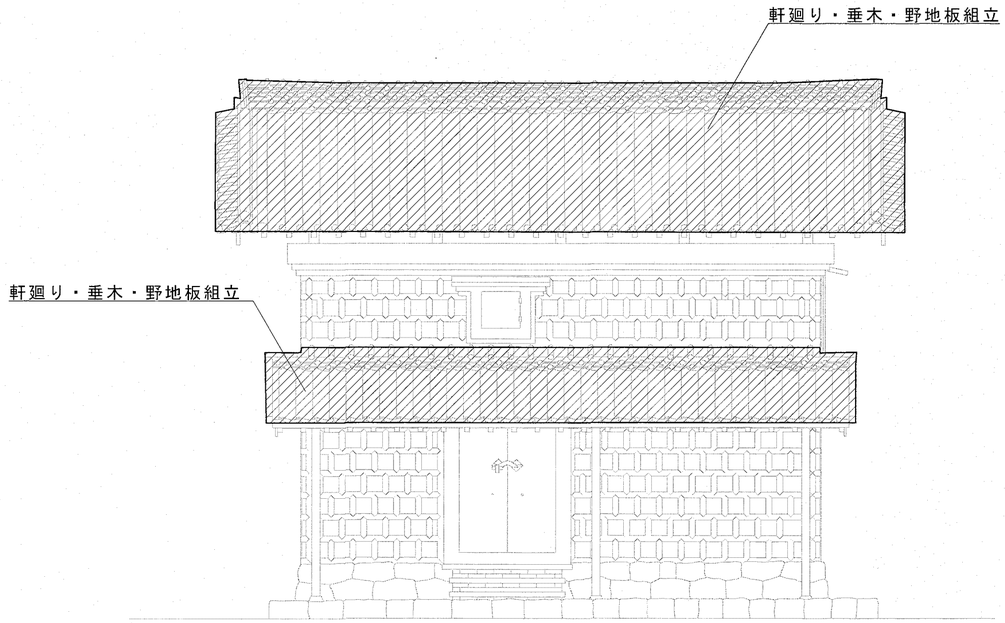
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

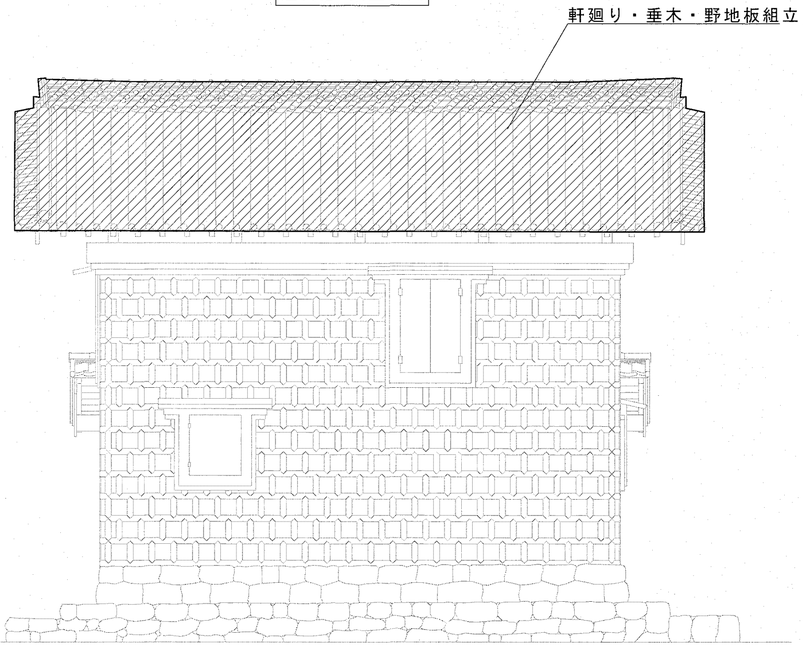
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	清田	清口	松木	岡まさ	A-68
図面名　木工事（主屋）３　2023/05　縮尺　1/NONE	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%

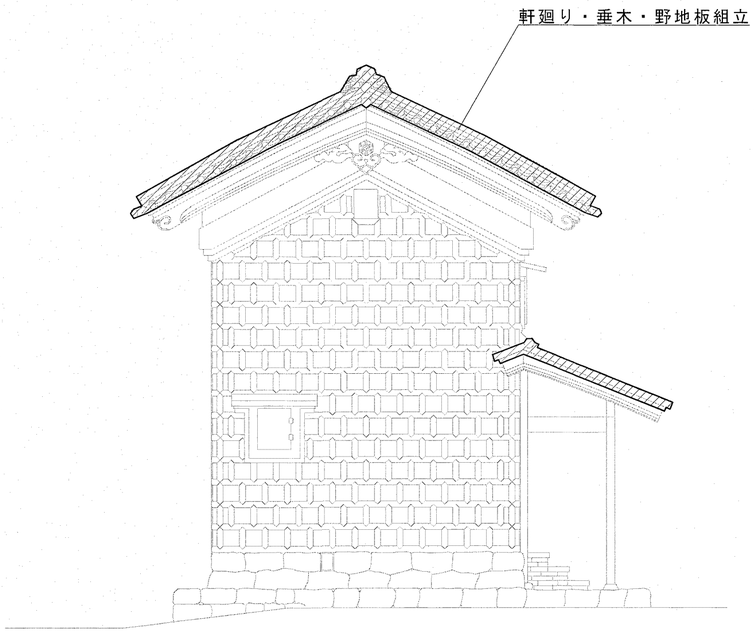


道具倉 東立面図

道具倉 北立面図

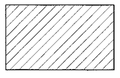


道具倉 西立面図



道具倉 南立面図

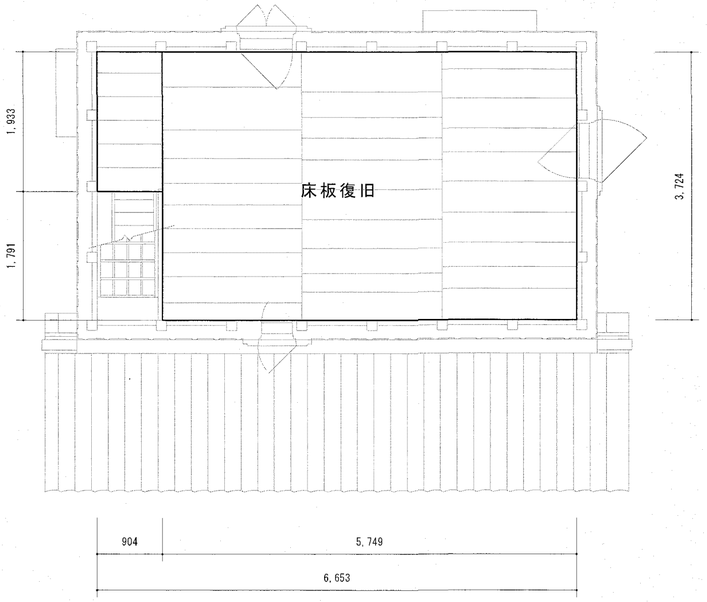
屋根組立範囲図



桟瓦屋根組立範囲

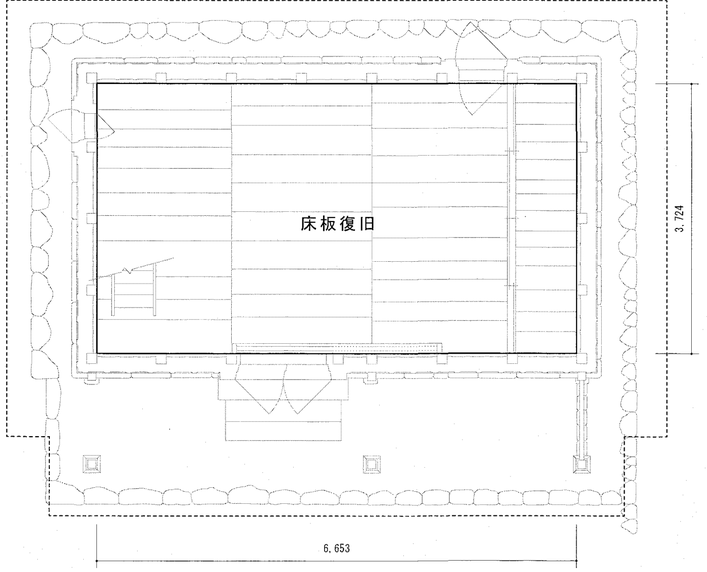
	化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱中	濱口	松末	西村	A-69
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		図面名 木工事（道具倉）1 2023/05	縮尺 1/60	作図 年 月 日			
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%



木部防蟻・防腐処理
※床下・鞘屋根・新材取替の木部

道具倉 2階平面図



床板組立範囲図

道具倉 1階平面図

木材明細附表 ①　　道具倉　化粧材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	道具倉 鞘屋根 垂木	0.075	0.075	3.000	0.0169	0.081	0.081	3.600	0.0236	20	0.4720	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
2	道具倉 鞘屋根 棟木	0.136	0.045	1.200	0.0073	0.142	0.048	1.440	0.0098	1	0.0098	桧赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	補修材
3	道具倉 鞘屋根 母屋	0.136	0.045	1.200	0.0073	0.142	0.048	1.440	0.0098	6	0.0588	桧赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	補修材
4	道具倉 鞘屋根 母屋	0.136	0.136	2.400	0.0444	0.142	0.139	2.880	0.0568	3	0.1704	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材
5	道具倉 鞘屋根 化粧裏板	0.240	0.012	2.400	0.0069	0.246	0.015	2.880	0.0106	42	0.4452	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材
6	道具倉 鞘屋根 広小舞	0.110	0.040	2.500	0.0110	0.113	0.043	3.000	0.0146	3	0.0438	杉赤身 上小節 挽立材	矩折二面 (巾1,厚1)	取替材
7	道具倉 鞘屋根 登淀	0.110	0.045	1.800	0.0089	0.113	0.048	2.160	0.0117	8	0.0936	杉赤身 上小節 挽立材	矩折二面 (巾1,厚1)	取替材
8	道具倉 鞘屋根 合掌	0.126	0.045	1.200	0.0068	0.129	0.051	1.440	0.0095	5	0.0475	松赤身 上小節 挽立材	三面 (巾1,厚2)	補修材
9	道具倉 庇 垂木	0.055	0.050	1.800	0.0050	0.061	0.056	2.160	0.0074	5	0.0370	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
10	道具倉 庇 化粧裏板	0.240	0.009	2.400	0.0052	0.246	0.012	2.880	0.0085	8	0.0680	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材
11	道具倉 庇 広小舞	0.090	0.040	2.400	0.0086	0.096	0.046	2.880	0.0127	4	0.0508	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
12	道具倉 床板	0.240	0.030	2.000	0.0144	0.246	0.036	2.400	0.0213	4	0.0852	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材

木材明細附表 ②　　道具倉　野物材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	道具倉 鞘屋根 瓦座	0.045	0.036	1.800	0.0029	0.045	0.036	2.160	0.0035	18	0.0630	杉赤身 小節 挽立材		取替材
2	道具倉 庇 瓦座	0.045	0.036	1.800	0.0029	0.045	0.036	2.160	0.0035	5	0.0175	杉赤身 小節 挽立材		取替材
3	道具倉 栓類	0.020	0.020	0.500	0.0002	0.020	0.020	0.600	0.0002	10	0.0020	樫赤身		補足材
4	道具倉 楔類	0.024	0.036	0.500	0.0004	0.024	0.036	0.600	0.0005	10	0.0050	桧赤身 小節 挽立材		補足材

大工作業数量表

名称	摘要	員数	備考
大工	原寸		
	古材繕い		
	新材加工 化粧材	1.5821 m3	化粧材補足木材積
	新材加工 野物材	0.0875 m3	野物材補足木材積
	野地板組立		
	軒廻り組立		
	造作組立		
	床板組立		

普通作業員作業数量表

名称	摘要	員数	備考
普通作業員	大工手元		大工工数
	古色塗り	1.58 m3	化粧材補足木材積
	焼印押し	1.67 m3	補足木材積
	小運搬		

道具倉		
金属資材		丸釘，金物等（N50，C150）
		和釘等
		巻頭1.2寸　20　本
		巻頭2.0寸　60　本
		巻頭2.5寸　40　本
		巻頭3.0寸　60　本
		巻頭4.0寸　20　本
道具倉		
木部防腐・防蟻処理		

化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

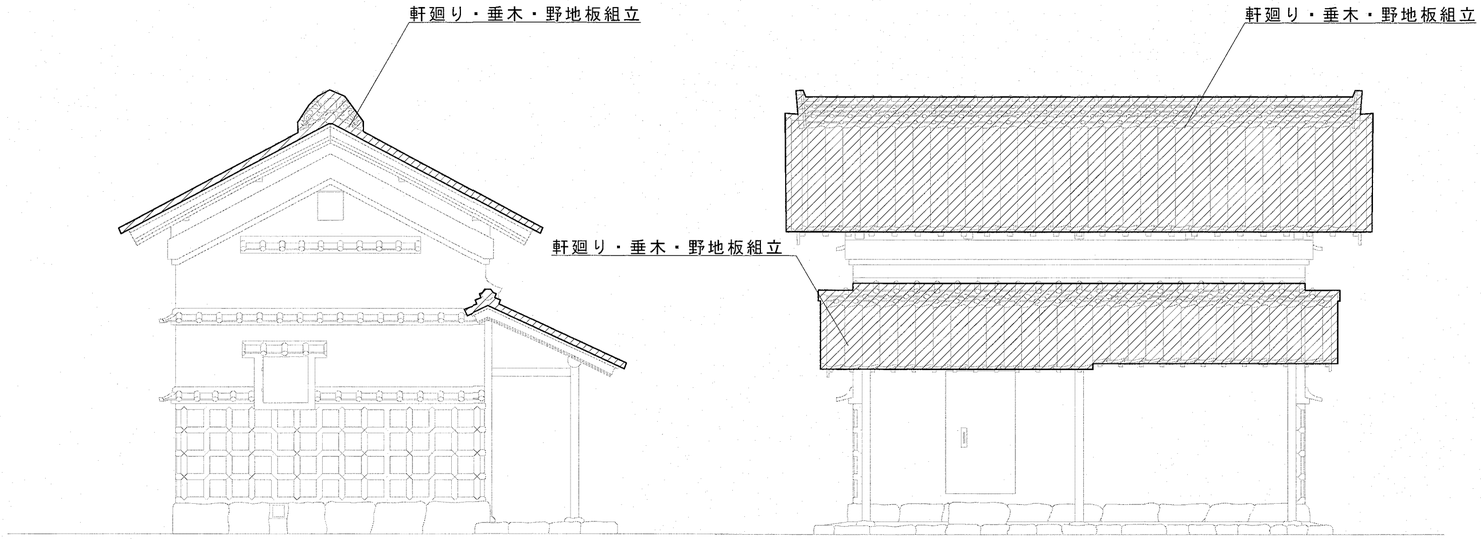
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

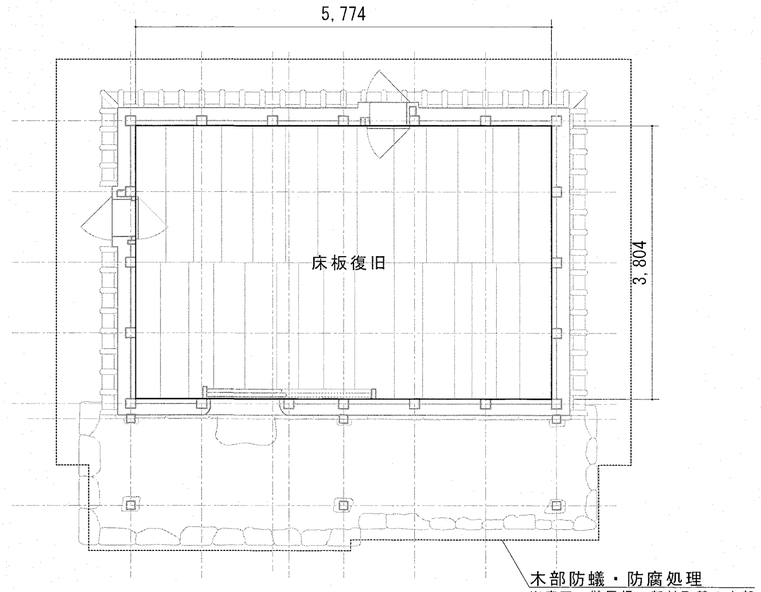
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-70
図面名 木工事（道具倉）２ 2022/05 縮尺 1/60	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%

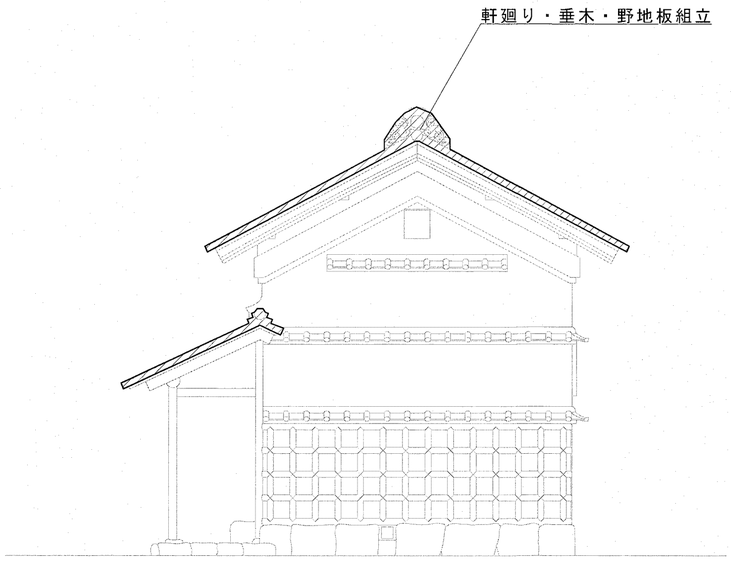


米倉　南立面図

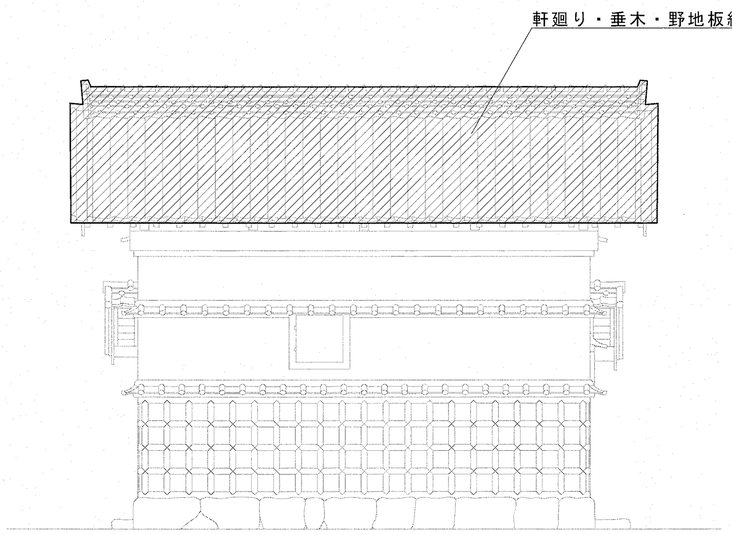


床板組立範囲図

米倉　平面図



米倉　東立面図



大工作業数量表

名　称	摘　要	員　数	備　考
大工	原寸		
	古材繕い		
	新材加工 化粧材	1.8637 m3	化粧材補足木材積
	新材加工 野物材	0.0945 m3	野物材補足木材積
	野地板組立		
	軒廻り組立		
	造作組立		
	床板組立		

普通作業員作業数量表

名　称	摘　要	員　数	備　考
普通作業員	大工手元		
	古色塗り	1.8637 m3	化粧材補足木材積
	焼印押し	1.9580 m3	補足木材積
	小運搬		

米倉　北立面図

米倉　西立面図

屋根組立範囲図

屋根組立範囲

化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	浅田	浅田	松木	岡本	A-71
図面名　木工事（米倉）1　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%

木材明細附表 ①　　米倉　化粧材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	米倉 鞘屋根 垂木	0.075	0.075	3.200	0.0180	0.081	0.081	3.840	0.0252	20	0.5040	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
2	米倉 鞘屋根 棟木	0.136	0.045	1.200	0.0073	0.142	0.048	1.440	0.0098	2	0.0196	桧赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	補修材
3	米倉 鞘屋根 母屋	0.136	0.045	1.200	0.0073	0.142	0.048	1.440	0.0098	6	0.0588	桧赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	補修材
4	米倉 鞘屋根 母屋	0.136	0.136	2.400	0.0444	0.142	0.139	2.880	0.0568	3	0.1704	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材
5	米倉 鞘屋根 化粧裏板	0.240	0.012	2.400	0.0069	0.246	0.015	2.880	0.0106	42	0.4452	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材
6	米倉 鞘屋根 広小舞	0.120	0.040	2.500	0.0120	0.123	0.043	3.000	0.0159	3	0.0477	杉赤身 上小節 挽立材	矩折二面 (巾1,厚1)	取替材
7	米倉 鞘屋根 登淀	0.120	0.045	1.800	0.0097	0.123	0.048	2.160	0.0128	8	0.1024	松赤身 上小節 挽立材	矩折二面 (巾1,厚1)	取替材
8	米倉 鞘屋根 合掌	0.126	0.045	1.200	0.0068	0.129	0.051	1.440	0.0095	5	0.0475	松赤身 上小節 挽立材	三面 (巾1,厚2)	補修材
9	米倉 庇 垂木	0.055	0.050	1.950	0.0054	0.061	0.056	2.340	0.0080	10	0.0800	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
10	米倉 庇 化粧裏板	0.240	0.009	2.400	0.0052	0.246	0.012	2.880	0.0085	25	0.2125	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材
11	米倉 庇 広小舞	0.120	0.040	2.400	0.0115	0.126	0.046	2.880	0.0167	4	0.0668	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
12	米倉 庇 登淀	0.120	0.045	2.000	0.0108	0.126	0.051	2.400	0.0154	2	0.0308	杉赤身 上小節 挽立材	四面 (巾2,厚2)	取替材
13	米倉 床板	0.240	0.030	2.000	0.0144	0.246	0.033	2.400	0.0195	4	0.0780	杉赤身 上小節 挽立材	三面 (巾2,厚1)	取替材

木材明細附表 ②　　米倉　野物材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	米倉 鞘屋根 瓦座	0.045	0.036	1.800	0.0029	0.045	0.036	2.160	0.0035	18	0.0630	杉赤身 小節 挽立材		取替材
2	米倉 庇 瓦座	0.045	0.036	1.800	0.0029	0.045	0.036	2.160	0.0035	7	0.0245	杉赤身 小節 挽立材		取替材
3	米倉 栓類	0.020	0.020	0.500	0.0002	0.020	0.020	0.600	0.0002	10	0.0020	樫赤身		補足材
4	米倉 楔類	0.024	0.036	0.500	0.0004	0.024	0.036	0.600	0.0005	10	0.0050	桧赤身 小節 挽立材		補足材

米倉		
金属資材		丸釘, 金物等 (N50, C150)
		和釘等
		巻頭1.2寸　20 本
		巻頭2.0寸　60 本
		巻頭2.5寸　40 本
		巻頭3.0寸　60 本
		巻頭4.0寸　20 本
米倉		
木部防腐・防蟻処理		

化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

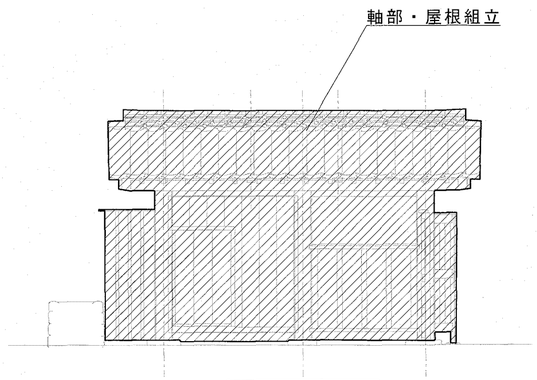
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

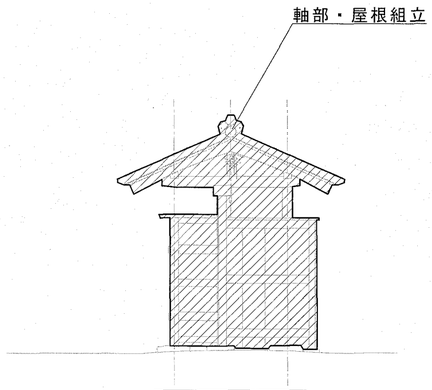
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		澤田 松木	畑中	A-72
図面名 木工事（米倉）２　2433135　縮尺 1/NONE	作図	年	月	日	

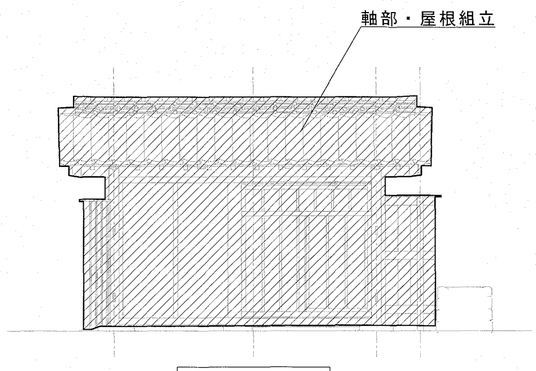
A2：100%、A3：71%、A4：50%



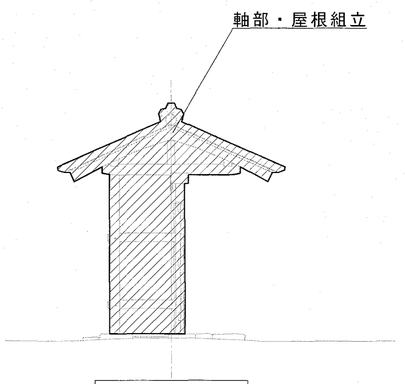
表門　東立面図



表門　南立面図

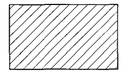


表門　西立面図



表門　北立面図

軸部組立範囲図



軸部・屋根組立範囲

木材明細附表 ①　　表門　化粧材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	表門 柱	0.140	0.140	0.300	0.0059	0.146	0.146	0.360	0.0077	1	0.0077	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	根継材
2	表門 貫	0.120	0.030	1.800	0.0065	0.126	0.036	2.160	0.0098	2	0.0196	桧赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
3	表門 破風	0.161	0.030	1.600	0.0077	0.167	0.036	1.920	0.0115	1	0.0115	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
4	表門 破風	0.100	0.030	1.600	0.0048	0.103	0.036	1.920	0.0071	2	0.0142	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾1,厚2)	補修材
5	表門 棟木	0.103	0.045	1.500	0.0070	0.109	0.045	1.800	0.0088	2	0.0176	杉赤身　上小節　挽立材	対面　(巾2)	補修材
6	表門 桁	0.107	0.060	1.800	0.0116	0.113	0.060	2.160	0.0146	2	0.0292	杉赤身　上小節　挽立材	対面　(巾2)	補修材
7	表門 垂木	0.055	0.055	1.520	0.0046	0.061	0.061	1.820	0.0068	8	0.0544	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
8	表門 化粧裏板	0.240	0.007	1.520	0.0026	0.246	0.010	1.820	0.0045	20	0.0900	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
9	表門 化粧小舞	0.024	0.027	1.800	0.0012	0.030	0.033	2.160	0.0021	14	0.0294	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
10	表門 広小舞	0.090	0.030	1.800	0.0049	0.093	0.033	2.160	0.0066	3	0.0198	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
11	表門 登淀	0.090	0.036	1.520	0.0049	0.093	0.039	1.820	0.0066	4	0.0264	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
12	表門 裏甲	0.112	0.024	1.800	0.0048	0.115	0.027	2.160	0.0067	3	0.0201	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
13	表門 登裏甲	0.112	0.030	1.520	0.0051	0.115	0.033	1.820	0.0069	4	0.0276	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材

木材明細附表 ②　　表門　野物材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	表門 瓦座	0.045	0.036	1.800	0.0029	0.045	0.036	2.160	0.0035	10	0.0350	杉赤身　小節　挽立材		取替材
2	表門 栓類	0.020	0.020	0.500	0.0002	0.020	0.020	0.600	0.0002	3	0.0006	樫赤身		補足材
3	表門 楔類	0.024	0.036	0.500	0.0004	0.024	0.036	0.600	0.0005	3	0.0015	桧赤身　小節　挽立材		補足材

大工作業数量表

名称	摘要	員数	備考
大工	原寸		
	古材継い		
	新材加工① 化粧材	0.3675 m3	化粧材補足木材積
	新材加工② 野物材	0.0371 m3	野物材補足木材積
	軸部 組立		
	小屋組 組立		
	野地組立		
	軒廻り 取付		
	その他造作材取付		

普通作業員作業数量表

名称	摘要	員数	備考
普通作業員	大工手元		
	古色塗り	0.3675 m3	化粧材補足木材積
	焼印押し	0.4046 m3	補足木材積
	小運搬		

表門		
金属資材		丸釘，金物等（N50，C150）
		和釘等
		巻頭1.2寸　60　本
		巻頭2.0寸　40　本
		巻頭2.5寸　40　本
		巻頭3.0寸　25　本
		巻頭4.0寸　20　本
表門		
木部防腐・防蟻処理		

化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名：重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事

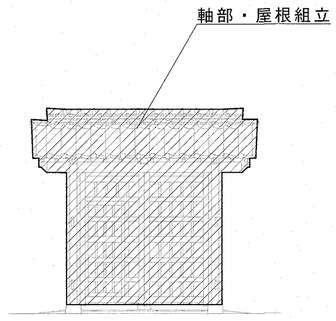
図面名：木工事（表門）　2023/05　縮尺：1/60

係	係長	課長補佐	課長
清岡	濱口	松末	岡村

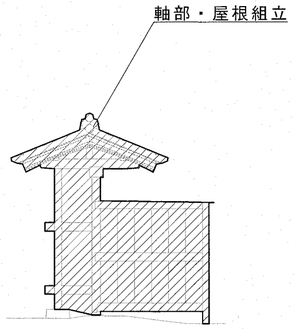
作図　年　月　日

図面番号：A-73

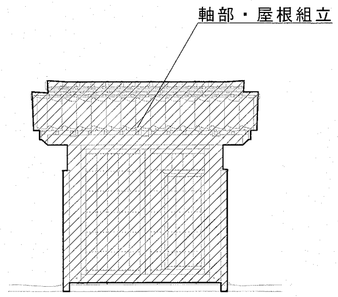
A2：100%、A3：71%、A4：50%



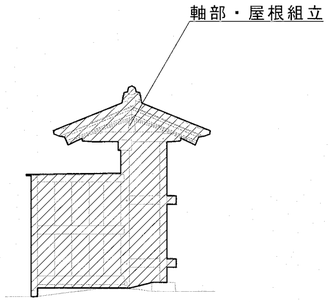
裏門　東立面図



裏門　北立面図



裏門　西立面図



裏門　南立面図

軸部組立範囲図

軸部・屋根組立範囲

木材明細附表 ①　　裏門　化粧材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	裏門 本柱	0.188	0.118	0.500	0.0111	0.194	0.124	0.600	0.0144	2	0.0288	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
2	裏門 貫	0.120	0.030	0.700	0.0025	0.126	0.036	0.840	0.0038	2	0.0076	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
3	裏門 破風	0.100	0.030	1.000	0.0030	0.103	0.036	1.200	0.0044	4	0.0176	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾1,厚2)	補修材
4	裏門 棟木	0.080	0.045	1.500	0.0054	0.086	0.048	1.800	0.0074	2	0.0148	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
5	裏門 桁	0.080	0.045	1.500	0.0054	0.086	0.048	1.800	0.0074	3	0.0222	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	補修材
6	裏門 垂木	0.042	0.045	1.100	0.0021	0.048	0.051	1.320	0.0032	5	0.0160	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材・補修材
7	裏門 化粧裏板	0.240	0.009	1.500	0.0032	0.246	0.012	1.800	0.0053	8	0.0424	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
8	裏門 広小舞	0.100	0.030	1.500	0.0045	0.103	0.033	1.800	0.0061	2	0.0122	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
9	裏門 登淀	0.100	0.036	1.100	0.0040	0.103	0.039	1.320	0.0053	2	0.0106	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
10	裏門 裏甲	0.105	0.036	1.500	0.0057	0.108	0.039	1.800	0.0076	3	0.0228	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
11	裏門 登裏甲	0.105	0.039	1.500	0.0061	0.108	0.042	1.800	0.0082	3	0.0246	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
12	裏門袖塀 柱	0.090	0.090	1.700	0.0138	0.096	0.096	2.040	0.0188	2	0.0376	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
13	裏門袖塀 貫	0.118	0.027	1.300	0.0041	0.124	0.033	1.560	0.0064	6	0.0384	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
14	裏門袖塀 笠木	0.120	0.045	1.400	0.0076	0.126	0.051	1.680	0.0108	2	0.0216	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
15	裏門袖塀 壁板	0.240	0.012	1.600	0.0046	0.243	0.018	1.920	0.0084	11	0.0924	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾1,厚2)	取替材

木材明細附表 ②　　裏門　野物材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	裏門 瓦座	0.045	0.036	1.800	0.0029	0.045	0.036	2.160	0.0035	8	0.0280	杉赤身　小節　挽立材		取替材
2	裏門 栓類	0.020	0.020	0.500	0.0002	0.020	0.020	0.600	0.0002	2	0.0004	樫赤身		補足材
3	裏門 楔類	0.024	0.036	0.500	0.0004	0.024	0.036	0.600	0.0005	2	0.0010	桧赤身　小節　挽立材		補足材

大工作業数量表

名称	摘要	員数	備考
大工	原寸		
	古材繕い		
	新材加工① 化粧材	0.4096 m3	化粧材補足木材積
	新材加工② 野物材	0.0294 m3	野物材補足木材積
	軸部 組立		
	小屋組 組立		
	軒廻り 取付		
	化粧裏板張		
	その他造作材取付		

普通作業員作業数量表

名称	摘要	員数	備考
普通作業員	大工手元		
	古色塗り	0.4096 m3	化粧材補足木材積
	焼印押し	0.4390 m3	補足木材積
	小運搬		

裏門		
金属資材		丸釘，金物等（N50，C150）
		和釘等
		巻頭1.2寸　40　本
		巻頭2.0寸　20　本
		巻頭2.5寸　20　本
		巻頭3.0寸　15　本
		巻頭4.0寸　10　本
裏門		
木部防腐・防蟻処理		

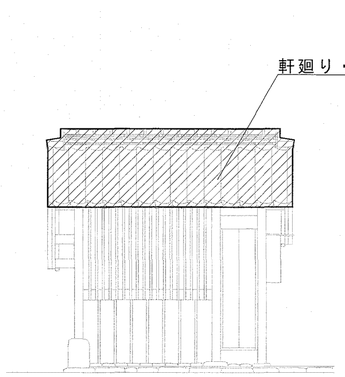
化粧材のうち、取替または新規補足材は古色塗を施す

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

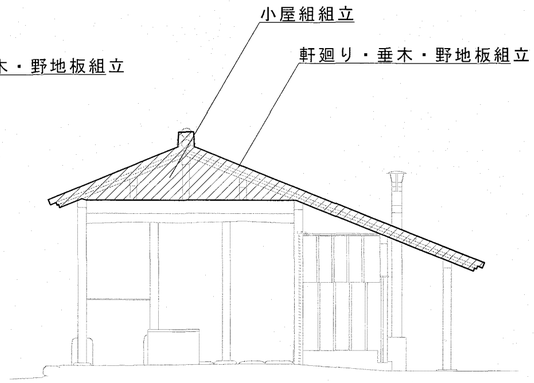
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

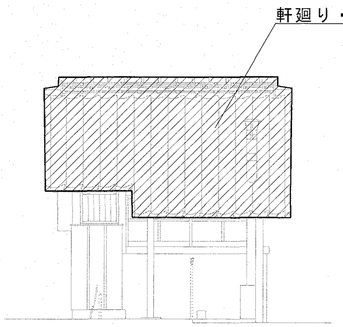
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-74
図面名　木工事（裏門）　2022/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				



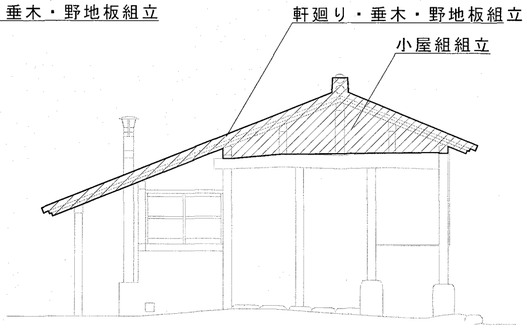
水屋　南立面図



水屋　西立面図



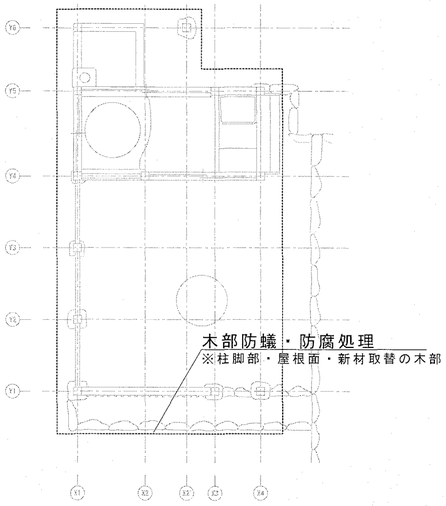
水屋　北立面図



水屋　東立面図

屋根・小屋組み組立範囲図

屋根組立範囲



木部防蟻・防腐処理範囲図

木材明細附表 ①　　水屋　化粧材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	水屋 垂木	0.055	0.055	2.000	0.0061	0.061	0.061	2.400	0.0089	10	0.0890	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
2	水屋 垂木	0.055	0.055	2.400	0.0073	0.061	0.061	2.880	0.0107	10	0.1070	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
3	水屋 垂木	0.055	0.055	3.300	0.0100	0.061	0.061	3.960	0.0147	5	0.0735	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	取替材
4	水屋 棟木	0.110	0.117	1.500	0.0193	0.116	0.123	1.800	0.0257	1	0.0257	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
5	水屋 母屋	0.105	0.135	1.500	0.0213	0.111	0.141	1.800	0.0282	2	0.0564	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
6	水屋 桁	0.105	0.110	1.500	0.0173	0.111	0.116	1.800	0.0232	1	0.0232	杉赤身　上小節　挽立材	四面　(巾2,厚2)	補修材
7	水屋 化粧裏板	0.240	0.012	2.400	0.0069	0.246	0.015	2.880	0.0106	26	0.2756	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
8	水屋 化粧裏板	0.240	0.012	1.000	0.0029	0.246	0.015	1.200	0.0044	13	0.0572	杉赤身　上小節　挽立材	三面　(巾2,厚1)	取替材
9	水屋 広小舞	0.120	0.040	2.400	0.0115	0.123	0.043	2.880	0.0152	3	0.0456	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
10	水屋 広小舞	0.120	0.040	1.000	0.0048	0.123	0.043	1.200	0.0063	3	0.0189	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
11	水屋 登淀	0.120	0.045	2.100	0.0113	0.123	0.048	2.520	0.0149	6	0.0894	松赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
12	水屋 裏甲	0.112	0.045	2.400	0.0121	0.115	0.048	2.880	0.0159	3	0.0477	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
13	水屋 裏甲	0.112	0.045	1.000	0.0050	0.115	0.048	1.200	0.0066	3	0.0198	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材
14	水屋 登裏甲	0.112	0.055	2.100	0.0129	0.115	0.058	2.520	0.0168	6	0.1008	杉赤身　上小節　挽立材	矩折二面(巾1,厚1)	取替材

大工作業数量表

名称	摘要	員数	備考
大工	原寸		
	古材繕い		
	新材加工① 化粧材	1.0298 m3	化粧材補足木材積
	新材加工② 野物材	0.0232 m3	野物材補足木材積
	小屋組 組立		
	軒廻り 取付		
	化粧裏板張		
	その他造作材取付		

普通作業員作業数量表

名称	摘要	員数	備考
普通作業員	大工手元		
	古色塗り	1.0298 m3	化粧材補足木材積
	焼印押し	1.0530 m3	補足木材積
	小運搬		平面積

木材明細附表 ②　　水屋　野物材

NO.	部材名称	仕上寸法 幅 m	厚 m	長 m	設計単量 m3	挽立寸法 幅 m	厚 m	長 m	所要単量 m3	員数	所要数量 m3	品位	削り面	備考
1	水屋 瓦座	0.045	0.036	2.400	0.0039	0.045	0.036	2.880	0.0047	3	0.0141	杉赤身　小節　挽立材		取替材
2	水屋 瓦座	0.045	0.036	1.100	0.0018	0.045	0.036	1.320	0.0021	3	0.0063	杉赤身　小節　挽立材		取替材
3	水屋 栓類	0.020	0.020	0.500	0.0002	0.020	0.020	0.600	0.0002	4	0.0008	樫赤身		補足材
4	水屋 楔類	0.024	0.036	0.500	0.0004	0.024	0.036	0.600	0.0005	4	0.0020	桧赤身　小節　挽立材		補足材

水屋	
金属資材	丸釘，金物等（N50，C150）
	延床面積
水屋	
木部防腐・防蟻処理	軒面積

※解体した瓦は選別・清掃を行う。選別結果をもとに再用数及び含浸強化処理数量を決定する。

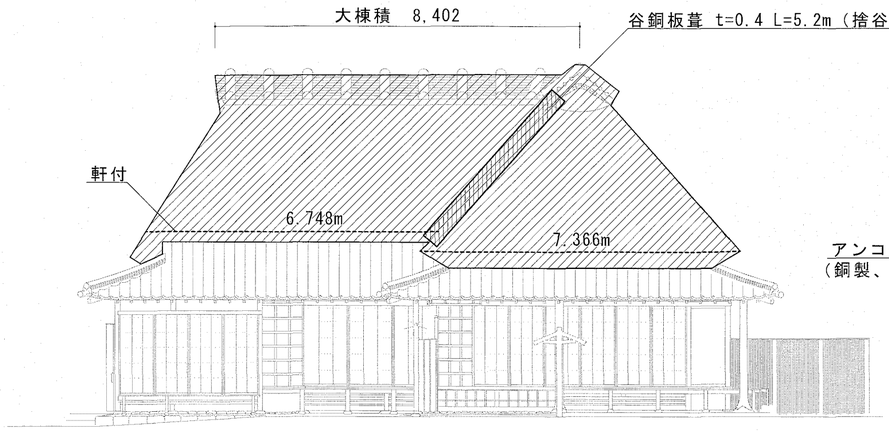
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

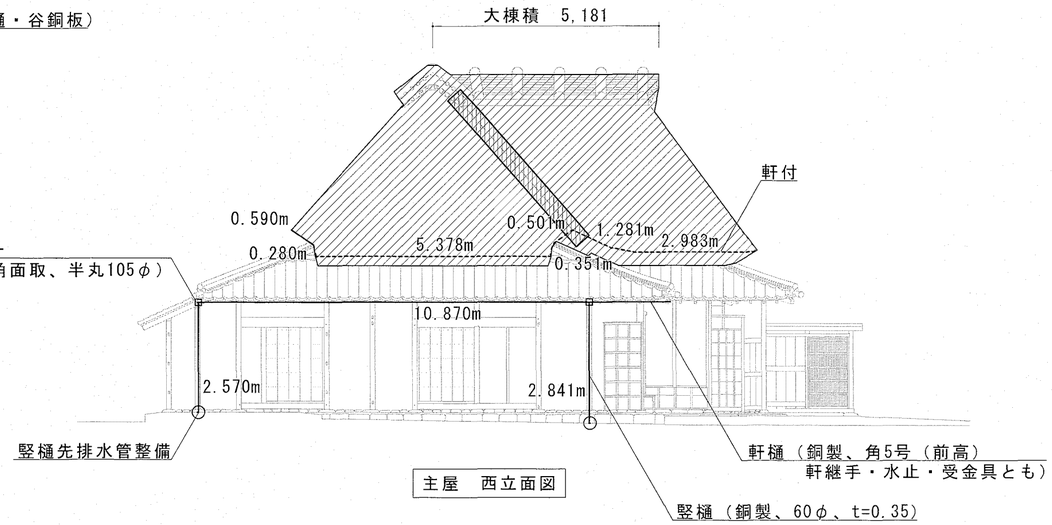
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物） 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濱口	松木	岡まさ	A-75
図面名　木工事（水屋）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

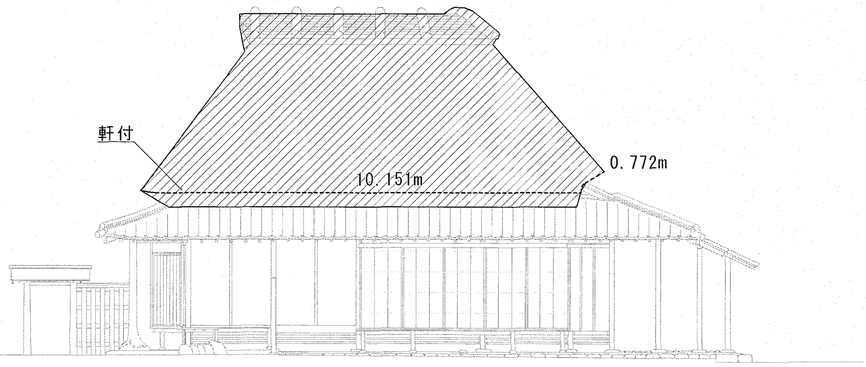
A2：100%、A3：71%、A4：50%



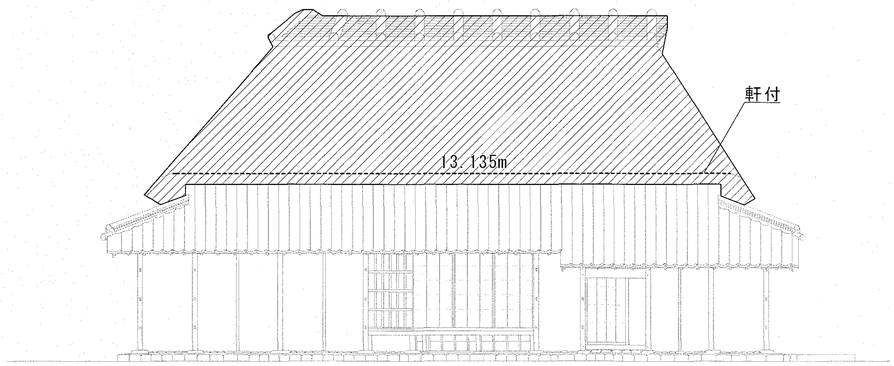
主屋　南立面図



主屋　西立面図



主屋　東立面図



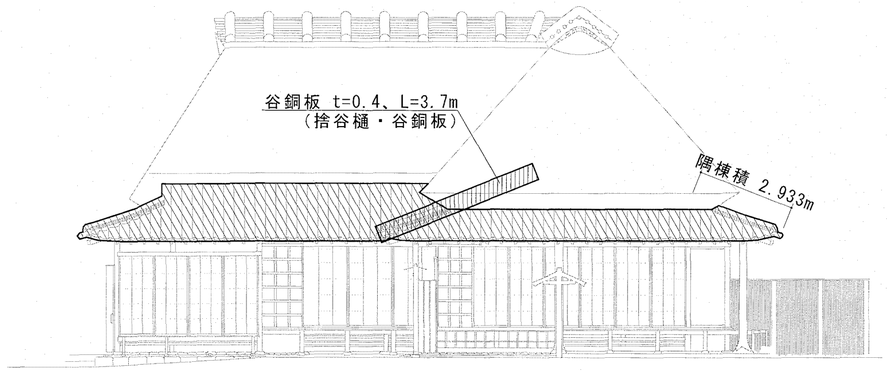
主屋　北立面図

茅葺屋根および樋 組立範囲図

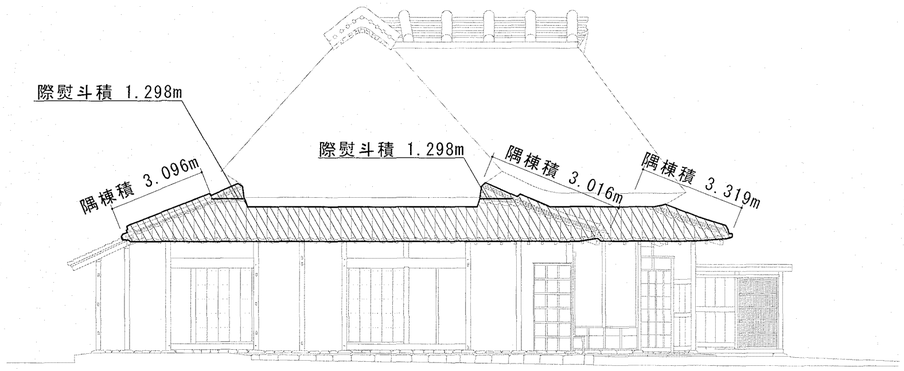
茅葺屋根組立範囲

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-76
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　屋根工事（主屋）1　2023/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸							

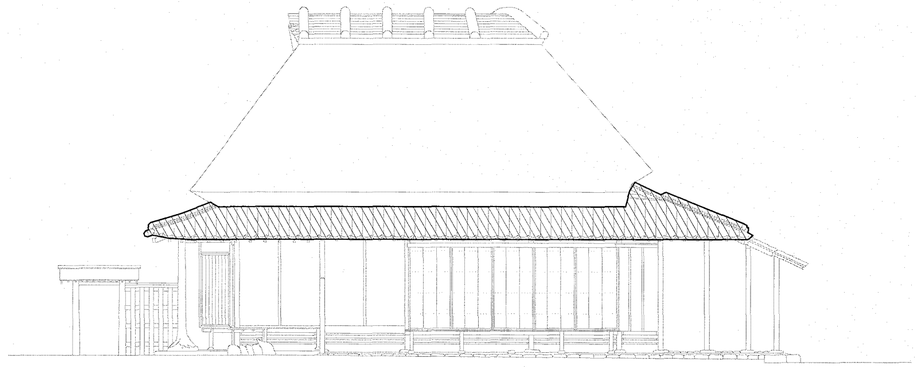
A2：100%、A3：71%、A4：50%



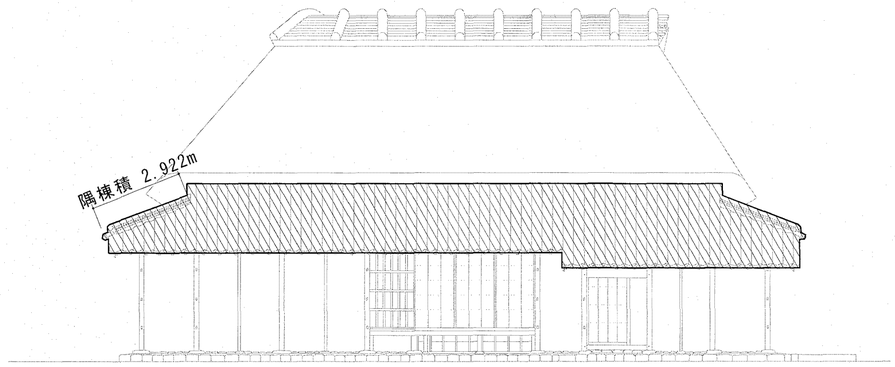
主屋　南立面図



主屋　西立面図



主屋　東立面図



主屋　北立面図

庇桟瓦屋根組立範囲

補足瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・大角瓦	燻瓦、逆勝手、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
2	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	96	枚
3	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	78	枚
4	逆・小袖瓦	燻瓦、逆勝手、桟なし	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長66	6	枚
5	逆・大袖瓦	燻瓦、逆勝手、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	10	枚
6	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし 主屋用	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	5	枚
7	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	1,370	枚
8	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	859	枚
9	本軒平瓦	燻瓦	口幅267、尻幅261、長267、厚16.5、垂れ長45	2	枚
10	面戸瓦	燻瓦 熨斗瓦に準ずる	幅261、長273、厚18	10	枚
11	隅巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋17	瓦当径145、幅142、せい58、長303、厚18	3	本
12	棟巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	3	本
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	31	枚
14	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	130	枚
	合計			2,604	枚

含侵強化処理瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・小角瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
2	逆・大角瓦	燻瓦、逆勝手、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
3	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	35	枚
4	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	29	枚
5	逆・小袖瓦	燻瓦、逆勝手、桟なし	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長66	3	枚
6	逆・大袖瓦	燻瓦、逆勝手、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	4	枚
7	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし 主屋用	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	2	枚
8	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	495	枚
9	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	310	枚
10	本軒平瓦	燻瓦	口幅267、尻幅261、長267、厚16.5、垂れ長45	2	枚
11	面戸瓦	燻瓦 熨斗瓦に準ずる	幅261、長273、厚18	4	枚
12	隅巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋17	瓦当径145、幅142、せい58、長303、厚18	2	本
13	棟巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
14	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	12	枚
15	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	47	枚
	合計			948	枚

※土居葺・下葺を行ったうえ、桟瓦葺を施工する。

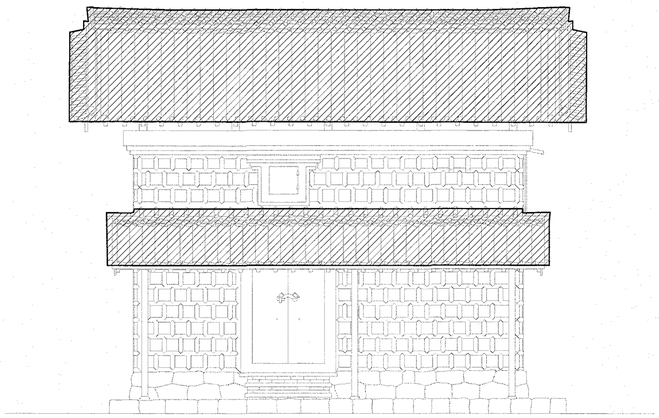
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

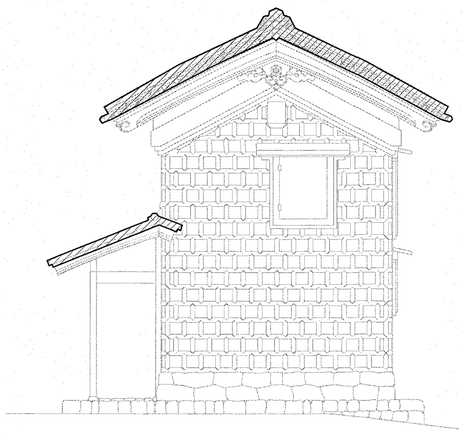
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事		濱口	松木		A-77
図面名　屋根工事（主屋）２　2023/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	

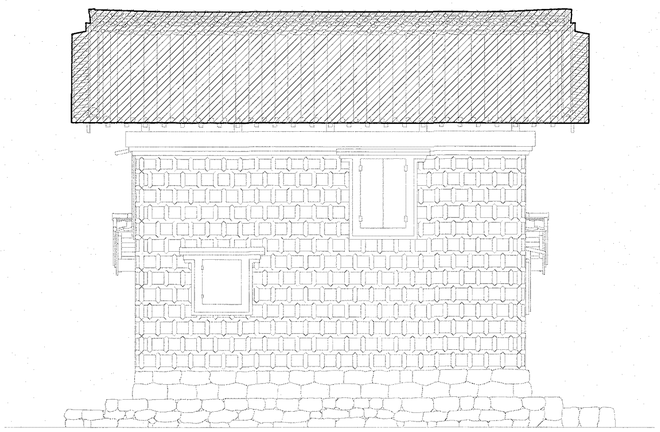
A2：100%、A3：71%、A4：50%



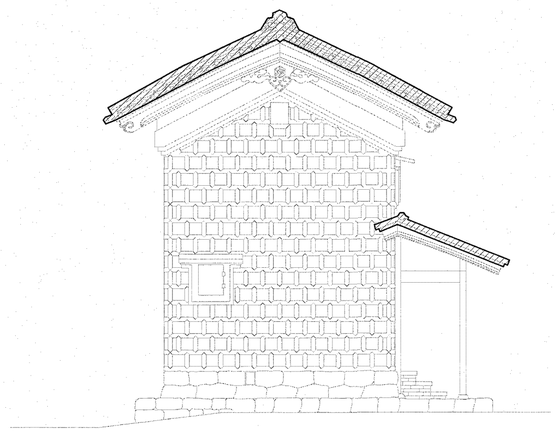
道具倉　東立面図



道具倉　北立面図



道具倉　西立面図



道具倉　南立面図

桟瓦屋根組立範囲図

桟瓦屋根組立範囲

補足瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	2	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	28	枚
3	逆・京花軒瓦	燻瓦、逆勝手 瓦当：三つ巴、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	45	枚
4	正・京花軒瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	45	枚
5	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	449	枚
6	正・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	718	枚
7	正・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
8	正・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
9	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	8	枚
10	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	8	枚
11	軒丸瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	幅261、長273、厚18	2	枚
12	風切り丸瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	76	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	30	枚
14	隅巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋17	瓦当径145、幅142、せい58、長303、厚18	4	本
15	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
16	鬼瓦	燻瓦	見付幅700、高300、厚100	1	本
17	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	321	枚
18	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	102	枚
19	水切瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	18	枚
	合計			1,861	枚

含侵強化処理瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	2	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	11	枚
3	逆・京花軒瓦	燻瓦、逆勝手 瓦当：三つ巴、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	17	枚
4	正・京花軒瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	17	枚
5	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	163	枚
6	正・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	259	枚
7	正・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
8	正・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
9	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	4	枚
10	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	4	枚
11	軒丸瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	幅261、長273、厚18	2	枚
12	風切り丸瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	28	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	2	枚
14	隅巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋17	瓦当径145、幅142、せい58、長303、厚18	12	本
15	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
16	鬼瓦	燻瓦	見付幅700、高300、厚100	1	本
17	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	116	枚
18	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	38	枚
19	水切瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	7	枚
	合計			687	枚

※土居葺・下葺を行ったうえ、桟瓦葺を施工する。

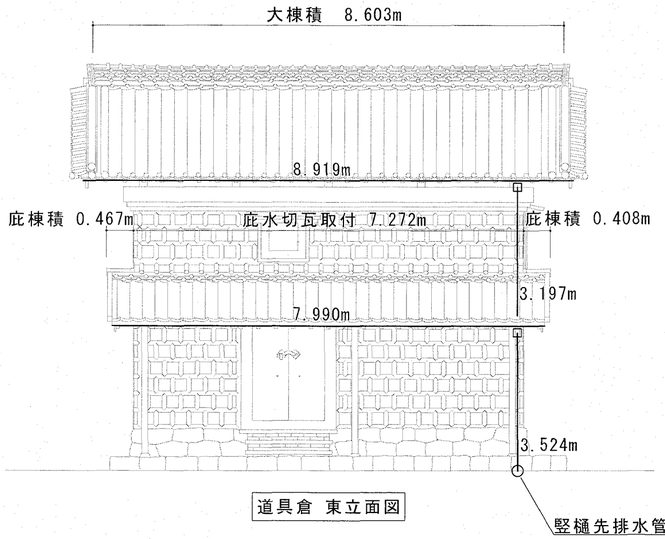
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

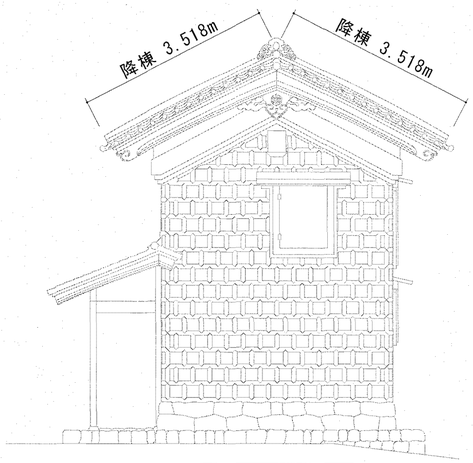
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		濱口 松末	岡村	A-78
図面名　屋根工事（道具倉）1　2023/05　縮尺　1/80	作図　年　月　日				

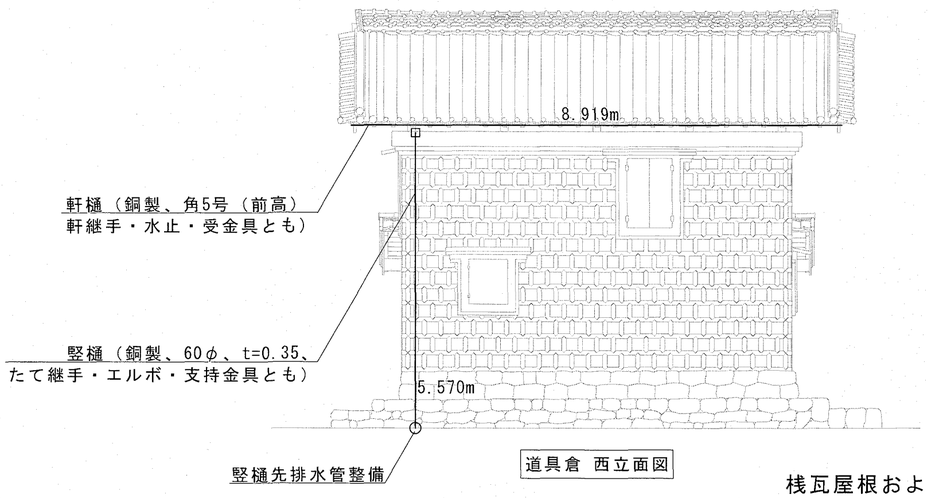
A2：100%、A3：71%、A4：50%



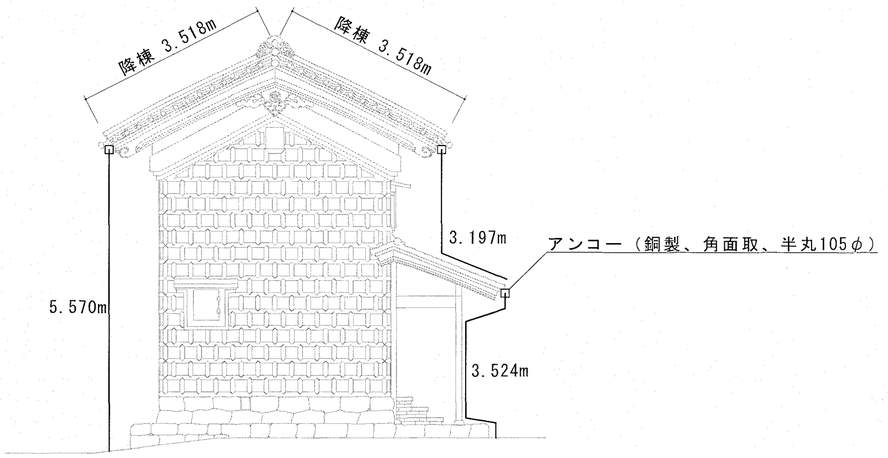
道具倉 東立面図



道具倉 北立面図



道具倉 西立面図

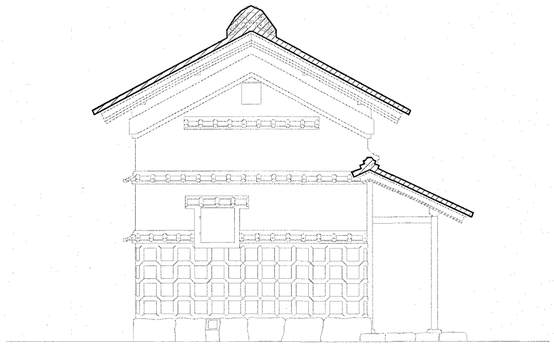


道具倉 南立面図

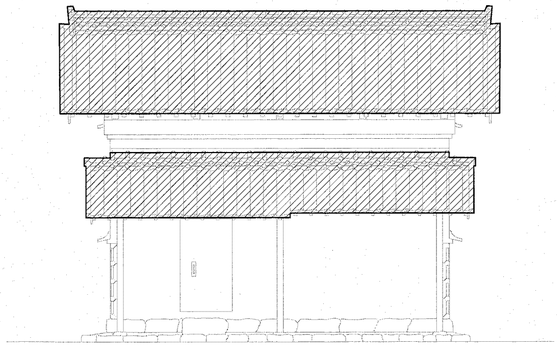
桟瓦屋根および樋 組立範囲図

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤中	瀬口	松木	岡村	A-79
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸		図面名　屋根工事（道具倉）２ 2023/05 縮尺 1/80	作図　年　月　日				

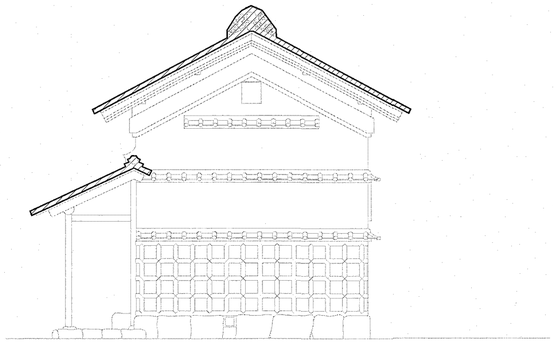
A2：100%、A3：71%、A4：50%



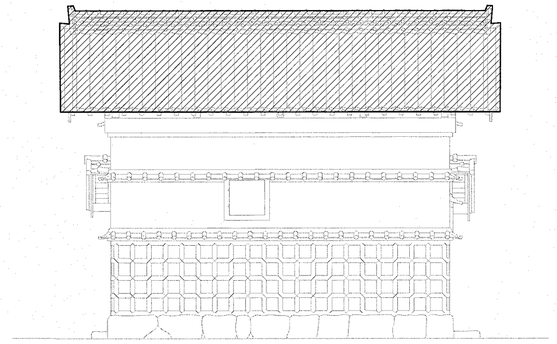
米倉　南立面図



米倉　東立面図

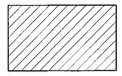


米倉　北立面図



米倉　西立面図

桟瓦屋根組立範囲図



桟瓦屋根組立範囲

補足瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	44	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	22	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	577	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	364	枚
5	逆・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	2	枚
6	逆・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	2	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	20	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	19	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	11	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	11	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	24	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	1	本
15	鬼瓦	燻瓦	見付幅850、高370、厚100	1	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	131	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	88	枚
18	水切瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	16	枚
	合計			1,333	枚

含侵強化処理瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	16	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	9	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	209	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	132	枚
5	逆・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
6	逆・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	8	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	8	枚
9	正・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
10	正・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	5	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	5	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	10	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	1	本
15	鬼瓦	燻瓦	見付幅850、高370、厚100	1	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	48	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	32	枚
18	水切瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	6	枚
	合計			494	枚

※土居葺・下葺を行ったうえ、桟瓦葺を施工する。

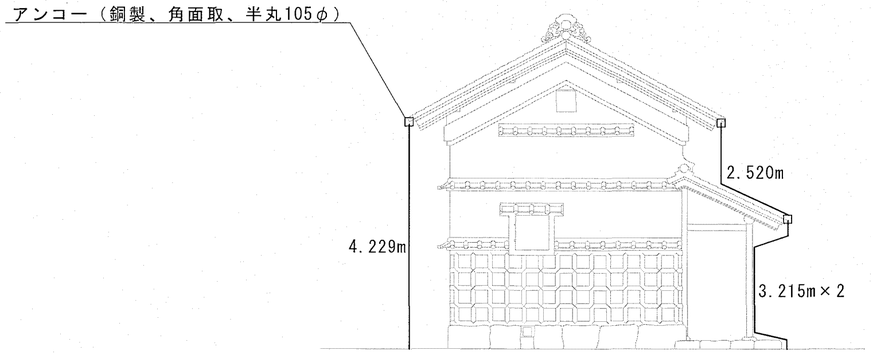
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

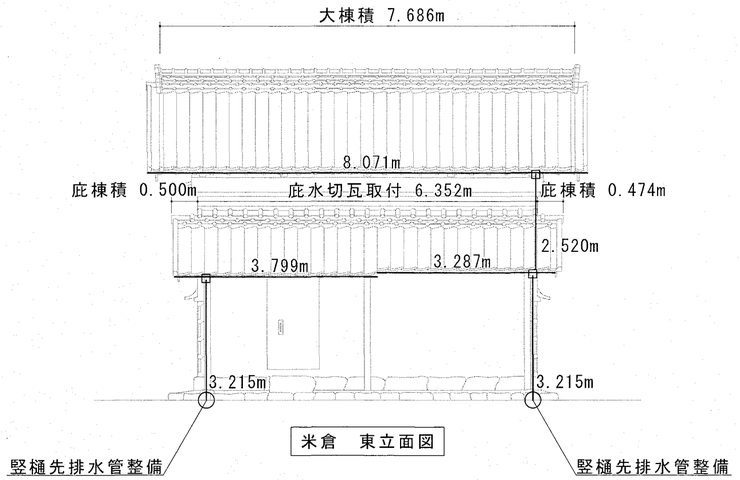
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-80
図面名　屋根工事（米倉）1　2023/05　縮尺　1/80	作図　年　月　日				

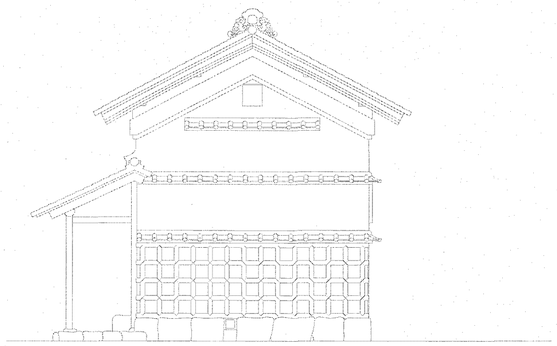
A2：100%、A3：71%、A4：50%



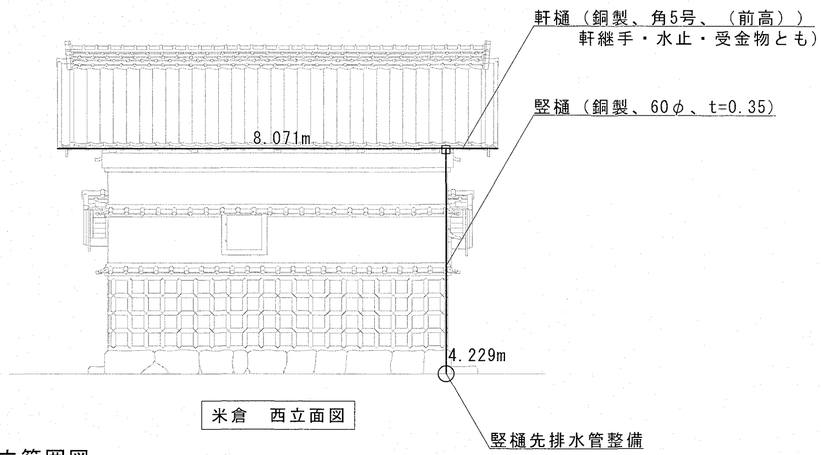
米倉　南立面図



米倉　東立面図



米倉　北立面図

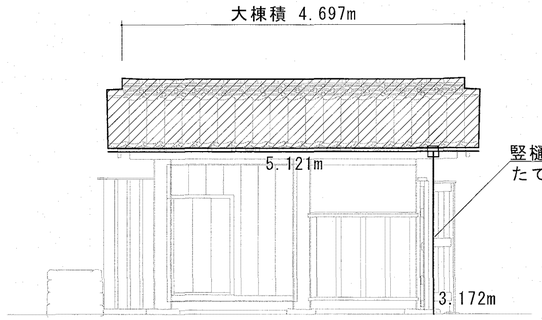


米倉　西立面図

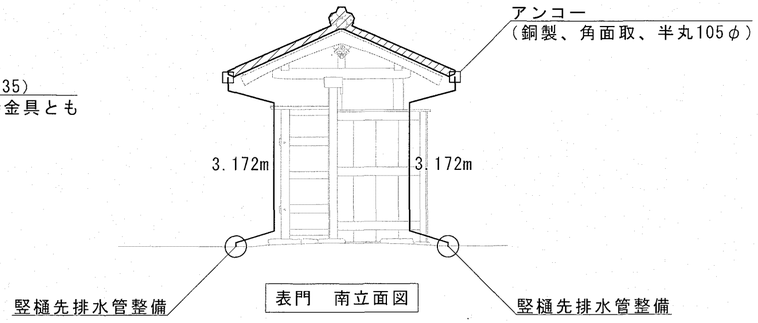
桟瓦屋根および樋 組立範囲図

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濱田	松末	岡本	A-81
		図面名　屋根工事（米倉）２ 2023/05　縮尺　1/80	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%



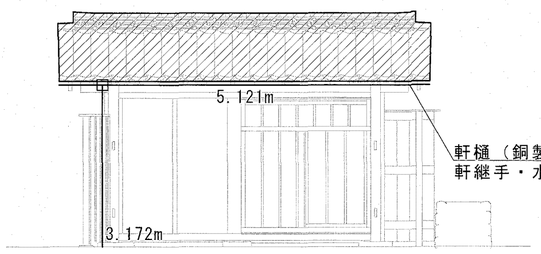
表門　東立面図



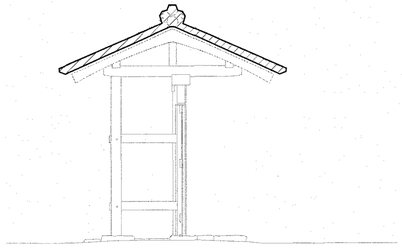
表門　南立面図

補足瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	13	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	13	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	111	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	111	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	5	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	5	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	5	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	5	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	14	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	26	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	52	枚
	合計			362	枚



表門　西立面図



表門　北立面図

桟瓦屋根および樋 組立範囲図

桟瓦屋根組立範囲

含侵強化処理瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	6	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	6	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	41	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	41	枚
5	逆・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
6	逆・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	3	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	3	枚
9	正・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
10	正・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	3	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	3	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	6	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	10	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	20	枚
	合計			148	枚

※土居葺・下葺を行ったうえ、桟瓦葺を施工する。

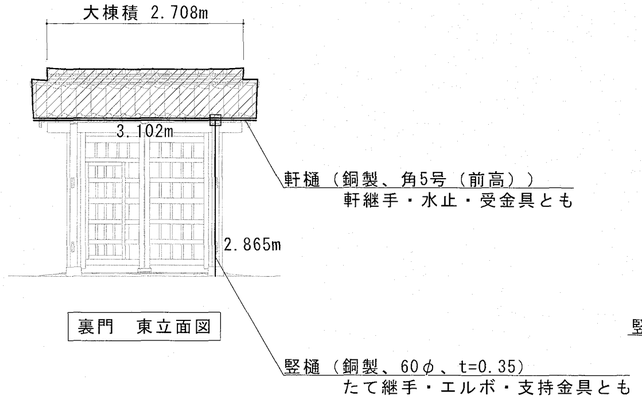
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

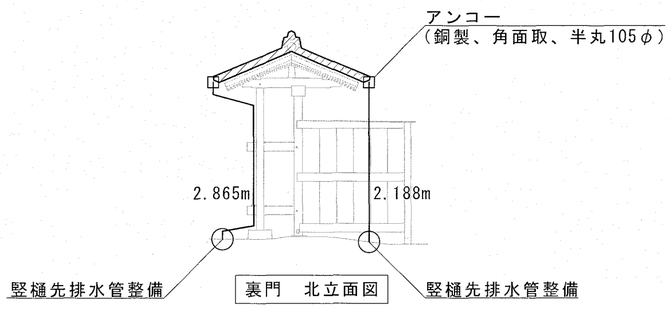
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		濱口 松木	岡村	A-82
図面名　屋根工事（表門）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

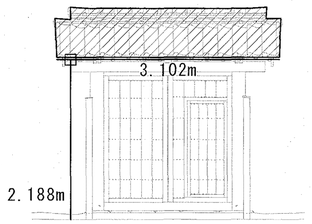
A2：100%、A3：71%、A4：50%



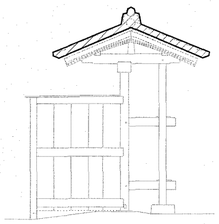
裏門　東立面図



裏門　北立面図



裏門　西立面図



裏門　南立面図

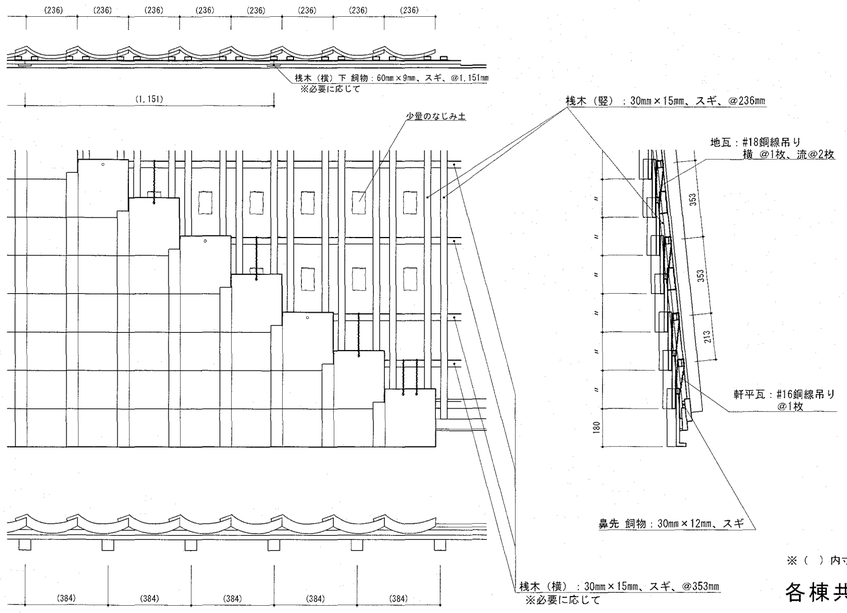
補足瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	13	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	13	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	68	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	68	枚
5	逆・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
6	逆・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	5	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	5	枚
9	正・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
10	正・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	5	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	5	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	11	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	4	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	75	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	37	枚
	合計			313	枚

※裏門の瓦は全数取替えとし、含浸強化処理は行わない。

桟瓦屋根および樋　組立範囲図

桟瓦屋根組立範囲



※（ ）内寸法は参考値とする。

各棟共通　桟瓦空葺施工要領図

※土居葺・下葺を行ったうえ、桟瓦葺を施工する。

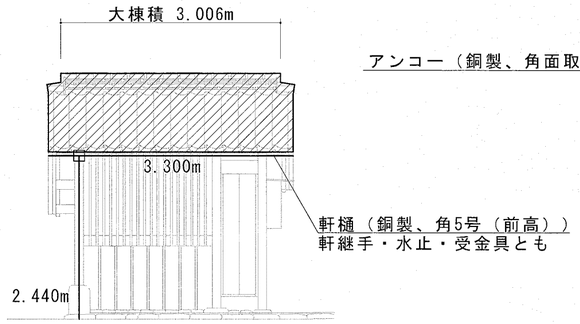
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

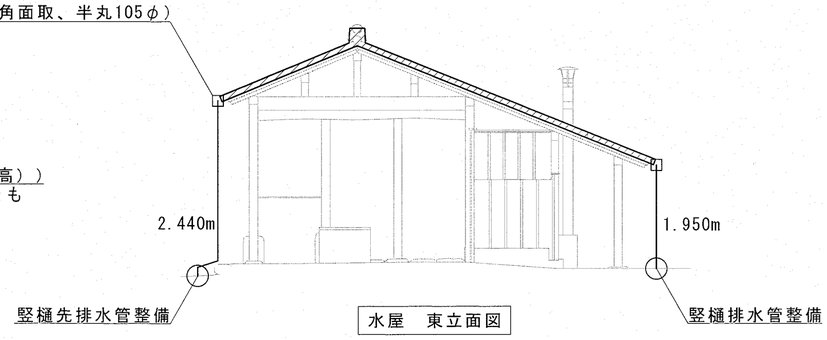
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-83
図面名　屋根工事（裏門）　2023/05　縮尺　1/60・20	作図	年　月　日			

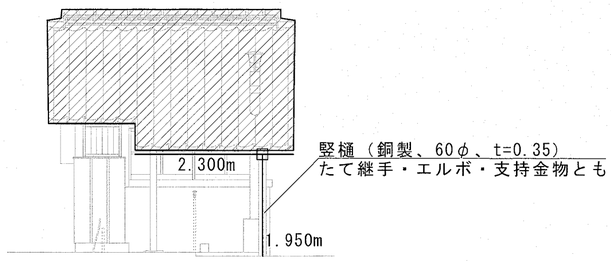
A2：100%、A3：71%、A4：50%



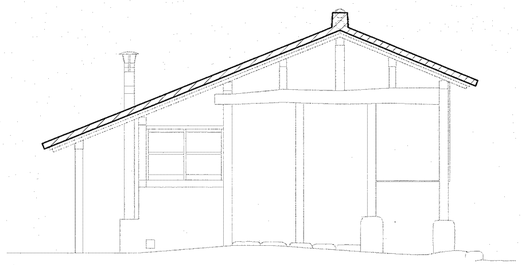
水屋　南立面図



水屋　東立面図



水屋　北立面図



水屋　西立面図

桟瓦屋根および樋 組立範囲図

桟瓦屋根組立範囲

補足瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	8	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	8	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	185	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	105	枚
5	逆・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	16	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	16	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	8	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	8	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	8	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	32	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	17	枚
	合計			414	枚

含侵強化処理瓦明細表

番号	種類	摘要	寸法 (mm)	員数 (枚・本)	
1	逆・軒平瓦	燻瓦、逆勝手 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	3	枚
2	正・軒平瓦	燻瓦 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、垂れ長45	4	枚
3	逆・桟瓦	燻瓦	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	67	枚
4	正・桟瓦	燻瓦、逆勝手	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、差込長237、利き足176	39	枚
5	逆・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
6	逆・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
7	逆・大袖瓦	燻瓦、桟付き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	6	枚
8	逆・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	7	枚
9	正・大角瓦	燻瓦、桟付き 鎌剣、唐草紋	幅288、長267、厚16.5、利き幅236、桟袖長206、袖垂れ長72	1	枚
10	正・小角瓦	燻瓦、桟なし 鎌剣、唐草紋	幅236、長267、厚16.5、袖垂れ長81	1	枚
11	正・大袖瓦	燻瓦、桟附き	幅288、長267、厚16.5、利き幅233、桟袖長206、袖垂れ長66	4	枚
12	正・小袖瓦	燻瓦、桟なし	幅236、長267、厚16.5、利き幅185、差込長237、袖垂れ長75	4	枚
13	雁振瓦	燻瓦 素丸	口幅139、尻幅142、口せい55、尻せい58、長215、厚16.5	3	枚
14	拝巴瓦	燻瓦 瓦当：三つ巴・珠紋18	瓦当径155、幅145、せい70、長364、厚18	2	本
16	熨斗瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	12	枚
17	青海瓦	燻瓦 際熨斗、割熨斗	幅261、長273、厚18	7	枚
	合計			162	枚

※土居葺・下葺を行ったうえ、桟瓦葺を施工する。

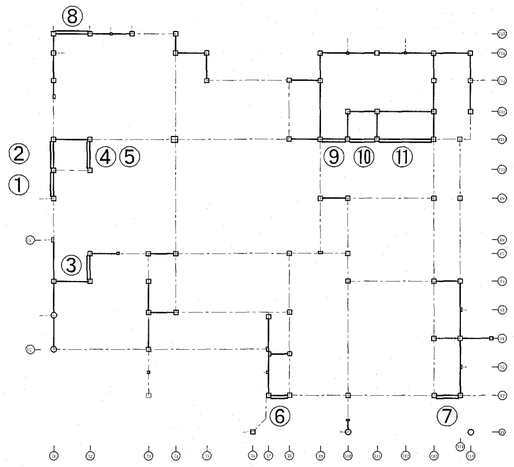
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

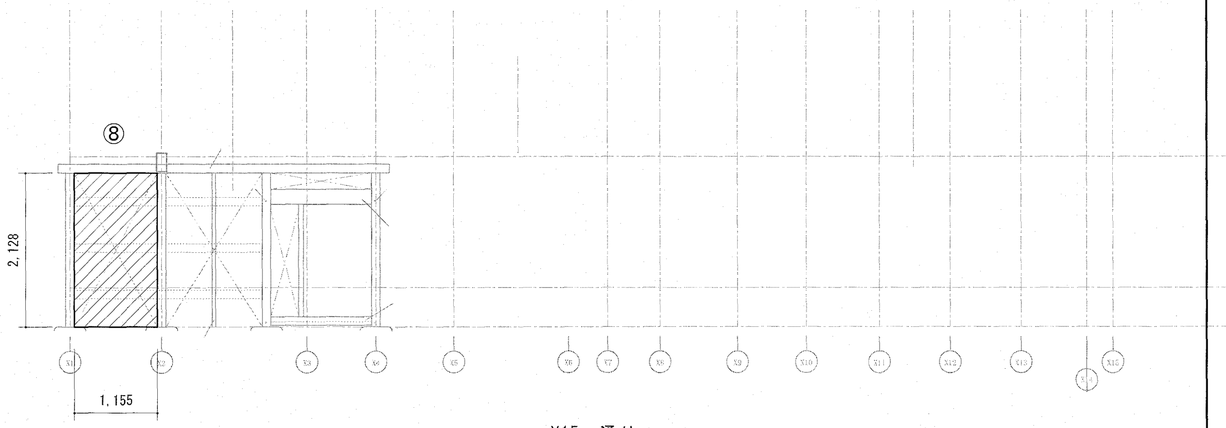
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		濱口 松木	池本	A-84
図面名　屋根工事（水屋）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

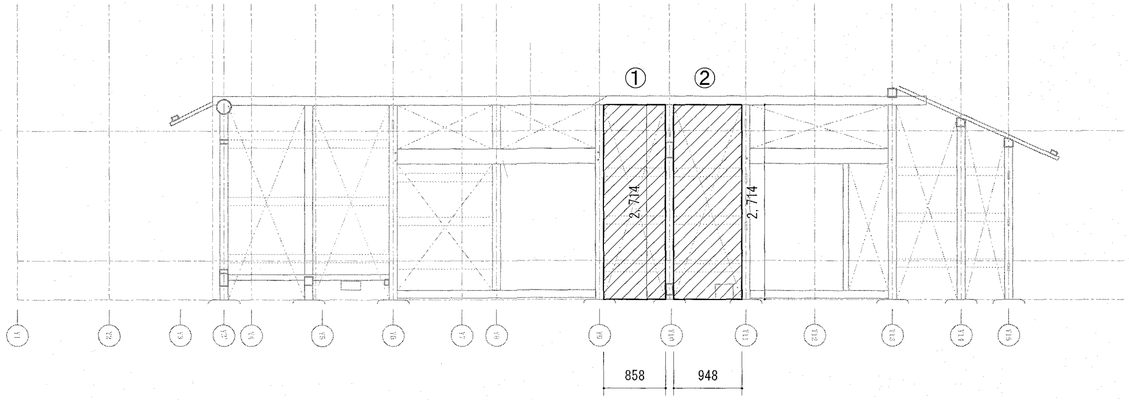
A2：100%、A3：71%、A4：50%



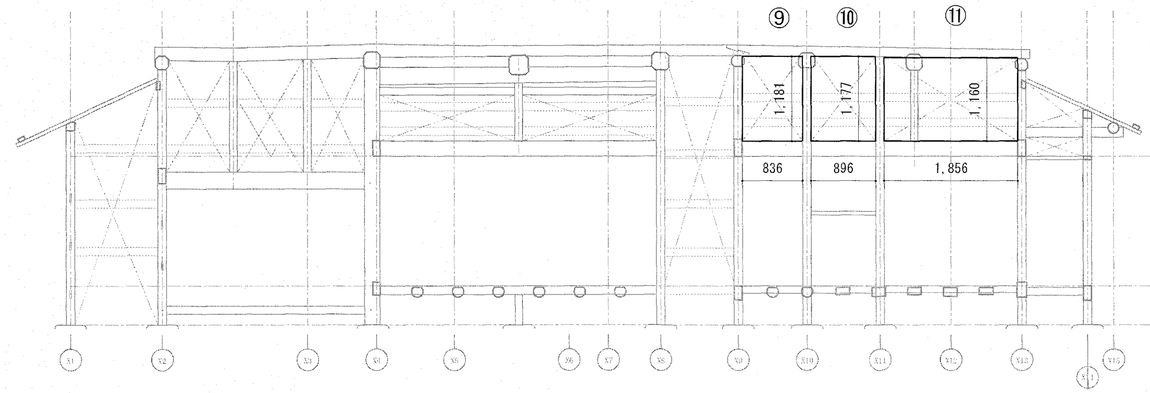
土壁塗直し範囲図



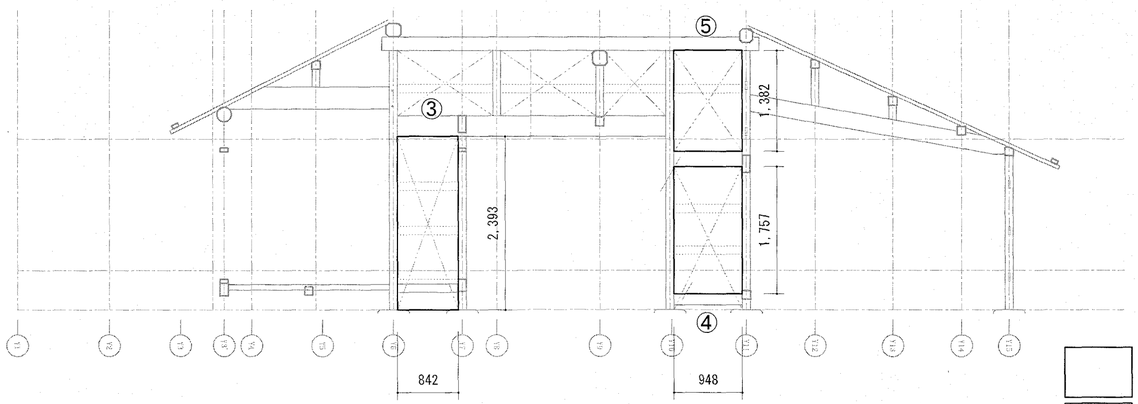
Y15　通り



X1　通り



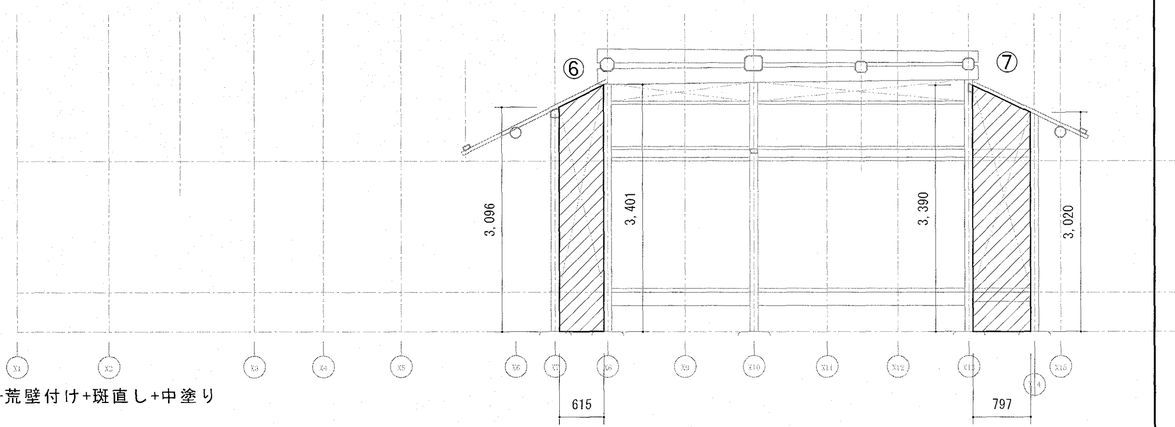
Y11　通り



X2　通り

小舞掻き+荒壁付け+斑直し+中塗り

小舞掻き+荒壁付け+斑直し+中塗り+外部漆喰塗（土佐漆喰）



Y2 通り

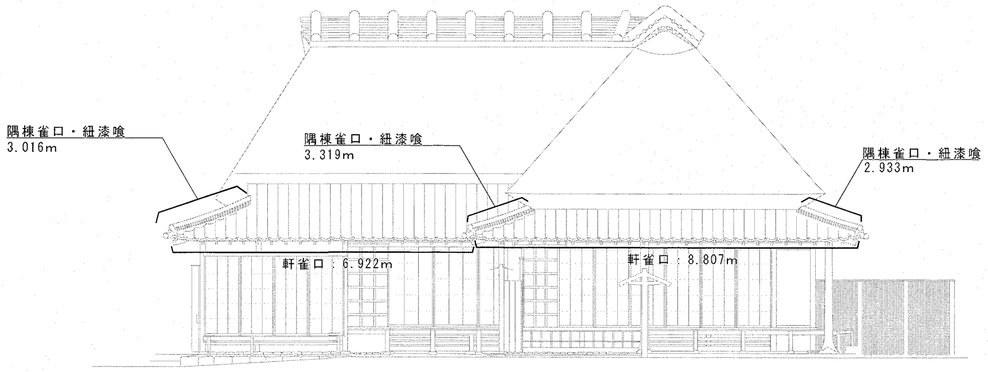
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

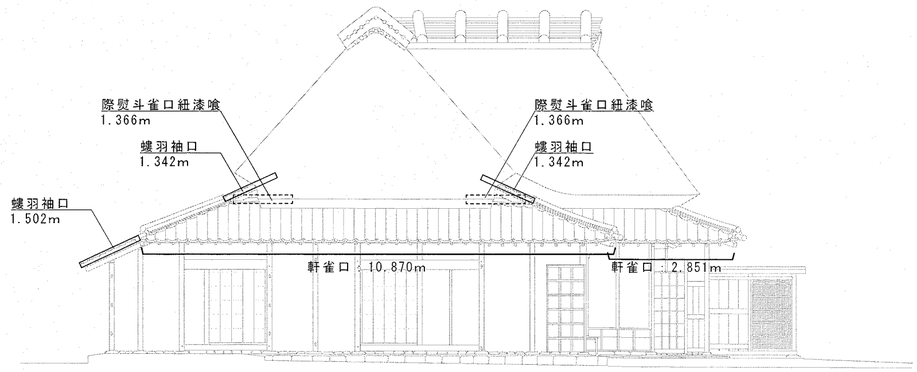
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濱口	松木	畑村	A-85
図面名　左官工事（主屋）1　2023/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	

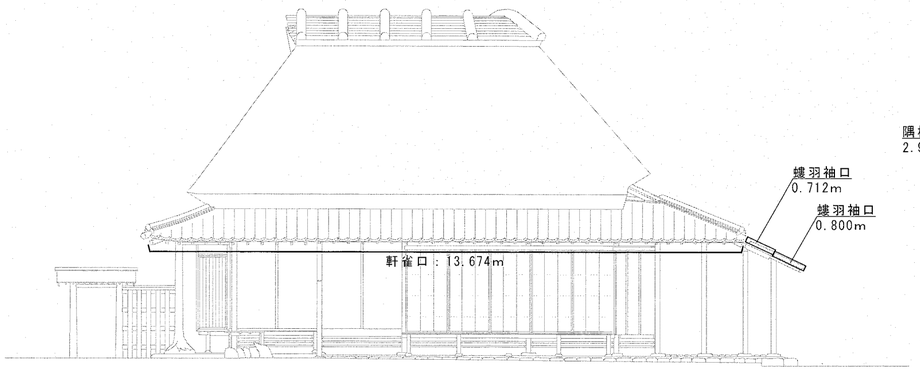
A2：100%、A3：71%、A4：50%



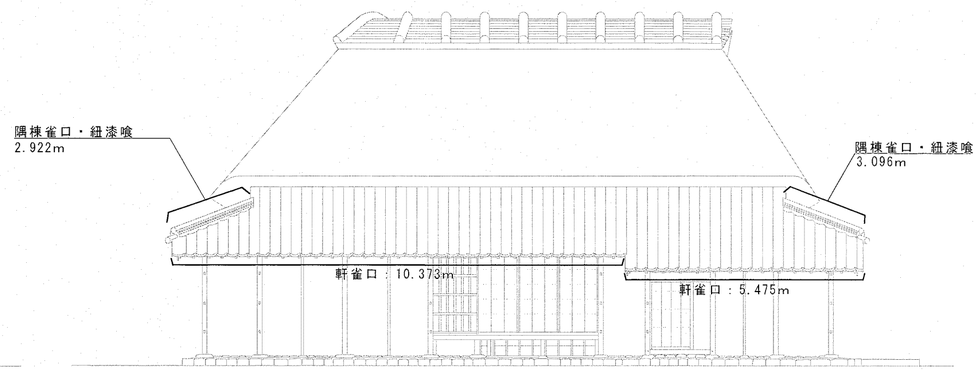
主屋　南立面図



主屋　西立面図



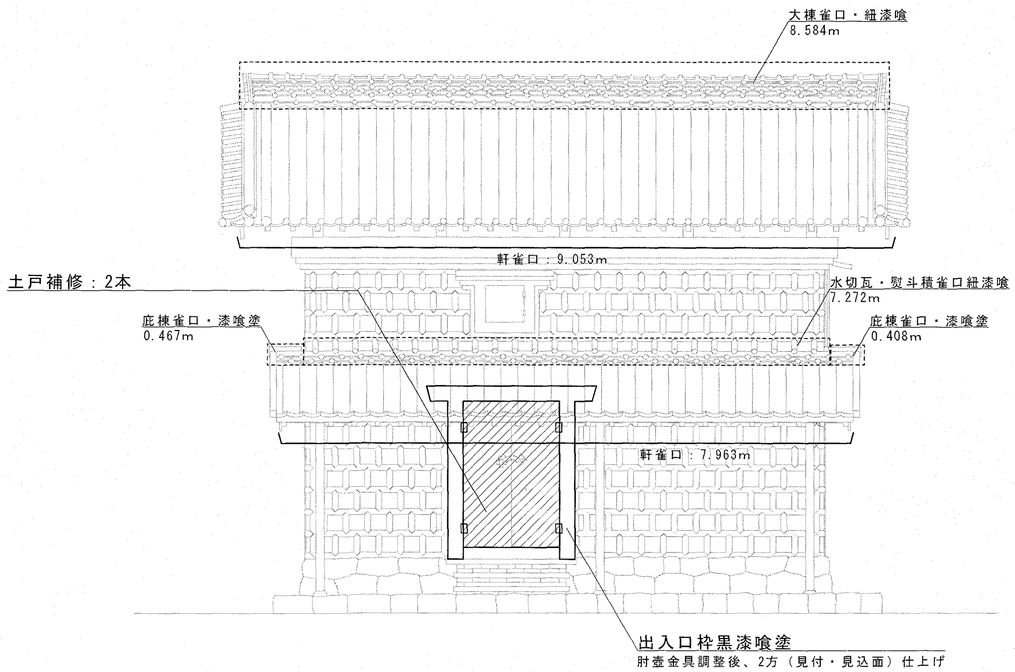
主屋　東立面図



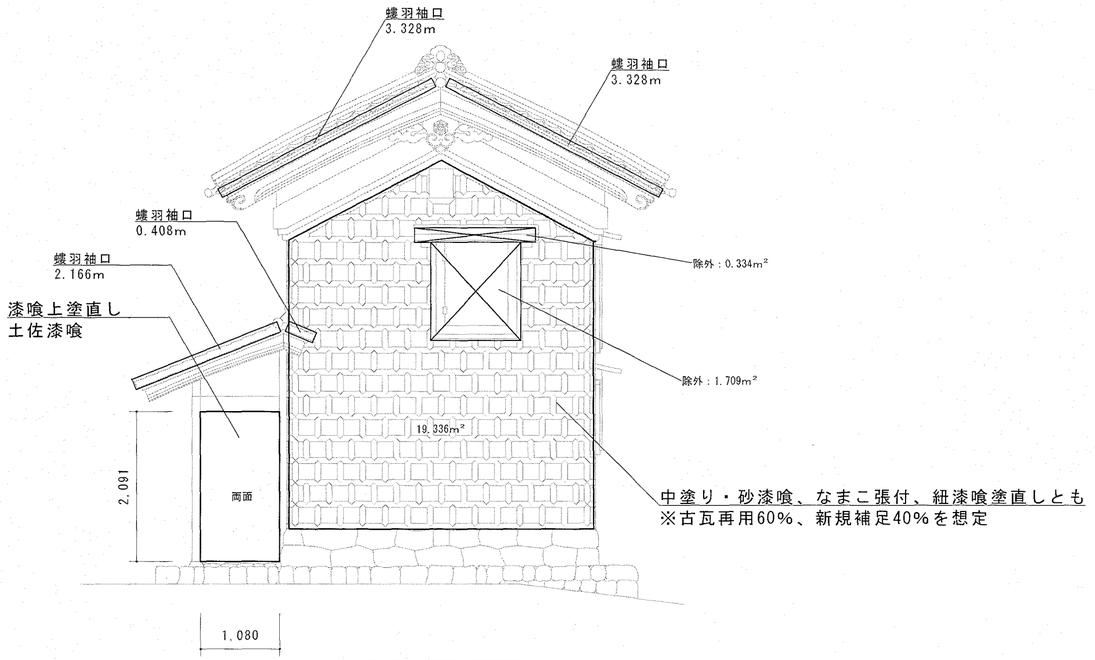
主屋　北立面図

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤	渡口	松本	岡本	A-86
	設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名　左官工事（主屋）２　2023/05　縮尺　1/100	作図　年　月　日				
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸							

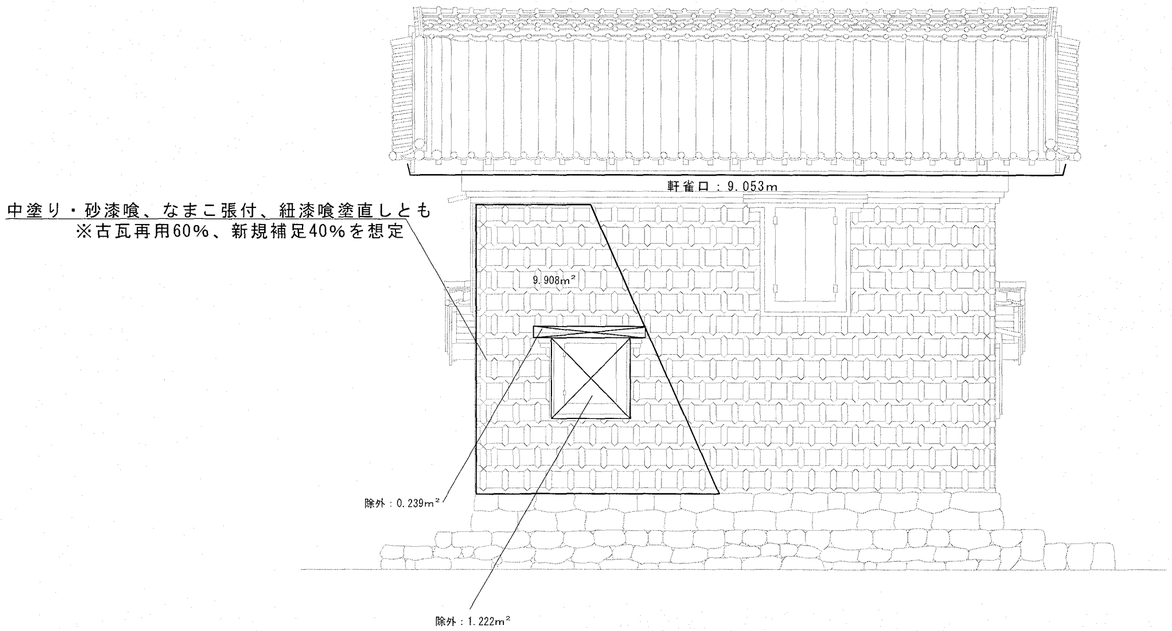
A2：100%、A3：71%、A4：50%



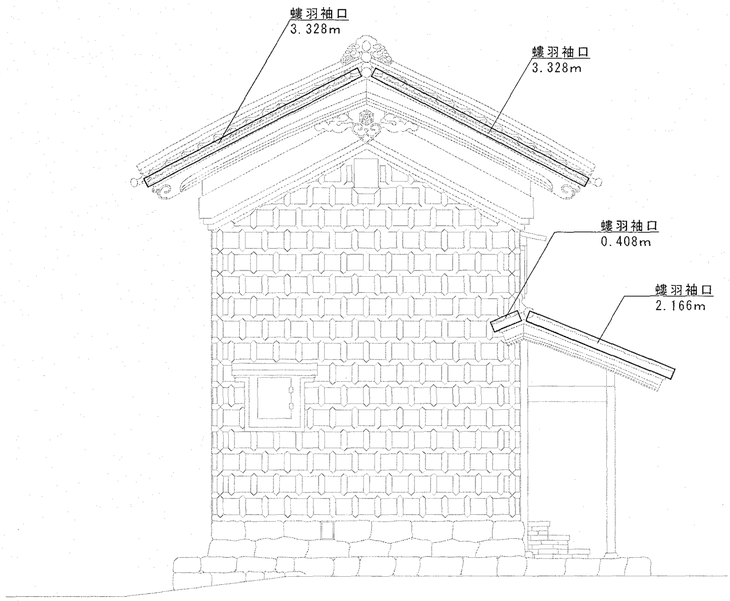
道具倉 東立面図



道具倉 北立面図



道具倉 西立面図

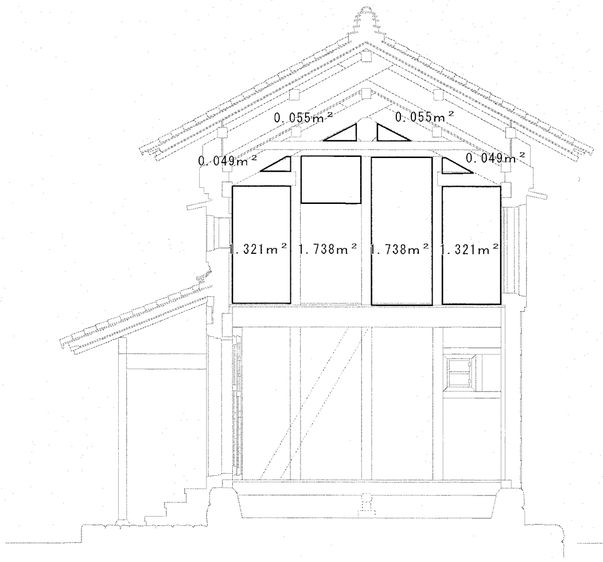


道具倉 南立面図

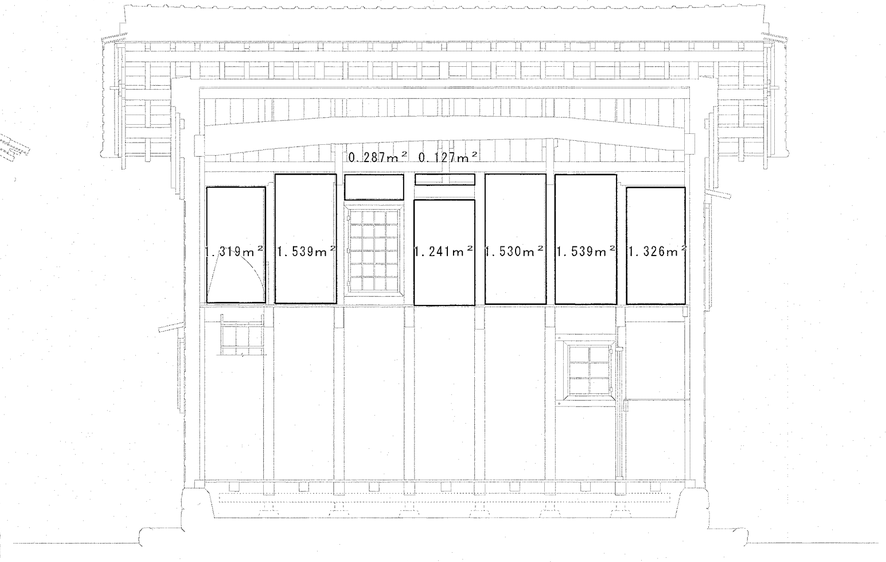
外壁および屋根廻り漆喰塗補修範囲図

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	濱口	松本	岡村	A-87
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林 裕幸			図面名 左官工事（道具倉）1 2023/05 縮尺 1/60	作図 年 月 日				

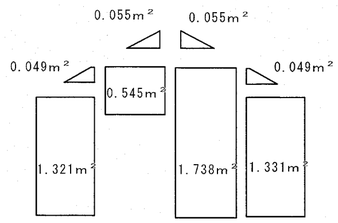
A2：100%、A3：71%、A4：50%



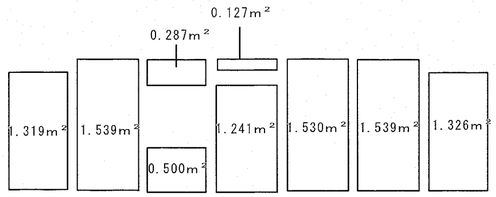
南面



西面



北面

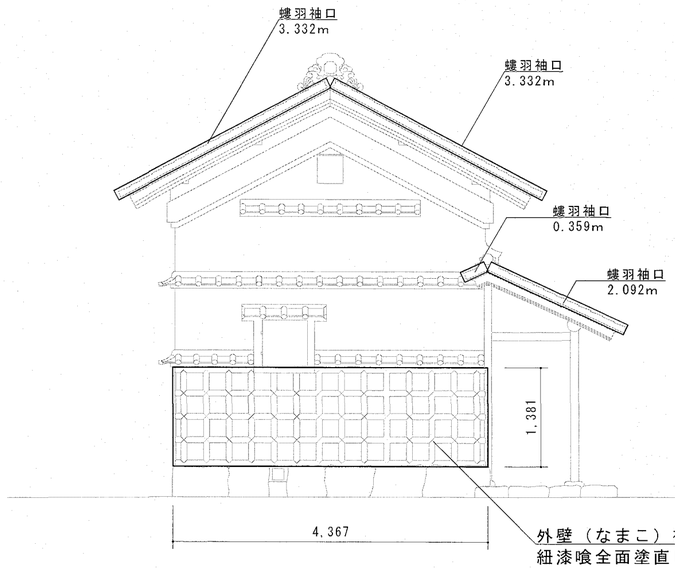


東面

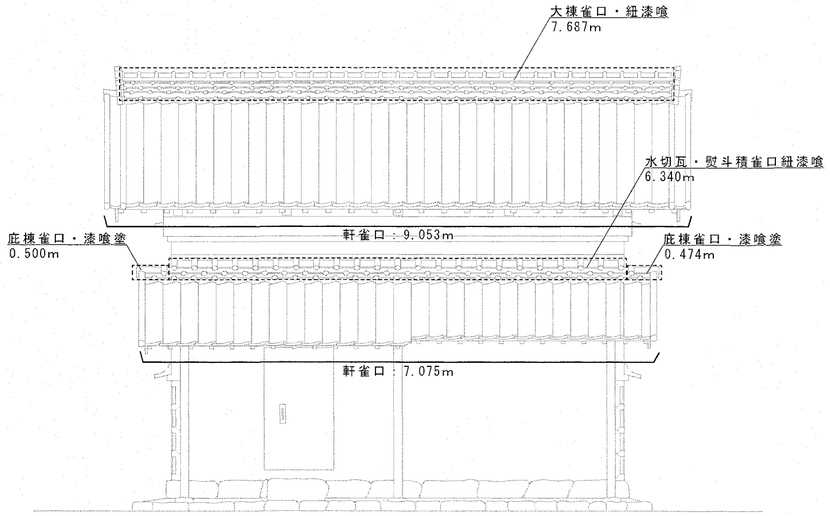
内部鼠漆喰上塗範囲図

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事					A-88
設計・監理 (公財) 文化財建造物保存技術協会			図面名 左官工事(道具倉) 2 2023/05 縮尺 1/60	作図	年	月	日	
一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号 一級建築士 登録 第272522号 小林 裕幸								

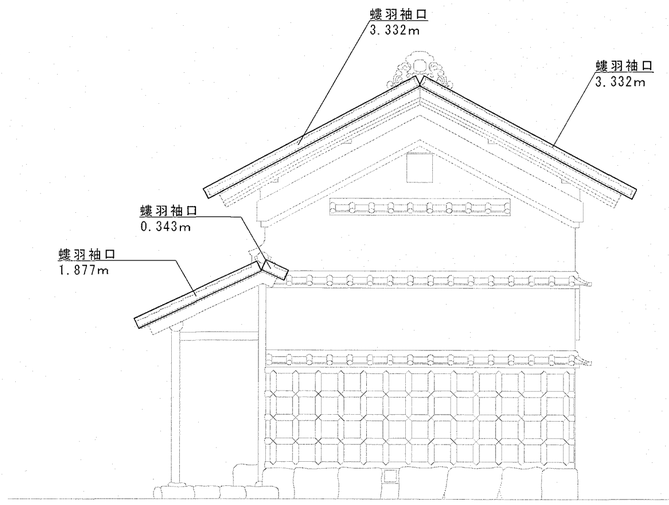
A2：100%、A3：71%、A4：50%



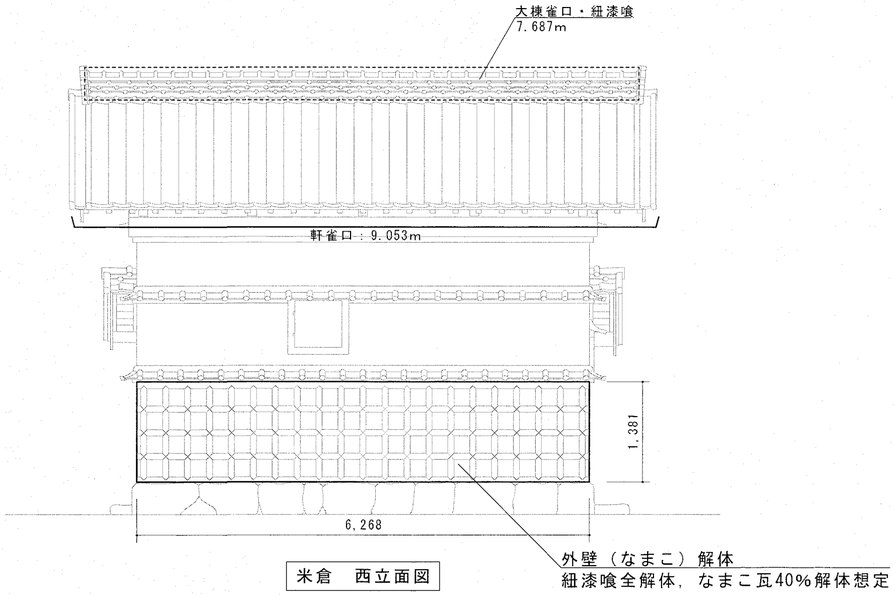
米倉　南立面図



米倉　東立面図



米倉　北立面図

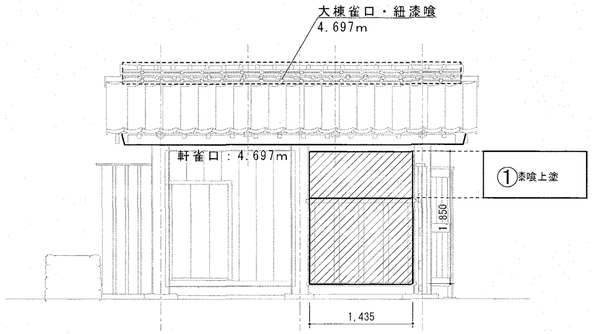


米倉　西立面図

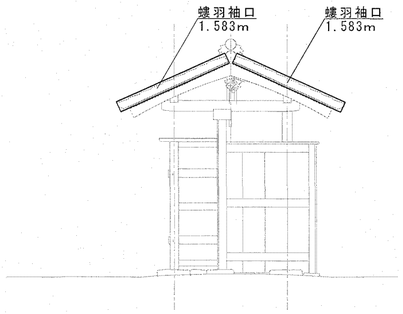
外壁および屋根廻り漆喰塗補修範囲図

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事	澤田	濱口	松木	岡村	A-89
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸			図面名　左官工事（米倉）　2023/03　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

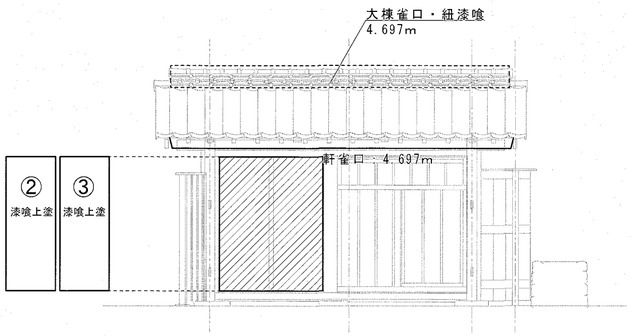
A2：100%、A3：71%、A4：50%



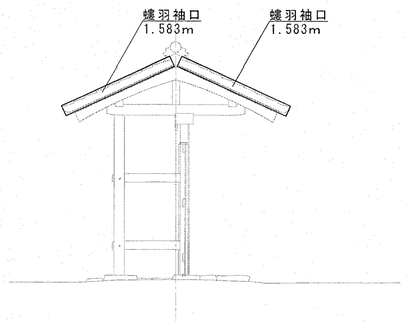
表門　東立面図



表門　南立面図



表門　西立面図

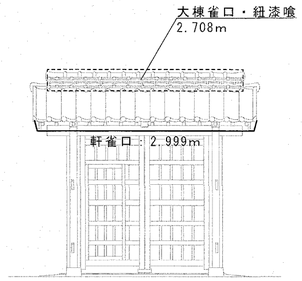


表門　北立面図

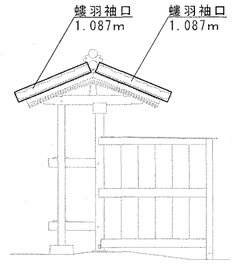
外壁および屋根廻り漆喰塗範囲図

小舞掻き・荒壁付け
斑直し・中塗り範囲

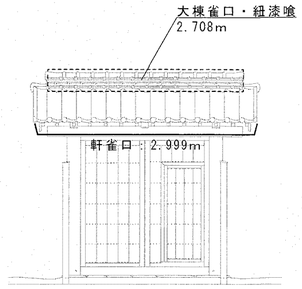
表門					
漆喰上塗		東面	0.972 ㎡	①	
		西面	1.306 ㎡	②	
		西面	1.306 ㎡	③	
			Σ①～③ 3.584 ㎡		㎡
			≒ 3.6 ㎡		3.6



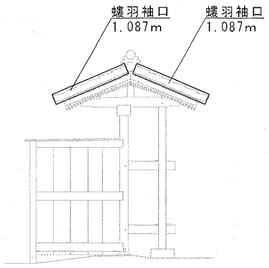
裏門　東立面図



裏門　北立面図



裏門　西立面図

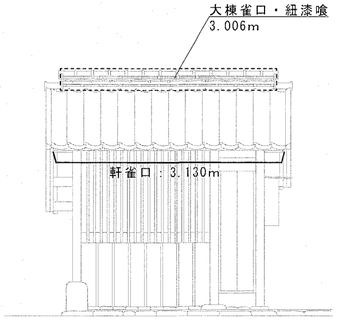


裏門　南立面図

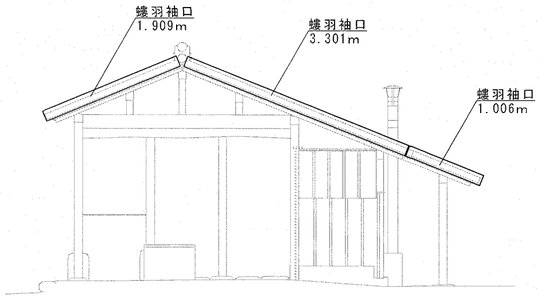
屋根廻り漆喰塗範囲図

		設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長 / 課長補佐 / 課長
		一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	澤口 / 松木 / 岡村
				図面名　左官工事（表門・裏門）2023/05　縮尺　1/60	作図	年　月　日　図面番号 A-90

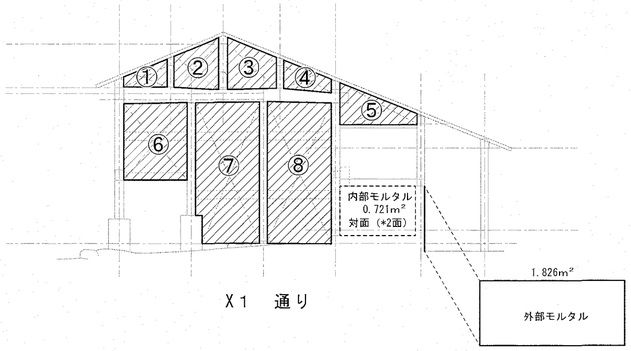
A2：100%、A3：71%、A4：50%



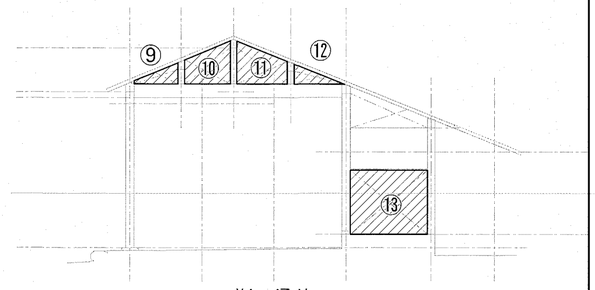
水屋　南立面図



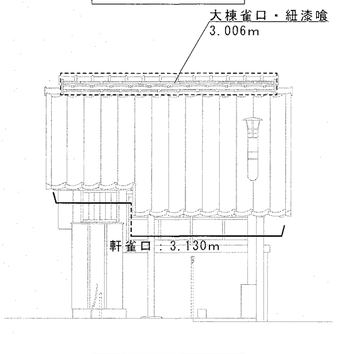
水屋　西立面図



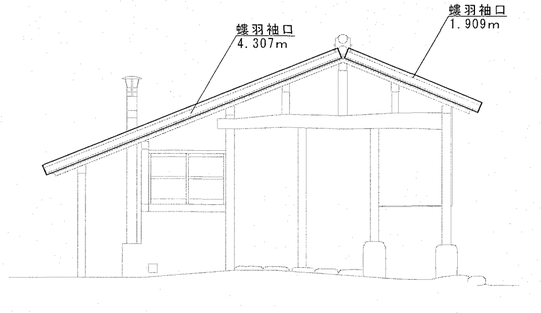
X1　通り



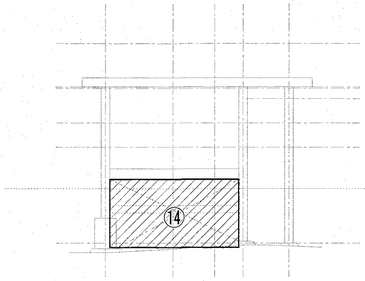
X4　通り



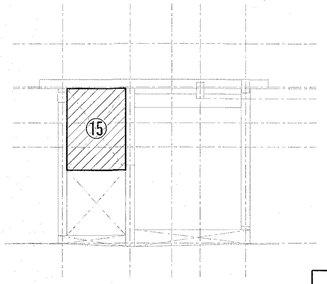
水屋　北立面図



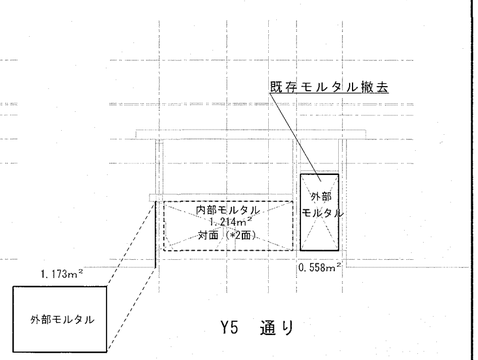
水屋　東立面図



Y1　通り



Y4　通り



Y5　通り

屋根廻り漆喰塗範囲図

外壁補修範囲図

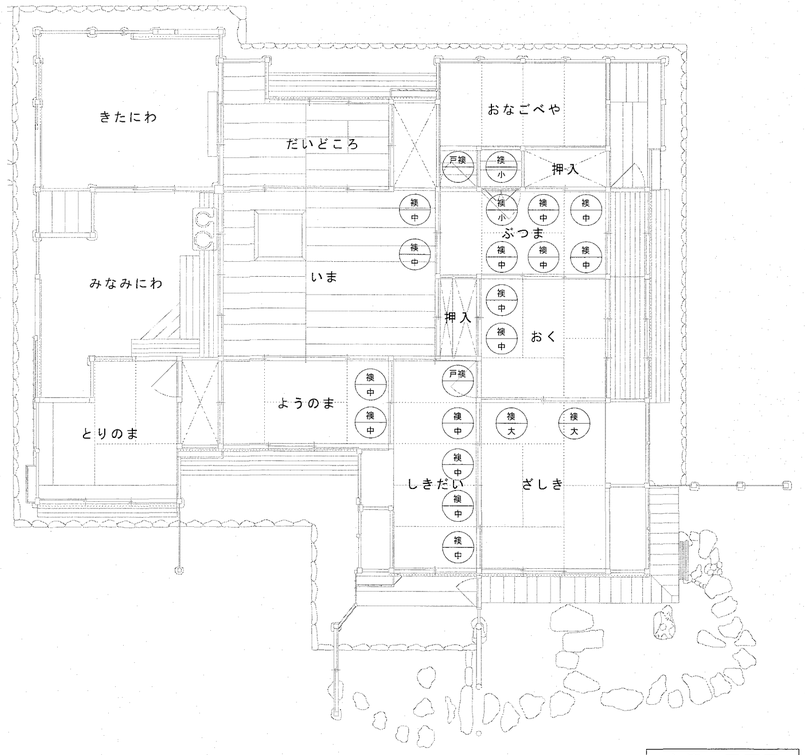
小舞掻き+荒壁付け+斑直し+中塗り+外部漆喰塗（土佐漆喰）

外部モルタル塗り（金鏝仕上げ）

内部モルタル塗り（金鏝仕上げ）

水屋					
小舞掻き		西面	0.160 ㎡	①	
			0.355 ㎡	②	
			0.388 ㎡	③	
			0.193 ㎡	④	
			0.394 ㎡	⑤	
			0.934 ㎡	⑥	
			1.704 ㎡	⑦	
			1.737 ㎡	⑧	
		東面	0.102 ㎡	⑨	
			0.293 ㎡	⑩	
			0.316 ㎡	⑪	
			0.096 ㎡	⑫	
			0.954 ㎡	⑬	
		南面	1.684 ㎡	⑭	
		中央間仕切り	0.922 ㎡	⑮	
		Σ ①～⑮	10.232 ㎡		㎡
		≒	10.2 ㎡		10.2

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤口	澤口	松木	畑村	A-91
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸			図面名　左官工事（水屋）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

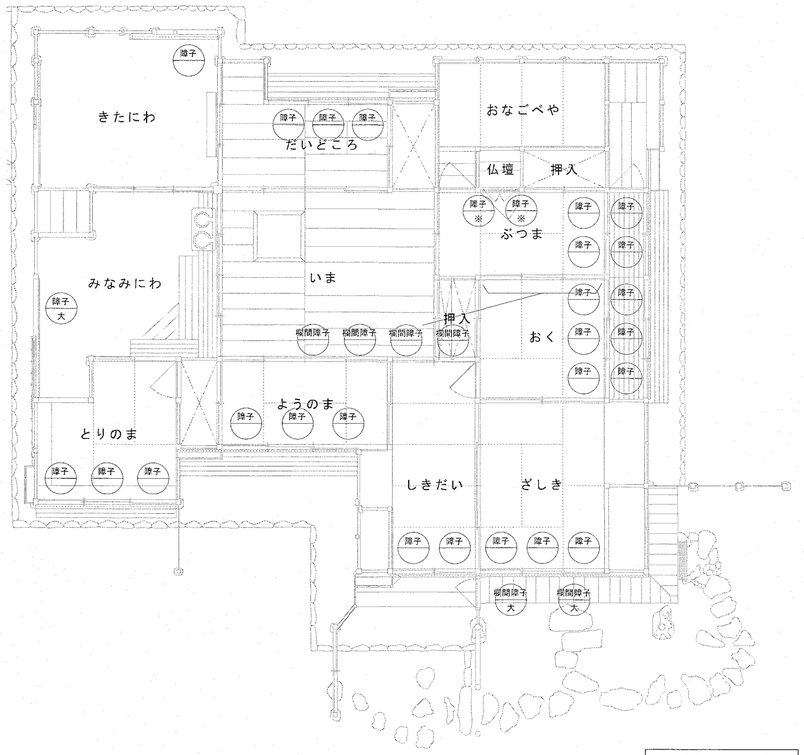


主屋　平面図

襖補修範囲図

主屋

襖				
		【修理方針】 大襖・中修理	2 枚	
		中襖・中修理	15 枚	
		小襖・中修理	2 枚	
		板戸襖・小修理	2 枚	



主屋　平面図

障子補修範囲図

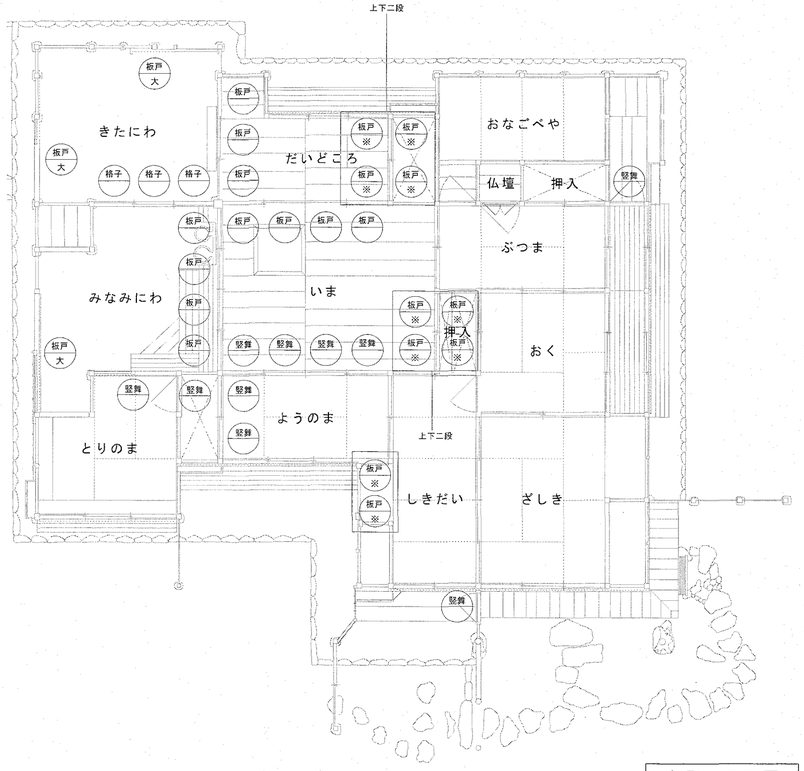
主屋

障子				
		【修理方針】 腰付障子・大・中修理	1 枚	
		腰付障子・中修理	25 枚	
		欄間障子・大・小修理	2 枚	
		欄間障子・小修理	4 枚	

※仏壇両開き障子は存置

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-92
		図面名　建具工事（主屋）1　2023/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



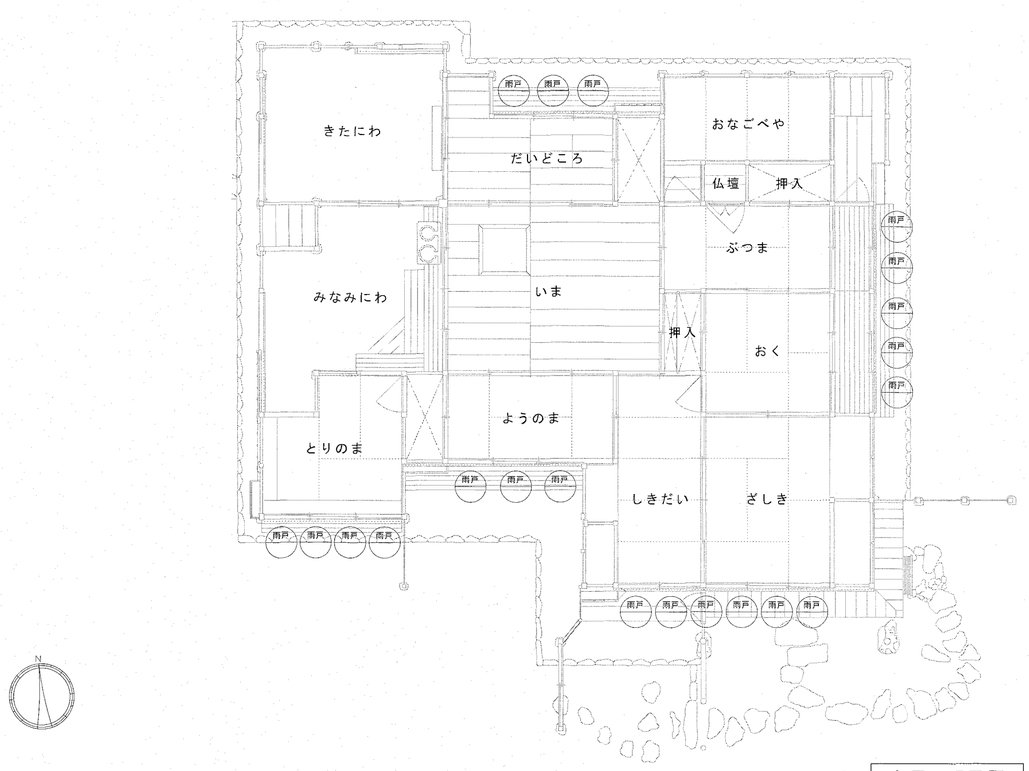
主屋　平面図

板戸補修範囲図

※板戸２枚引違のうち、10枚は補修を行わないが、取外し、建て込み調整を行う

主屋

板戸				
		【修理方針】 竪舞良戸・中修理	10 枚	
		板戸・中修理	11 枚	
		格子戸・小修理	3 枚	
		板戸・大・中修理	3 枚	



主屋　平面図

雨戸補修範囲図

主屋

雨戸				
		【修理方針】 雨戸・中修理	21 枚	

主屋 建て込み調整明細表

建て込み調整		襖　2枚引違い	4 ヶ所	10 枚		
		襖　3枚引違い	1 ヶ所	3 枚		
		襖　4枚引違い	1 ヶ所	4 枚		
		襖　片引き	0 ヶ所	0 枚		
		襖・戸襖　片開き	4 ヶ所	4 枚		
		障子　2枚引違い	4 ヶ所	8 枚		
		障子　3枚引違い	6 ヶ所	18 枚		
		障子　4枚引違い	1 ヶ所	4 枚		
		障子　倹飩・片引き	6 ヶ所	6 枚		
		窓障子 2枚引違い	2 ヶ所	4 枚		
		板戸　2枚引違い	6 ヶ所	12 枚	※	
		板戸　3枚引違い	2 ヶ所	6 枚		
		板戸　4枚引違い	2 ヶ所	8 枚		
		板戸　片引き	7 ヶ所	7 枚		
		雨戸　6枚引き	1 ヶ所	6 枚		
		雨戸　5枚引き	1 ヶ所	5 枚		
		雨戸　4枚引き	1 ヶ所	4 枚		
		雨戸　3枚引き	2 ヶ所	6 枚		
						ヶ所
			52 ヶ所	115 枚		48

※板戸２枚引違のうち、10枚は補修を行わないが、取外し、建て込み調整を行う

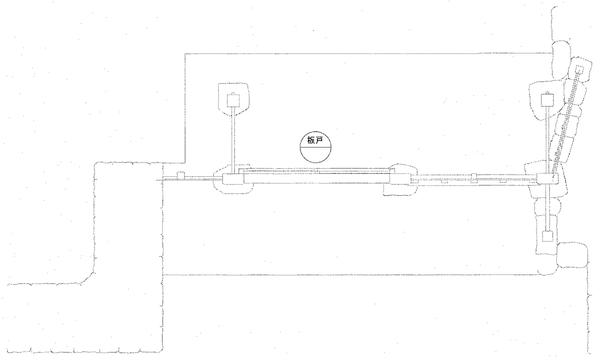
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤	澤	松木	岡	A-93
図面名　建具工事（主屋）２　2023/05　縮尺　1/100	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%

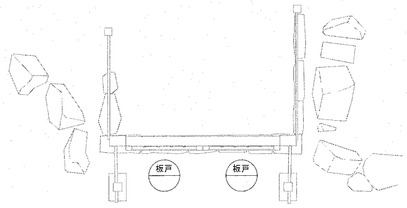


建具補修範囲図

表門　平面図

表門

出入口　板戸		W	H	D		
		1.798 ×	1.853 ×	0.045	1 枚	
		【修理方針】 解体修理、部材取替・補修、金具取替無し、戸車取替				
建て込み調整					1 枚	
					1 ヶ所	

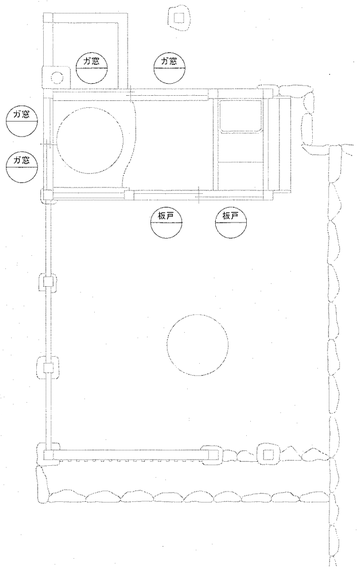


建具補修範囲図

裏門　平面図

裏門

出入口　板戸		W	H	D		
		0.888 ×	1.865 ×	0.052	2 枚	
		【修理方針】 解体修理、部材取替・補修、金具取替無し				
		丁番取替、潜戸ドアノブ新調				
建て込み調整					2 枚	
					1 ヶ所	



建具補修範囲図

水屋　平面図

水屋

出入口　板戸		W	H	D		
		0.75 ×	1.75 ×	0.036	2 枚	
		【修理方針】 解体修理、部材取替・補修、戸車取替				
		ステンレス製レール取替				
西面ガラス窓		W	H	D		
		0.55 ×	0.7 ×	0.036	2 枚	
		【修理方針】 解体修理、部材取替・補修				
		ガラス再用				
北面ガラス窓		W	H	D		
		0.89 ×	0.7 ×	0.036	2 枚	
		【修理方針】 解体無し、補修なし、割楔締直し				
		ガラス再用				
建て込み調整					6 枚	
					3 ヶ所	

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

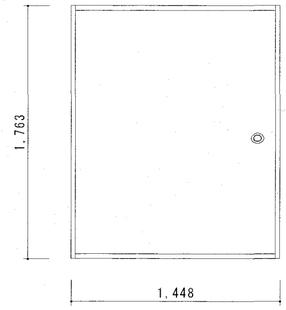
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	濱田	松木	岡村	A-94
図面名 建具工事（表門・裏門・水屋）R3.03/05　縮尺 1/30	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%

主屋　大襖

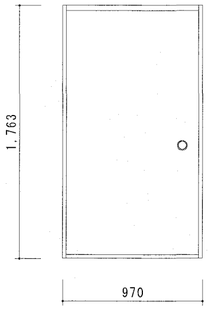


※襖は共通して、襖紙(本沙織)張替え、引手清掃、襖紙取替のため框を取外し、旧塗装面の清掃、色付・漆拭を行う。

【中修理　2枚】

框矧木補修、矧木部分の黒漆塗のうえ、框全体の漆拭き

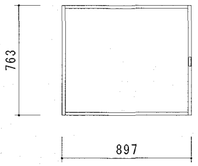
主屋　中襖



【中修理　15枚】

框矧木補修、矧木部分の黒漆塗のうえ、框全体の漆拭き

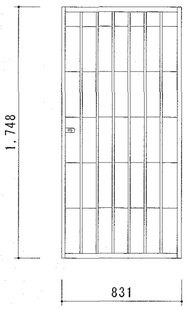
主屋　小襖



【中修理　2枚】

框矧木補修、矧木部分の黒漆塗のうえ、框全体の漆拭き

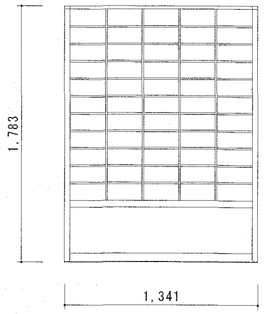
主屋　板戸襖



【小修理　2枚】

框補修なし、框全体の漆拭き

主屋　腰付障子・大

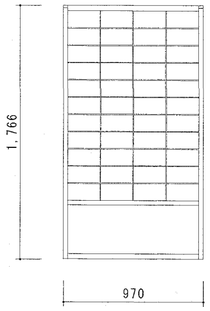


※障子は共通して、障子紙取替、旧塗装面の清掃、古色塗を行う。

【中修理　1枚】

框矧木補修、組子部分取替、腰板接着補修

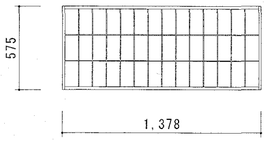
主屋　腰付障子



【中修理　25枚】

框矧木補修、組子部分取替、腰板接着補修

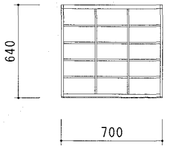
主屋　欄間障子・大



【小修理　2枚】

框矧木補修、腰板・組子接着補修

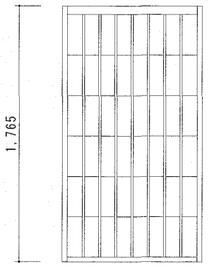
主屋　欄間障子



【小修理　4枚】

框矧木補修、腰板・組子接着補修

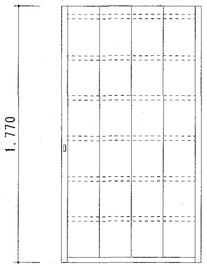
主屋　竪舞良戸



【中修理　10枚】

竪框上下矧木補修

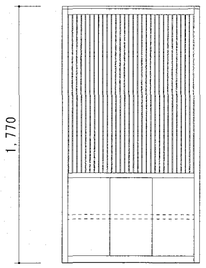
主屋　板戸



【中修理　11枚】

框埋木補修、竪板矧木補修、竪板取替

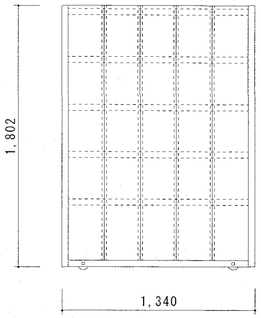
主屋　格子戸



【小修理　3枚】

框埋木補修、竪板矧木補修

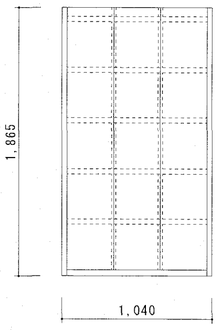
主屋　板戸・大



【中修理　3枚】

框埋木補修、竪板矧木補修、竪板取替

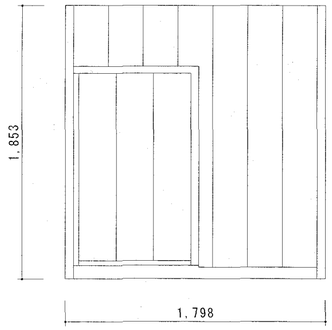
主屋　雨戸



【中修理　21枚】

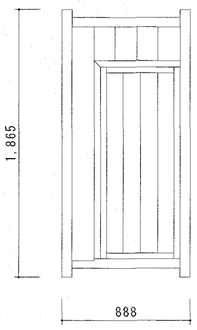
框矧木補修、戸板部分取替、和釘欠損部追加

表門　板戸



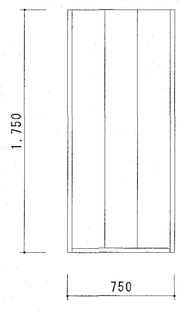
【修理　1枚】　解体修理、部材取替・補修、金具取替無し、戸車取替、再用金具は錆落とし・錆変換剤塗布

裏門　板戸



【修理　2枚】　解体修理、部材取替・補修、金具取替無し、丁番取替、潜戸ドアノブ新調、再用金具は錆落し・錆変換剤塗布

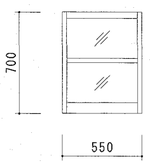
水屋　板戸



【修理　2枚】

解体修理、部材取替・補修、戸車取替、ステンレス製レール取替

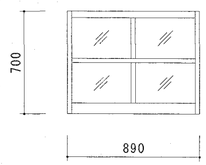
水屋　西面ガラス窓



【修理　2枚】

解体修理、部材取替・補修、ガラス再用

水屋　北面ガラス窓



【修理　2枚】

解体なし、補修・取替なし、割楔締直し、ガラス再用

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

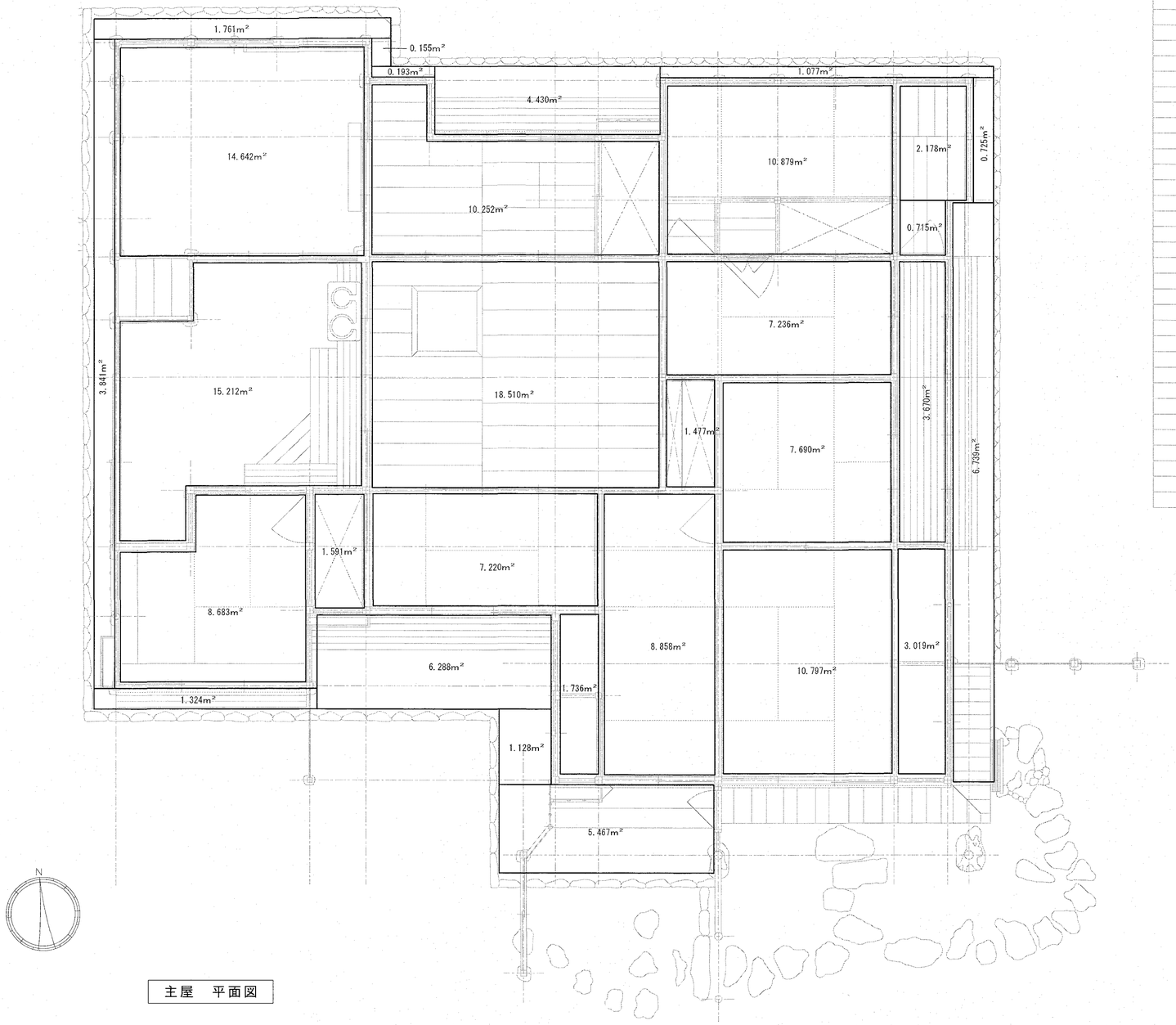
工事名　重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事

図面名　建具工事（建具表）　2023/03　縮尺　1/30

係	係長	課長補佐	課長	図面番号
澤田	濵口	松永	福本	A-95

作図　年　月　日

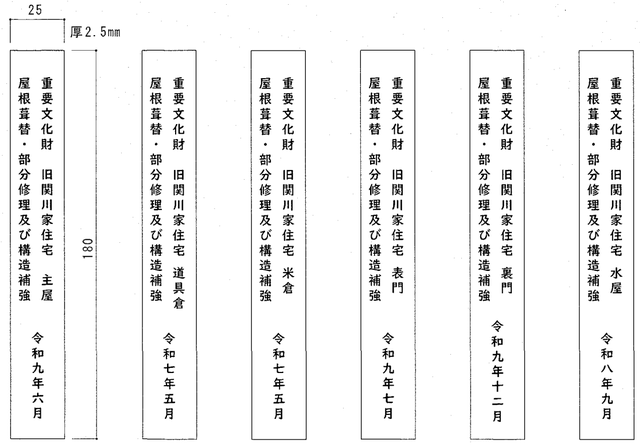
A2：100%、A3：71%、A4：50%



主屋　平面図

土壌防蟻処理範囲図

主屋				
土壌防蟻処理		内部（床下）		
		とりのま	8.683 ㎡	
		みなみにわ	15.212 ㎡	
		きたにわ	14.642 ㎡	
		だいどころ（押入下含む）	10.252 ㎡	
		いま	18.510 ㎡	
		押入	1.591 ㎡	
		ようのま	7.220 ㎡	
		おなごべや	10.879 ㎡	
		ぶつま	7.236 ㎡	
		押入	1.477 ㎡	
		おく	7.690 ㎡	
		しきだい	8.858 ㎡	
		とこまわり	1.736 ㎡	
		ざしき	10.797 ㎡	
		ざしきとこまわり	3.019 ㎡	
		ひがしえん	3.670 ㎡	
		押入	0.715 ㎡	
		押入	2.178 ㎡	
		内部小計	134.365 ㎡	①
		外部（軒下叩き部分）		
		東軒下	3.841 ㎡	
		北軒下1	1.761 ㎡	
		北軒下2	0.155 ㎡	
		北軒下3	0.193 ㎡	
		北軒下4	4.430 ㎡	
		北軒下5	1.077 ㎡	
		東軒下1	0.725 ㎡	
		東軒下2	6.739 ㎡	
		南軒下1	5.467 ㎡	
		南軒下2	1.128 ㎡	
		南軒下3	6.288 ㎡	
		南軒下4	1.324 ㎡	
		外部小計	33.128 ㎡	②
		Σ①～②	167.493 ㎡	㎡
		≒	167 ㎡	167

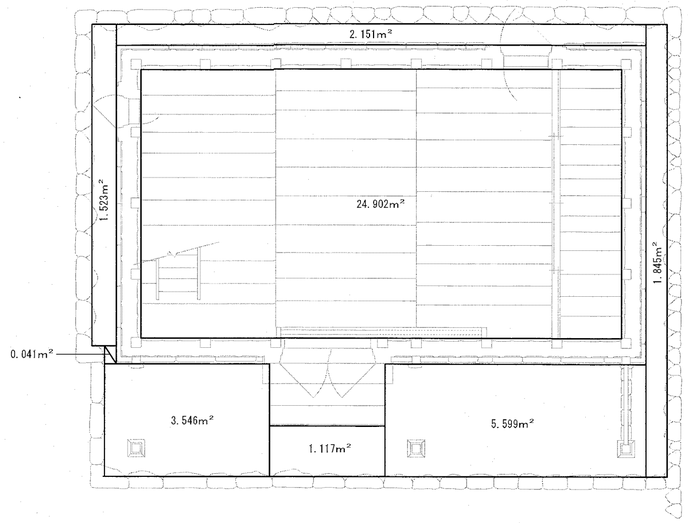


※伸銅製、上下２箇所で銅鋲釘止め。取付位置は協議による。
※製作にあたっては監督職員の承諾を得ること。

修理銘札（参考図）

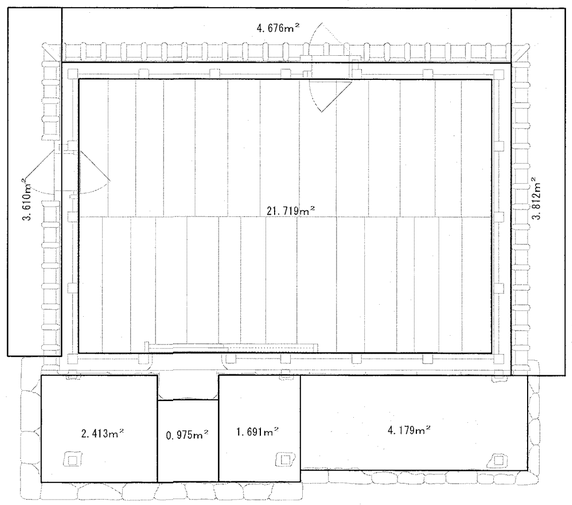
		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					A-96
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸			図面名　雑工事（主屋）　2023/05　縮尺　1/60	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%



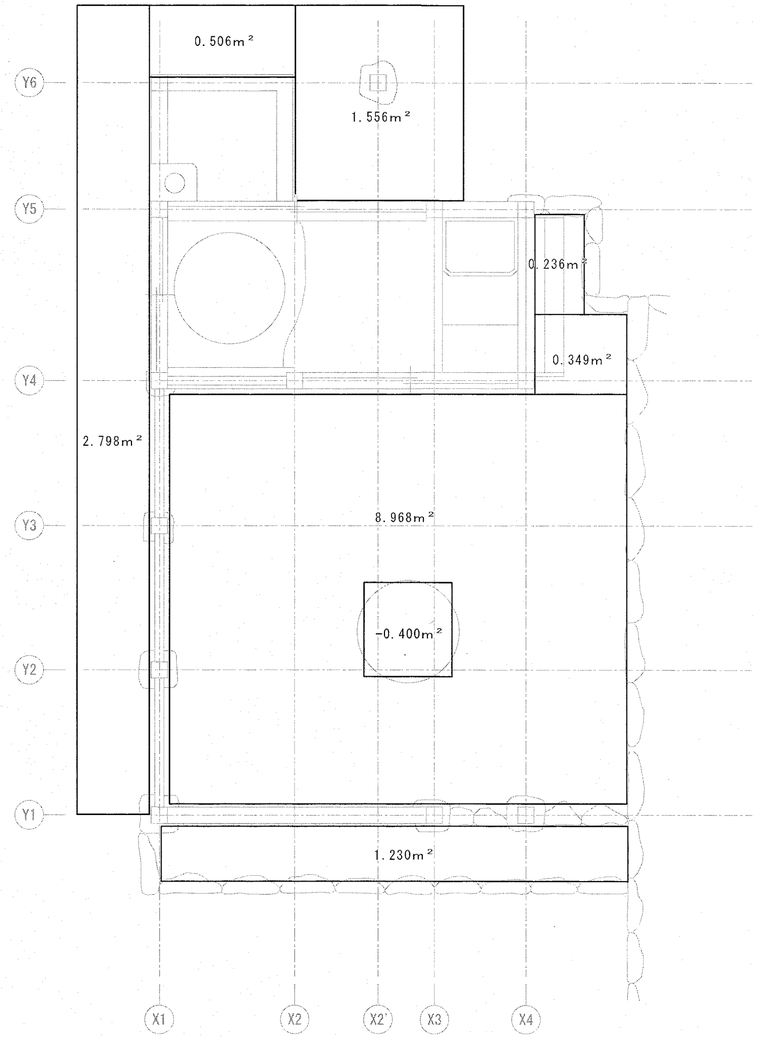
道具倉　土壌防蟻処理範囲図

道具倉　1階平面図　S=1/60



米倉　土壌防蟻処理範囲図

米倉　平面図　S=1/60

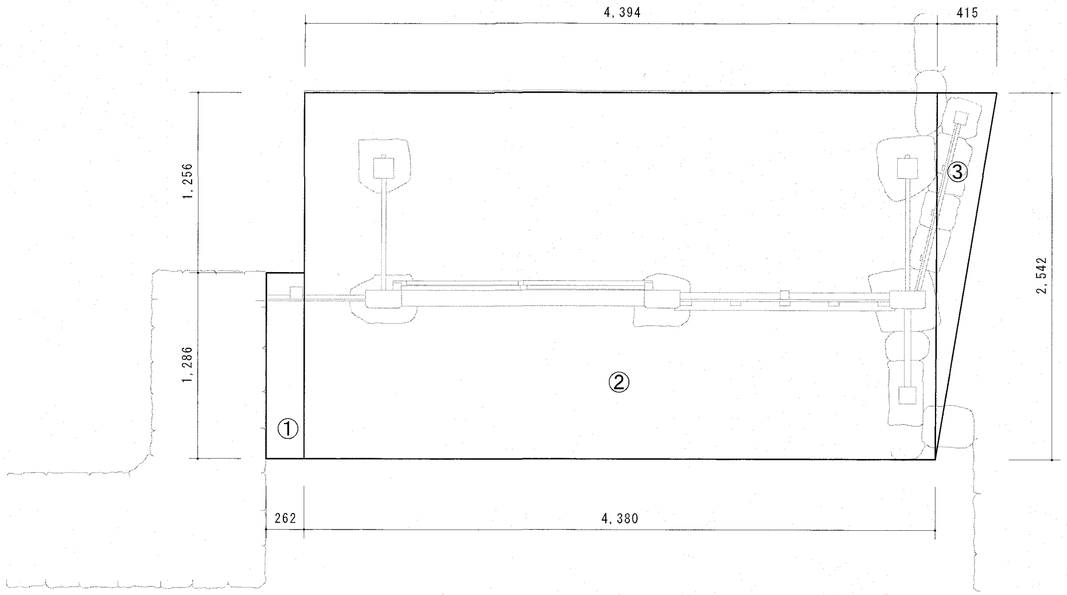


土壌防蟻処理範囲図

水屋　平面図　S=1/30

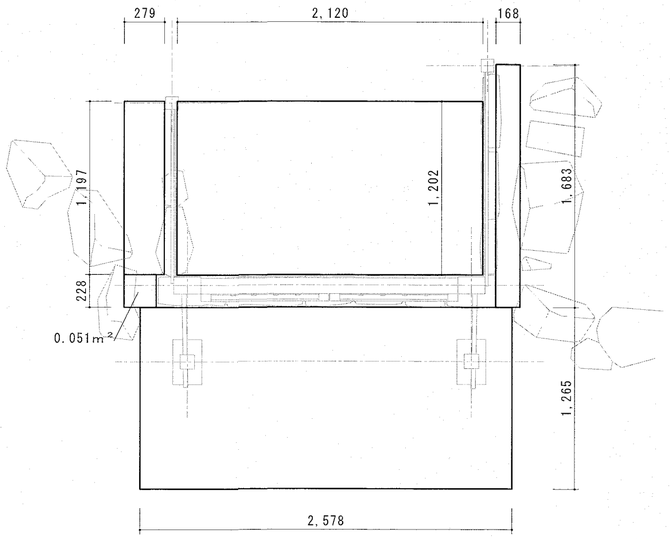
		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟　保存修理工事	澤田	澤口	若木	岡まさ	A-97
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林 裕幸			図面名　雑工事（道具倉・米倉・水屋）　2023/05　縮尺　1/60・30	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



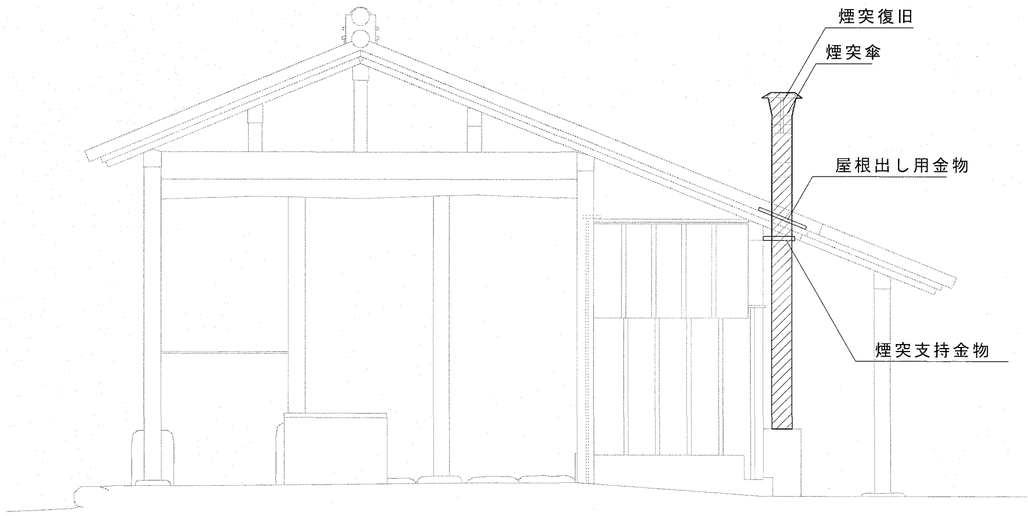
表門　土壌防蟻処理範囲図

表門　平面図



裏門　土壌防蟻処理範囲図

裏門　南立面図

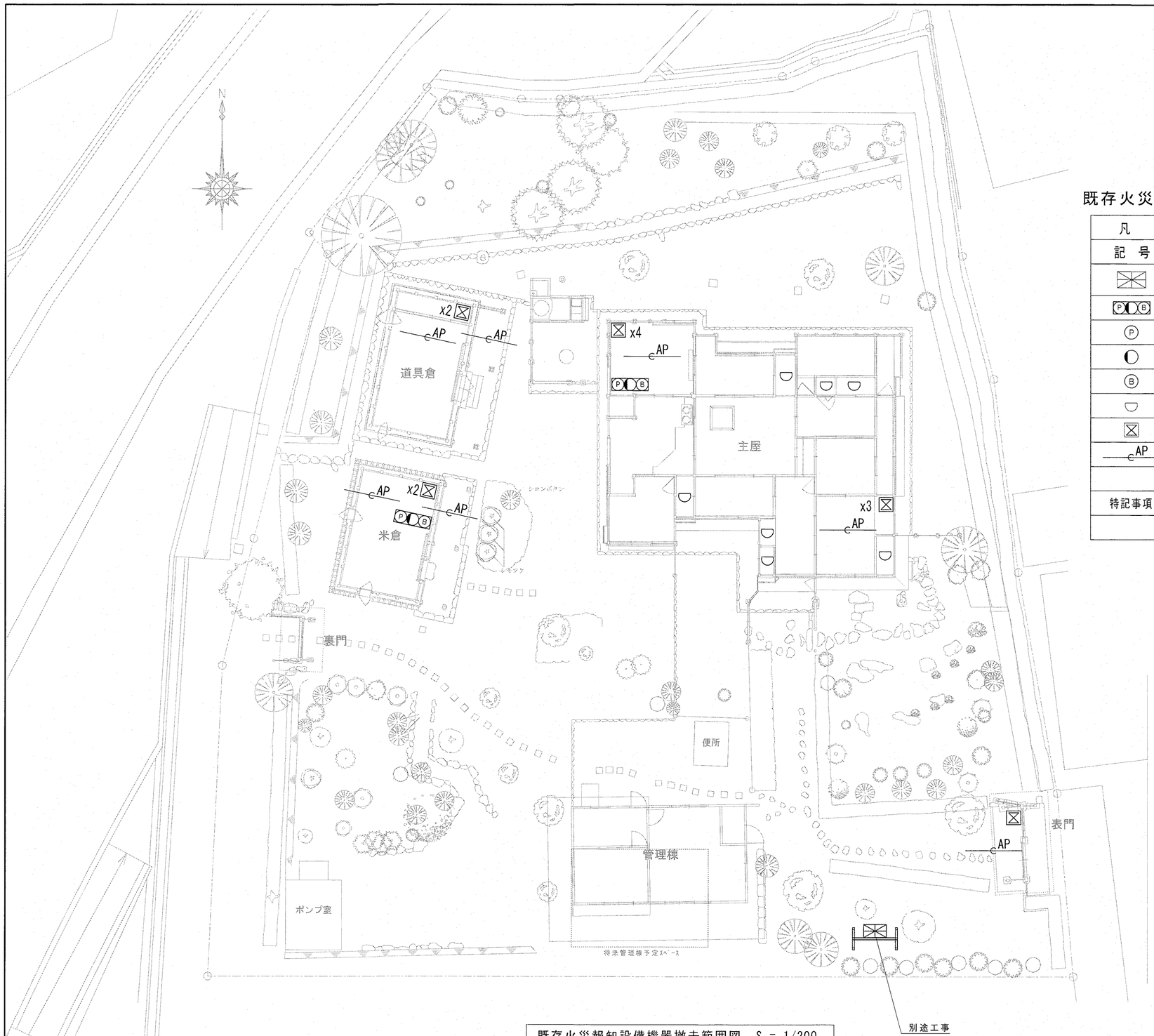


煙突復旧範囲図

水屋　梁間断面図

水屋				
煙突　復旧		直管	2.50	m
		傘	1	個
		屋根出し用金物	1	個
		支持金物	1	個

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松末	岡村寸	A-98
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			図面名　補工事（表門・裏門・水屋）2 2023/05　縮尺　1/30	作図　年　月　日				
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸								



既存火災報知設備機器撤去範囲図　S = 1/200

既存火災報知設備機器仕様書

凡　例			
記　号	名　　称	撤去工事	備　　考
⊠	自火報受信機	別途工事	P型　1級　15回線
P B	総合盤	○	P型　1級　屋内型　　Ⓟ ◐ Ⓑ
Ⓟ	発信機	○	屋内形　P型1級　DC30V
◐	表示灯	○	屋内形　AC・DC24V
Ⓑ	地区音響装置	○	屋内形　6型ベル　DC24V
⌓	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	○	1種　露出型　（DC24V）
⊠	差動式分布型感知器	○	2種　露出型　（DC24V）
AP	空気管	○	ステップル止め
特記事項	1.棟毎の改修工事に伴い、事前に工区毎の『工事中消防計画書』を消防局に提出する。		
	2.棟毎の改修工事に伴う撤去工事となる為、工区毎の受信機調整が必要となる。		

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号　一級建築士 登録 第272522号　小林 裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事	濱口	濱口	松永	岡村	A-99
		図面名　雑工事（自火報取外し）2023/05　縮尺　1/150	作図	年	月	日	

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと。
適用は ◉ 印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1）建築場所　高知市一宮中町3丁目11番地59号
（2）工事種別　□新築　□増築　□増改築　□改築　◉耐震補強
（3）構造設計一級建築士の関与　□必要　◉必要としない
□ 法第20条第一号（高さ60m超）
□ 法第20条第二号（□RC造高さ 20 m超　□S造 4 階建以上 □木造高さ 13 m超え　□その他 ）
注（3）構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
（4）構造種別
◉ 木造（W）　□補強コンクリートブロック造（CB）　□鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC）　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄筋鉄骨コンクリート造（SRC）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□
（5）階　数
一棟　地下　一階　地上　一階　塔屋　一階
（6）主要用途　住居
（7）屋上付属物
□ 高架水槽　kN　□キュービクル　kN　□広告塔　□煙　突
（8）特別な荷重
□ エレベータ　人乗（マシンルームレス　ロープ式　油圧式）□リフト　kN　□ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　N/m²　□受水槽　kN
（9）付帯工事
□ 門塀　□擁壁　□駐輪場　□機械式駐車場
（10）増築計画　□有（　）◉無
（11）構造計算ルート　X方向ルート　-（　）　Y方向ルート　-（　）

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（1）コンクリート（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種　類	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質管理強度 Fq = N/mm²	スランプ cm	備　考
捨てコンクリート	◉普通	Fc=24	Fc=24	15	
土間コンクリート	□普通				
基礎、基礎梁	◉普通	Fc=30	Fc=30	15	
柱・梁・床・壁	□普通 □軽量				比重
	□普通 □軽量				比重
押えコンクリート	□普通 □軽量				比重
細骨材の種類	◉砂 □山砂 □人工				□
粗骨材の種類	◉砂利 ◉砕石 人工				
水の区分	◉水道水 □地下水 □工業用水				□
混和剤の種類（JIS A 6204 ）	◉AE減水剤 □高性能AE減水剤				
呼び強度を保証する材齢、養生	◉材齢（◉28日 □ 56日 □ □ □ ）				
	◉養生（□現場封かん □現場水中 ◉標準 □ ）				

◉ 単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

（2）コンクリートブロック（□JIS A 5406）
□A種　□B種　□C種　厚 □100 □120 □150 □190　使用箇所（□　□　）

（3）鉄　筋

種　類	径	使用箇所	継手工法
◉SD295A	D13～D16	地中梁	◉重ね継手　D13～D16
□SD295B			□ガス圧接継手
□SD345			□溶接継手
□SD390			□機械式継手
□			（　）
□材種			各継手の使用詳細については本仕様5（2）鉄筋の項の鉄筋継手等の ◉ にて表示すること。
□大臣認定番号 MSRB-			
□SR235			
□			

異形鉄筋
高強度せん断補強筋
丸　鋼（JIS G 3112）
溶接金網（JIS G 3551）

（4）鉄　骨

種　類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号
◉SS400 □SM400 ◉SN400A(B)C	梁、胴縁	□有 ◉無	JIS G
◉STKR400 □STKR490 □	柱	□有 ◉無	JIS G
◉BCR295 □BCP235 □BCP325	柱	□有 ◉無	大臣認定品　認定番号 MSTL-9021
□SM490A □SN490B ◉SN490C	ベースプレート、ダイヤフラム	□有 ◉無	JIS G
◉SNR400B □	筋違プレース	□有 ◉無	JIS G
溶接材料　□ JIS Z		□有 ◉無	

○使用箇所の詳細については別途図示する。

（5）ボルト
◉ 高力ボルト
□普通：F10T（JIS B1186）◉S10T 認定番号（　）◉ F8T 認定番号（　）（◉M16、◉M20、◉M22、□M24）
◉12G SHTB 認定番号（MBLT-0064）（□M16、◉M20、□M22、□M24）
□ ボルト（JIS B1180）　M　　M　　□4.8（4T）
◉ アンカーボルト
◉ SS400　M16　L= 640 mm　ナット（□シングル、◉ダブル）
□　M　L=　mm　ナット（□シングル、□ダブル）
□ 頭付スタッドボルト
φ=　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）
φ=　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

（6）屋根、床、壁

材　種	型式　厚　その他	使用箇所	仕様・構法
ALC　（JIS A 5416）	厚	□壁 □床版	□スライド □ボルト止め □ロッキング □
折　版	H= 厚	□屋根 □	
特殊デッキプレート（JIS G 3352）	型式　厚	□床版 □	
デッキプレート　（JIS G 3352）	型式　厚	□床版 □	
キーストンプレート（JIS G 3352）	型式　厚	□床版 □	

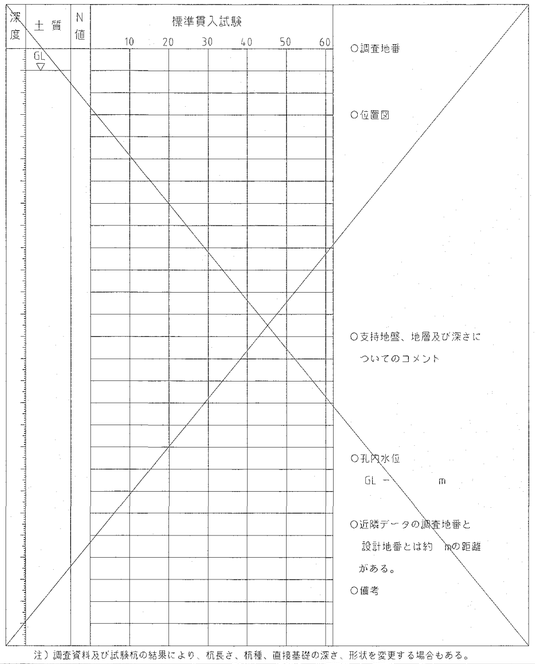
3．地　盤

（1）地盤調査資料と調査計画
◉ 有　（◉敷地内 □近隣）　□無　（調査計画 □有 □無）

調　査　項　目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤振力係数の測定			土質試験	○		物理探査		
試験掘（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定	○	
スエーデン式サウンディング	○		現場透水試験			PS検層	○	

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2）ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



注）調査資料及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1）直接基礎　□ベタ基礎　◉布基礎　□独立基礎　試験掘　□有 ◉無
深さ　GL-　m、支持層　-　、長期許容支持力度　kN/m²　載荷試験　□有 ◉無

（2）地盤改良　□浅層混合処理工法 □深層混合処理工法 □
深さ　GL-　m、長期許容支持力度　kN/m²　載荷試験　□有 □無

（3）杭基礎　支持層-

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
□RC □PRC	PRC(□I種 □II種 □III種)	□打ち込み	
□PHC □鋼	PHC(□A種 □B種 □C種)	□埋込み（セメントミルク工法）	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400	□	認定第　号
□SC杭	□JIS	□	年　月　日
□場所打ちコンクリート杭	コンクリートFc　N/mm²	□オールケーシング □拡底杭	
	Fq　N/mm²	□リバースサーキュレーション	認定
	スランプ　cm以下	□アースドリル □ミニアース	第　号
	セメント量　kg/m³	□BH □深礎 （□羊垣 □機械掘）	年　月　日
	単位水量　kg/m³		
	鉄　筋　主 筋 SD　HOOP SD	□全周回転掘削工法	

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有・□無）　（□打ち込み・□載荷・□孔壁測定）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Fc）が
36 N/mm²以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。

（1）コンクリート
◉ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合する JIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5による。
◉ 耐久設計基準強度　Fd　□一般　□標準　◉長期　□
◉ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一画の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管~~して承認を得る~~。する。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一資料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
◉ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は JASS 5T-603によることとし、~~供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし~~ 採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをする。
また、打込み量が150m³を超える場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。
一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、供試体の数量は、特別な指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
◉ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づいて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、~~外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。~~ ※1
◉ コンクリート打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
◉ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（2）鉄　筋
◉ 鉄筋は JIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
□ 幕強度せん断補強筋は、JIS G3137 に規定される D種1号適合品とする。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）、（2）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）、（2）」による。
◉ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径
	（1）引張力最小部位	（2）（1）以外の部位（注）			
		A 級	B 級	SA 級	
◉ 重ね継手	◉ 40d □ 35d □（　）d				□D（　）以下
□ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号	□			□D（　）以上
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□D（　）以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□D（　）以上

注）（1）以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）」によって検討した部材の条件・仕様によること。

◉ D19未満は、すべて重ね継手とする。
□ 継手部分の施工要領は 社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機会式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査　□有 □無 ・引張試験　□有 □無 ・超音波探傷試験　□有 □無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする）
□ 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、□H型（タカ型）□W型（溶接型）□S型（スパイラル型）とする。
□ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験期間で行うこと。
試験・検査機関名　（都知事登録　号）
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行するものをいう。

（3）型　枠
◉ 材料　合板厚　12 mmを標準とする。　◉施工　JASS 5 による。
◉ 型枠存置期間

種類	せき板				支柱		
部位	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

注）1　片持はり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）7　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえは行わないこと。
注）8　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉ 日本建築学会「JASS 6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事指針」
◉ 鉄骨製作管理技術者登録規模「突合せ継手の食い違い廿□のずれの検査・補強マニュアル」

（2）工事監理者の承認を必要とするもの
◉ 製作工場　◉製作要領書　◉工作図　◉施工計画書
◉ 認定または登録工場（大臣認定　S　H　Ⓜ　Ⓡ　J　グレード　~~特定建築　H1　H2　H3　ランク~~）
◉ 材料規格証明書※、または試験成績書　主屋はM、その他はR以上とする。
◉溶材　◉高力ボルト　□特殊ボルト　□頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
◉ 社内検査表

（3）工事監理者が行う検査項目
（◉ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査　□組立・開先検査　◉製品検査　◉建方検査　□

（4）接合部の溶接は下記によること
◉ 平成12年建設省告示第1464号第二号　イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説　I 、II 、III 、IV 、V 、VI、VII、VIII、IX 」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」

（5）接合部の検査
◉ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備　考
◉ 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	100 % 個	30 % 個	適時 % 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
□	超音波深傷試験	100 % 個	30 % 個	適時 % 個	（注）東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	内質検査（注） □磁き試験	% 個	% 個	% 個	
	□示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
□	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	
第三者検査機関名		（都知事登録第　号）			
第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1）現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
◉ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□要　□否　高力ボルトすべり係数試験　□要　□否
◉ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後のずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
◉ トルシャ形高力ボルトは二次締め後、ピンテール部が破断していることを確認する。

（6）防錆塗装
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
~~錆止めペイントは、□JIS K5621、□JIS K5625、□　、□　を使用して、4号量2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。~~
◉ 防錆処理は、溶融亜鉛めっきA種とし、塗装については以下の仕様とする。
公共建築工事標準仕様書（建築工事編）：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修より
・錆面面素地ごしらえ　表18.2.3 A種　・錆止め塗料　表18.3.2 A種
・錆止め塗料塗り工法　表18.3.4 B種　・亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り　表18.7.2
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

（7）耐火被覆の材料
□

7．設備関係

□ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
□ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防蝕のための有効な措置を講じること。
□ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5ｃｍ以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
□ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
□ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□ エレベータの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
□ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブの厚さの1／3以下とし、管の間隔を管径の3倍以上かつ5ｃｍ以上を原則とする。

8．その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉ 工事に先立ち、解体調査、耐震補強、意匠仕上げの全体工程を提出し、工事監理者の確認を得ること。
特に耐震補強については、床・地盤の掘削・埋戻し、地中梁・床板の配筋とコンクリートの打設、必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

※1　先に打込まれたコンクリートの再振動可能時間以内とする。
※2　工事監理者は監督職員、承認は承諾に読み替える。

設計・監理	（公財）文化財建造物保存技術協会
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号　一級建築士 登録 第272522号　小林裕幸

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事	澤田		濱口 松木	福村	S-01
図面名　構造設計標準仕様　2023/05　縮尺　1/	作図　年　月　日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%

鉄 骨 構 造 標 準 図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

（１）材料及び検査

(a) 構造設計特記仕様による

(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く

(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、制度及びその他の結果を添付する

（２）工作一般

(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る

(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による

(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

（３）高力ボルト接合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、50μmRz以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するように注意して行う。

（４）溶接接合

(a) 平成１２年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。

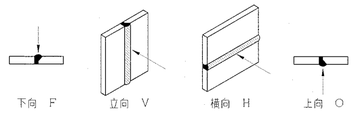
(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801(手溶接）又はJIS Z3841(半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

(c) 溶接機器

(イ) 交流アーク溶接機　300A～500A	(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機（直流）	(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式	(ヘ) 溶接棒乾燥機

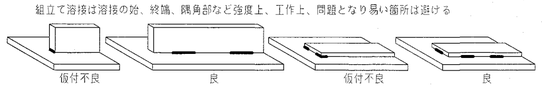
(d) 溶接方法
アーク手溶接（MC）　ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC）　アークエアーガウジング（AAG）

(e) 溶接姿勢

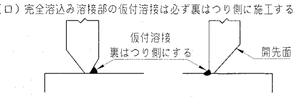


(f) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

（イ）仮付位置
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

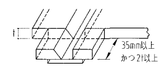


（ロ）完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(g) 溶接施工

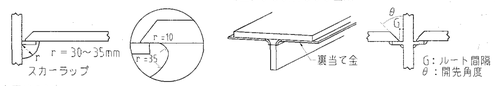
(イ) エンドタブ
Ⅰ）完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
Ⅱ）エンドタブの材質は、母材と同質とする
Ⅲ）エンドタブの長さは、MC：35mm以上
NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、
溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
グラインダー仕上げとする
Ⅳ）ブレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者、又は工事監理者の承認を得る



(ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる

(ハ) スカラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする
但し、梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする

（ニ）ノンスカラップ工法



(ホ) 裏はつり
規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークを付ける

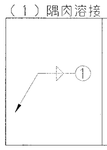
(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めないように養生を行う

（５）塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接規準図（注）f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長

（単位mm）

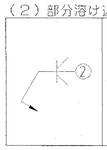
（１）隅肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

- 但し片面溶接の場合はS＝tとする
- tは t1、t2の小なる方とする
余盛は（1+0.1S）mm以下とする
- 軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

（２）部分溶け込み溶接（使用箇所に注意）



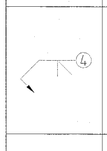
t/4≦S≦10mm
t≦t1

t	t＞16mm
溶接姿勢	F.V

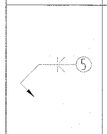
●両側に補強すみ肉溶接を付加する

（３）突合せ溶接（平継手、T形継手）

t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V



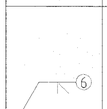
	MC		NGC		GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t＜16	35°	9	9	8	35°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							



T形突合せ継手余盛

のど厚tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
19＜t	4

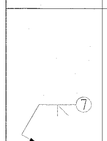
t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V



0＜f≦3.0mm
（但し、t≧15mmのとき4.0mmとする）

t2/4≦a≦10mm
（平継ぎ手で板厚が異なるとき）

t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V



0＜f≦3.0mm
（但し、t≧15mmのとき4.0mmとする）

	MC	NGC			GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19＜t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

（４）フレアー溶接

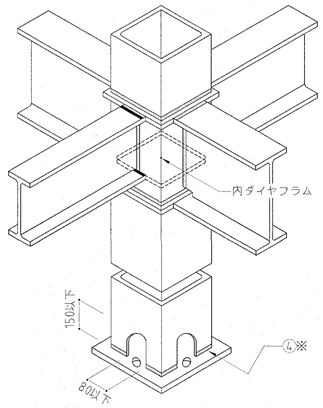
K形の場合

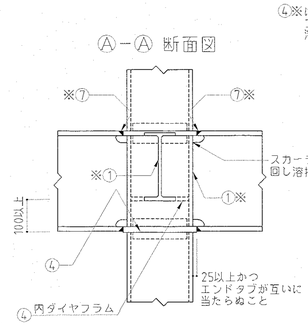
寸法（mm）		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

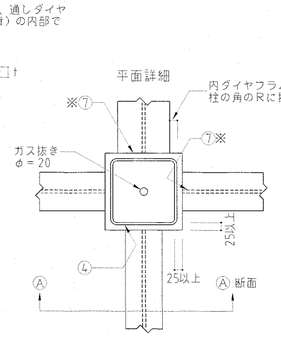
- フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
- 9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30°～40°とする

※溶接記号番号を○中に記入のこと

● BOX型（通しダイヤフラムの場合）



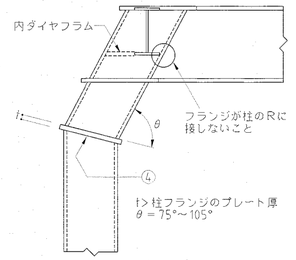


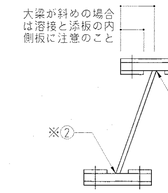


①※t＞16mmの場合の溶接は、②、又は③～⑤とする。

ダイヤフラム厚は、接合する梁の最大厚の2サイズアップ以上とする。
＜柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合＞
ダイヤフラムは、柱フランジ厚　16mm未満の場合　SN490C　SN490B
柱フランジ厚　16mm以上の場合　SN490C　を使用する。

● 柱が途中で折れる場合及梁成が異なる場合





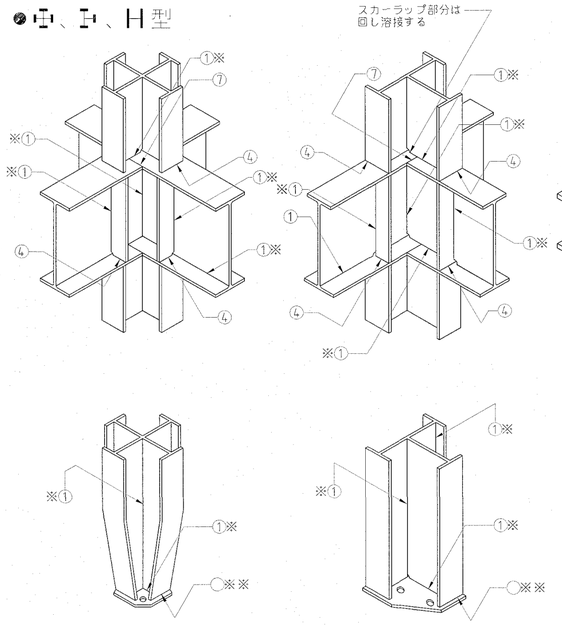
②※t＞16mmの場合の溶接は、③～⑤とする。

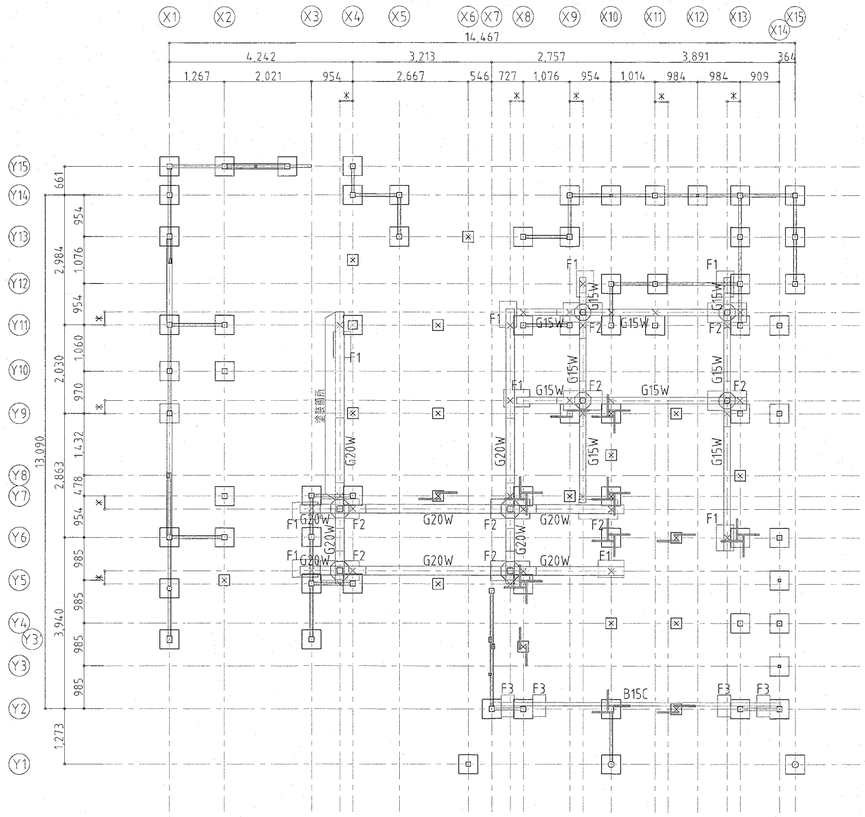
● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料		入熱（KJ/cm）	パス温度差（℃）
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214		40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11、15		
		YGW-18、19		
	JIS Z 3315	YGA-50W、50P		
490N級鋼	JIS Z 3212、3214		40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11、15	30以下	250以下
		YGW-18、19	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50W、50P		

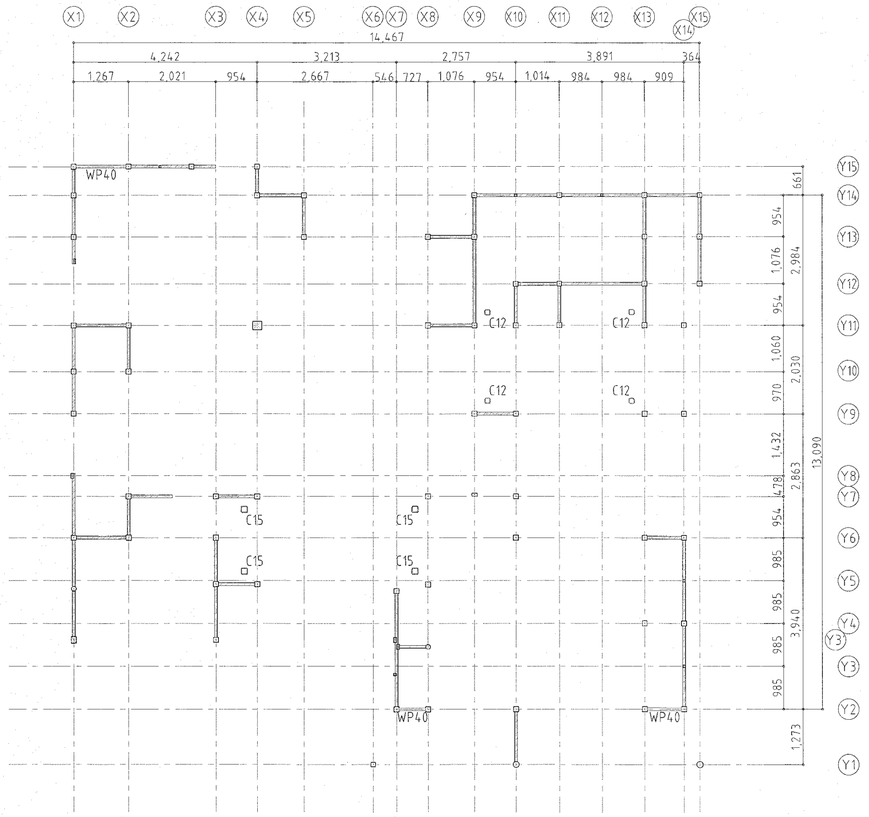
注）STKR、BCR、BCP材はJIS Z 3312、のみ使用可
「構造設計特記仕様　6．鉄骨工事（２）ロ認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

● 中、工、H型


スカーラップ部分は回し溶接する
①※
※①
④
①※
※①
①※
①※
①※

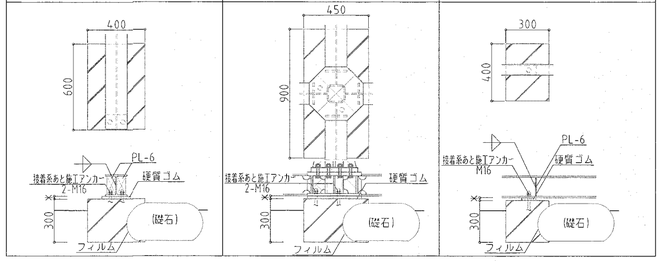


基礎伏図 S=1/100



柱・壁伏図 S=1/100

基礎詳細図 S=1/30



共通事項

・記入無き限り以下による。

：土壁 t=65mm　　：□-30x75（床下筋かい）ひのき

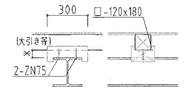
：WP40 合板耐力壁　　×：鋼物位置

塗装は柱及び記入した一部の梁、及びそれらに溶接される部材に施すものとする。

鉄骨断面リスト

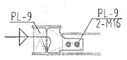
符号	断面	品質・種別	備考
C15	□-150x150x12	BCR295	溶融亜鉛めっき
C12	□-125x125x12	STKR400	
G20W	H-200x200x8x12	SN400B	
G15W	H-150x150x7x10		
B15C	C-150x75x6.5x10	SS400	
T1	L-75x75x9		
U1	耐震ブレース M16	SNR400B	

浮き上り防止鋼物取付要領 S=1/10



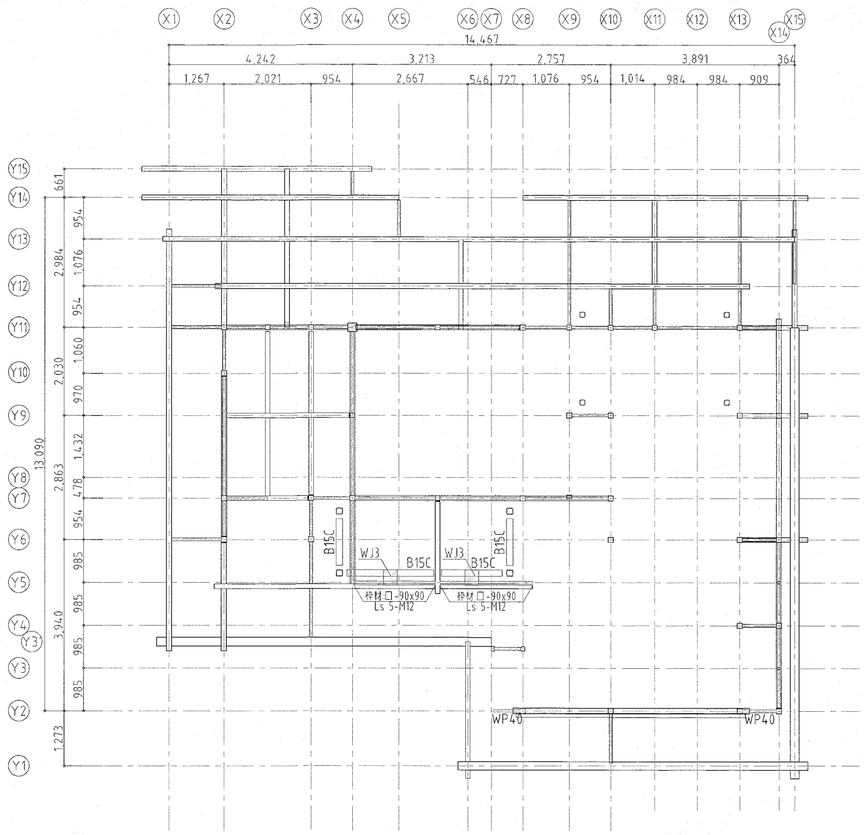
図中 × にて示す。
詳細は現状を見て判断のこと。

G20W-G15W 継手詳細図 S=1/30

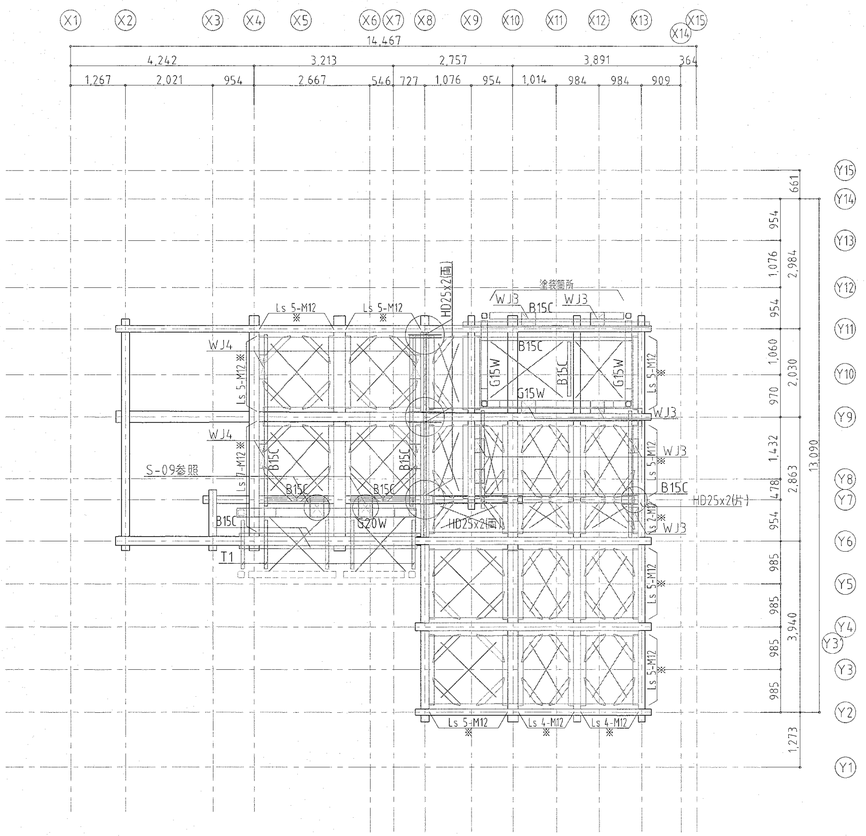


		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会		重要文化財（建造物） 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	濱口	松末	岡村	S-03
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸		図面名 主屋 基礎伏図／柱壁伏図 2023/05 縮尺 1／100	作図 年 月 日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%

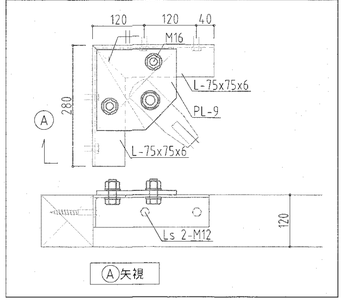


下屋レベル伏図 S=1/100

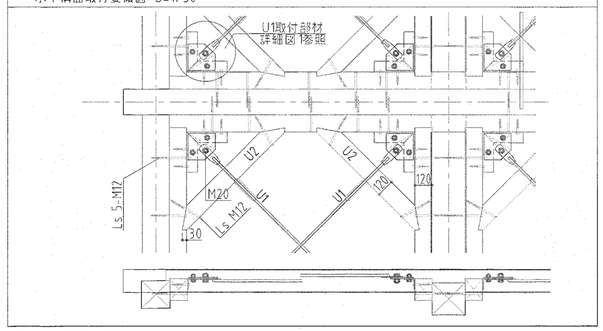


上屋レベル伏図 S=1/100

U1 取付部材詳細図1 S=1/10



水平構面取付要領図 S=1/30



共通事項

・記入無き限り以下による。

——— ：U1

═══ ：水平構面枠材 □-120x150 ひのき

※同じ区間の枠材は補記入のラグスクリューと同じ本数で取り付けること。

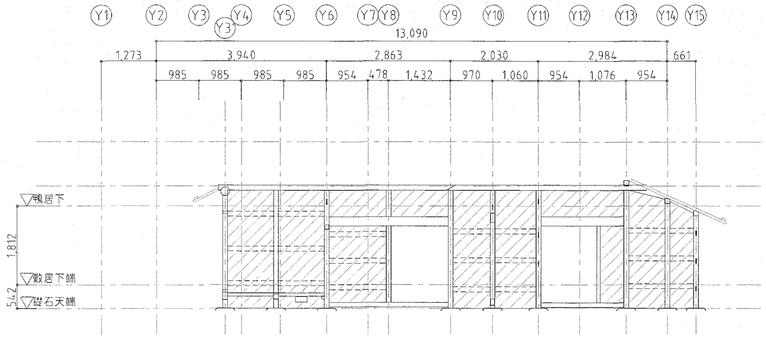
／＼ ：U2 □-120x90 ひのき

——— ：HD25 ビス止めホールダウン金物25kN相当

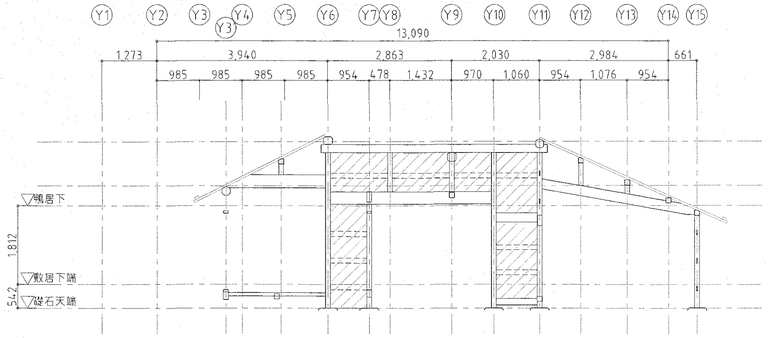
（両は両引き、片は片引き）

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱口	濱口	松本	畑中	S-04
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			図面名 主屋 下屋伏図／上屋伏図 2023/05 縮尺 1／100	作図 年 月 日				
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸								

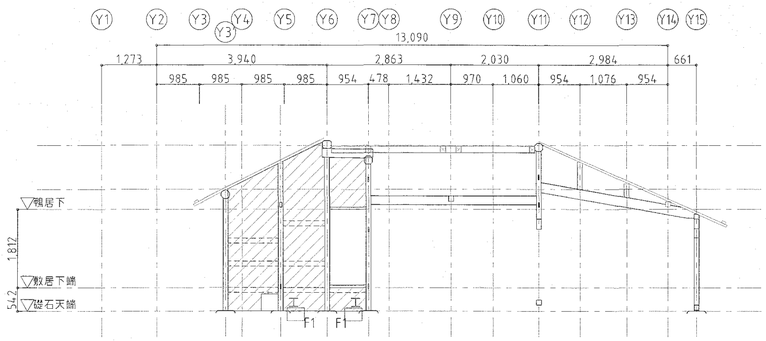
A2：100%、A3：71%、A4：50%



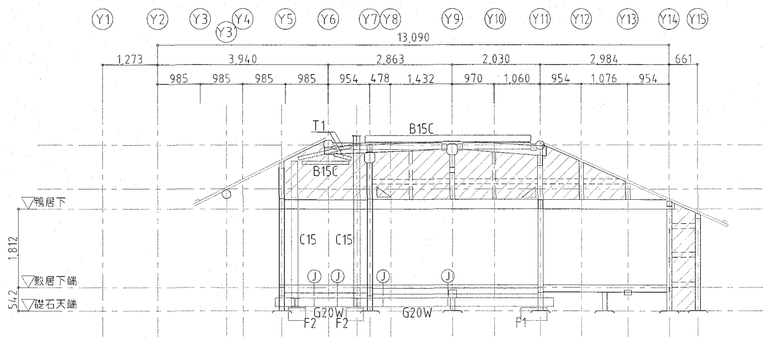
X1 通り軸組図 S=1/100



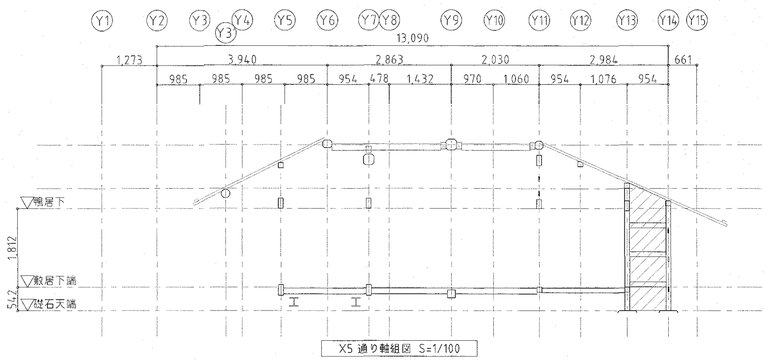
X2 通り軸組図 S=1/100



X3 通り軸組図 S=1/100



X4 通り軸組図 S=1/100



X5 通り軸組図 S=1/100

共通事項

・記入無き限り以下による。

：土壁 t=65mm

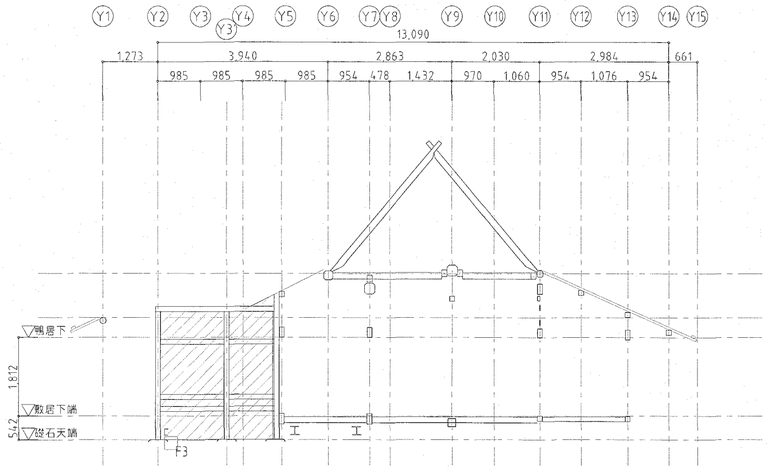
：WP40 合板耐力壁 N=4.0

：床下筋かい 口-30x75 ひのき

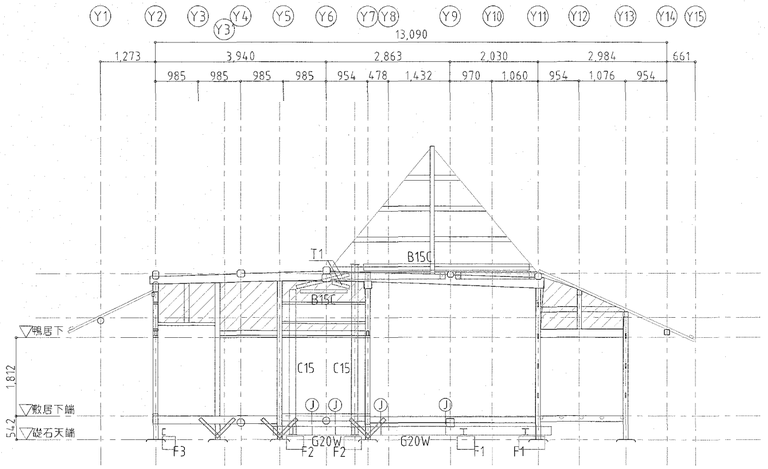
：10kN用コーナー金物

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-05
設計・監理	（公財）文化財建造物保存技術協会		図面名 主屋 軸組図（１） 2023/05 縮尺 1／100	作図	年	月	日	
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号	一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸							

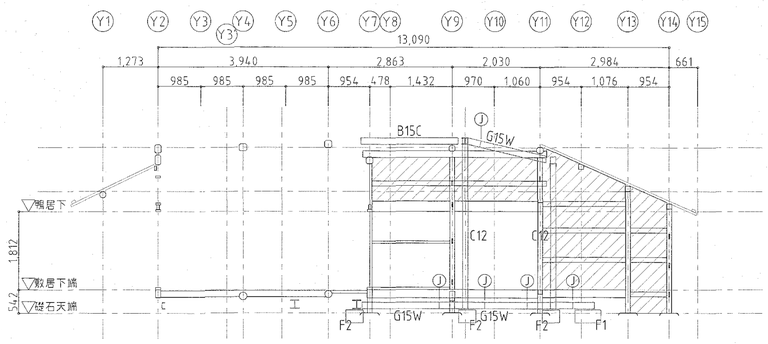
A2：100%、A3：71%、A4：50%



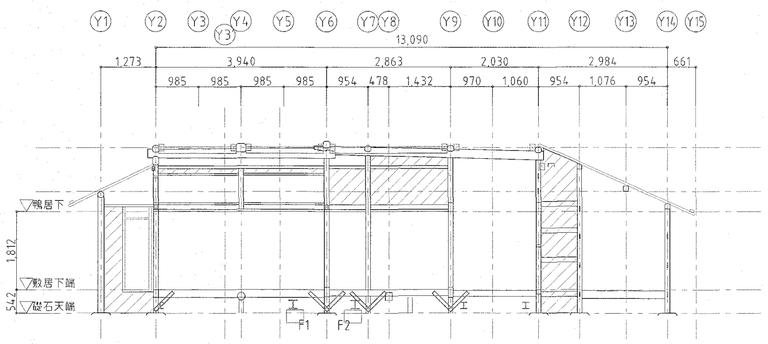
X7 通り軸組図 S=1/100



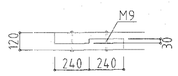
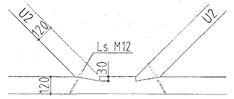
X8 通り軸組図 S=1/100



X9 通り軸組図 S=1/100

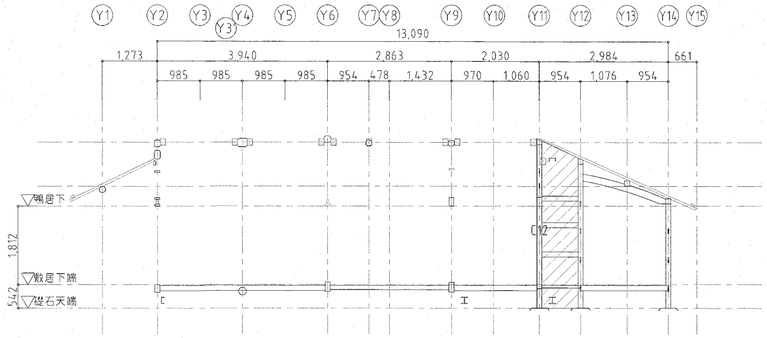


X10 通り軸組図 S=1/100

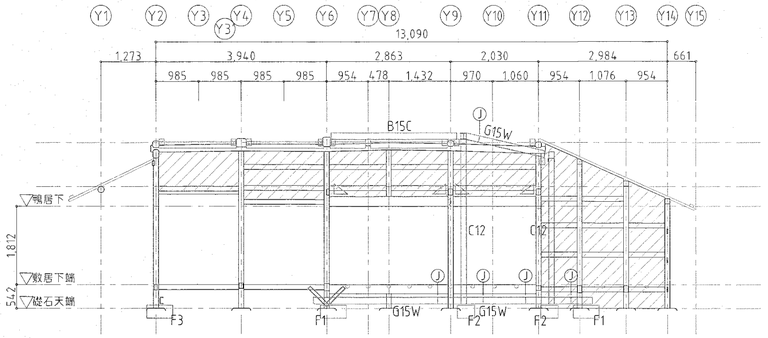
枠材の継手要領 S=1/30	U2 取付要領 S=1/30
	

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長 課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤中	澤中 松宋	畑中	S-06
設計・監理 (公財) 文化財建造物保存技術協会			図面名 主屋 軸組図 (２) 2023/05 縮尺 1/100	作図 年 月 日			
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸							

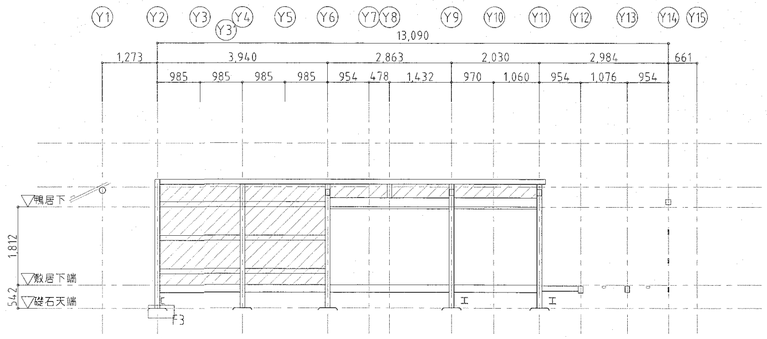
A2：100%、A3：71%、A4：50%



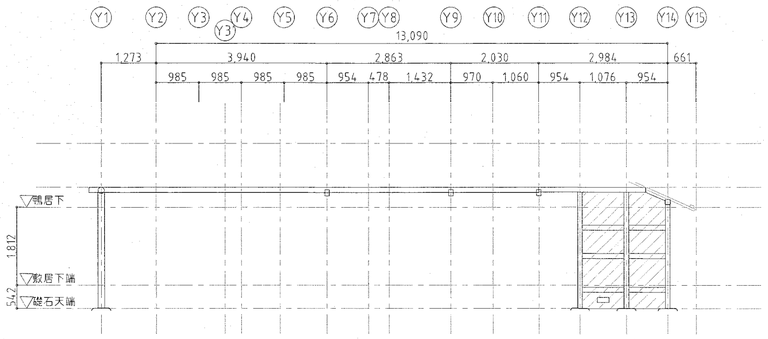
X11 通り軸組図 S=1/100



X13 通り軸組図 S=1/100

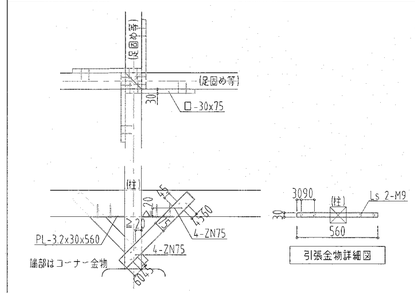


X14 通り軸組図 S=1/100



X15 通り軸組図 S=1/100

床下筋かい取付要領 S=1/30

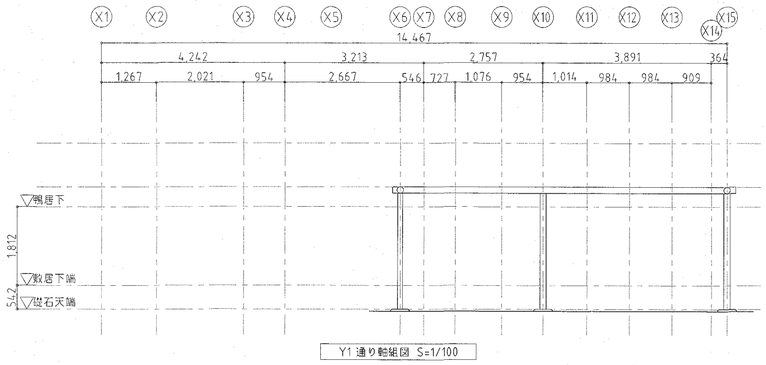


引張金物詳細図

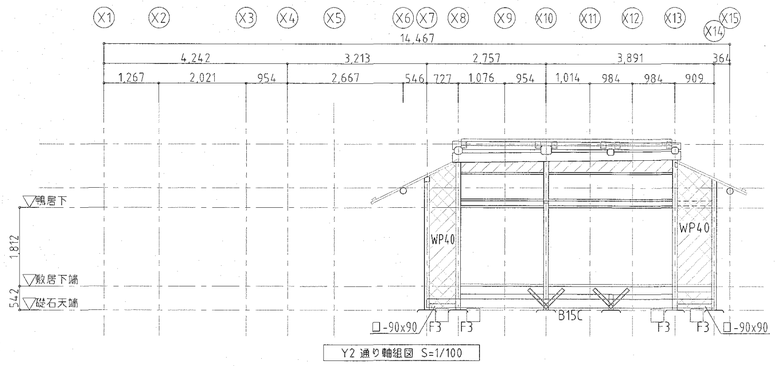
※取り付く足固め等が相手のない通し材の場合は金物不要。

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱田	濱口	松木	岡村	S-07
設計・監理 (公財)文化財建造物保存技術協会			図面名 主屋軸組図(３) 2023/05 縮尺 1/100	作図 年 月 日				
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸								

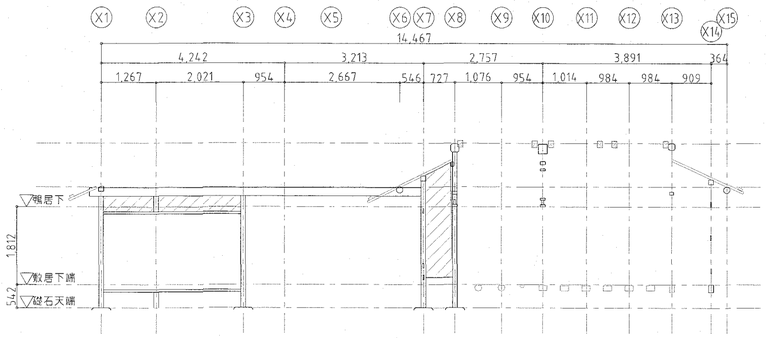
A2：100%、A3：71%、A4：50%



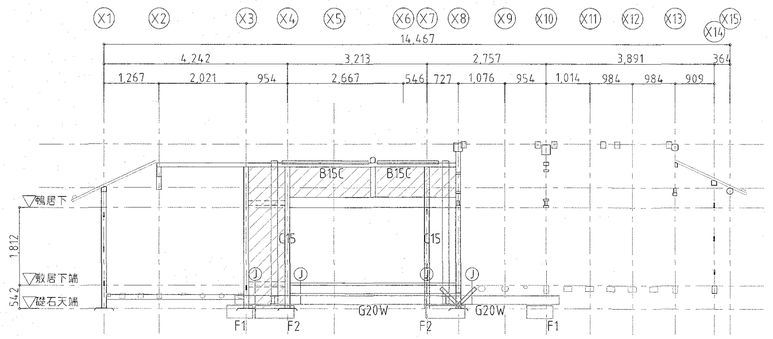
Y1 通り軸組図 S=1/100



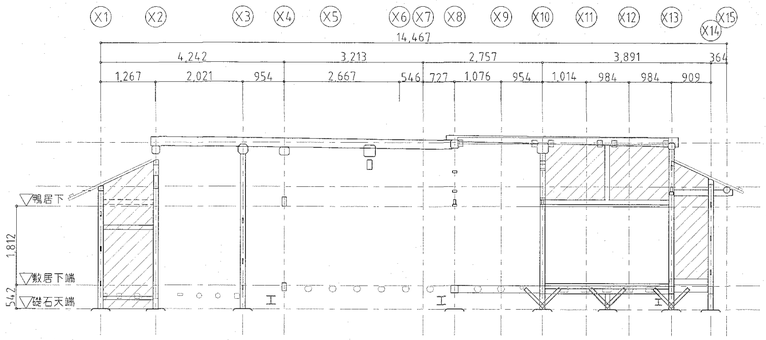
Y2 通り軸組図 S=1/100



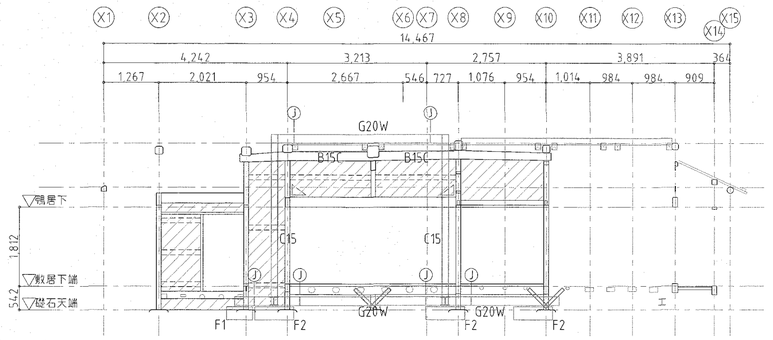
Y3 通り軸組図 S=1/100



Y5 通り軸組図 S=1/100



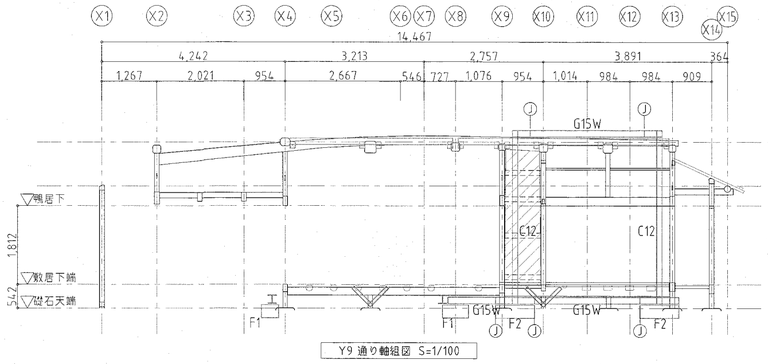
Y6 通り軸組図 S=1/100



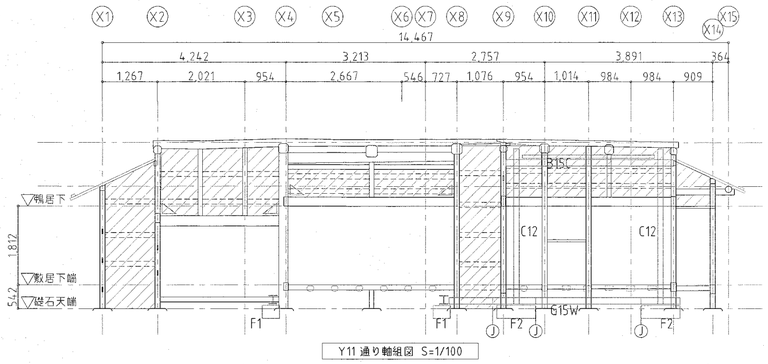
Y7 通り軸組図 S=1/100

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-08
		図面名　主屋軸組図（４）　2023/05　縮尺　1／100	作図	年	月	日	

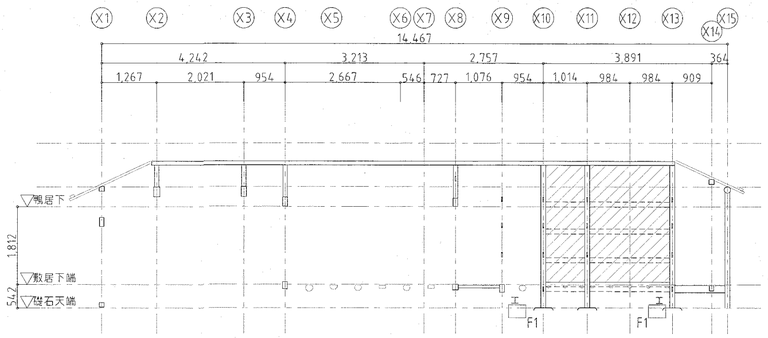
A2：100%、A3：71%、A4：50%



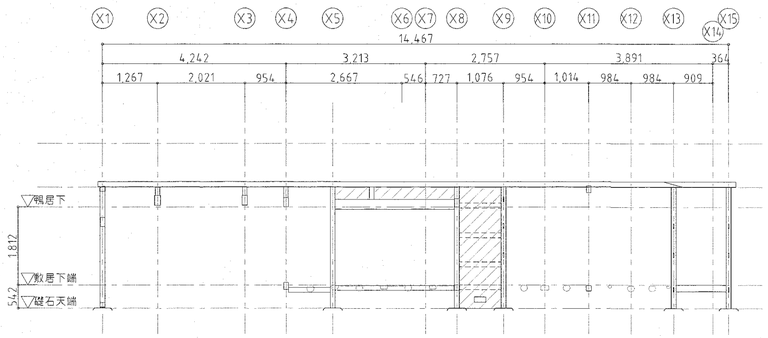
Y9 通り軸組図 S=1/100



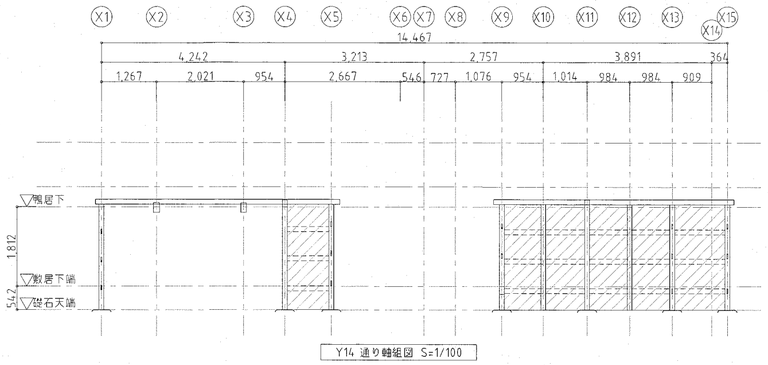
Y11 通り軸組図 S=1/100



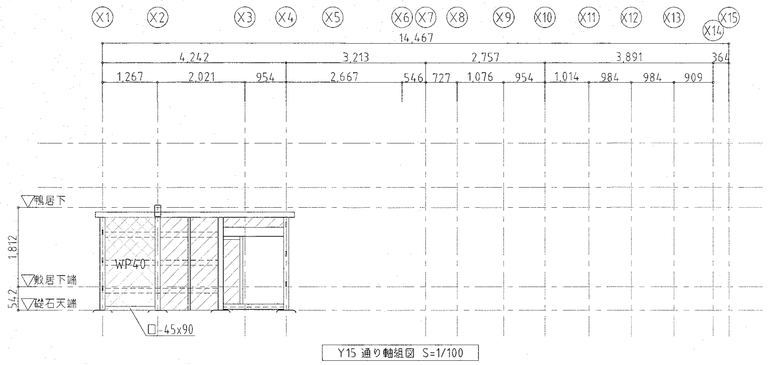
Y12 通り軸組図 S=1/100



Y13 通り軸組図 S=1/100



Y14 通り軸組図 S=1/100



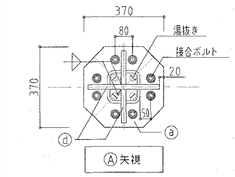
Y15 通り軸組図 S=1/100

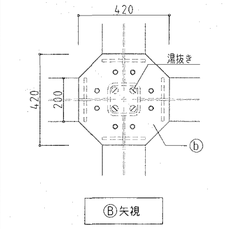
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	濱中	濱口	松本	岡村	S-09
		図面名 主屋 軸組図（５） 2023/05 縮尺 1／100	作図 年 月 日				

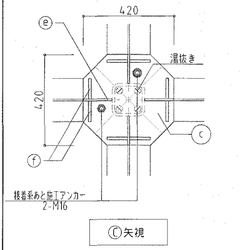
A2：100%、A3：71%、A4：50%

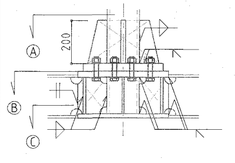
柱脚詳細図 S=1/20

C15

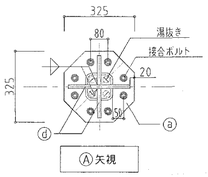


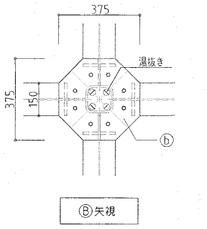


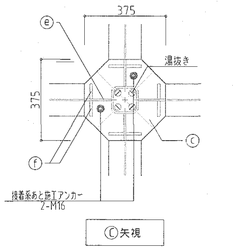


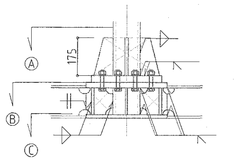


C12





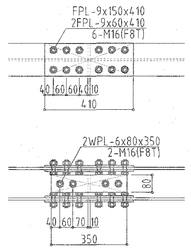




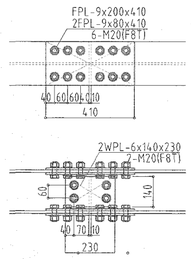
柱脚部材リスト

符号	断面 C15	断面 C12	材種	備考
ⓐ	PL-36x370x370	PL-32x325x325	SN490C	溶融亜鉛めっき
ⓑ	PL-28x420x420	PL-25x375x375		
ⓒ	PL-19x420x420	PL-16x375x375		
ⓓ	PL-22	PL-16	SN400B	
ⓔ	PL-9	PL-9		
ⓕ	2PL-12	2PL-12		
接合ボルト	8-M20(12G SHTB)	8-M16(F8T)		

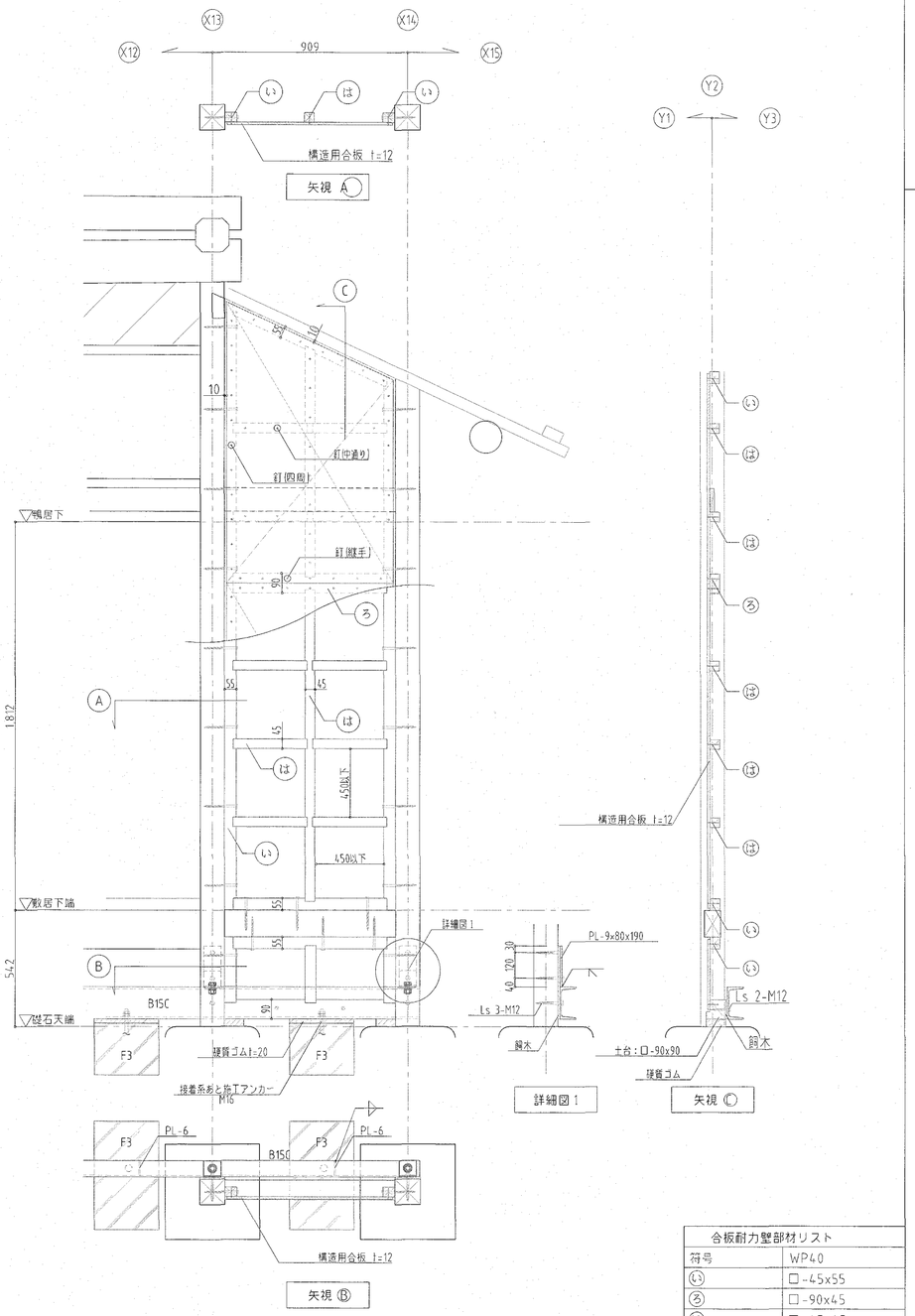
G15W 継手詳細図 S=1/20



G20W 継手詳細図 S=1/20



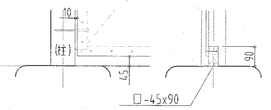
合板耐力壁詳細図 S=1/20



合板耐力壁部材リスト	
符号	WP40
い	□-45x55
ろ	□-90x45
は	□-45x45
ラグスクリュー	M12@400
釘(四周 継手)	ZN50@100
釘(中通り)	ZN50@150
合板	構造用合板 t=12

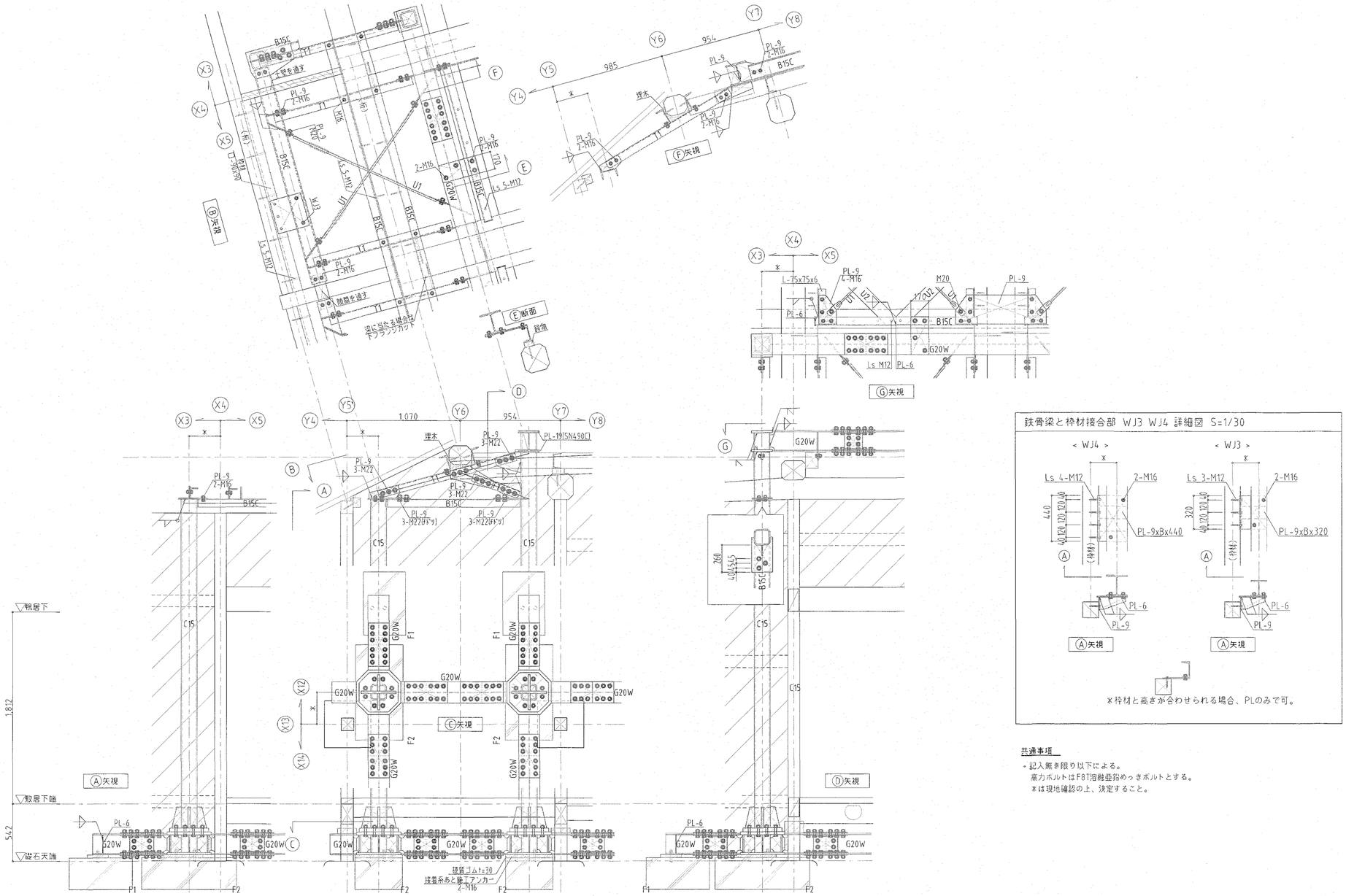
□-45x90 取付要領 S=1/20

(合板耐力壁下端の土に接する箇所)



設計・監理 (公財)文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号 一級建築士 登録 第272522号 小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事	澤田	濱口	松末	岡本	S-10
		図面名 主屋 詳細図(1) 2023/05 縮尺 1/20	作図	年	月	日	

A2:100%、A3:71%、A4:50%



鉄骨梁と枠材接合部 WJ3 WJ4 詳細図 S=1/30

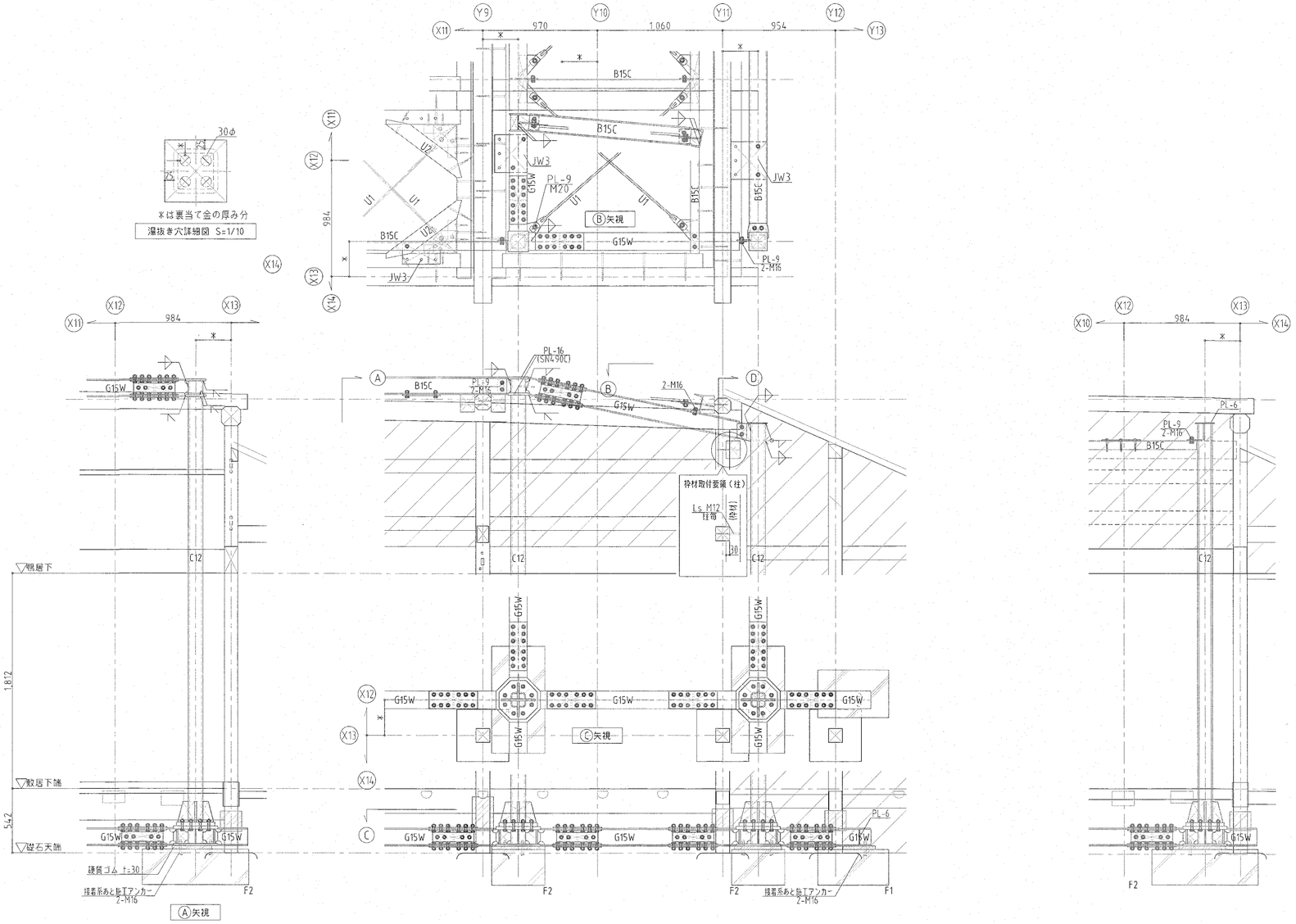
※枠材と高さが合わせられる場合、PLのみで可。

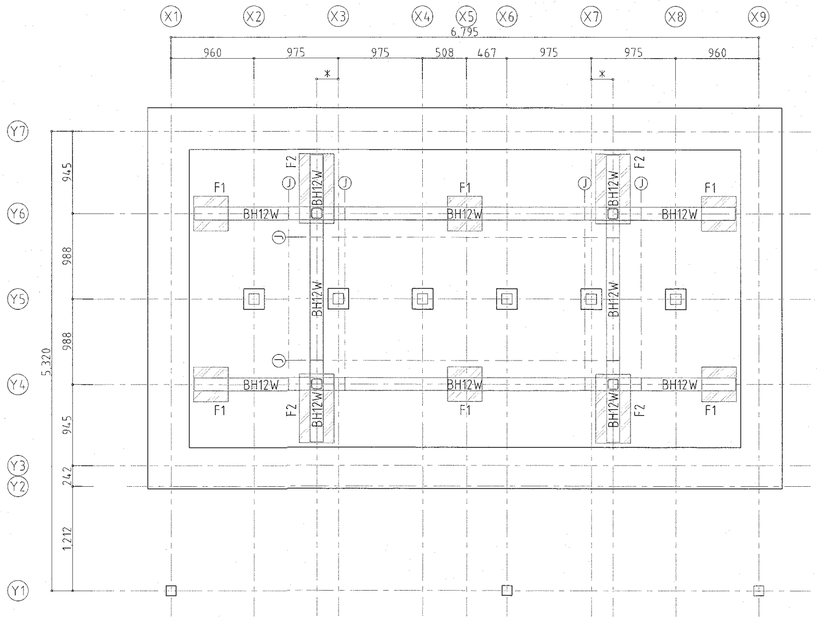
共通事項

- 記入無き限り以下による。
  高力ボルトはF8T溶融亜鉛めっきボルトとする。
  ＊は現地確認の上、決定すること。

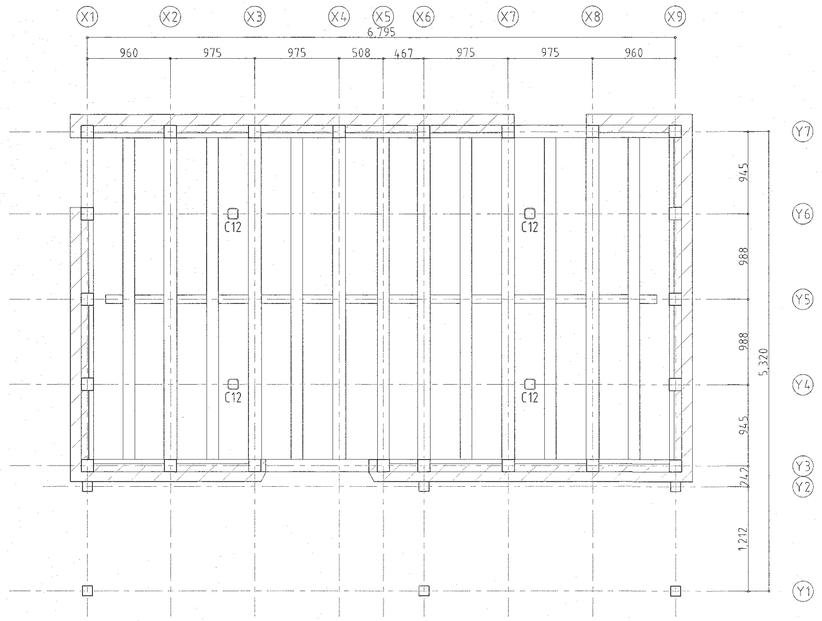
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濱口	松末	岡本	S-11
		図面名 主屋詳細図（２） 2023/05 縮尺 1／30	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%


30φ
※は裏当て金の厚み分
湯抜き穴詳細図 S=1/10
Y9
Y10
Y11
Y12
Y13
X11
X12
X13
X14
970
1,060
954
984
B15C
JW3
PL-9
M20
G15W
Ⓑ矢視
PL-9
2-M16
PL-16
(SN490C)
2-M16
枠材取付要領(柱)
1s M12
柱毎
(枠材)
30
C12
1,812
542
敷居下
敷居下端
壁石天端
建具建込
建具建込
建具建込



基礎伏図 S=1/50

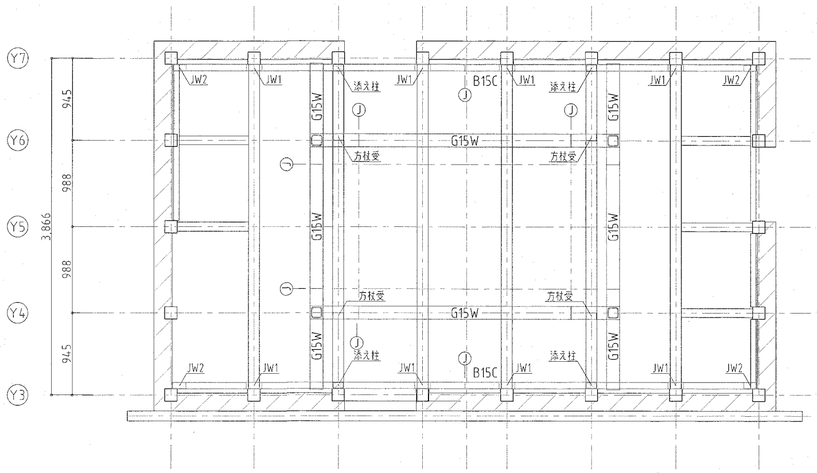


1階床・壁伏図 S=1/50

共通事項

・記入無き限り以下による。

：土壁 t=70mm

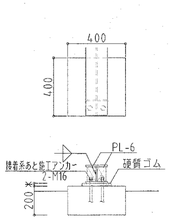


2階床・壁伏図 S=1/50

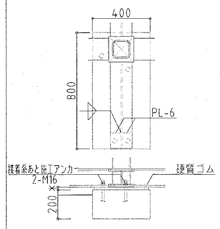
鉄骨断面リスト			
符号	断面	品質・種別	備　考
C12	□-125x125x9	STKR400	溶融亜鉛めっき
BH12W	BH-125x150x9x12	SN400B	
G15W	H-150x150x7x10	SN400B	
B15C	C-150x75x6.5x10	SS400	

基礎詳細図 S=1/30

F1 （無筋コンクリート）



F2 （無筋コンクリート）



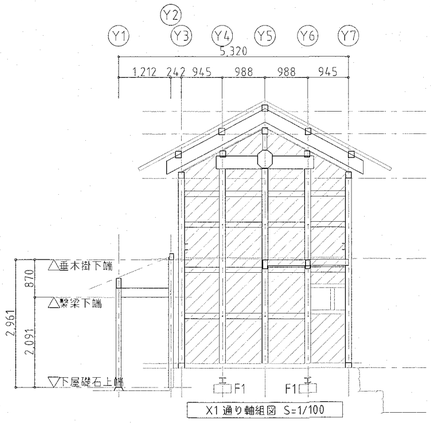
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会

一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　　一級建築士 登録 第２７２５２２号　小林裕幸

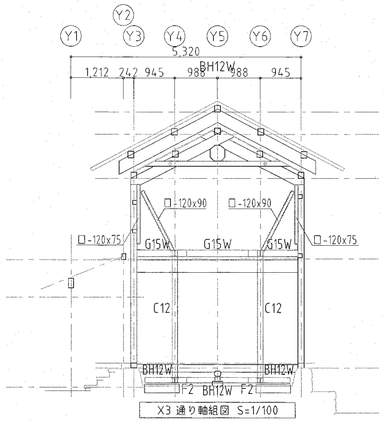
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-13
図面名　道具蔵 伏図　2023/05　縮尺　1/50	作図　年　月　日				

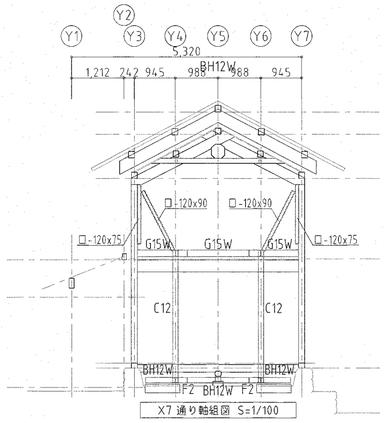
A2：100%、A3：71%、A4：50%



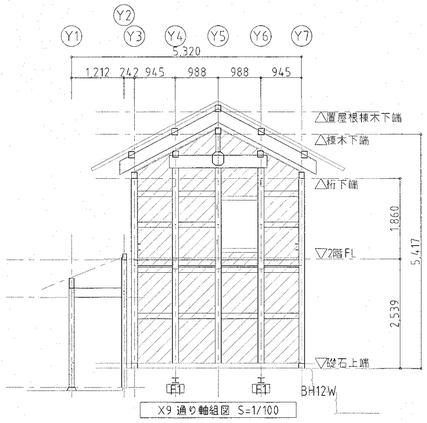
X1 通り軸組図 S=1/100



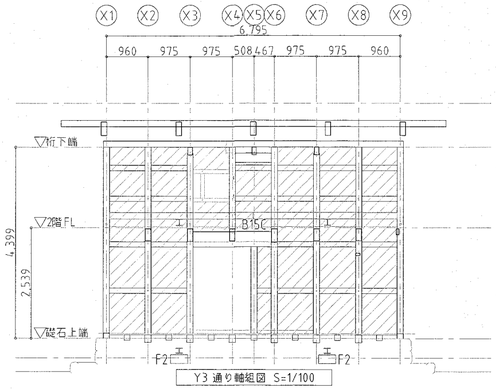
X3 通り軸組図 S=1/100



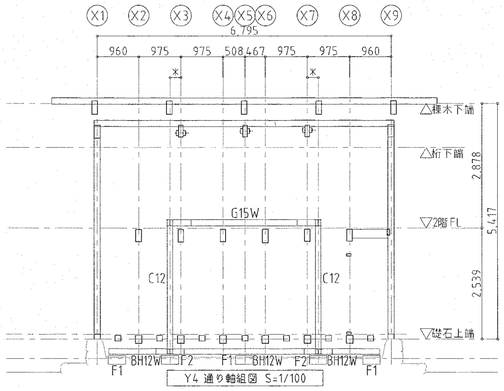
X7 通り軸組図 S=1/100



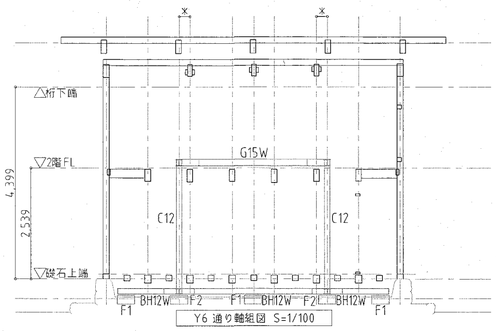
X9 通り軸組図 S=1/100



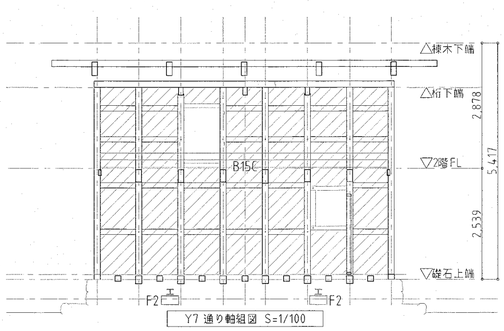
Y3 通り軸組図 S=1/100



Y4 通り軸組図 S=1/100



Y6 通り軸組図 S=1/100



Y7 通り軸組図 S=1/100

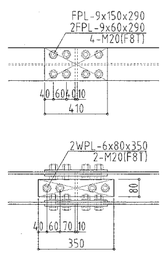
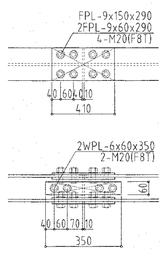
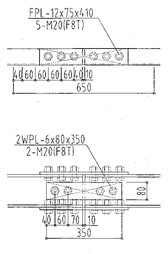
共通事項

・記入無き限り以下による。

：土壁 t=70mm

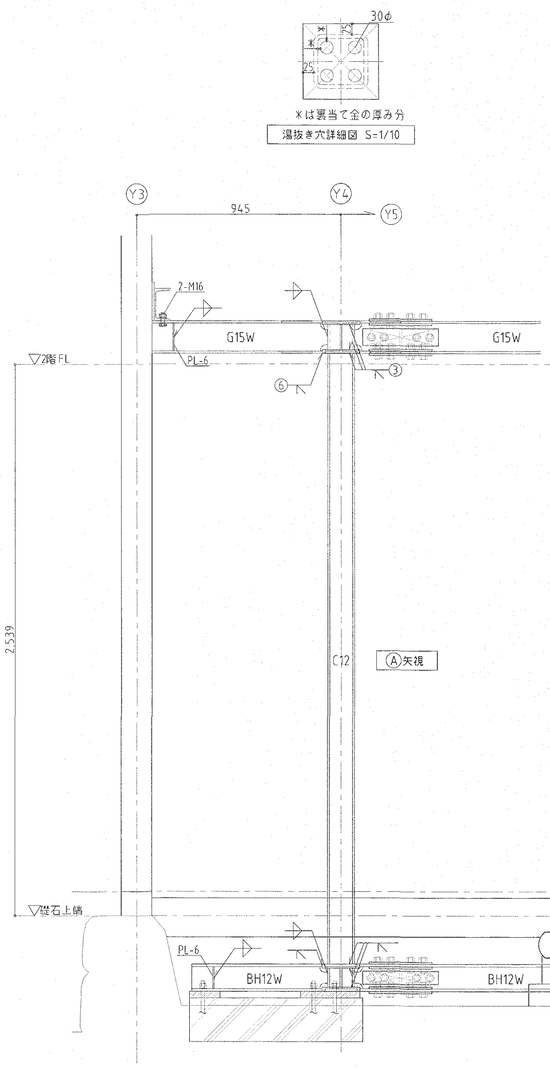
＊ 1階床下鉄骨梁は塗装不要

鉄骨 縦手リスト S=1/20

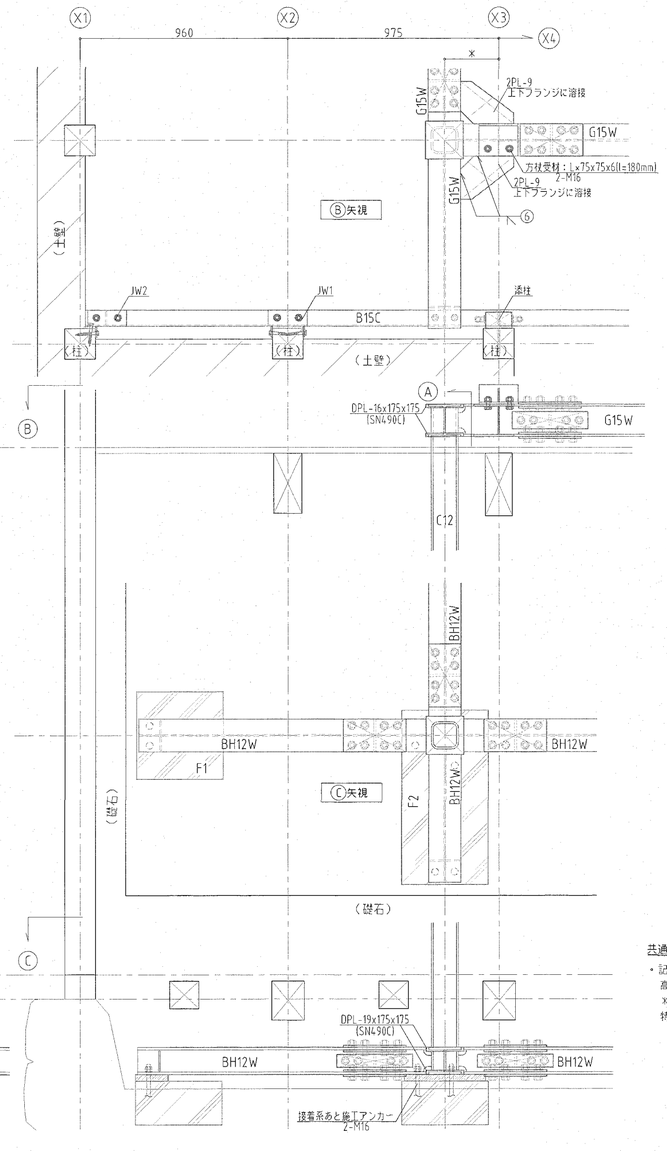
G15W	BH12W	B15C
		

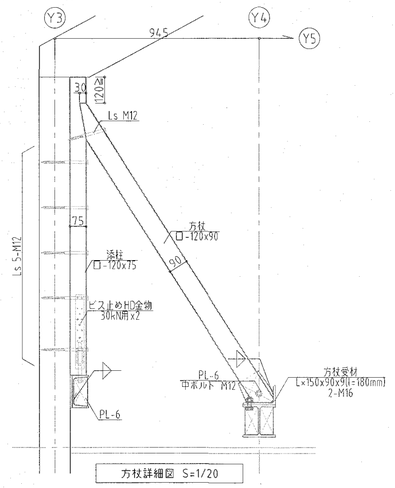
		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田	濱口	松木	岡村	S-14
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸			図面名 道具蔵 軸組図 2023/05 縮尺 1／100	作図 年 月 日				

A2：100%、A3：71%、A4：50%



湯抜き穴詳細図 S=1/10

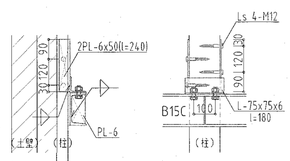




方杖詳細図 S=1/20

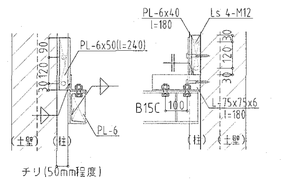
JW1、JW2 浮き上がり防止金物 S=1/20

<JW1>



チリ(50mm程度)

<JW2>



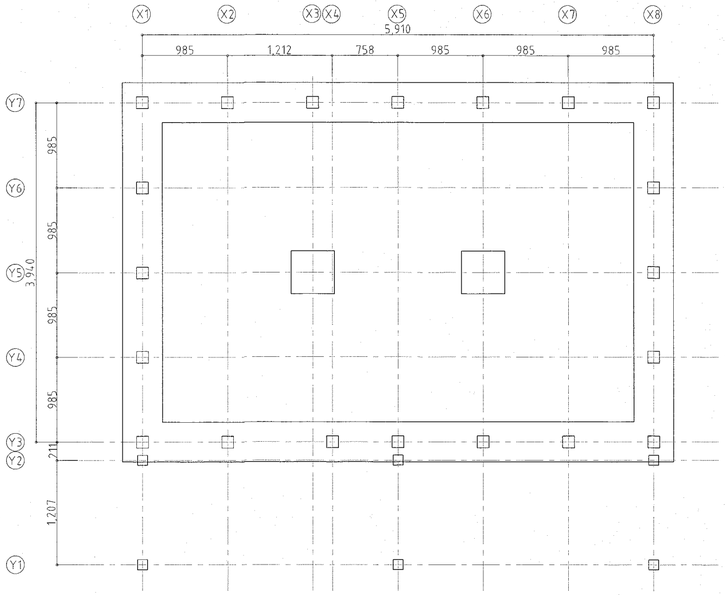
チリ(50mm程度)

共通事項

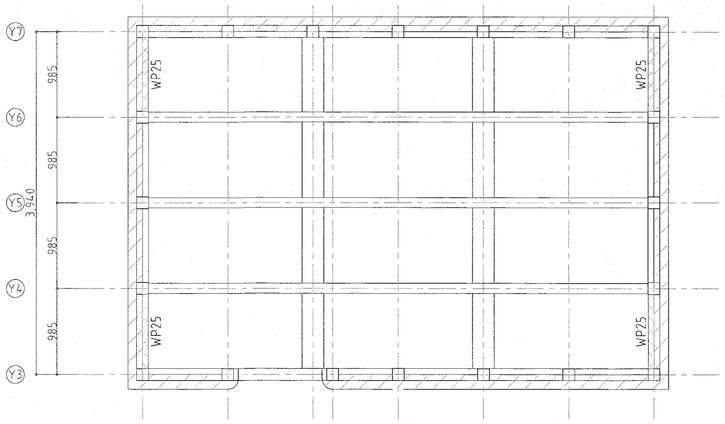
- 記入無き限り以下による。
  高力ボルトはF8T溶融亜鉛めっきボルトとする。
  Xは現地確認の上、決定すること。
  特記のない突合せ溶接は裏当て金ありとする。

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理 (公財)文化財建造物保存技術協会			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事		澤田	濱口	松木	加藤	S-15
一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号	一級建築士 登録 第272522号 小林裕幸		図面名	道具蔵 詳細図 2023/05	縮尺	1/20	作図	年 月 日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



基礎伏図 S=1/50



床・壁伏図 S=1/50

共通事項

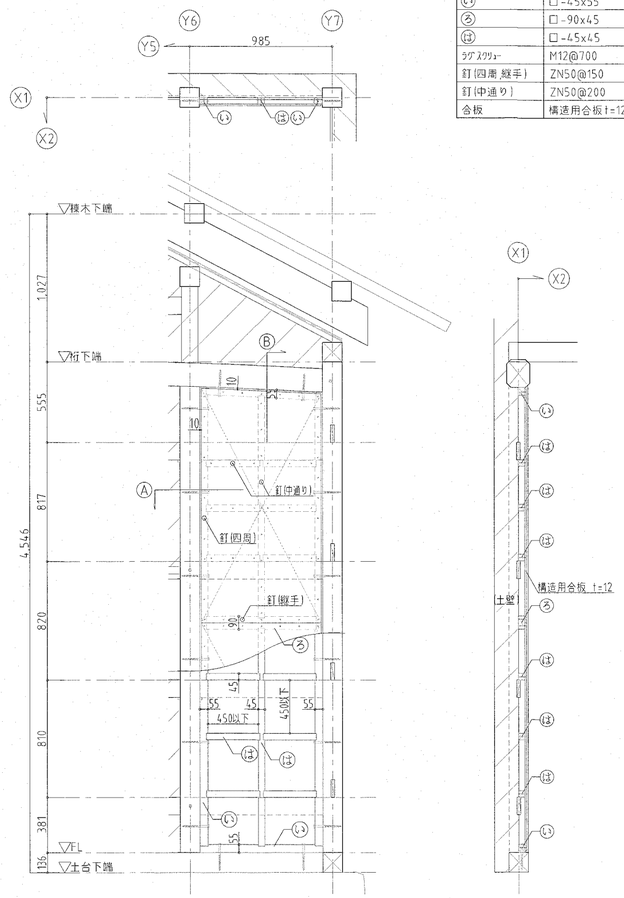
・記入無き限り以下による。

：土壁 t=65mm

：WP25 合板耐力壁

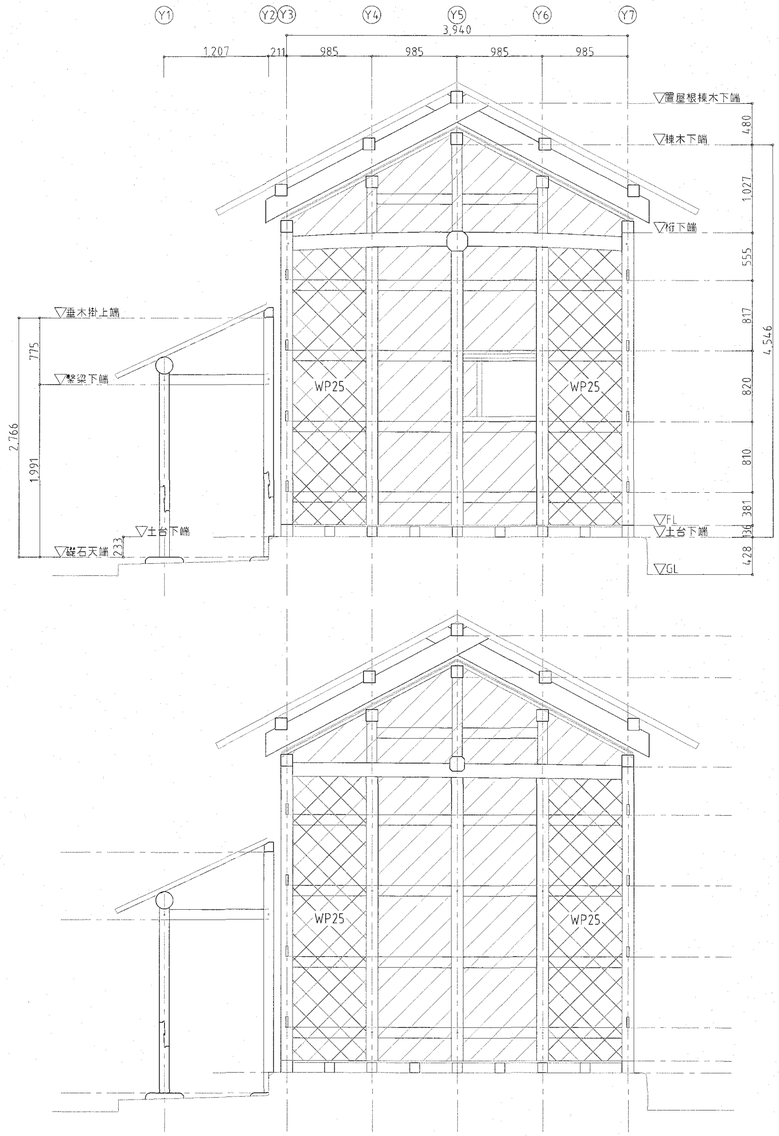
合板耐力壁詳細図 S=1/30

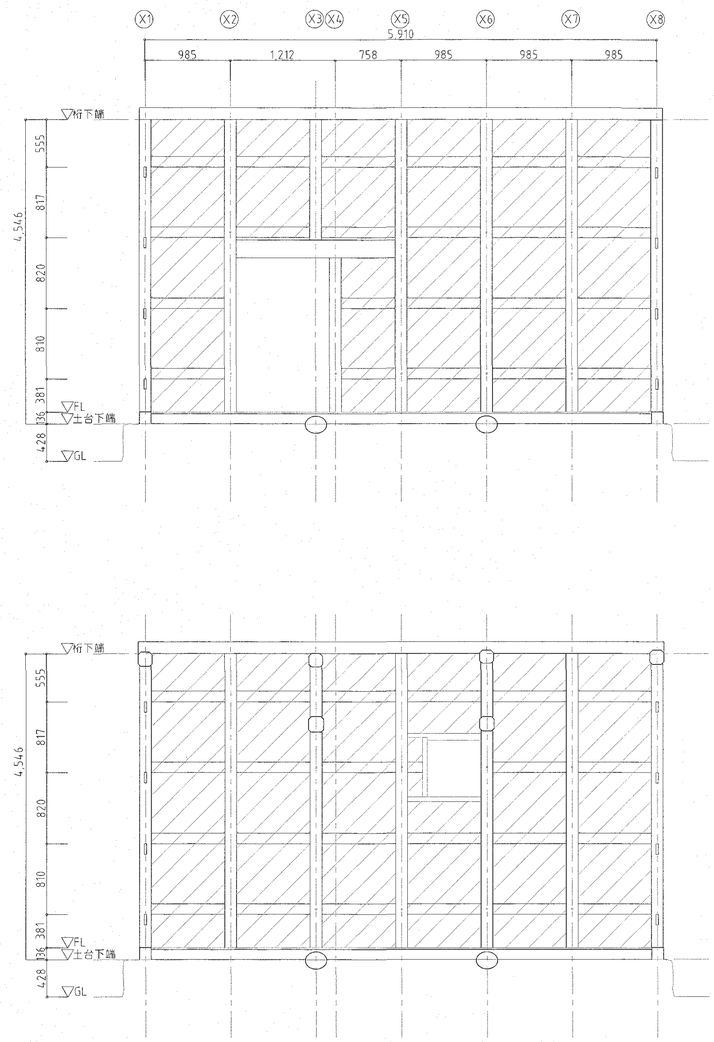
合板耐力壁部材リスト	
符号	WP25
㋑	□-45x55
㋒	□-90x45
㋓	□-45x45
ﾗｱｽｸﾘｭｰ	M12@700
釘(四周 縦手)	ZN50@150
釘(中通り)	ZN50@200
合板	構造用合板 t=12



		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事	濱口	濱口	松木	松木	S-16
	設計・監理 (公財)文化財建造物保存技術協会		図面名 米倉伏図／詳細図 2023/05 縮尺 1／50	作図	年	月	日	
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号 一級建築士 登録 第272522号 小林裕幸							

A2：100%、A3：71%、A4：50%





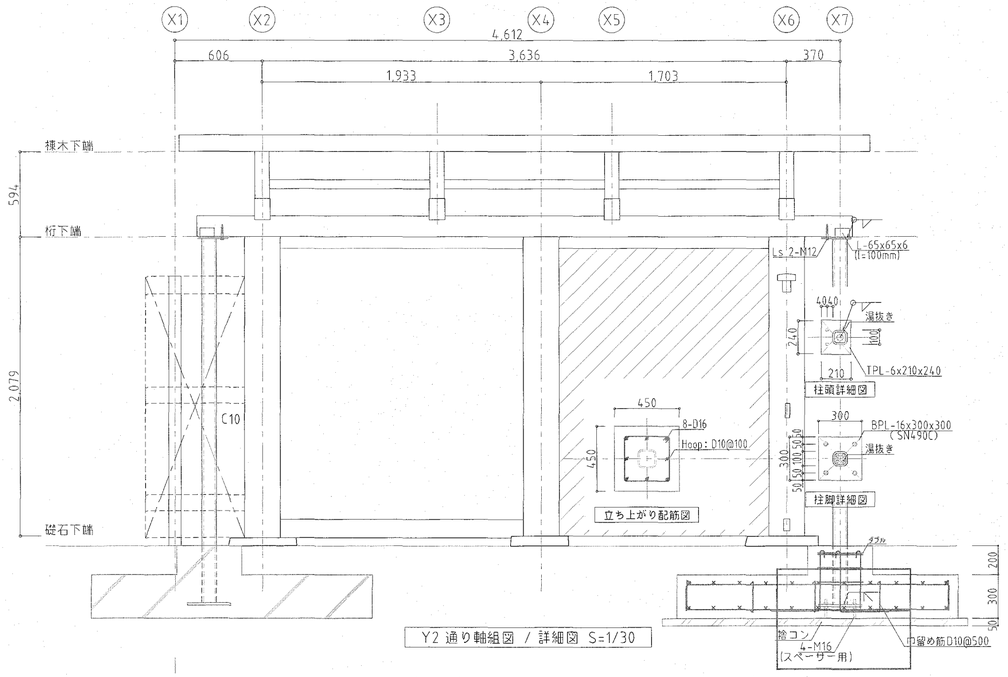
共通事項

・記入無き限り以下による。

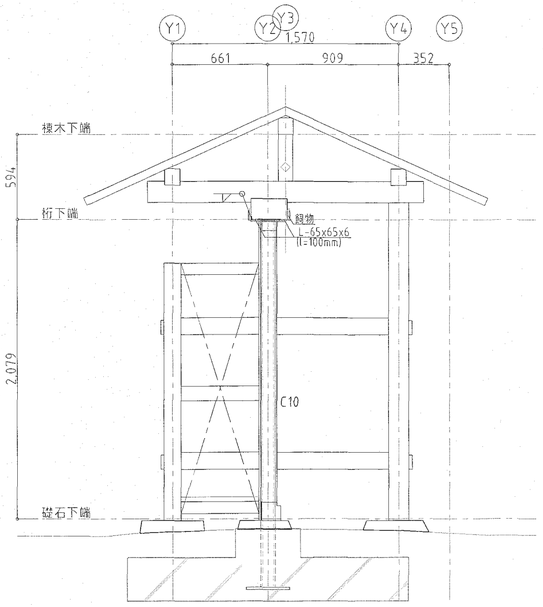
：土壁 t=65mm

：WP25 合板耐力壁

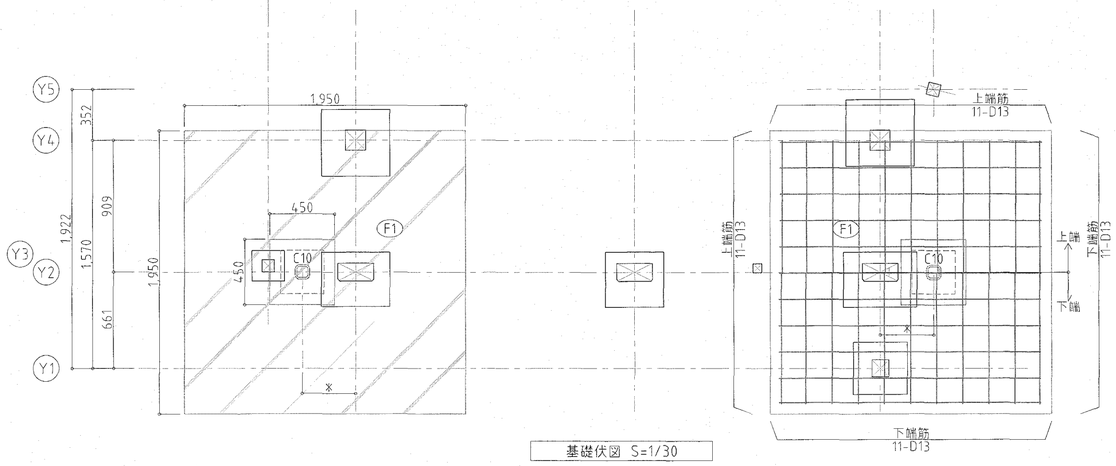
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-17
		図面名 米倉 軸組図 2023/05 縮尺 1／50	作図	年	月	日	



Y2 通り軸組図 / 詳細図 S=1/30



X6 通り軸組図 S=1/30



基礎伏図 S=1/30

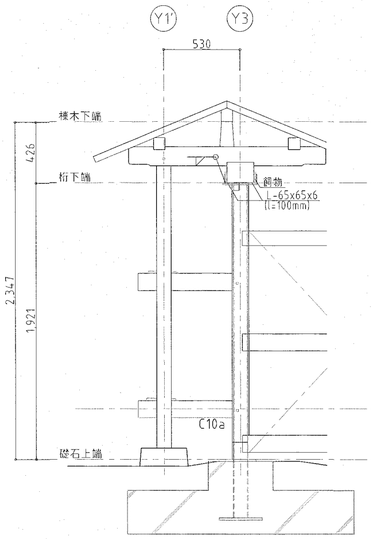
共通事項

・記入無き限り以下による。
高力ボルトはF8T溶融亜鉛めっきボルトとする。
＊は現地確認の上、決定すること。

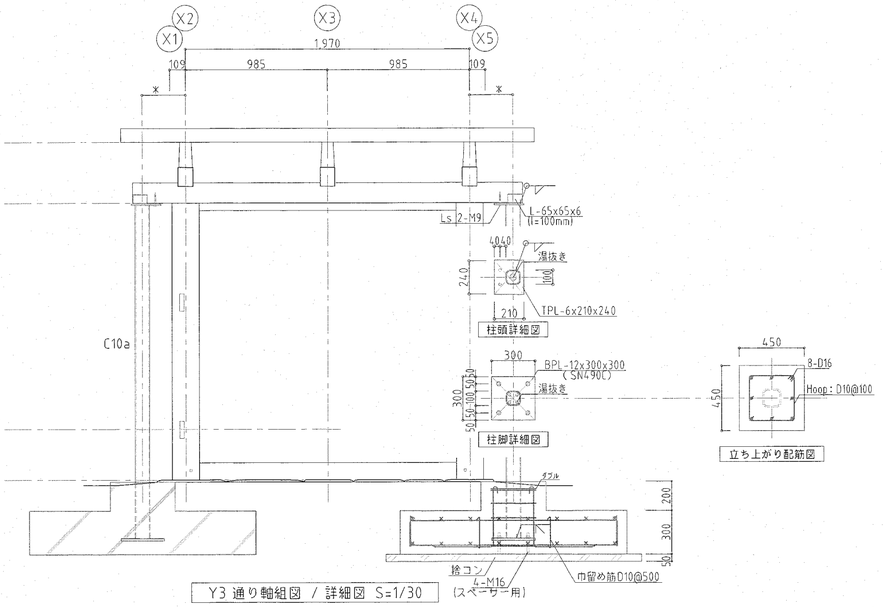
断面リスト			
符号	断面	品質・種別	備　考
C10	□-100x100x12	STKR400	溶融亜鉛めっき
F1	□-1,950x1,950x300	FC30	

		高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物）旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-18
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸			図面名　表門 補強図　2023/05　縮尺　1／30	作図	年	月	日	

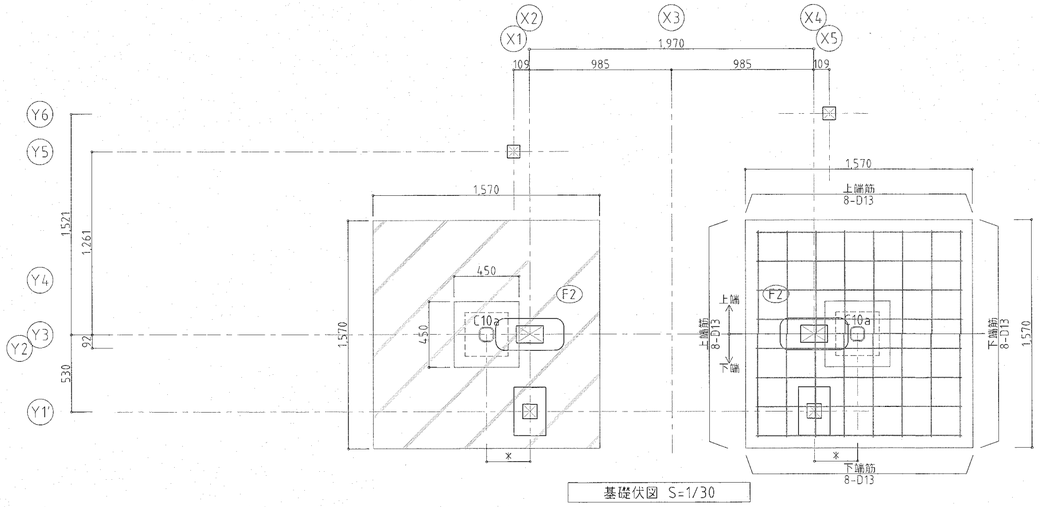
A2：100%、A3：71%、A4：50%



X2 通り軸組図 S=1/30



Y3 通り軸組図 / 詳細図 S=1/30



基礎伏図 S=1/30

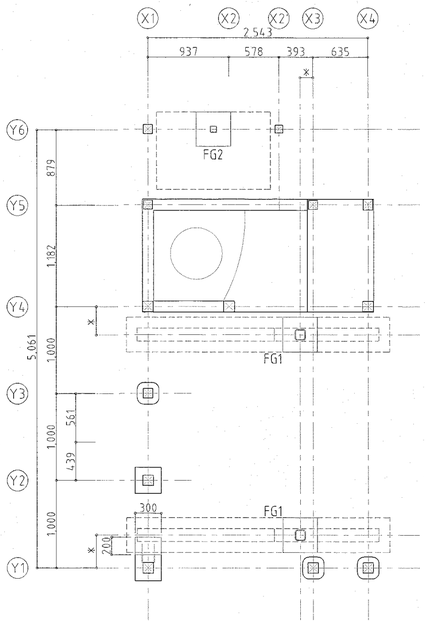
共通事項

・記入無き限り以下による。
高力ボルトはF8T溶融亜鉛めっきボルトとする。
×は現地確認の上、決定すること。

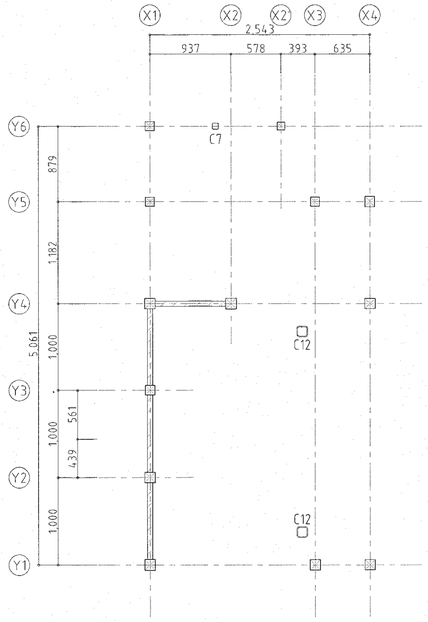
断面リスト			
符号	断面	品質・種別	備　考
C10a	□-100x100x6	STKR400	溶融亜鉛めっき
F2	□-1,570x1,570x300	FC30	

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか4棟 保存修理工事					
	設計・監理 (公財) 文化財建造物保存技術協会		図面名 裏門 補強図 2023/05 縮尺 1/30	作図	年	月	日	S-19
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第21828号 一級建築士 登録 第272522号 小林裕幸							

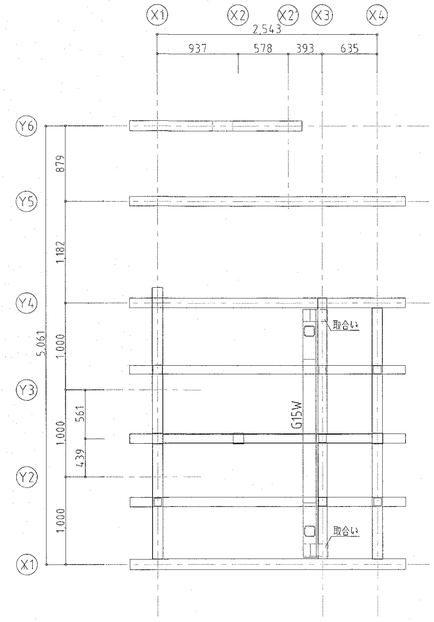
A2：100%、A3：71%、A4：50%



基礎伏図 S=1/50

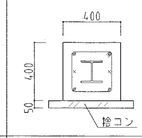
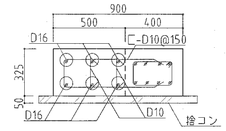


柱・壁伏図 S=1/50



梁伏図 S=1/50

地中梁断面 S=1/30

符号	FG1	FG2
断面		
位置	全断面	全断面
B×D	400x400	900x375
上端筋	2-D16	4-D16
下端筋	2-D16	4-D16
腹筋	2-D13	-
スターラップ	□-D10 @150	□-D10 @150
鉄骨	H-150x150x7x10 (SN400B)	-
備考	地中梁埋設部は、溶融亜鉛めっきの必要なし。	-

共通事項

・記入無き限り以下による。

：土壁 t=60mm

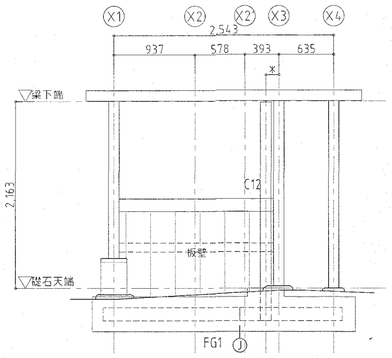
鉄骨断面リスト

符号	断面	品質・種別	備考
C12	□-125x125x9	STKR400	溶融亜鉛めっき*
C7	□-75x75x6	STKR400	
G15W	H-150x150x7x10	SN400B	

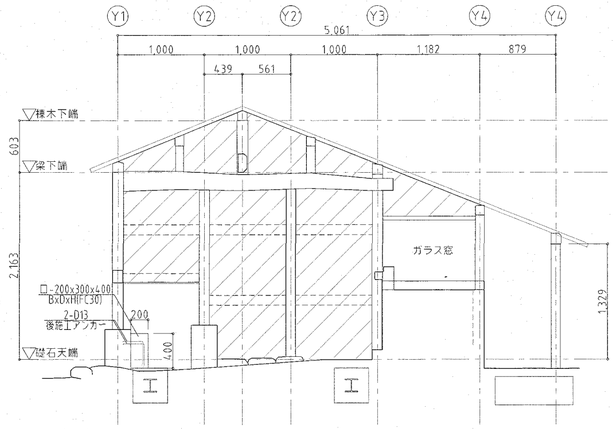
＊RC埋設部は溶融亜鉛めっき及び塗装不要。

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財（建造物） 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-20
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号 一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸			図面名 水屋伏図 2023/05 縮尺 1／50	作図	年	月	日	

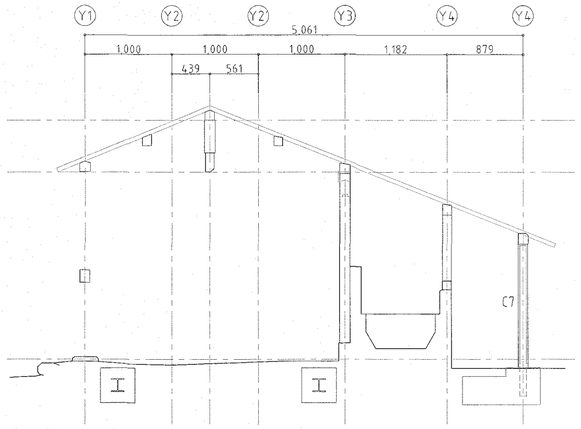
A2：100%、A3：71%、A4：50%



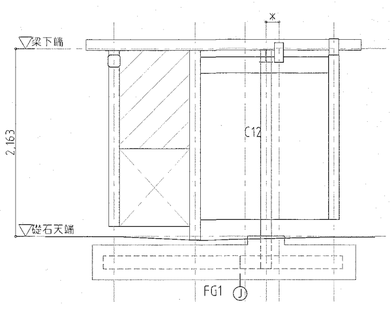
Y1 軸組図 S=1/50



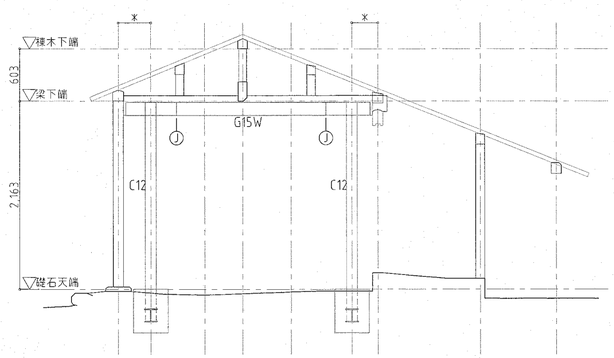
X1 軸組図 S=1/50



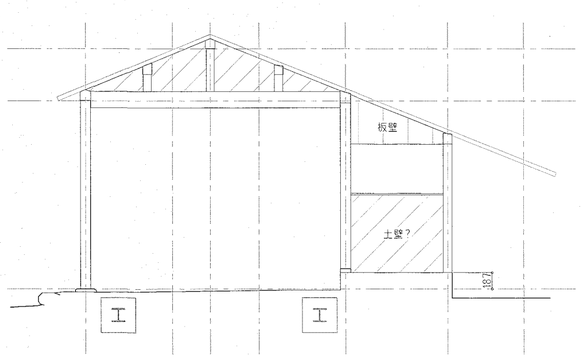
X2 軸組図 S=1/50



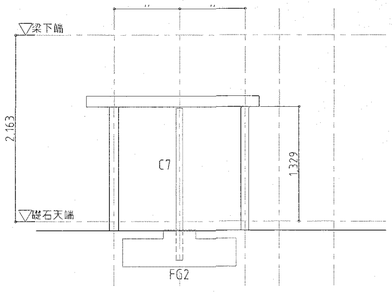
Y4 軸組図 S=1/50



X3 軸組図 S=1/50



X4 軸組図 S=1/50



Y6 軸組図 S=1/50

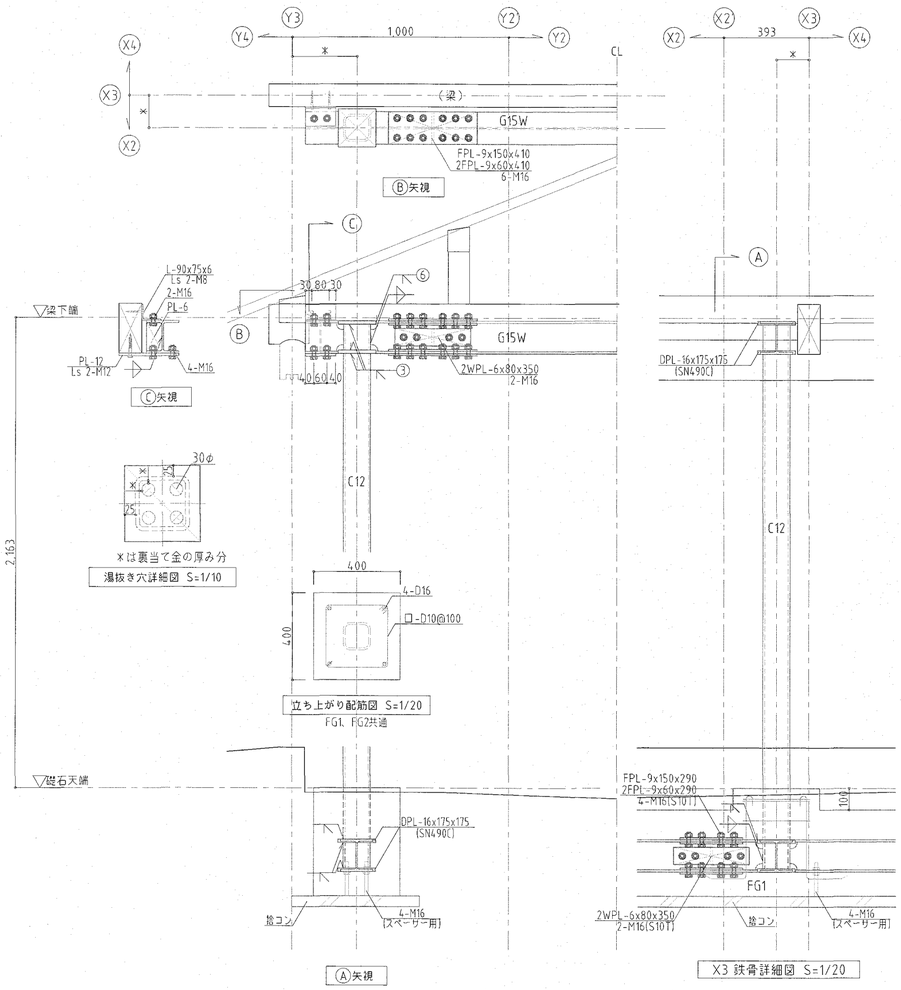
共通事項

・記入無き限り以下による。

：土壁 t=60mm

		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
設計・監理 （公財）文化財建造物保存技術協会			重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事					S-21
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号	一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸		図面名 水屋 軸組図 2023/05 縮尺 1／50	作図	年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%



共通事項

- 記入無き限り以下による。
  高力ボルトはF8T溶融亜鉛めっきボルトとする。
  ※は現地確認の上、決定すること。
  特記のない突合せ溶接は裏当て金ありとする。

設計・監理　（公財）文化財建造物保存技術協会	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第２１８２８号　一級建築士 登録 第２７２５２２号 小林裕幸		重要文化財(建造物) 旧関川家住宅主屋ほか４棟 保存修理工事	澤田		澤田	松下	岡村	S-22
		図面名 水屋 鉄骨詳細図 2023/05 縮尺 1/20	作図		年	月	日	

A2：100%、A3：71%、A4：50%